

# 大学教員の授業準備に関する 調査報告書

2014年3月

東北大学高等教育開発推進センター

## 目次

まえがき .....	1
1. はじめに.....	3
2. 調査実施・報告概要.....	3
2-1. 調査目的.....	3
2-2. 調査概要.....	4
2-3. 調査票の構成.....	4
2-4. 調査結果の取り扱い.....	5
2-5. 調査報告の方針.....	5
3. 調査結果.....	6
3-1. 回答者属性.....	6
(1) 専門分野.....	6
(2) 職階.....	6
(3) 年齢.....	7
(4) 教員免許の取得状況.....	7
(5) 教員歴.....	8
3-2. 現在実施している授業準備について.....	9
(1) 担当授業数.....	9
(2) 回答対象とする授業のプロフィール.....	9
(3) 授業内容の決定方法.....	15
(4) 授業を設計する際に参考にしたもの.....	18
(5) 授業の設計，日々の準備の活動内容.....	22
(6) 授業の準備にかかる時間.....	27
3-3. 授業の見直しについて.....	40
(1) 授業内容・計画の見直し，改善の実施状況.....	40
(2) 授業の改善時に参考にするもの.....	43
(3) 授業の改善の対象.....	47
(4) 授業の改善にかかる時間.....	51
3-4. 入職当初の授業準備について.....	64
(1) 回答対象とする授業のプロフィール.....	64
(2) 開講時の支援，情報提供.....	67
(3) 授業設計，実施時の相談相手.....	70
(4) 授業を設計する際に参考にしたもの.....	74
(5) 授業の設計，日々の準備の活動内容.....	78

(6) 授業の準備にかけた時間.....	82
3-5. 利用してみたい支援について.....	90
4. おわりに.....	95
参考文献 .....	97
資料 .....	99

## まえがき

本報告書は、教育関係共同利用拠点「国際連携を活用した世界水準の教育力開発の支援拠点」事業の一環としての調査研究活動の成果をまとめたものである。授業は、大学教員が必ず向き合わなければならない教育活動であるが、研究蓄積は十分ではなく、半ば未開の地であるといつてよい。すでに 80 年代から、日本の大学教員の授業実践や(原正敏・浅野誠『大学における教育実践』1983 年、など)、海外の新任教員向けハンドブックの翻訳・出版がなされ(London University Dept. of Higher Education University Teaching Methods Unit, 1978, *Improving teaching in higher education*. ロンドン大学教育研究所大学教授法研究部『大学教授法入門：大学教育の原理と方法』1982 年、など)、2000 年代には、公開授業や授業参観・リフレクション活動が行われるようになった。また、アクティブ・ラーニングや協働学習など教育方法の模索も盛んである。これらの取り組みは、認知科学と結びつき、学習者が、専門分野の知識構造を自己の認識構造の中に取り込み再体制化するプロセスとして多面的な研究が進められている。ここで期待されているのは、大学における教授・学習における学術活動(Scholarship of Teaching and Learning)であり、認知科学を学習過程研究の土台に据えた教科教育学の構築である(初等中等教育をも含めた総合的研究の成果として、National Research Council Committee on Learning Research and Educational Practice, 2000, *How people learn: brain, mind, experience, and school*. 米国学術研究推進会議『授業を変える 認知心理学のさらなる挑戦』2002)。

一方、現実の高等教育は、教育プログラムのチューニングなど、構造的な組織化が進行し、教育マネジメントの対象領域でもある。教育マネジメントは、その対象が個々の授業、科目群、4 年間にわたる教育プログラムなどの階層が存在し、その階層に対応して、教員個人、学科などの教員集団、部局長などの管理職、職員集団が関与し、様々な利害を調整しながら運営する活動である。ここで重要なのは、教育マネジメントを遂行し、個々の授業が最適に営まれるための基礎的情報 - 授業の準備時間や準備の方法、授業を通じての省察と改善メカニズム - が、日本の大学教員を対象にしてほとんど存在していないことである。大学教員は、どのように準備を行い、キャリアの成長に従ってどのように変化していくのかを知ることは、教員への支援活動の前提条件である。

拠点活動では、こうした基礎的な調査研究を重視しており、今野文子助教からの研究計画の提案に対し 2011 年度から支援を行い、ここによろやく第 1 次報告をまとめることができるようになったものである(すでにその一部は、Institute of Electrical and Electronics Engineers Region 10 Humanitarian Technology Conference 2013 で報告)。大震災で臨時の研究室やプレハブ棟へ、改修後の研究棟へと 4 回の移転や、各種派遣業務やセミナー運営などタフな環境で、報告書をまとめるまでに至った努力に敬意を表したい。また、この種の調査としては 40%を超える高い回収率を得られたことに、東北大学の教員の方々に謝意を表したい。

本書は、アンケート結果を専門分野や職階ごとにクロス集計して概略を示したもので、より詳細な分析は今後に待たれるが、読者は、報告者の単純なデータからも、大学教員の授業準備における多様性と傾向を読み取ることができる。たとえば、授業内容の決定は、上位の職階ほど自由に決定し(図 3-2-12)、職能的成長が見られること、内容の決定には同僚との討議や学科・研究科など教育組織の方針に基づく組織的取組が、理学、工学、医歯薬学などに多く見られ(図 3-2-13~18)、大学教員は世間が思っているほど(と私が思っているほど、か)教育活動を個人的な活動としていないこと、シラバスをはじめ授業準備にはかなりの時間をかけていること(図 3-2-43~92)などである。

もちろん、このデータは、研究大学である東北大学教員の状況を反映しており、日本の大学教員全体を示すものではないが、分析を深化させ、大学教員の授業準備と適正な準備の方法とマネジメントを示唆する結論が得られることを何よりも期待している。そのためにも、本報告書へのコメントを何よりも期待している。

平成 26 年 3 月

東北大学 高等教育開発推進センター  
大学教育支援センター長  
羽田 貴史

## 1. はじめに

東北大学高等教育開発推進センター（以下、当センター）は、2010年に教育関係共同利用拠点の認定を受け、「国際連携を活用した大学教育力開発の支援拠点」として、現職の大学教員を対象とした調査研究[1,2]などをもとに、教育活動に必要な専門性を形成する職能開発プログラムを開発・提供することに取り組んできた[3,4,5]。教員の各ライフステージに対応するようにデザインした当センターのプログラムには、専門を問わず、広く大学内外から参加者を募る「PDプログラム」、将来大学教員を目指す東北大学の大学院生や博士研究員から参加者を選抜して実施する「大学教員準備プログラム（Tohoku U. PFFP）」、学内外の新任教員向けに実施する「新任教員プログラム（Tohoku U. NFP）」等がある[6,7,8]。

これまで上記のプログラムの開発・実施・評価に取り組む過程で、「この（セミナー／プログラムの）内容はうち（の部局／研究科）の状況には当てはまらない」「専門分野別の実際に即した内容を提供してほしい」という参加者からの声を少なからず耳にしてきた。また、大学教員準備プログラムでは、高等教育における教育活動に必要な基礎的知識の習得を目的としているが、参加者からは、「自身の専門分野ならではの教授法が知りたい」との要望が寄せられることがあった。こうした経緯により我々は、専門分野ごとの教育活動の違いやスタイルの在り方に目を向けるに至った。

そもそも、教育活動について考える際に、専門の別を問わず分野横断的に共通である点と、分野ごとに特徴的である点として、具体的にどのような事象が存在するのだろうか。これまで、専門分野により、それぞれ研究方法や教授方法が異なるだろうということは、広く一般的に認識されてきたことである。しかしながら、それが具体的にどのように違うのか、それぞれの分野の教員がどのように教育活動を設計し、実践し、評価しているのかについて、大学教員を対象とした総合的な調査の報告はこれまでにない。

そこで、これからの高等教育を担う若手教員の育成のためのプログラムや支援方法の開発に役立てるために、当センターでは「大学教員による授業準備調査」（以下、本調査）を実施することとした。

## 2. 調査実施・報告概要

### 2-1. 調査目的

本調査の目的は、大学教員の授業設計、見直し時の取り組み内容を明らかにし、得られた知見を新任教員研修や、将来の大学教員を目指す大学院生のための準備プログラムの内容に反映することにある。

本調査は、あくまでも現職の大学教員がどのように授業を準備しているのかを明らかにすることを目的としたものであり、その方法の善し悪しや、優劣を議論するためのものではない。

## 2-2. 調査概要

本調査の概要を表 2-2-1 に示す。

表 2-2-1 調査概要

調査対象	東北大学に在籍している教員（非常勤を除く）
調査時期	2012 年 2 月～3 月
調査方法	学内便による調査票の送付および回収による
回収数（率）	1,290 人（47.37%=1,290 人 / 2,723 人）
有効回答数(率)	1,137 人（41.76%=1,137 人 / 2,723 人）

調査対象は、東北大学 2012 年 12 月時点で東北大学に在籍しており、東北大学グループウェア（情報管理システム）に登録されている教員を対象とした。非常勤講師については、今回の調査では対象外とした。また、長期海外出張、病気休養、産前休業、育児休業等で不在の教員は対象から除外した。これにより、本調査における調査票配布数と、東北大学がウェブページ等で公表している全教員数[9]は必ずしも一致しない。

調査時期は、なるべく教員の負担にならない時期、かつ授業準備について想起しやすいタイミングとして、後期の授業期間が終わり、次年度の授業に向けてシラバス作成等を経た 2 月～3 月とした。

調査方法としては、学内便により調査票を各教員宛てに送付し、記入後、同封の封筒に入れ、同じく学内便にて返送するよう依頼した。

本調査の回収数は 1,290 人分、回収率は、47.37%であった。このうち 153 人分は、回答者が授業経験を有しないため調査票への回答を辞退するとし、属性以外の質問項目は回答せずに返送された。したがって、有効回答数は 1,137 人、有効回答率は 41.76%となった。

本調査は、東北大学 高等教育開発推進センター 研究倫理委員会による倫理審査を受け、内容および調査方法が倫理的に問題がないことについて承認を得たうえで実施した。また、調査票の内容、各項目については、事前に東北大学内外の現職教員 4 名を対象に授業準備に関してインタビュー調査を行うとともに、東北大学 教育情報基盤センターの三石 大 准教授らに意見を求めて設定した。

## 2-3. 調査票の構成

本調査票は、表 2-3-1 に示す 4 つの枠組みで構成した。

まず、属性については、「所属、教員経験について」として、回答者の属性に関する問いを 6 問設定した。現在の授業準備については、平成 23 年度に回答者が実施した授業のうち任意のものを 1 つ選び、それについてどのような準備を行ったかについての問いを 7 問設定した。入職当初の授業準備については、回答者が初めて担当した授業について思い出してもらい、その準備に関する問いを 6 問設定した。授業のふり返り、シラバス、

計画の見直しについては， で選択した担当授業のひとつについて，どのような見直し，改善等を実施するか，今後どのような支援を要望するかについての問いを 5 問設定した。問いは全部で 24 問である。実際の調査票については，本編末尾に収録した。

表 2-3-1 調査票の構成

---

属性について
現在の授業準備について
入職当初の授業準備について
授業のふり返り，シラバス，計画の見直しについて

---

#### 2-4. 調査結果の取り扱い

本調査の結果は，回答者個人が特定されないように集計・分析し，当センターにおけるプログラム開発のための基礎的資料として活用する。

#### 2-5. 調査報告の方針

本調査報告では，まず，調査で得られたデータの全体像を明らかにすることを目的とし，主に回答者の職階と専門分野別の集計結果を示すこととする。また，統計的な手法等を含む詳細な分析，考察は，今後，研究会や学会発表において，随時その結果を公表していく予定である。なお，教員が授業の準備の際に参考にしているもの，および利用を希望する支援についての専門分野別の傾向の考察については，Institute of Electrical and Electronics Engineers (IEEE), Region10 Humanitarian Technology Conference 2013[10]にて発表済みである。

### 3. 調査結果

本調査によって得られた回答の集計結果を回答者属性，現在実施している授業準備，授業の見直し，入職当初の授業準備，利用してみたい支援の順に示す。集計の結果については，基本的に図（グラフ）と表で示すが，表が大きなものになる場合には，本編末尾の資料にまとめて収録することとした。

#### 3-1. 回答者属性

まず，回答者の属性について示す。本セクションでは，授業設計に関する取組みについて属性ごとの特徴や違いを分析する目的で，回答者の専門分野，職階，年齢，教員免許の取得状況，教員歴について尋ねた。

##### (1) 専門分野

回答者の専門分野について，最も近い領域を尋ねた結果を図 3-1-1，表 3-1-1 に示す。回答者のうち最も多かったのは医歯薬学分野で，全回答者の 32.7%，次いで工学分野が 29.3% を占めた。

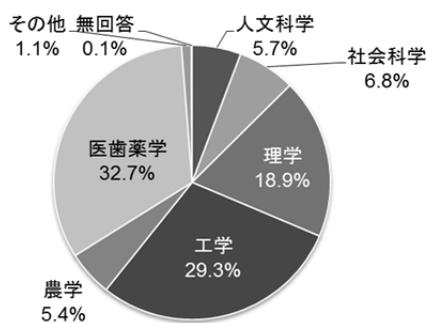


図 3-1-1. 専門分野 (N=1,137)

表 3-1-1. 専門分野 (N=1,137)

専門分野	人	%
人文科学	65	5.7%
社会科学	77	6.8%
理学	215	18.9%
工学	333	29.3%
農学	61	5.4%
医歯薬学	372	32.7%
その他	13	1.1%
無回答	1	0.1%
合計	1,137	100.0%

##### (2) 職階

回答者の職階について，図 3-1-2，3-1-2 に示す。今回の調査では，教授，准教授，助教の構成が約 30%ずつとなり，講師が 7.5% となった。ちなみに，平成 25 年 5 月 1 日時点のデータによると，東北大学の在籍教員の割合は，教授 29.3%，准教授 24.9%，講師 6.6%，助教 39.9%となっている[11]。

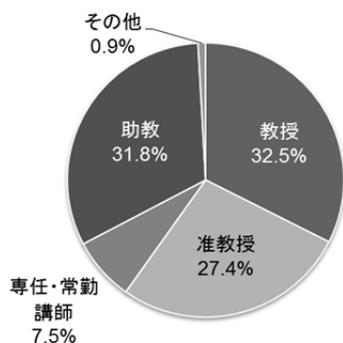


図 3-1-2. 職階 (N=1,137)

表 3-1-2. 職階 (N=1,137)

職階	人	%
教授	369	32.5%
准教授	311	27.4%
講師	85	7.5%
助教	362	31.8%
その他	10	0.9%
合計	1,137	100.0%

### (3) 年齢

回答者の年齢について図 3-1-3、表 3-1-3 に示す。回答者で最も多かったのは 40 代で 35.1% を占めた。次いで 20 代、50 代が約 25% となった。

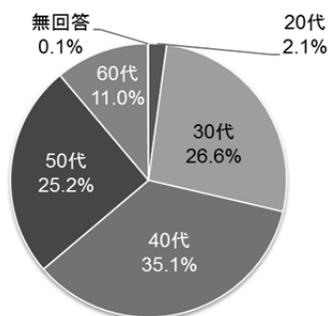


図 3-1-3. 年齢 (N=1,137)

表 3-1-3. 年齢 (N=1,137)

年齢	人	%
20代	24	2.1%
30代	302	26.6%
40代	399	35.1%
50代	286	25.2%
60代	125	11.0%
無回答	1	0.1%
合計	1,137	100.0%

### (4) 教員免許の取得状況

回答者の教員免許の取得状況について図 3-1-4、表 3-1-4 に示す。回答者の 14.9% が教員免許を取得していた。なお、その種別の内訳は図 3-1-5、表 3-1-5 に示すとおりである。免許取得者のほとんどが高校の教員免許を取得していることがわかる。

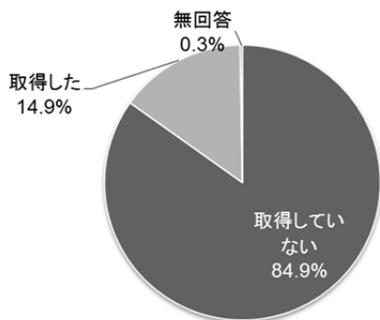


図 3-1-4. 教員免許取得状況 (N=1,137)

表 3-1-4. 教員免許取得状況 (N=1,137)

取得状況	人	%
取得していない	965	84.9%
取得した	169	14.9%
無回答	3	0.3%
合計	1,137	100.0%

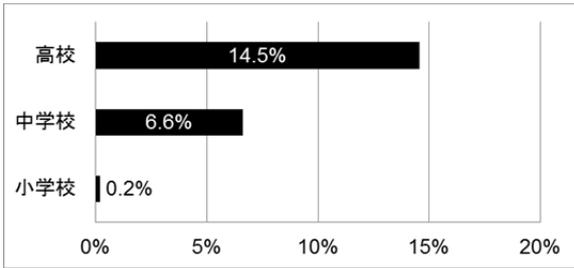


表 3-1-5. 教員免許の種別 (N=169)

種別	人	%
高校	165	14.5%
中学校	75	6.6%
小学校	2	0.2%

%は回答者全体 (1,137 人) に占める割合

図 3-1-5. 教員免許の種別 (N=1,137)

### (5) 教員歴

回答者が常勤・非常勤を問わず、これまでに教育機関において授業を担当した年数（教員歴）について図 3-1-6 に示す。回答が 1.5 のように少数以下まで詳細に記されていた場合には、四捨五入して集計した。また、10～15 年のように範囲で記されていた場合には、示されている値の最大値を回答とすることとした。

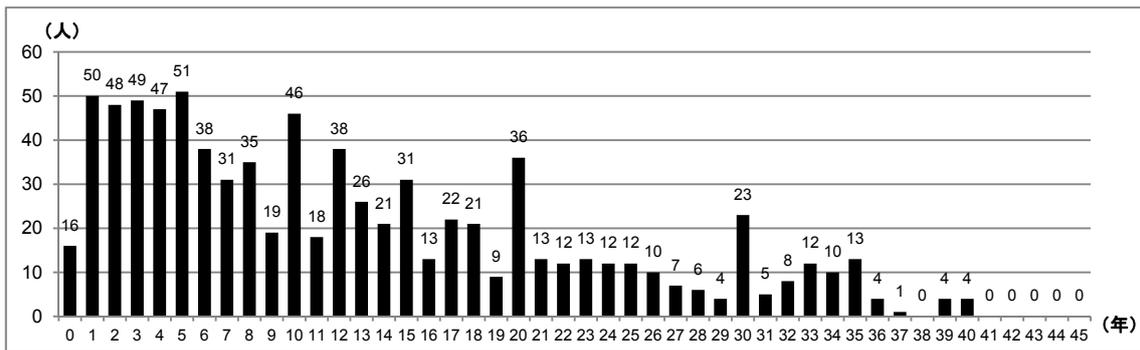


図 3-1-6. 教員歴 (N=838)

また、上記の教員歴についての回答を 5 年区切りで集計した結果を図 3-1-7、表 3-1-6 に示す。

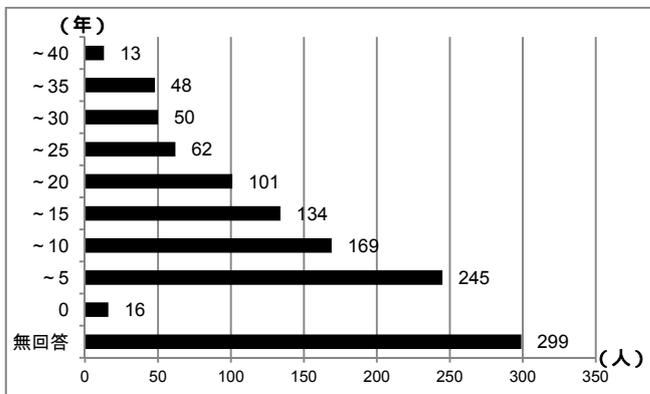


図 3-1-7. 教員歴 (5 年区切り) (N=1,137)

表 3-1-6. 教員歴 (N=1,137)

教員歴	人	%
~40	13	1.1%
~35	48	4.2%
~30	50	4.4%
~25	62	5.5%
~20	101	8.9%
~15	136	11.8%
~10	169	14.9%
~5	243	21.5%
0	16	1.4%
無回答	299	26.3%
合計	1,137	100.0%

### 3-2. 現在実施している授業準備について

平成 23 年度の時点において、回答者が担当している授業における取組みについて尋ねた。以降、人文科学，社会科学分野を「文系分野」，農学，理学，工学，医歯薬学分野を「理系分野」とする。

#### (1) 担当授業数

回答者が平成 23 年度に東北大学で担当した授業数についての回答結果を図 3-2-1，表 3-2-1 に示す。平成 23 年度に担当授業がなかった場合には，授業を担当した直近の年度について回答するように求めた。

最も多かったのは担当授業が 2 つとする回答で，全体の 20.0%，次いで 1 つとする回答が 18.8%であった。

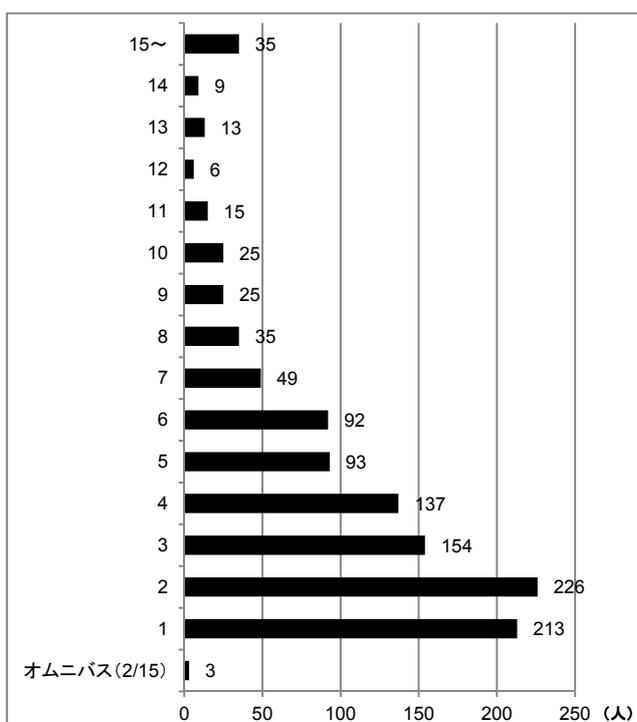


表 3-2-1. 担当授業数 (N=1,130)

授業数	人	%
15~	35	3.1%
14	9	0.8%
13	13	1.2%
12	6	0.5%
11	15	1.3%
10	25	2.2%
9	25	2.2%
8	35	3.1%
7	49	4.3%
6	92	8.1%
5	93	8.2%
4	137	12.1%
3	154	13.6%
2	226	20.0%
1	213	18.8%
オムニバス(2/15)	3	0.3%
合計	1,137	100.0%

図 3-2-1. 担当授業数 (N=1,130)

#### (2) 回答対象とする授業のプロフィール

以降の質問では，平成 23 年度，または授業を担当した直近の年度から，自身が担当した授業を 1 つ選び，それについて回答を求めた。

以下，回答対象とする授業の開講学部・研究科，対象学生，受講生数，授業形態，担当年数について示す。

開講学部・研究科

回答対象とした授業の開講学部・研究科について教員の職階別に集計した結果を表 3-2-2 に示す。

表 3-2-2. 回答対象とする授業の開講学部・研究科（職階別）(N=1,137)

	教授	准教授	講師	助教	その他	計
全学教育	16	31	9	22	3	81
文学部	10	9	0	6	0	25
教育学部	1	2	0	0	0	3
法学部	1	6	1	0	0	8
経済学部	4	1	0	0	1	6
文系	0	0	0	1	1	2
理学部	31	32	3	36	1	103
医学部	41	32	35	82	1	191
歯学部	6	1	10	24	1	42
薬学部	11	9	2	10	0	32
工学部	91	76	3	89	0	259
農学部	19	19	1	12	0	51
文学研究科	2	1	0	1	0	4
文学部・文学研究科	2	2	0	0	0	4
教育学研究科	1	0	0	1	0	2
法学研究科	2	0	0	0	0	2
経済学研究科	4	3	0	0	0	7
理学研究科	11	6	0	1	0	18
理学部・理学研究科	2	0	0	0	0	2
医学系研究科	15	5	2	2	0	24
医学部・医学系研究科	1	0	0	0	0	1
歯学研究科	0	1	0	3	0	4
歯学部・歯学研究科	0	1	0	0	0	1
医学部・歯学部	2	1	0	0	0	3
薬学研究科	0	0	0	0	0	0
工学研究科	32	21	3	4	1	61
工学部・工学研究科	2	1	0	0	0	3
農学研究科	2	1	0	5	0	8
国際文化研究科	3	5	0	0	0	8
情報科学研究科	5	4	0	3	0	12
生命科学研究科	1	4	0	1	0	6
環境科学研究科	6	7	1	1	0	15
医工学研究科	2	3	0	1	0	6
教育情報学教育部	2	0	1	1	0	4
法科大学院	2	1	0	0	0	3
公共政策大学院	1	0	0	0	0	1
会計大学院	1	1	0	0	0	2
多元物質科学研究所	0	0	0	2	0	2
G30	1	0	0	0	0	1
理学部・生命科学研究科	1	0	0	0	0	1
理学部・医学部	1	0	0	0	0	1
理・工・医工学研究科	1	0	0	0	0	1
農学・生命科学研究科	0	0	0	2	0	2
その他	7	3	1	6	1	18
無回答	26	22	13	46	0	107
計	369	311	85	362	10	1137

## 対象学生

回答対象とした授業の対象学生について教員の職階別に集計した結果を図 3-2-2、表 3-2-3 に、専門分野別に集計した結果を図 3-2-3、表の 3-2-4 に示す。

まず、職階別の集計結果を見てみると、本設問の回答者 (N=1,082) のうち、79.0%が学部生向けの授業、16.7%が大学院生向けの授業について回答していることがわかる。図 3-2-2 からは、助教の 90.6%が学部生向けの授業について回答しているのに対し、職階が上がるほど、大学院生向けの授業についての回答の割合が高くなっていることがわかる。

専門分野別の集計結果からは、社会科学分野の教員は大学院生向けの授業について回答した割合が比較的高く、32.9%を占めていることがわかる。一方、医歯薬学分野では、学部生向けの授業について回答した割合が 87.8%となった。

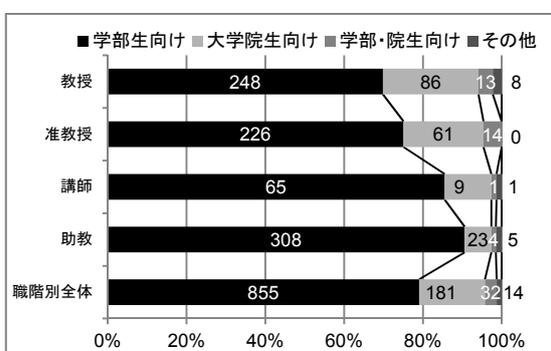


図 3-2-2. 回答対象とした授業の対象学生 (職階別) (N=1,082)

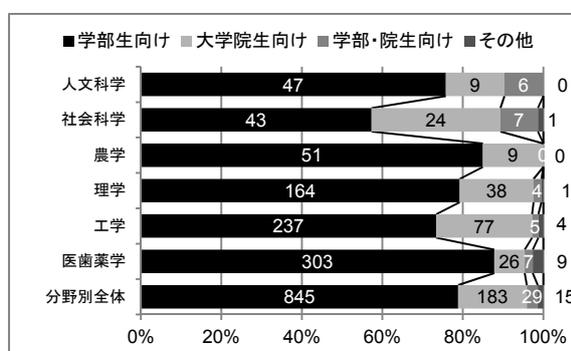


図 3-2-3. 回答対象とした授業の対象学生 (専門分野別) (N=1,072)

表 3-2-3. 回答対象とした授業の対象学生別数 (職階別) (N=1,082)

	教授		准教授		講師		助教		その他		職階別全体	
	件	%	件	%	件	%	件	%	件	%	件	%
学部生向け	248	69.9	226	75.1	65	85.5	308	90.6	8	80.0	855	79.0
大学院生向け	86	24.2	61	20.3	9	11.8	23	6.8	2	20.0	181	16.7
学部・院生向け	13	3.7	14	4.7	1	1.3	4	1.2	0	0.0	32	3.0
その他	8	2.3	0	0.0	1	1.3	5	1.5	0	0.0	14	1.3
合計	355	100.0	301	100.0	76	100.0	340	100.0	10	100.0	1,082	100.0

表 3-2-4. 回答対象とした授業の対象学生別数 (専門分野別) (N=1,072)

	人文科学		社会科学		農学		理学		工学		医歯薬学		分野別全体	
	件	%	件	%	件	%	件	%	件	%	件	%	件	%
学部生向け	47	75.8	43	57.9	51	85.0	164	79.2	237	73.4	303	87.8	845	78.8
大学院生向け	9	14.5	24	32.9	9	15.0	38	18.4	77	23.8	26	7.5	183	17.1
学部・院生向け	6	9.7	7	7.9	0	0.0	4	1.9	5	1.5	7	2.0	29	2.7
その他	0	0.0	1	1.3	0	0.0	1	0.5	4	1.2	9	2.6	15	1.4
合計	62	100.0	75	100.0	60	100.0	207	100.0	323	100.0	345	100.0	1,072	100.0

## 受講生数

回答対象とした授業の受講生数について教員の職階別に集計した結果を図 3-2-4 (資料：表 3-2-5) に、専門分野別に集計した結果を図 3-2-5 (資料：表 3-2-6) に示す。

全体では、受講生数 61～100 人とする授業を回答対象とした者が多かったが、特に講師においてその割合が 38.8%に達していた。専門分野別では、医歯薬学分野において、受講生数 61～100 人とする授業を回答対象とした割合が 44.5%にのぼった。一方で、人文・社会科学分野では 15 人以下の授業を回答対象とした割合が多かった。また、人文科学では 31～40 人、農学では 21～30 人とする授業が比較的多く回答対象とされていた。

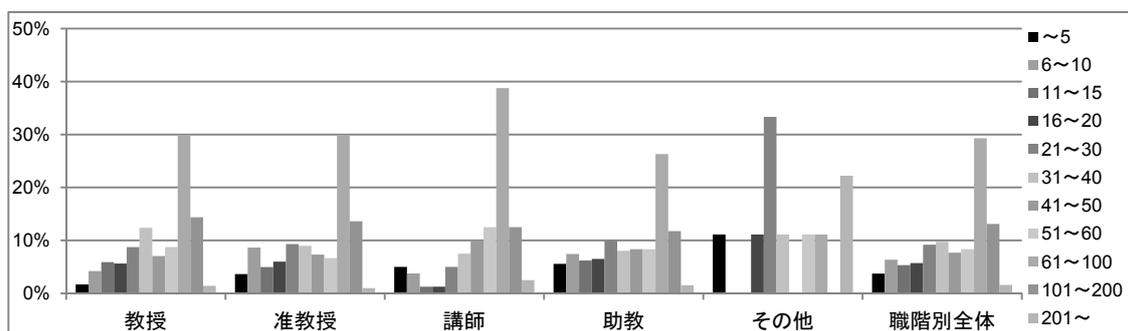


図 3-2-4. 回答対象とした授業の受講生数 (職階別) (N=1,068)

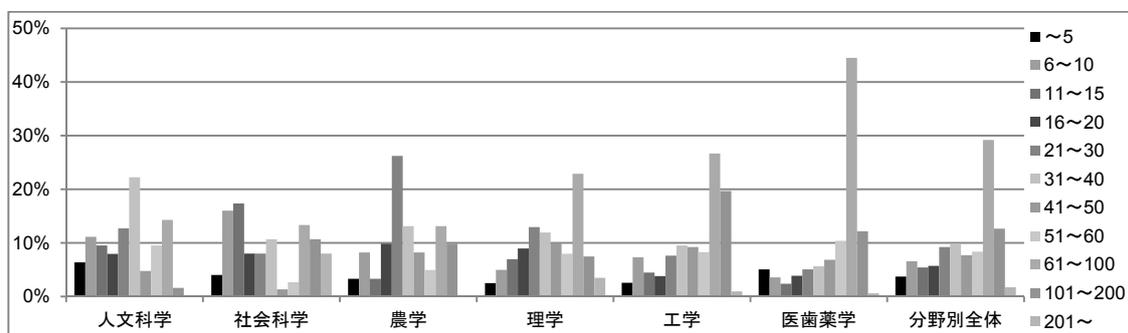


図 3-2-5. 回答対象とした授業の受講生数 (専門分野別) (N=1,052)

図 3-2-4, 3-2-5 では、受講生数について、20 人までは 5 人毎、21～60 人は 10 人毎、以降、61～100 人、101 人～200 人、201 人以上を区切りとしている

## 授業形態

回答対象とした授業の形態について教員の職階別に集計した結果を図 3-2-6, (資料: 表 3-2-7) に, 教員の専門分野別に集計した結果を図 3-2-7, (資料: 表 3-2-8) に示す。

全体では, 講義形式の授業が最も多く, 68.4%を占めていた。また, 講義形式の授業を対象とした割合は, 職階が高いほど多かった。一方で, 助教が回答対象とした授業は, 講義だけでなく実験, 演習, 実習等も含まれており, その中でも, 実験が比較的多く, 25.4%を占めていた。

専門分野別に見てみると, 医歯薬学分野では, 講義や演習などさまざまな組合せによる実践による授業が比較的多く対象とされていた。

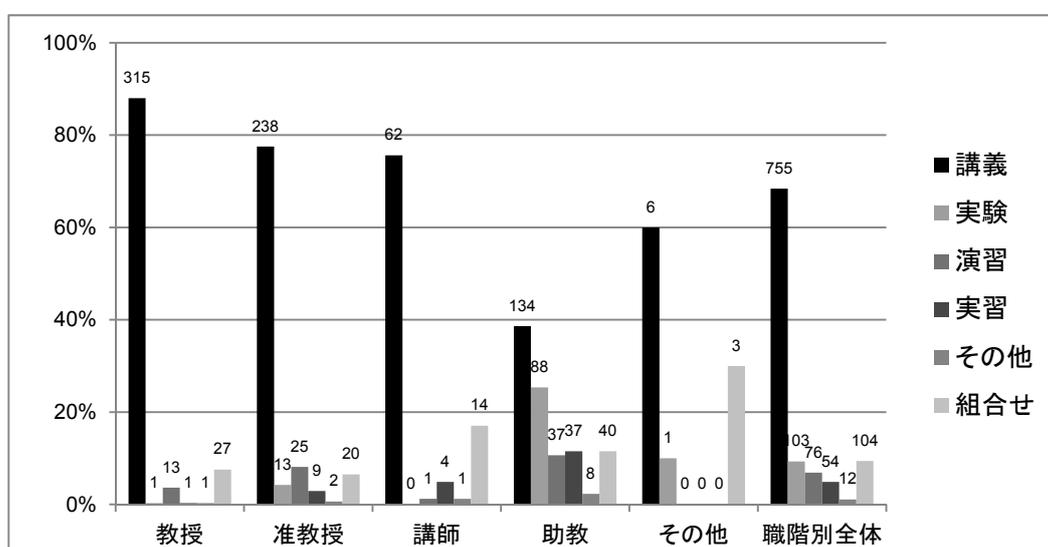


図 3-2-6. 回答対象とした授業の形態 (職階別) (N=1,104)

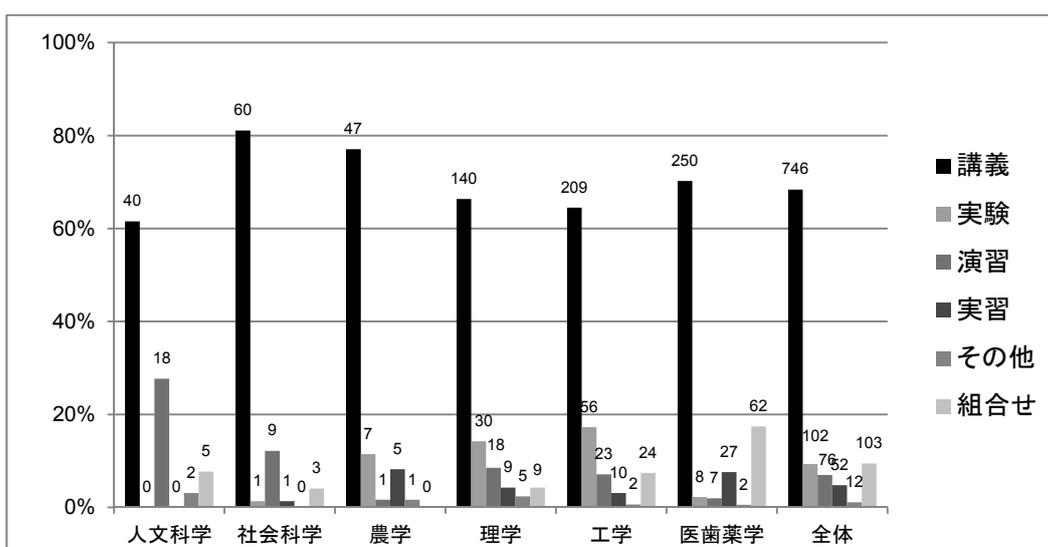


図 3-2-7. 回答対象とした授業の形態 (専門分野別) (N=1,091)

### 担当年数

回答対象とした授業は、担当して通算で何年目かについての集計結果を図 3-2-8 に示す。また、職階別、専門分野別に集計した結果を図 3-2-9、図 2-3-10 (資料：表 3-2-9、3-2-10) に示す。

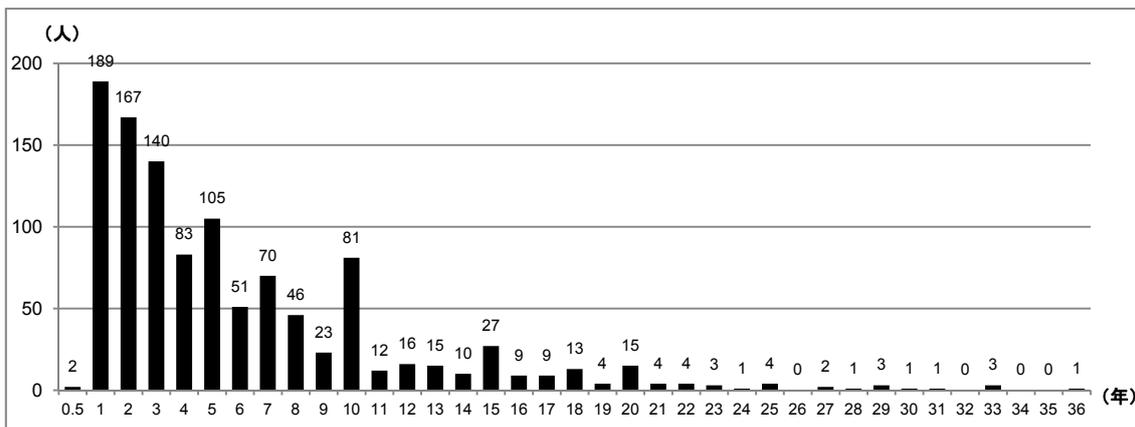


図 3-2-8. 回答対象とした授業の担当年数 (全回答) (N=1,115)

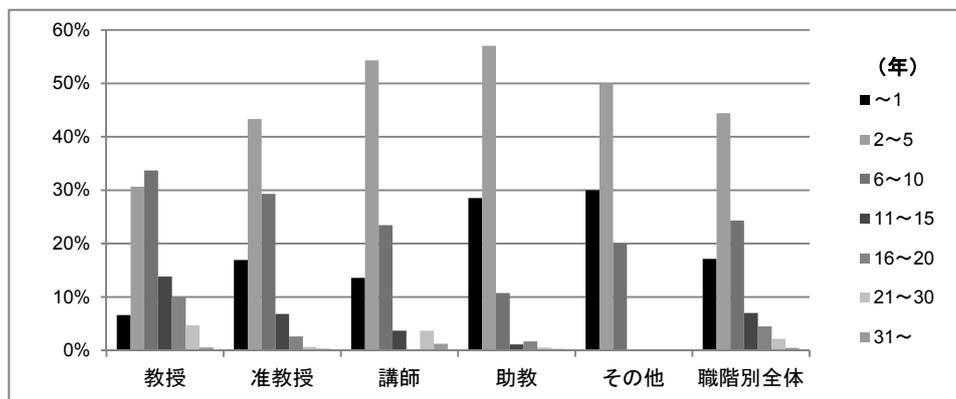


図 3-2-9. 回答対象とした授業の担当年数 (職階別) (N=1,114)

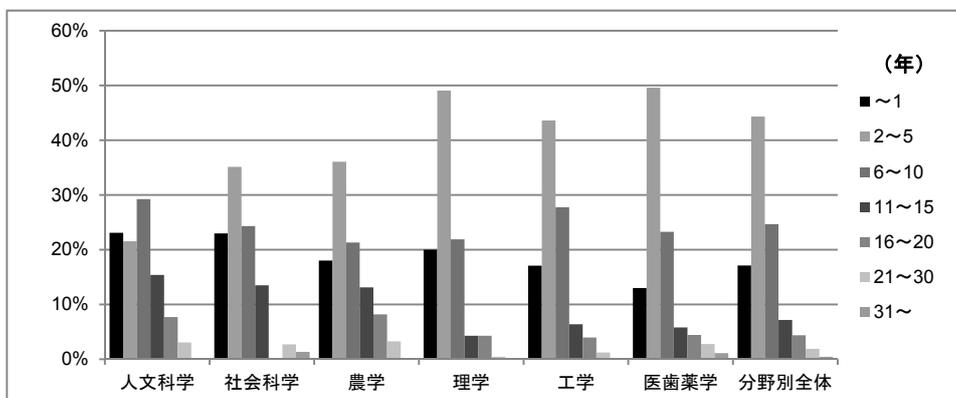


図 3-2-10. 回答対象とした授業の担当年数 (専門分野別) (N=1,099)

### (3) 授業内容の決定方法

回答対象とする授業の内容をどのように決定したかについての回答結果を図 3-2-11 に示す。最も多かったのは「2. 学科・研究科等の要請・指針」に基づいての決定であり、続いて「1. 自分で自由に決定」、「3. 同僚や他の先生方との話し合い」となった。

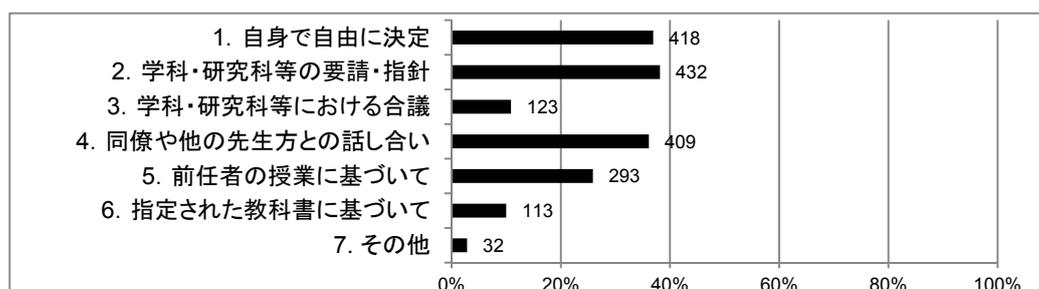


図 3-2-11. 授業内容の決定方法（全回答）(N=1,137)

次に、上記授業内容の決定についての回答結果を職階別に集計した結果を図 3-2-12（資料：表 3-2-10）に示す。この結果からは、「2. 学科・研究科等の要請・指針に基づいて」授業内容を決定している教員の割合については職階による差異はほとんど見られないことがわかる。一方で、職階が高いほど、授業の内容を「1. 自分で自由に決定」している割合が多い様子がうかがわれる。また、「4. 同僚や他の先生方との話し合い」を実施している割合は、教授、准教授では 28～33%であったのに対し、講師、助教では 43～49%に達していた。

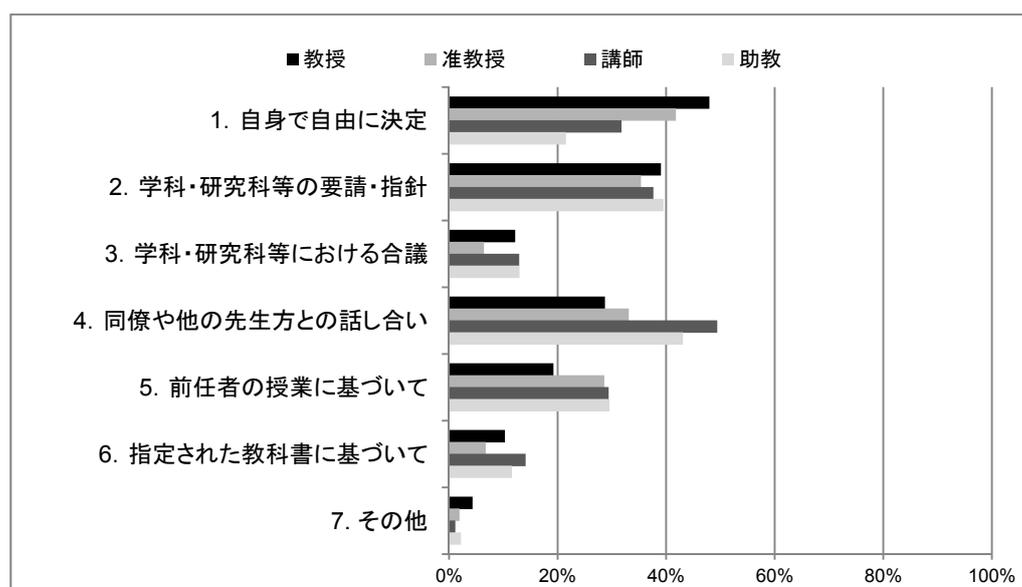


図 3-2-12. 授業内容の決定方法（職階別）(N=1,127)

続いて、回答対象とする授業の内容をどのように決定したかについて、回答者の専門分野別に集計した結果を図 3-2-13～3-2-18（資料：表 3-2-11）に示す。

- 
1. 自身で自由に決定
  2. 学科・研究科等の要請・指針
  3. 学科・研究科等における合議
  4. 同僚や他の先生方との話し合い
  5. 前任者の授業に基づいて
  6. 指定された教科書に基づいて
  7. その他
- 

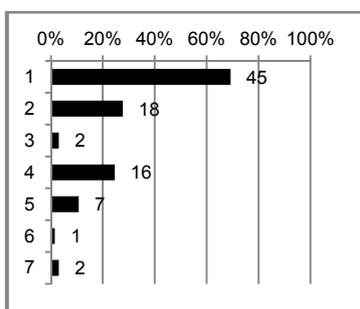


図 3-2-13. 人文科学 (N=65)

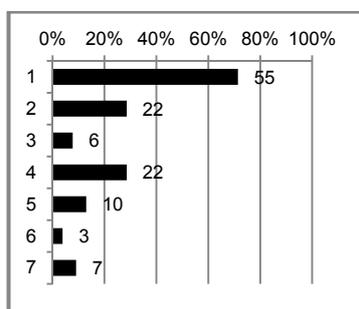


図 3-2-14. 社会科学 (N=77)

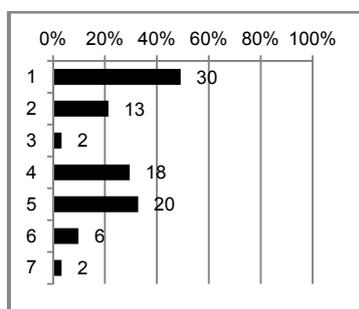


図 3-2-15. 農学 (N=61)

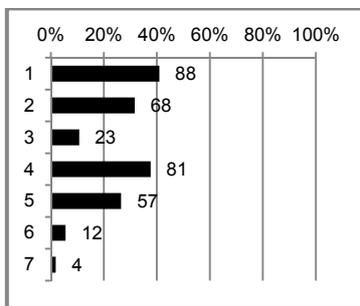


図 3-2-16. 理学 (N=215)

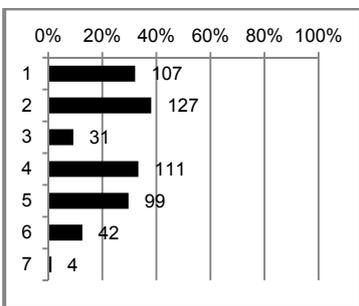


図 3-2-17. 工学 (N=333)

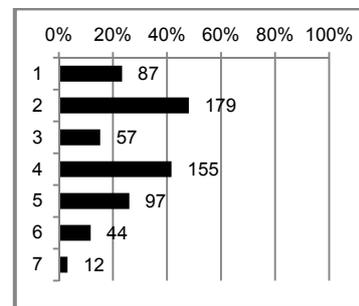


図 3-2-18. 医歯薬学 (N=372)

人文科学，社会科学，農学，理学分野では、「1. 自身で自由に決定」が最も多い回答であったが，工学，医歯薬学分野では、「2. 学科・研究科等の要請・指針」に基づいて決定するとの回答が最も多かった。また，人文・社会科学分野では「5. 前任者の授業に基づいて」とする回答は少なかったが，理系分野では 20%以上が前任者の授業に基づいて授業内容を決定していると回答していた。加えて，文系分野では「6. 指定された教科書に基づいて」とする回答は少ないが，理系分野では 10%程度存在していることがわかる。

これらの結果から，人文・社会科学分野では，授業内容の決定が教員個人の裁量にまかされている場合が比較的多いが，理系分野では，資格試験の内容や組織の意思決定に基づいて授業内容を決定している割合が多いことが推察される。

また、「7. その他」と回答した者の自由記述による回答内容は以下のとおりである。

【学生のニーズに配慮】

- ・ 対象学部の特設課程に少しでもつながる内容の高度な内容のものを選択（人文）
- ・ 履習学生の需要や希望を最大限尊重して（社会）
- ・ 前回の年の学生の反応などによって調整（理学）
- ・ 卒業生が必要とする内容を最低限並べた（工学）

【組織の方針，カリキュラムの意図】

- ・ 部会方針に基づいて（人文）
- ・ 設置基準に準拠して（社会）
- ・ 科目の趣旨に合うように（社会）
- ・ 授業の名称がその内容を示している（農学）
- ・ 全学教育の科目類，科目群の規定により（理学）
- ・ コアカリキュラムの内容に基づいて（医歯薬学）
- ・ 講義・実習は他学部と異なり，比較的厳格に行う内容が決まっている（医歯薬学）
- ・ 全体の年間授業計画に基づいて（医歯薬学）
- ・ 医療教育モデル・コア・カリキュラムに基づいて（医歯薬学）2件
- ・ 学会のCMEガイドライン（医歯薬学）

【資格試験やガイドライン】

- ・ 社会調査士資格認定科目なので社会調査協会の要請に従った（社会）
- ・ 資格科目なので，資格要件に基づいて（社会）
- ・ 薬剤師国家試験に対応するため最低限の内容は全国共通です。しかし，それでは興味を持ってもらえないために，より高度な内容を盛り込んでいます（医歯薬学）
- ・ 国家試験の受験資格の必須単位に基づいて（医歯薬学）

【教授の指示】

- ・ 教授の指示で（医歯薬学）3件
- ・ 教授の分担（医歯薬学）

【同僚との話し合い】

- ・ 演習なので，講義を担当されている先生との話し合いに基づいて（工学）
- ・ 分野の教員との話し合い（医歯薬学）

【その他の工夫】

- ・ アメリカの大学院で利用されている標準的テキストを参考にしている（社会）
- ・ 他の先生方の講義内容と重複しないように（農学）
- ・ 自分で工夫した（理学）
- ・ 皆が使用している教科書に基づいて（理学）

【その他コメント】

- ・ 問1～問10を全て回答した場合，氏名は明らかです。無記名でアンケートを取っている理由がわかりません（工学）

これらの自由記述による回答内容からは，各教員がそれぞれに授業内容の決定時に工夫や配慮をしている様子がうかがわれる。回答の傾向をみると，学生のニーズに合わせようとするもの，組織の方針や定められたカリキュラムの意図に基づくもの，資格試験やガイドライン等に基づいて実施しているもの，教授の指示に従うもの，同僚との話し合いに基づくものなどに分類できる。

#### (4) 授業を設計する際に参考にしたもの

回答対象とする授業を設計する際に参考にしたものについての回答結果を図 3-2-19 に示す。

最も多かったのは「2. 自分で選定したテキスト, 参考文献」, 続いて「18. 最新の研究動向」, 「9. 前任者の授業やシラバス, 授業資料」, 「17. 論文誌, 学術雑誌」となった。

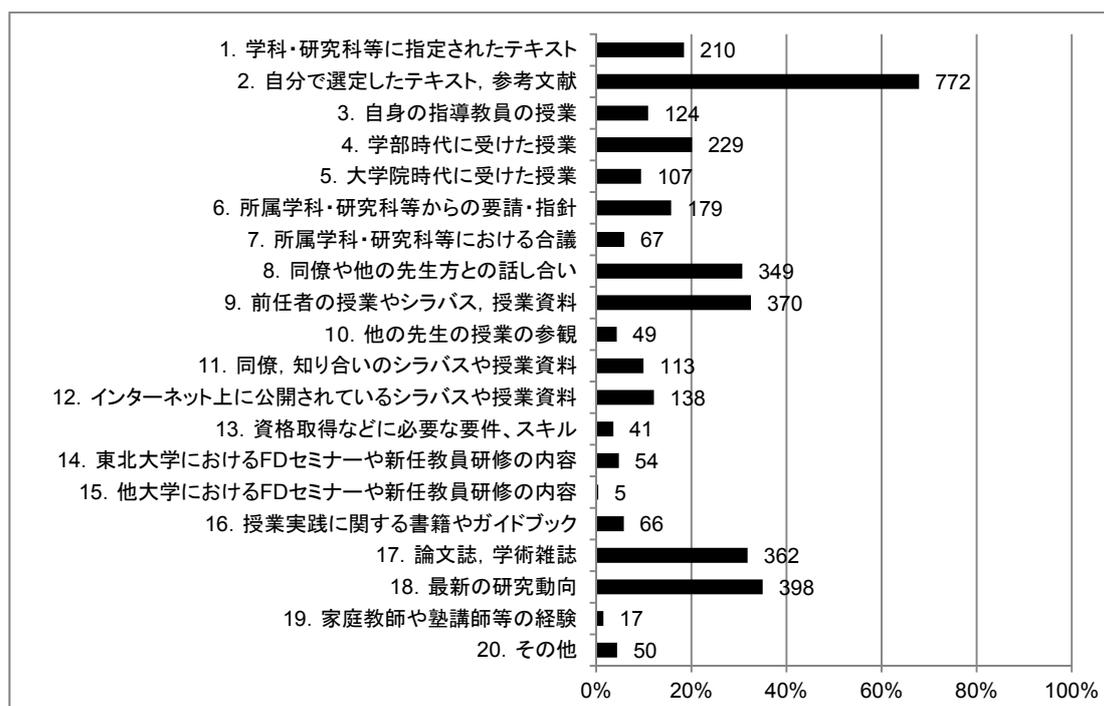


図 3-2-19. 授業を設計する際に参考にしたもの (全回答) (N=1,137)

続いて, 回答対象とする授業を設計する際に参考にしたものについての回答結果を職階別に集計した結果を図 3-2-20 (資料: 表 3-2-12) に示す。

最も多かった回答である「2. 自分で選定したテキスト, 参考文献」について職階別に見てみると, 教授では 79.7%に達しているのに対し, 助教では 52.2%にとどまっていることがわかる。一方で, 助教は「1. 学科・研究科等に指定されたテキスト」を参考に授業の設計に取り組んでいる割合 29.8%であるのに対し, 教授では, 10.0%にとどまっている。同様に, 「8. 同僚や他の先生方との話し合い」, 「9. 前任者の授業やシラバス, 授業資料」を参考にしている割合も, 教授では 20%台であるのに対し, 助教では 40%以上に達している。加えて「17. 論文誌, 学術雑誌」, 「18. 最新の研究動向」を参考にしている割合は, 助教では 20%台にとどまっている。

また, 講師について見てみると, 「12. インターネット上に公開されているシラバスや授業資料」を参考にしている割合が 23.5% (助教では 9.1%), 「14. 東北大学における FD セ

「ミナーや新任教員研修」を参考にしている割合が 11.8%（助教では 2.5%）であった。

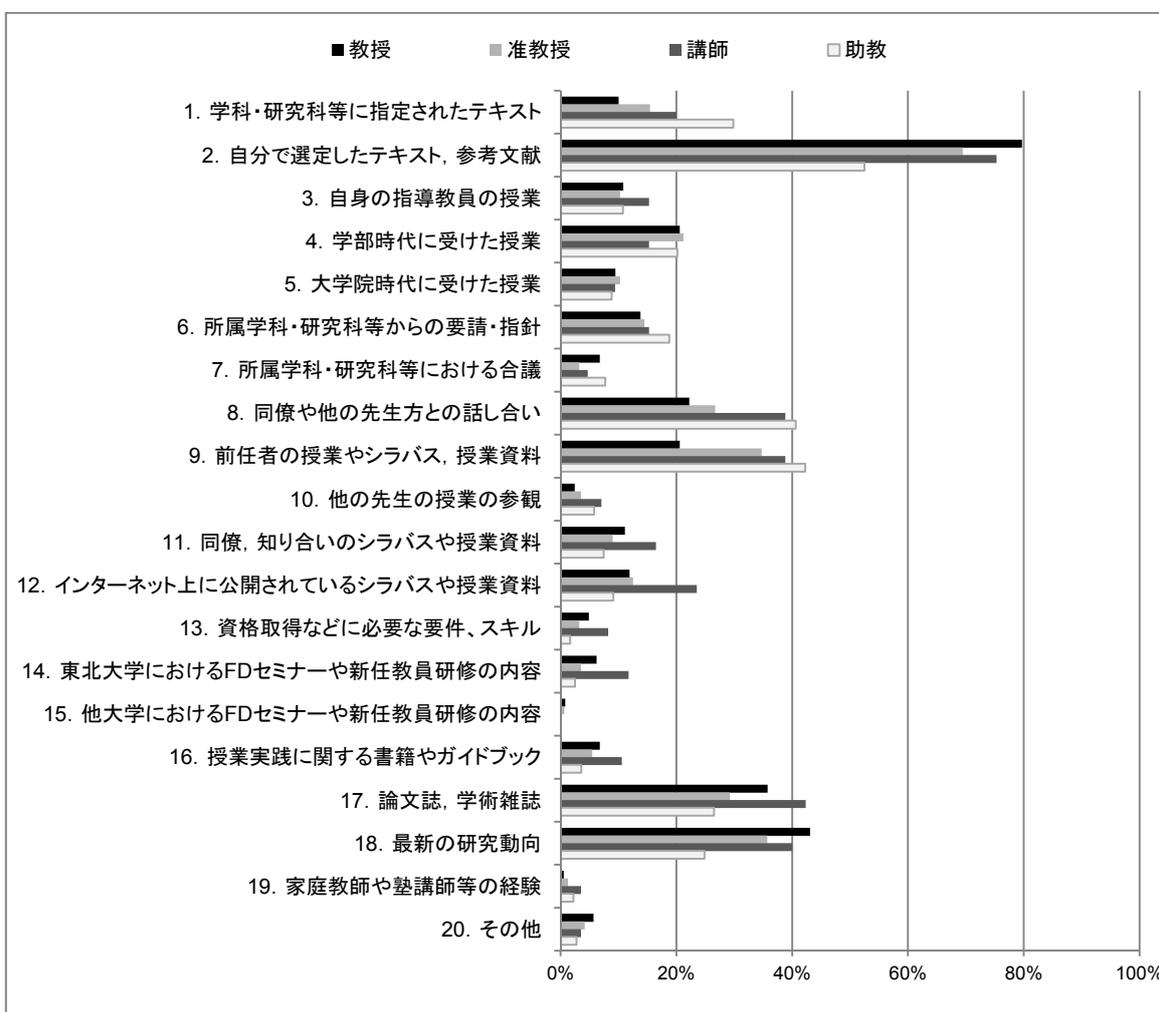


図 3-2-20. 授業を設計する際に参考にしたもの（職階別）(N=1,137)

続いて、回答対象とする授業を設計する際に参考にしたものについて、回答者の専門分野別に集計した結果を図 3-2-21～図 3-2-26（資料：表 3-2-13）に示す。

分野別に見てみると、農学分野では「17. 論文誌, 学術雑誌」を参考にしている教員の割合が 63.9%にのぼっている。また、人文・社会科学分野では「1. 学科・研究科等に指定されたテキスト」を参考にしたと回答した教員はおらず、これらの分野では第三者によるテキストの指定はなされていない傾向がうかがわれる。一方で、理学, 工学, 医歯薬学分野では「9. 前任者の授業やシラバス, 授業資料」を参考にしたとの回答の割合が 35%前後に達していることがわかる。

- |                      |                               |
|----------------------|-------------------------------|
| 1. 指定されたテキスト，授業資料    | 11. 同僚，知り合いのシラバスや授業資料         |
| 2. 自分で選定したテキスト，参考文献  | 12. インターネット上で公開されているシラバスや授業資料 |
| 3. 自身の指導教員の授業        | 13. 資格取得などに必要な要件、スキル          |
| 4. 学部時代に受けた授業        | 14. 東北大学におけるFDセミナーや新任教員研修の内容  |
| 5. 大学院時代に受けた授業       | 15. 他大学におけるFDセミナーや新任教員研修の内容   |
| 6. 所属学科・研究科等からの要請・指針 | 16. 授業実践に関する書籍やガイドブック         |
| 8. 所属学科・研究科等における合議   | 17. 論文誌，学術雑誌                  |
| 7. 同僚や他の先生方との話し合い    | 18. 最新の研究動向                   |
| 9. 前任者の授業やシラバス，授業資料  | 19. 家庭教師や塾講師等の経験              |
| 10. 他の先生の授業の参観       | 20. その他                       |

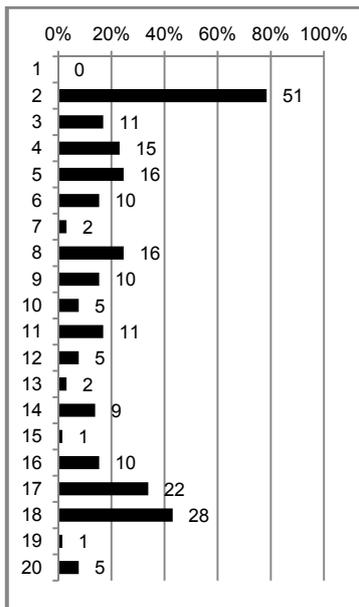


図 3-2-21. 人文科学 (N=65)

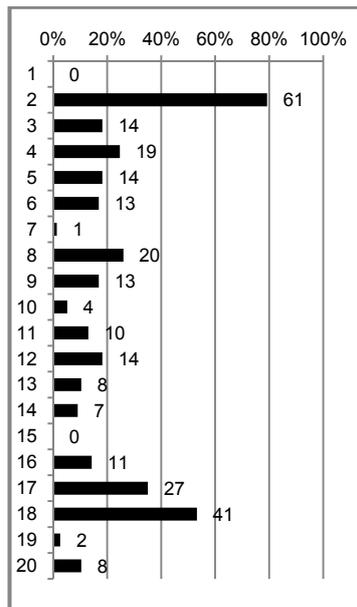


図 3-2-22. 社会科学 (N=76)

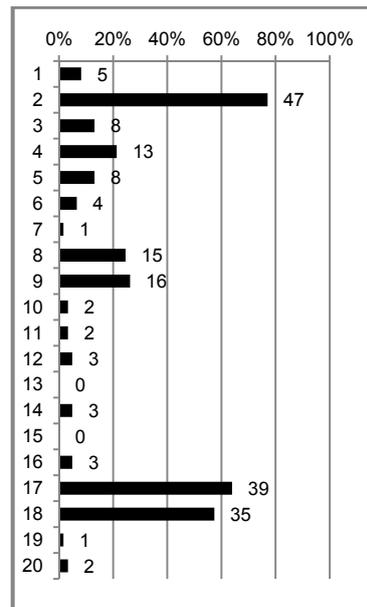


図 3-2-23. 農学 (N=61)

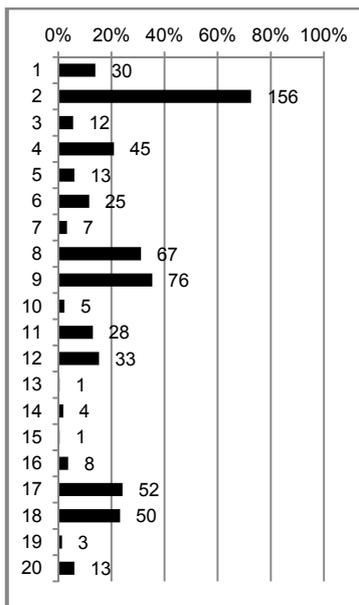


図 3-2-24. 理学 (N=215)

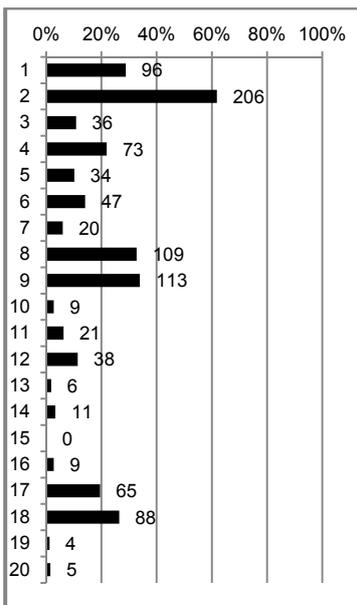


図 3-2-25. 工学 (N=333)

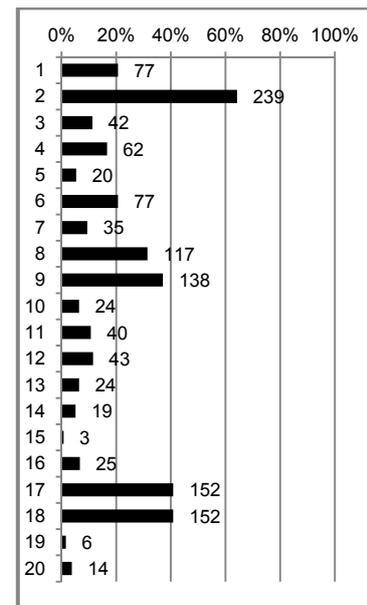


図 3-2-26. 医歯薬学 (N=372)

また、「20. その他」と回答した者の自由記述による回答内容は以下のとおりである。

【テレビ，インターネット】

- ・ TV 番組
- ・ インターネット、テレビ番組
- ・ 官公庁の web ページ

【書籍，他の教科書】

- ・ 書籍
- ・ 参考図書
- ・ 市販されている教科書
- ・ 専門分野の教科書
- ・ 同じ分野のいくつかの教科書

【自身の学生時代，他大学での経験等】

- ・ 院生時の TA の経験
- ・ 他大学における自身の類似講義担当経験をふまえて
- ・ 過去に大学院生向けに担当した授業
- ・ 前任校での自分の授業
- ・ 過去の大学院生の学位指導で必要と認識した事項

【自身で作成したテキスト等】

- ・ 自分で執筆したテキスト（3 件）
- ・ 自分で作成した資料 PowerPoint（2 件）
- ・ オリジナル

【自身の研究】

- ・ 自分の経験、研究
- ・ 自らの研究（4 件）

【自身の実務経験等】

- ・ 自身の実務体験
- ・ 民間企業での就業経験

【海外での実践，経験等】

- ・ 諸外国の授業参観、セミナー参加、米国 5 大学、韓国、オランダ、英国など
- ・ 米国のサマープログラムでの受講経験
- ・ MIT open courseware

【他の授業との関連】

- ・ 本学で実施されている同内容の実習
- ・ 対応する授業の内容の確認（演習の目的が、授業の理解を深めることなので）

【国家試験，指針，ガイドライン等】

- ・ 社会調査協力会から示された指針
- ・ 国家試験の傾向（3 件）
- ・ 歯科医師国家試験過去問
- ・ モデルコアカリキュラム
- ・ 診療ガイドライン

【その他】

- ・ 他大学教員との授業研究会
- ・ 対象学部で必要とされる専門性
- ・ 院生との話し合い、できた ppt は講義に fit しているか、図書館の担当に確認
- ・ ICT の動向
- ・ 特になし（3 件）

これらの自由記述による回答内容からは、教員がそれぞれ授業に必要な知識や項目、情報の収集に工夫を凝らしている様子がうかがわれる。中には、「他大学教員との授業研究会」という興味深い回答もあった。

#### (5) 授業の設計、日々の準備の活動内容

回答対象の授業の設計、日々の準備において、どのような活動をどの程度実施したかについての全回答結果を図 3-2-27 に示す。

回答結果からは、約 80%の教員が「1. 授業の大まかな流れの明確化」と「2. 授業で扱う個々のトピックの明確化」に取り組んでいることがわかる。一方で、「9. ISTU や DCW 等による授業資料や教材の配信」を実施している教員は少ない。

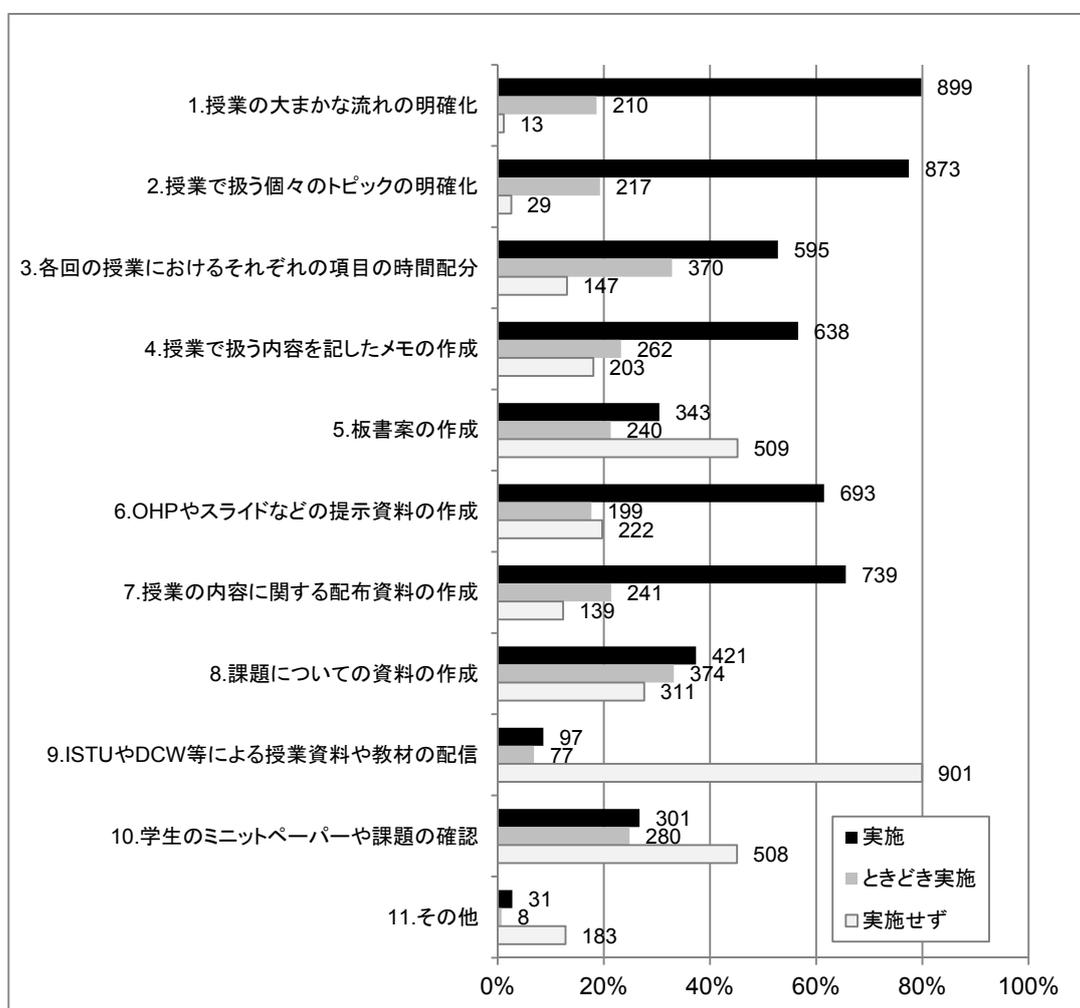


図 3-2-27. 授業の設計、日々の準備の活動内容（全回答）(N=1,127)

続いて、回答対象とする授業の設計、日々の準備において、どのような活動をどの程度実施したかについて、回答者の職階別に集計した結果を図 3-2-28～図 3-2-31（資料：表 3-2-14）に示す。

- 
- 1.授業の大まかな流れの明確化
  - 2.授業で扱う個々のトピックの明確化
  - 3.各回の授業におけるそれぞれの項目の時間配分
  - 4.授業で扱う内容を記したメモの作成
  - 5.板書案の作成
  - 6.OHP やスライドなどの提示資料の作成
  - 7.授業の内容に関する配布資料の作成
  - 8.課題についての資料の作成
  - 9.ISTU や DCW 等による授業資料や教材の配信
  - 10.学生のミニットペーパーや課題の確認
  - 11.その他
- 

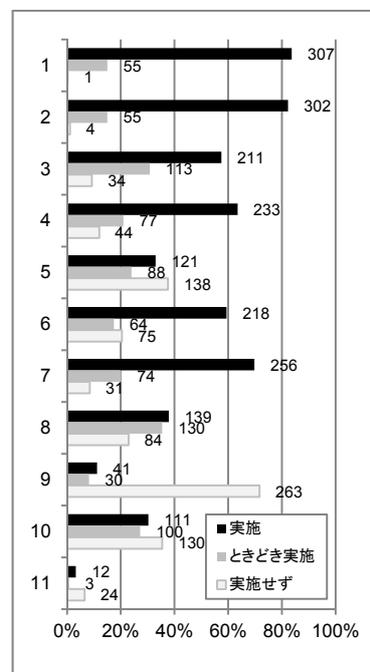


図 3-2-28. 教授 (N=367)

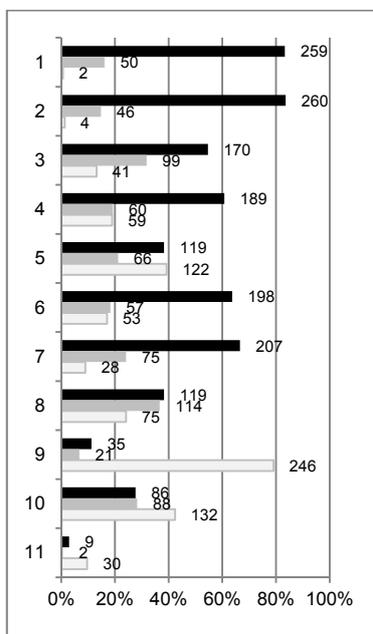


図 3-2-29. 准教授 (N=311)

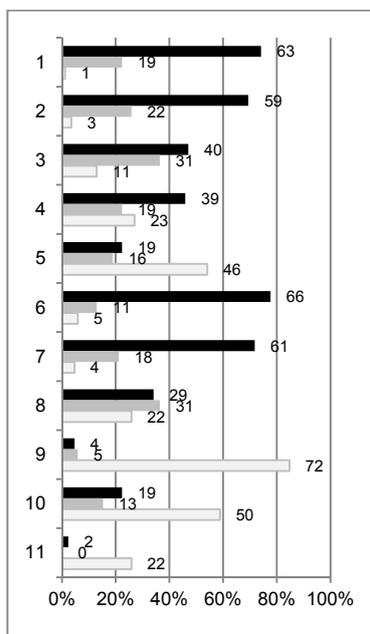


図 3-2-30. 講師 (N=85)

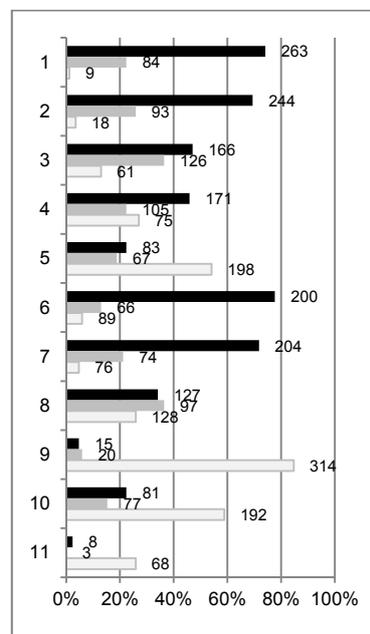


図 3-2-31. 助教 (N=358)

職階別の集計結果からは、「5. 板書案の作成」は講師，助教において「実施せず」と回答する割合が50%台となっていることが分かる。また、「10. 学生のミニットペーパーや課題の確認」については，教授，准教授において「実施/ときどき実施」と回答した割合が50%を上回った。

続いて，回答対象とする授業の設計，日々の準備において，どのような活動をどの程度実施したかについて，回答者の専門分野別に集計した結果を図 3-2-32～図 3-2-37（資料：表 3-2-15）に示す。

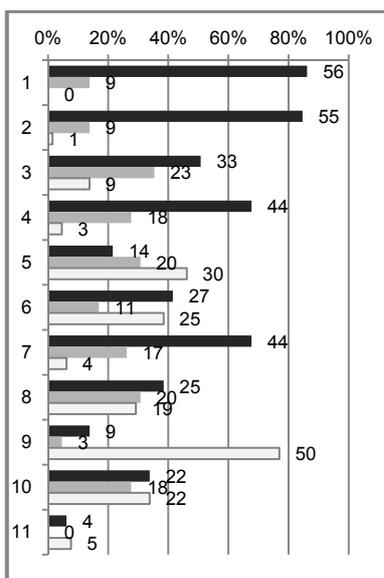


図 3-2-32. 人文科学 (N=65)

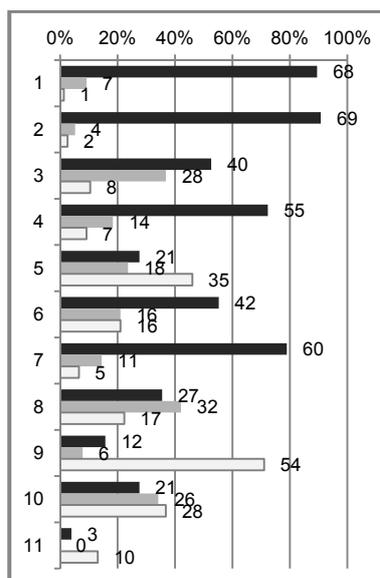


図 2-2-33. 社会科学 (N=76)

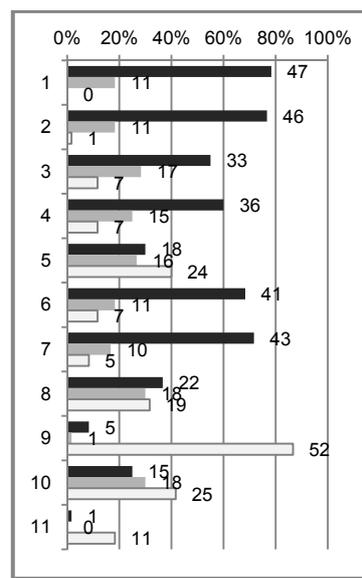


図 2-2-34. 農学 (N=60)

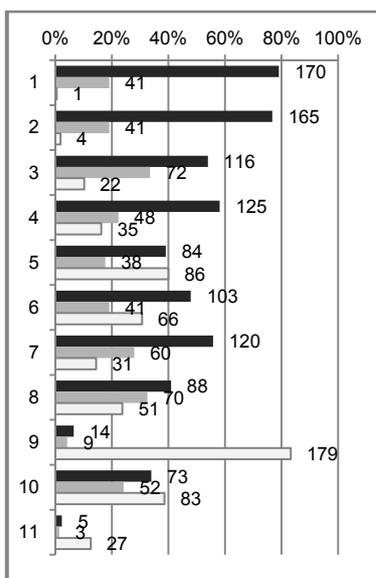


図 3-2-35. 理学 (N=215)

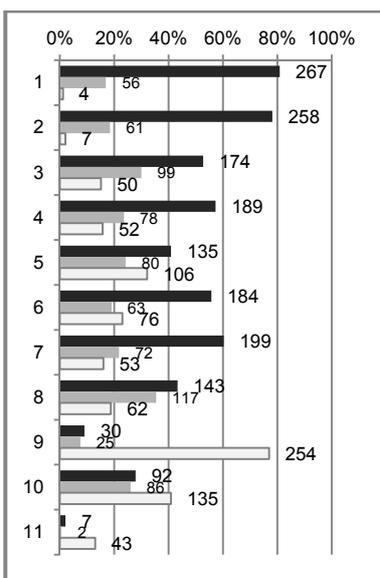


図 3-2-36. 工学 (N=330)

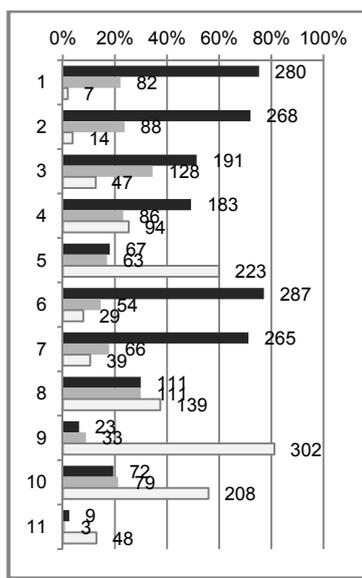


図 3-2-37. 医歯薬学 (N=372)

専門分野別の結果からは、医歯薬学分野において、「6. OHP やスライドなどの提示資料の作成」を実施したとの回答が 77.2%に達しており、より一般的に取り組まれていることがわかる。また、理学・工学分野では「5. 板書案の作成」に取り組んでいる教員の割合が約 40%にのぼっていることがわかる。

また、「11. その他」と回答した者の自由記述による回答内容は以下のとおりである。

**【レポート、試験等】**

- ・ レポート課題
- ・ レポートの添削（毎回課題を出す）
- ・ 毎回レポートを出題し次回授業時に提出
- ・ レポート実験テーマ毎
- ・ レポート 4 回
- ・ 宿題と添削、補講（毎回）
- ・ 試験，テスト（2 件）
- ・ ミニテストの実施
- ・ 毎回単語のテストを行う

**【実験，実習の準備】**

- ・ 実験（実演）の準備
- ・ 実習の予備実験
- ・ 予備実験
- ・ 実習の準備

**【配布資料等の作成】**

- ・ ムービー，パワーポイント作成
- ・ 板書する講義ノートを、気付いたときに改訂しながら、その全コピーを学生に教科書として配布している（pdf ファイル）
- ・ 宿題と略解の配布
- ・ 授業で説明したスライドのコピーを配布

**【打合せ等】**

- ・ TA との打合せ
- ・ Tutor 担当教育用の資料作製

**【教材配布等】**

- ・ コースウェアの作製と改良
- ・ 自分のホームページに教材の配信

**【質疑応答の準備】**

- ・ 各回で受講生に示す質問の検討
- ・ 質疑応答

**【学生へのアンケート等】**

- ・ 半分終了時に学生の要望をアンケート
- ・ 学生・院生の反応

**【ディスカッションの準備】**

- ・ 議論
- ・ ディベート
- ・ Discussion 形成

**【自身の授業のふり返り】**

- ・ リフレクション
- ・ 次年度の参考にするため、自分の講義を録音

【その他】

- DVD や NHK ドキュメンタリから教材に必要な題材を活用する
- 新しい情報の収集
- 学生にとってのわかりやすく理解しやすい説明
- 教科書の作成
- 体調管理・技術研鑽
- マスプロ対策
- 音読を確認
- （社会的）主義を強調

これらの自由記述による回答内容からも，各教員がそれぞれに工夫を凝らして授業の準備に取り組んでいる様子が見えてくる。

(6) 授業の準備にかかる時間

回答対象とした授業の準備（授業内容の決定，設計，資料等の準備等）について，どの時点でそれぞれの程度の時間をかけて実施したか，および理想的にはどの程度の所用時間が望ましいかについて尋ねた。

まず，全回答の集計結果を実施のタイミング別に図 3-2-38～図 3-2-42 に示す。ここでは，実際の所用時間と理想の所用時間の両方を回答した者のみの結果を集計することとした。

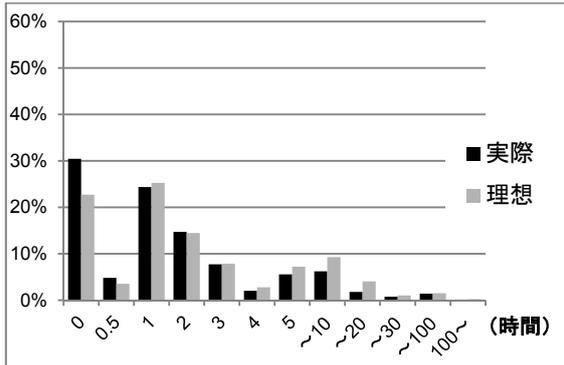


図 3-2-38. シラバス作成時準備時間 (N=788)

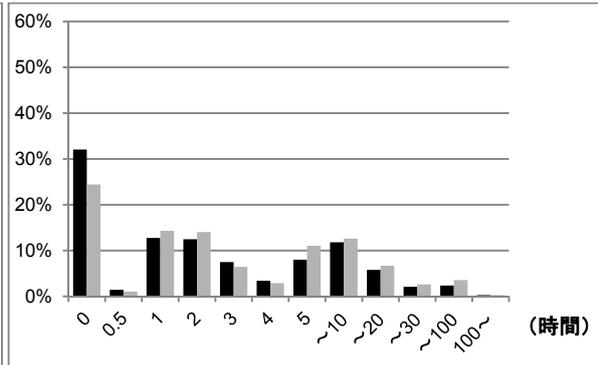


図 3-2-39. 学期開始当初準備時間 (N=761)

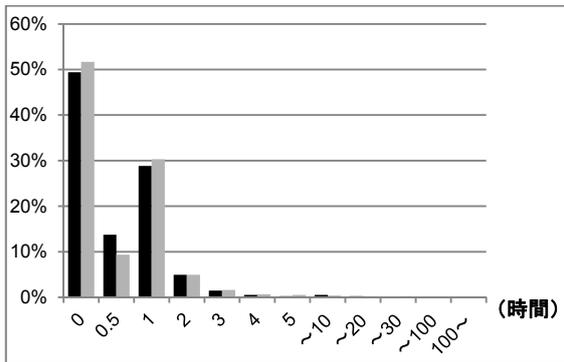


図 3-2-40. 一週間前準備時間 (N=798)

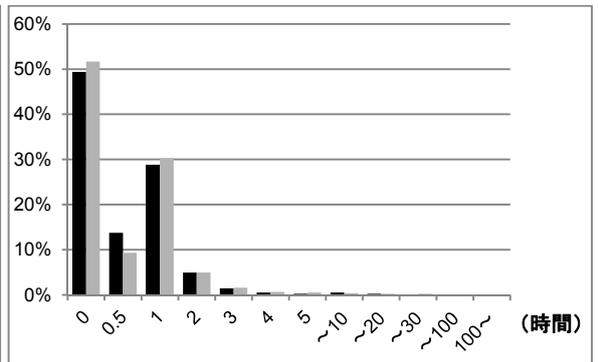


図 3-2-41. 数日前～前日準備時間 (N=826)

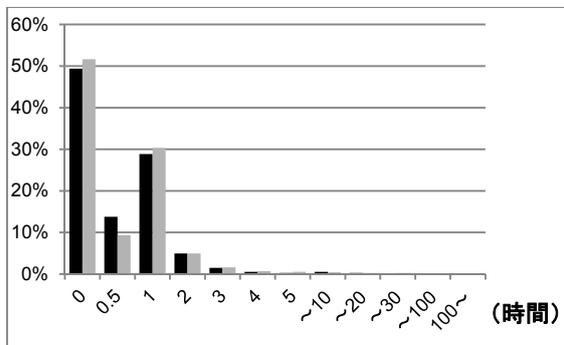


図 3-2-42. 当日準備時間 (N=749)

所要時間については 0 時間，0.5 時間，1 時間，2 時間，3 時間，4 時間，5 時間，6～10 時間，11～20 時間，21～30 時間，31～100 時間，101 時間以上の区切りで集計を行った

まず、全体の傾向としては、いずれの授業準備のタイミングにおいても、実際の所用時間、理想の所用時間ともに「0時間」とする回答が多かった。しかし、シラバス作成時の授業準備にかかる理想的な時間については、「1時間」が最も多く25.3%であった。

以降、授業準備の実施のタイミング別に、職階と専門分野別の集計結果を示す。

### シラバス作成時

シラバス作成時の授業準備にかかる時間について、職階別集計結果を図 3-2-43 ~ 図 3-2-46 (資料：表 3-2-16 ~ 表 3-2-17) に示す。

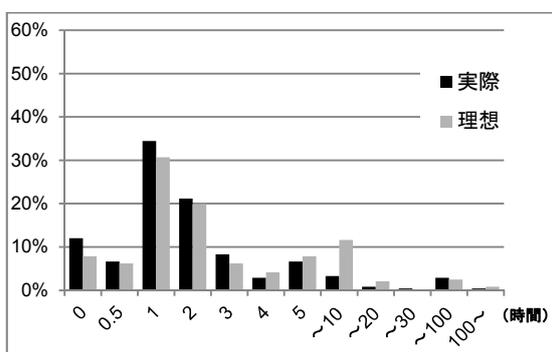


図 3-2-43. 教授・シラバス作成時 (N=241)

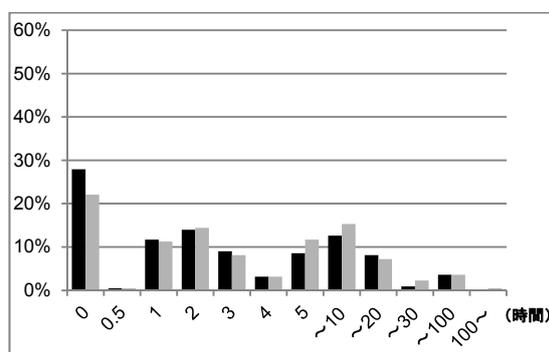


図 3-2-44. 准教授・シラバス作成時 (N=227)

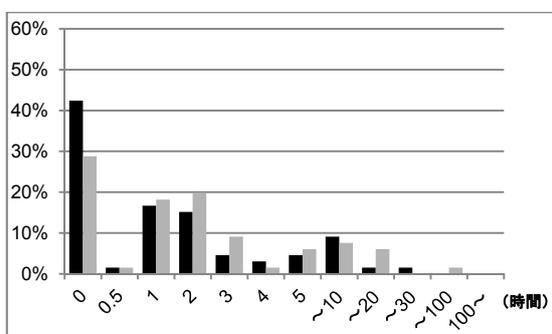


図 3-2-45. 講師・シラバス作成時 (N=66)

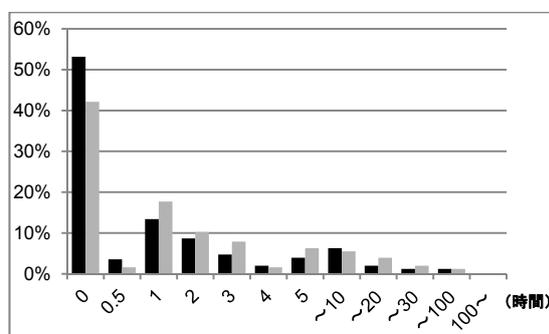


図 3-2-46. 助教・シラバス作成時 (N=254)

職階別の傾向を見てみると、教授は実際、理想ともに1時間~2時間とする回答が多かった。一方で、講師や助教は、実際の所用時間を「0時間」とする回答が多く、特に、助教は53.1%が「0時間」としていた。これは、教授や准教授などがシラバスを準備したうえで、助教に授業の実施を依頼しているケースや、新たに着任した助教がこれまで別の教員が実施していた授業を引き継いで実施するような授業がある程度存在しているためであることなどが可能性として考えられる。

また、回答者の専門分野別に集計した結果を図 3-2-47～図 3-2-52（資料：表 3-2-18，表 3-2-19）に示す。

実際の所用時間の傾向としては、人文・社会科学では、「0 時間」という回答が 10%以下であるのに対し、一般に理系分野では「0 時間」の割合が多く、特に、工学，医歯薬学では 30%を超えていた。

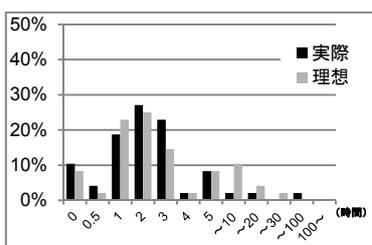


図 3-2-47. 人文科学 (N=48)

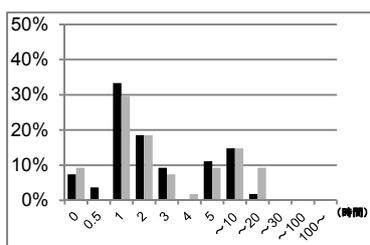


図 3-2-48. 社会科学 (N=54)

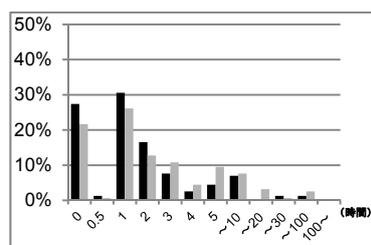


図 3-2-49. 農学 (N=37)

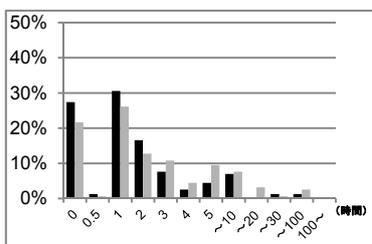


図 3-2-50. 理学 (N=157)

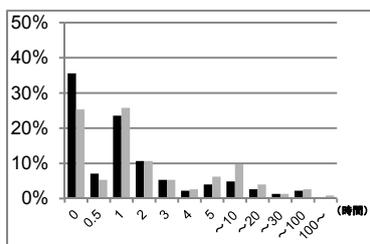


図 3-2-51. 工学 (N=225)

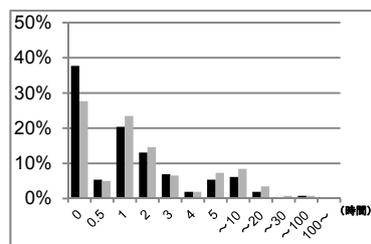


図 3-2-52. 医歯薬学 (N=260)

### 学期開始当初

続いて、学期開始当の準備にかかる時間について、職階別の集計結果を図 3-2-53～図 3-2-56（資料：表 3-2-20，表 3-2-21）に示す。

教授，准教授では、実際の所用時間を「0 時間」とする回答が 30%未満であるのに対し、講師では、40%を超えていた。

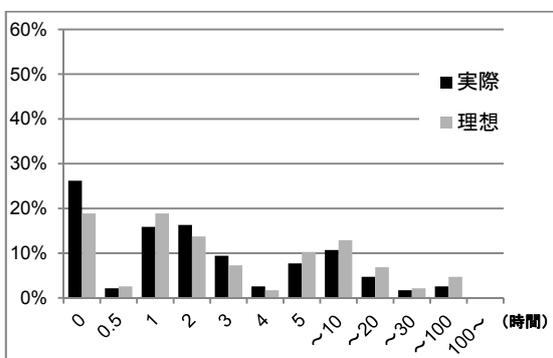


図 3-2-53. 教授・学期開始当初 (N=233)

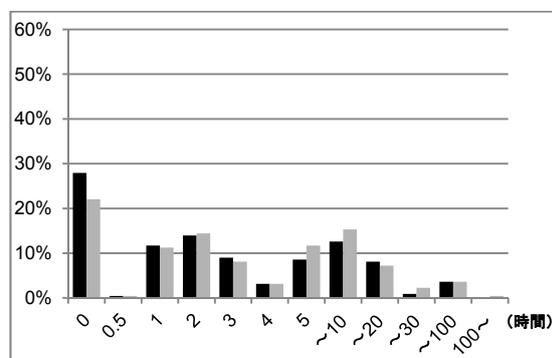


図 3-2-54. 准教授・学期開始当初 (N=222)

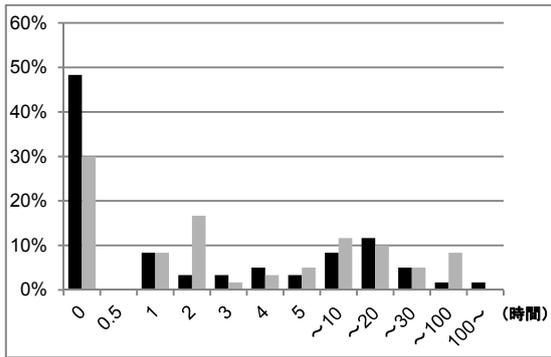


図 3-2-55. 講師・学期開始当初 (N=60)

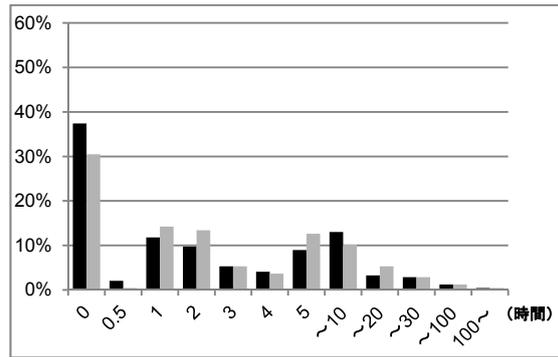


図 3-2-56. 助教・学期開始当初 (N=246)

また、回答者の専門分野別に集計した結果を図 3-2-57～図 3-2-62 (資料：表 3-2-22, 表 3-2-23) に示す。

医歯薬学分野においては、実際・理想の所用時間ともに「0時間」とする回答が多く、実際に 51.7%，理想で 40.0%に達していた。

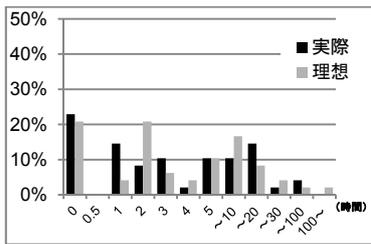


図 3-2-57. 人文科学 (N=54)

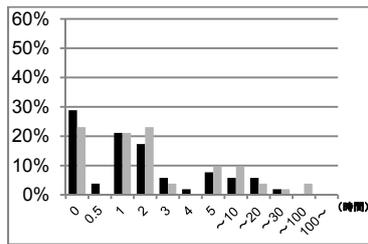


図 3-2-58. 社会科学 (N=52)

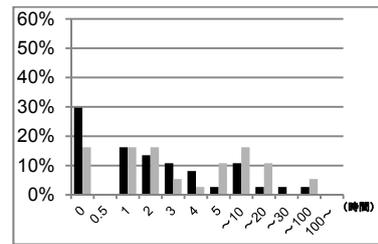


図 3-2-59. 農学 (N=37)

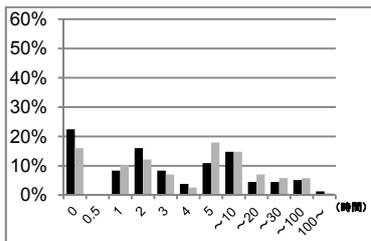


図 3-2-60. 理学 (N=156)

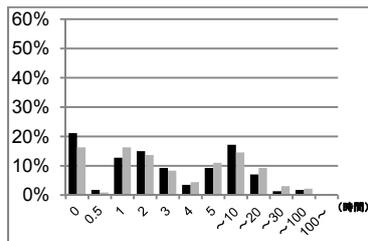


図 3-2-61. 工学 (N=227)

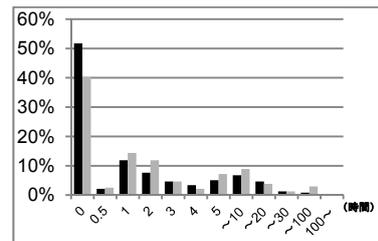


図 3-2-62. 医歯薬学 (N=236)

### 毎回の授業の一週間前

続いて、毎回の授業の一週間前の時点での準備にかかる時間について、職階別の集計結果を図 3-2-63～図 3-2-66（資料：表 3-2-24、表 3-2-25）に示す。

教授、准教授、助教では、実際の所用時間を「0 時間」とする回答が 30%を超えていたのに対し、講師では 13.6%にとどまっており、「2 時間」とする回答が最も多く、25.8%にのぼった。

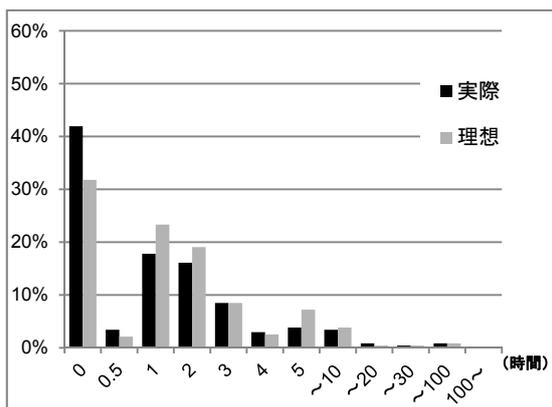


図 3-2-63. 教授・授業一週間前 (N=236)

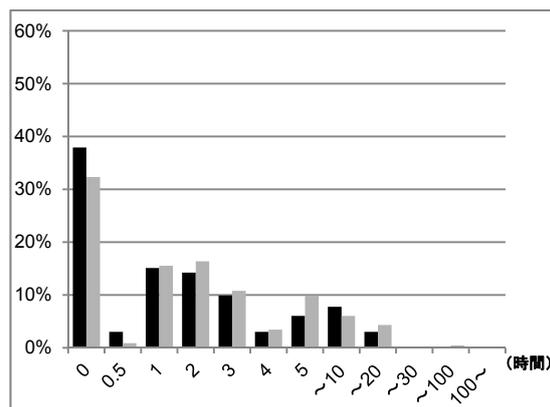


図 3-2-64. 准教授・授業一週間前 (N=232)

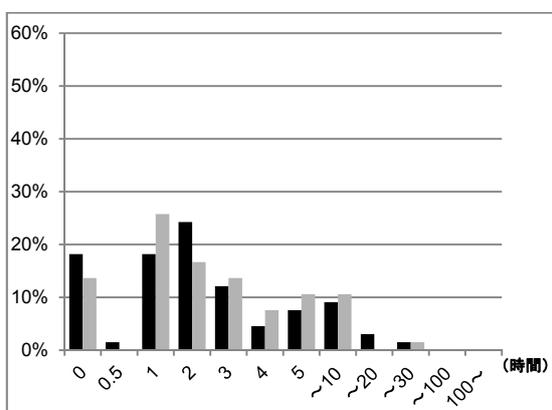


図 3-2-65. 講師・授業一週間前 (N=66)

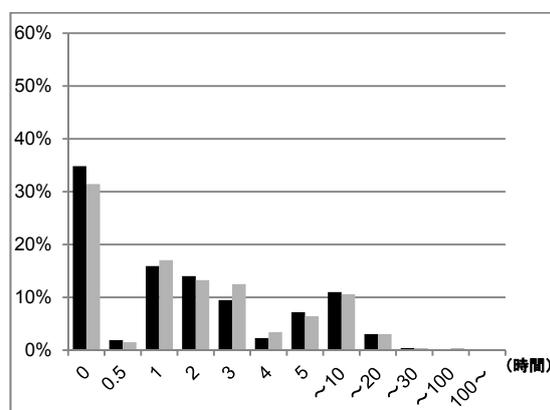


図 3-2-66. 助教・授業一週間前 (N=264)

また、回答者の専門分野別に集計した結果を図 3-2-67～3-2-72（資料：表 3-2-26、表 3-2-27）に示す。

特に人文科学と工学分野においては、実際の所用時間を「0 時間」とする回答が多く、ともに 40%を超えていた。

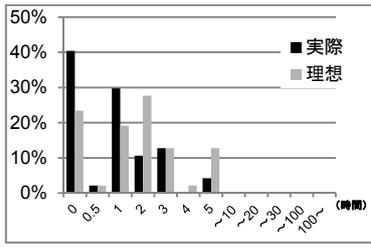


図 3-2-67. 人文科学 (N=47)

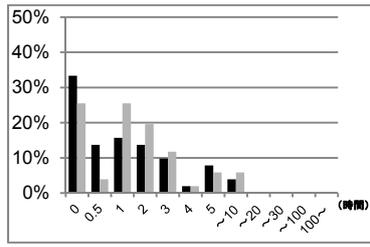


図 3-2-68. 社会科学 (N=51)

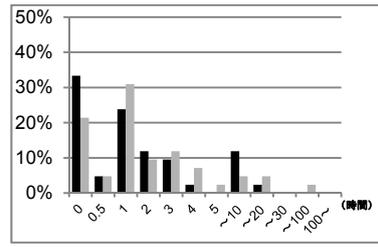


図 3-2-69. 農学 (N=42)

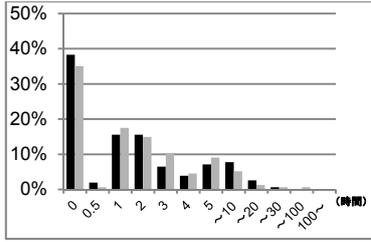


図 3-2-70. 理学 (N=154)

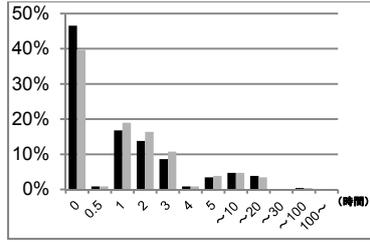


図 3-2-71. 工学 (N=232)

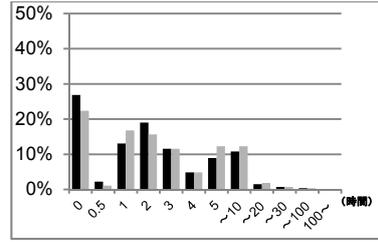


図 3-2-72. 医歯薬学 (N=268)

毎回の授業の数日前～前日

続いて、毎回の授業の一週間前の時点での準備にかかる時間について、職階別の集計結果を図 3-2-73～3-2-76 (資料：表 3-2-28, 表 3-2-29) に示す。

一週間前の時点での所要時間と比較して「0 時間」とする回答の割合が少なくなり、1～3 時間程度の時間をかけて準備に取り組んでいることがうかがえる。

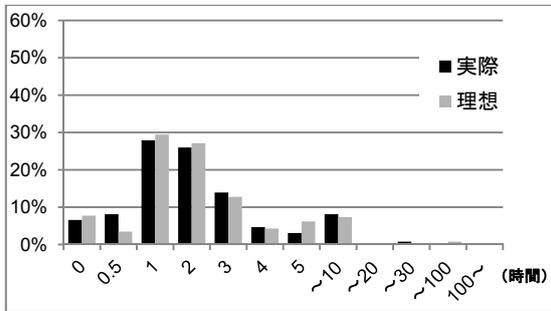


図 3-2-73. 教授・授業前日 (N=258)

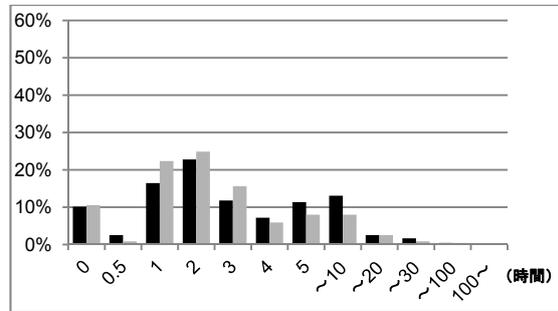


図 3-2-74. 准教授・授業前日 (N=237)

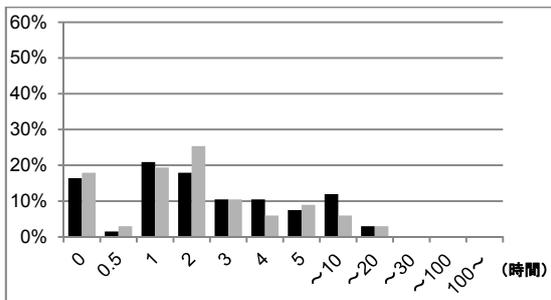


図 3-2-75. 講師・授業前日 (N=67)

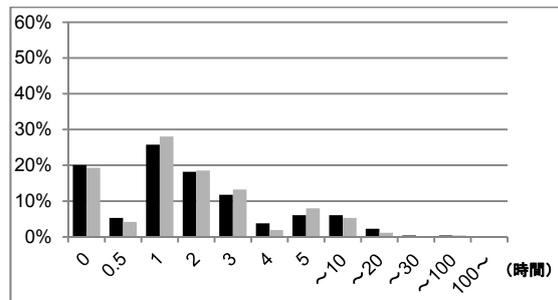


図 3-2-76. 助教・授業前日 (N=264)

また、回答者の専門分野別に集計した結果を図 3-2-77～図 3-2-82（資料：表 3-2-30，表 3-2-31）に示す。

農学分野では、回答者の 30.2%が 2 時間程度を費やして授業の準備をしていることがわかる。

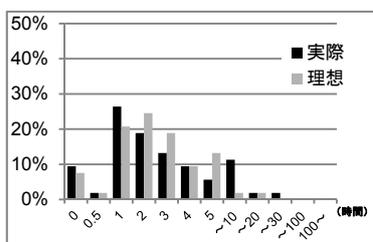


図 3-2-77. 人文科学 (N=53)

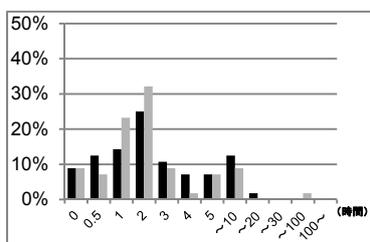


図 3-2-78. 社会科学 (N=56)

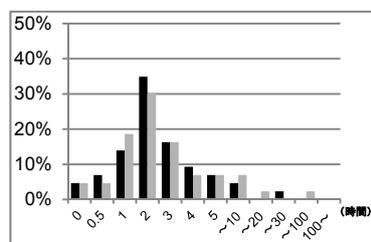


図 3-2-79. 農学 (N=43)

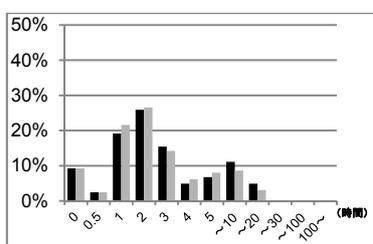


図 3-2-80. 理学 (N=162)

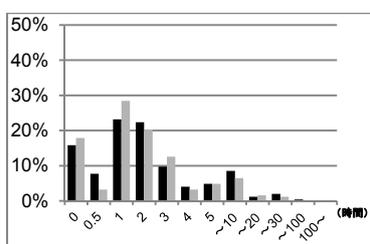


図 3-2-81. 工学 (N=246)

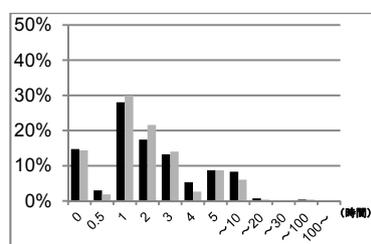


図 3-2-82. 医歯薬学 (N=264)

### 授業実施当日

授業実施当日の準備にかかる時間について、職階別の集計結果を図 3-2-83～3-2-86（資料：表 3-2-32，表 3-2-33）に示す。

ここでは、理想、実際ともに「0 時間」とする回答が多く、当日には準備に時間をかけていないことがうかがわれる。

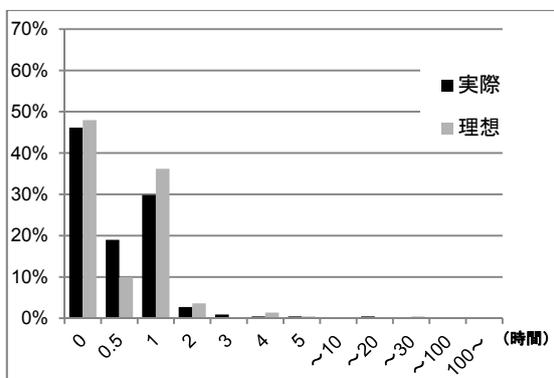


図 3-2-83. 教授・授業実施当日 (N=221)

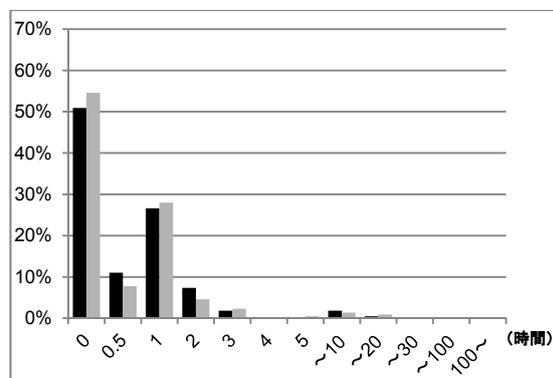


図 3-2-84. 准教授・授業実施当日 (N=218)

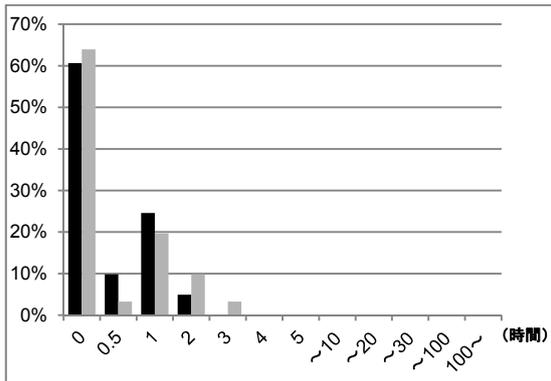


図 3-2-85. 講師・授業実施当日 (N=61)

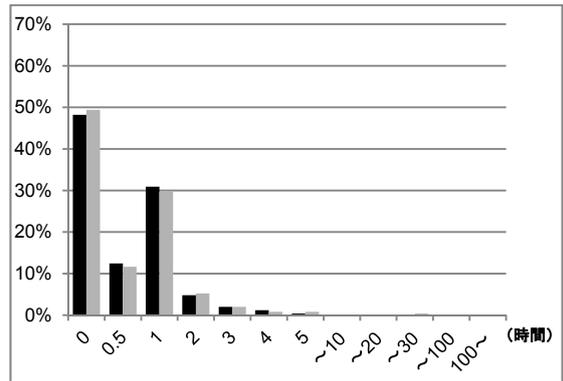


図 3-2-86. 助教・授業実施当日 (N=249)

また、回答者の専門分野別に集計した結果を図 3-2-87～図 3-2-92 (資料：表 3-2-34, 表 3-2-35) に示す。

特に工学, 医歯薬学分野では, 実際, 理想ともに「0 時間」とする回答が 50%を超えていた。

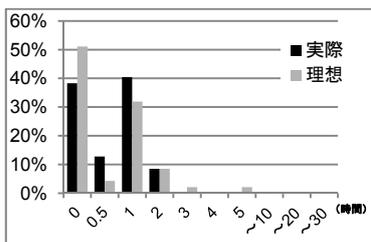


図 3-2-87. 人文科学 (N=47)

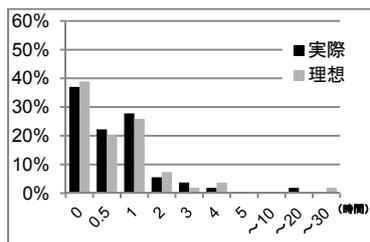


図 3-2-88. 社会科学 (N=54)

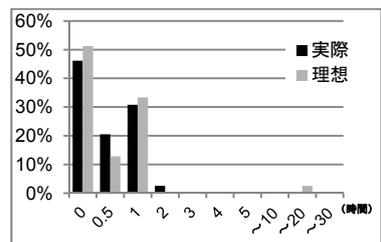


図 3-2-89. 農学 (N=39)

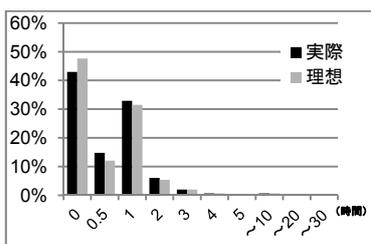


図 3-2-90. 理学 (N=149)

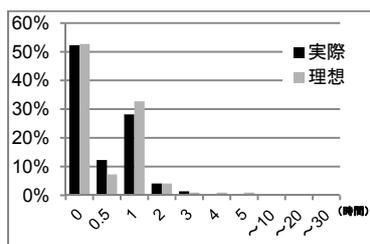


図 3-2-91. 工学 (N=220)

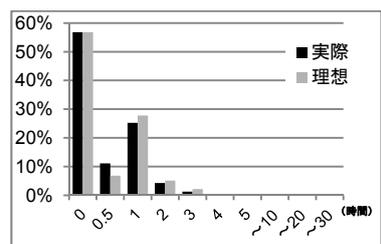


図 3-2-92. 医歯薬学 (N=234)

## その他の準備のタイミング

「その他」を選択しての自由記述による回答には以下のものがあった。

- ・日常的に研究（所要時間：不明）
- ・資料作成（15 時間）
- ・採点等（10 時間）
- ・冬季休業中（15 時間）
- ・テキスト執筆（500 時間）
- ・数ヶ月前より準備（実際 18 時間 / 理想 30 時間）
- ・宿題の採点と回答例作成（8 時間）
- ・常時（実際 30 時間 / 理想 10 時間）
- ・必要に応じて（実際 5 時間 / 理想 5 時間）
- ・最初の授業の前（実際 40 時間 / 理想 60 時間）
- ・テキスト作成（100 時間）
- ・講義資料作成時（50 時間）
- ・レポート返却に伴う解説（2 時間）
- ・日々（実際 1 時間 / 理想 1 時間）
- ・授業初年度（50 時間）
- ・1 ヶ月に 1 回程度まとめて（実際 2 時間 / 理想 2 時間）
- ・質問への対応（実際 1 時間 / 理想 1 時間）
- ・年度末（実際 12 時間 / 理想 8 時間）
- ・授業後に実施（実際 12 時間 / 理想 12 時間）
- ・1 か月前～前日（10 時間）
- ・試験問題作成（実際 5 時間 / 理想 3 時間）
- ・レポート採点（実際 10 時間 / 理想 10 時間）

また、その他欄外に記述されたコメントには、以下のものがあった。

- ・答えようのない設問である。
- ・不明？（むしろ時間ではなくて日数で計るべき。）
- ・正確に思い出すことは不可能。
- ・不足，定義不能
- ・一概に言えない。一つの項目に何日もかけたこともあるし，ずっと同じ項目もある。
- ・具体的な時間はわかりません（覚えていません）
- ・実際の所要時間 覚えていません
- ・準備に 1 カ月以上かけるので時間不明
- ・理想的な所要時間の意味不明，準備のよしあしは，時間で測れないから質問の意味がわからない，準備の内容が異なるので回答できない（あくまで平均時間をかきました）
- ・講演（依頼されたもの）や学会発表等，随時講義用にも加えている
- ・テキスト完成後にシラバスを作成，当初の実質 1 ヶ月その後数年に一度見直し
- ・ただし初年度は 50 時間以上
- ・前任者により既にシラバスが作られ，固定化すべき内容だったので，シラバス作成時には特に準備はしていない
- ・現在の内容のした初年度には実際の所要が 10 ほど。現在は部分的にバージョンアップのみ。
- ・初年度はトータルで 100 時間強の時間を費やして，資料を作成しました。2 年目以降はその資料を使っているので，ほとんど時間を使っていません。

【準備所要時間の理想と実際（職階別）】

本回答で得られた実際の所用時間と理想的な所要時間のそれぞれを比較し、実際の時間と理想の時間がつりあっている場合には「実際＝理想」、理想の時間よりも実際の時間の方が長い場合には「実際＞理想」、理想の時間の方が実際の時間よりも長い場合には「実際＜理想」として集計した。この集計結果を図 3-2-93～図 3-2-97(資料：表 3-2-36～表 3-2-40)に示す。

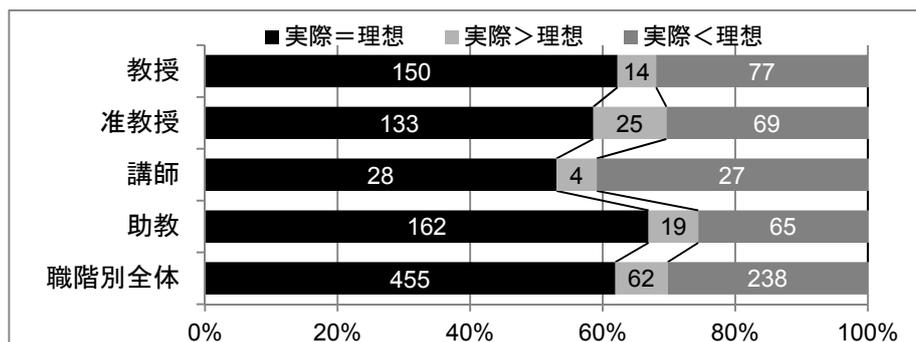


図 3-2-93. シラバス作成時の準備にかかる時間の理想との差（職階別）(N=788)

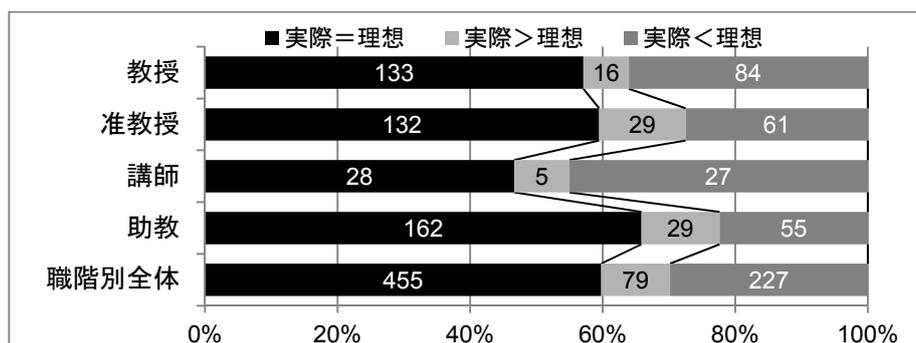


図 3-2-94. 学期開始当初の準備にかかる時間の理想との差（職階別）(N=761)

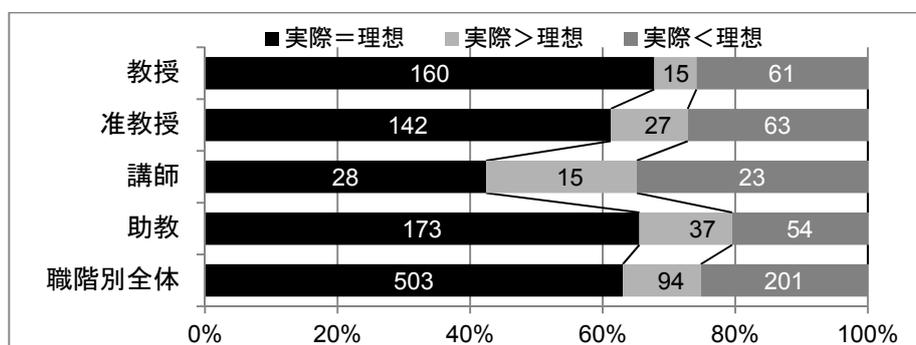


図 3-2-95. 毎回の授業の一週間前の準備にかかる時間の理想との差（職階別）(N=798)

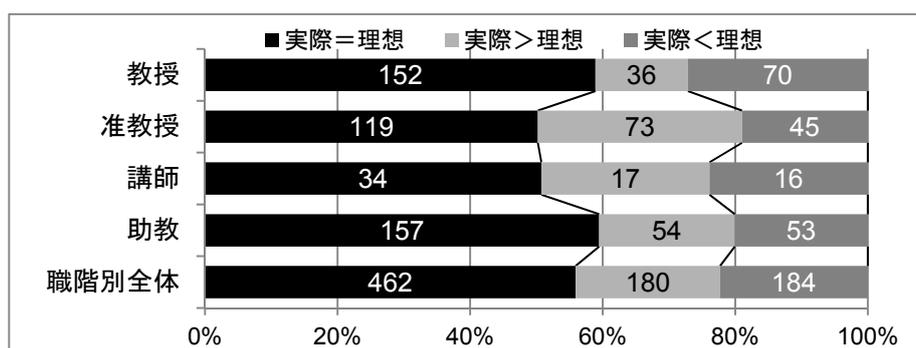


図 3-2-96. 毎回の授業数日前～前日の準備にかかる時間の理想との差（職階別）(N=826)

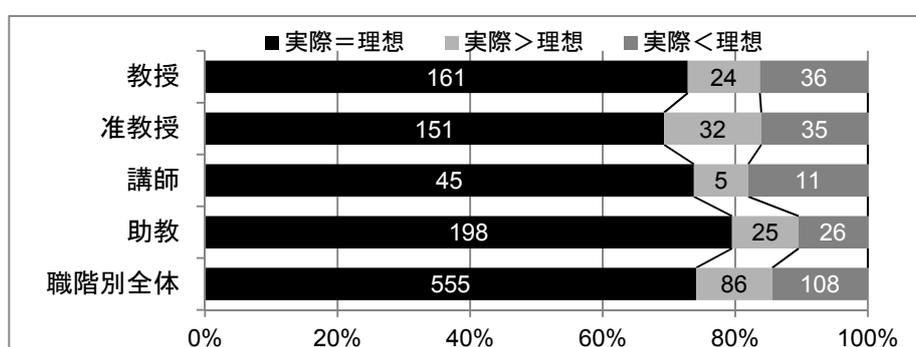


図 3-2-97. 授業実施当日の準備にかかる時間の理想との差（職階別）(N=749)

まず、シラバス作成時の準備にかかる時間（図 3-2-93）については、回答者の半数以上が、理想と実際の時間は同じ（理想通り）としていた。特に講師は、実際の所用時間よりも理想的な時間の方を長く答えた回答者が 40.9%にのぼっていた。

学期開始当初の準備にかかる時間（図 3-2-94）については、全般的にシラバス作成時の所用時間（図 3-2-93）よりも、「実際＝理想」とする回答の割合が少ない。シラバス作成時と同様、学期開始当初の準備の所用時間についても、特に講師が、実際の所用時間よりも理想的な時間の方を長く答える傾向が強く、授業準備に時間をもっとかけたいという要求がうかがわれる。

毎回の授業の一週間前の準備にかかる時間（図 3-2-95）においては、講師以外は「実際＝理想」とする回答が 60%以上を占めていたのに対し、講師の回答においては「実際＞理想」が 22.7%、「実際＜理想」が 34.8%と傾向が分かれる結果となった。

毎回の授業の数日前～前日の準備にかかる時間（図 3-2-96）については、「実際＝理想」とする回答の割合が、他の実施のタイミングと比較して低く、「実際＞理想」もしくは「実際＜理想」とする回答の割合が多くなっていることがわかる。特に、准教授は「実際＞理想」とする回答の割合が 30.8%となっており、授業の準備にかかる時間をもう少し減らしたいという要望がうかがわれる。一方で、教授は「実際＜理想」とする回答が 27.1%となっており、現状よりもより多くの時間をかけて授業を準備したいという要求があると考え

られる。

授業当日の準備にかかる時間(図 3-2-97)を見てみると,7~8割の教員が「実際=理想」としており,他の準備実施のタイミングよりもその満足度が高いと考えられる。

#### 【準備所要時間の理想と実際(職階別)】

続いて,準備にかかる実際の時間と理想的な時間について,専門分野別に集計した結果を図 3-2-98~図 3-2-102(資料:表 3-2-41~表 3-2-45)に示す。

シラバス作成時の準備時間(図 3-2-98)については,理学分野では「実際<理想」の割合が36.5%と最も高く,「実際>理想」の割合が最も高いのは社会科学分野であった。その一方で,「実際=理想」の割合が最も高いのも社会科学となった。

学期開始当初について見てみると(図 3-2-99),社会科学分野が「実際=理想」とする回答者の割合が最も多く,人文科学分野が「実際=理想」の割合が最も低かった。「実際<理想」とする回答者の割合が最も高かったのは農学分野であった。人文科学分野では,「実際>理想」「実際<理想」とする回答者の割合がそれぞれ高く,傾向が分かれていることがわかった。

毎回の授業の一週間前について見てみると(図 3-2-100),工学分野が「実際=理想」とする回答者の割合が最も多く,農学分野が「実際=理想」の割合が最も低かった。「実際<理想」とする回答者の割合が最も高かったのは人文科学分野であった。

毎回の授業の数日前~前日について見てみると(図 3-2-101),それ以前までの準備についての回答と比較して「実際>理想」とする回答の割合が高めになっていることがわかる。医歯薬学分野が「実際=理想」とする回答者の割合が最も多く,人文科学分野が「実際=理想」の割合が最も低かった。「実際<理想」とする回答者の割合が最も高かったのは農学分野と人文科学分野であった。社会科学分野では「実際>理想」とする回答者の割合が比較的高かった。

授業当日について見てみると(図 3-2-102),社会科学分野が「実際=理想」とする回答者の割合が最も多く,人文科学分野が「実際=理想」の割合が最も低かった。

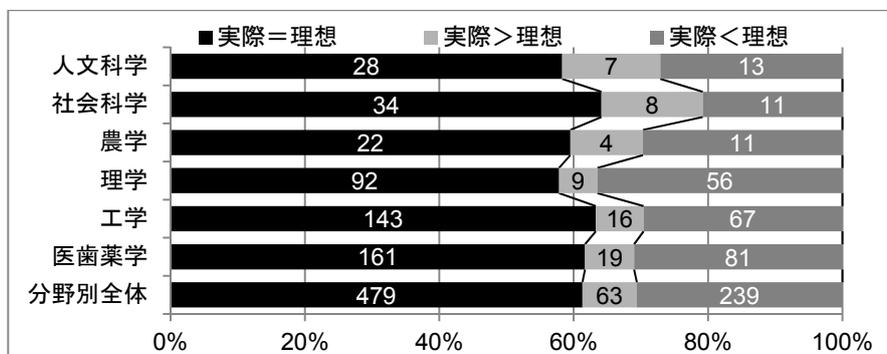


図 3-2-98. シラバス作成時の準備にかかる時間の理想との差(専門分野別)(N=781)

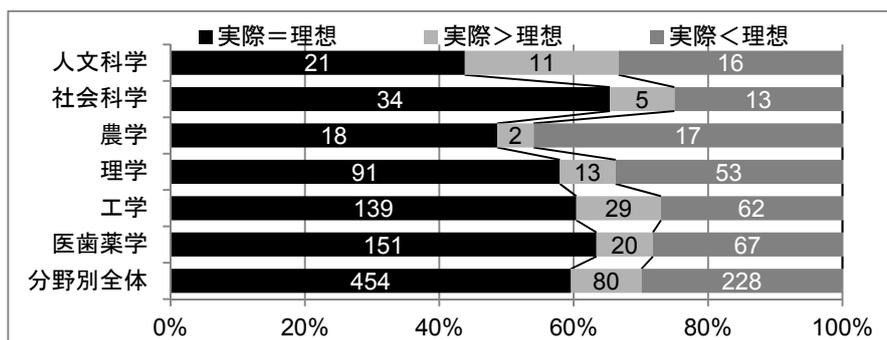


図 3-2-99. 学期開始当初の準備にかかる時間の理想との差 (専門分野別) (N=762)

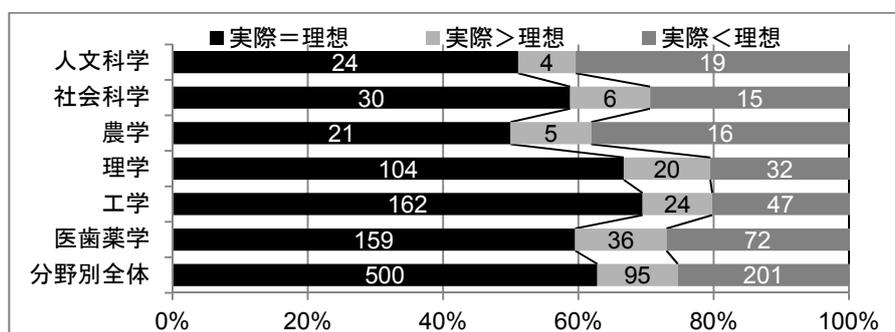


図 3-2-100. 毎回の授業の一週間前の準備にかかる時間の理想との差 (専門分野別) (N=796)

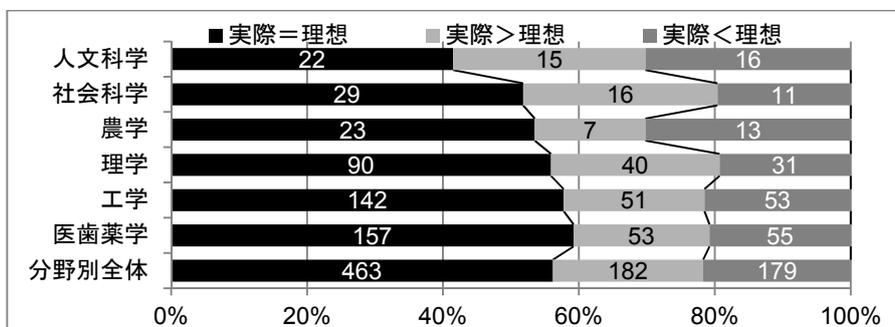


図 3-2-101. 毎回の授業数日前～前日の準備にかかる時間の理想との差 (専門分野別) (N=824)

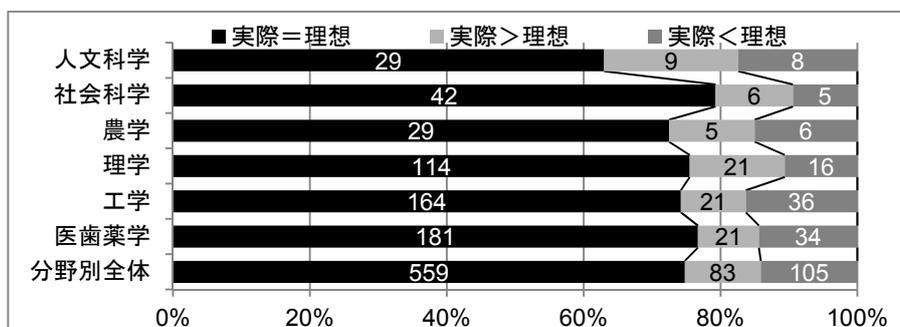


図 3-2-102. 授業実施当日の準備にかかる時間の理想との差 (専門分野別) (N=747)

### 3-3. 授業の見直しについて

回答対象とした授業を次年度にも開講する場合，授業内容・計画の見直し，改善を行うかについて尋ねた。

#### (1) 授業内容・計画の見直し，改善の実施状況

回答対象とした授業を次年度にも開講する場合，これまでの実践結果をもとに授業内容・計画の見直し，改善を行うかについての回答を職階別に集計した結果を図 3-3-1(資料：表 3-3-1) に示す。

講師では，改善を行うと回答した割合が 92.5%にのぼった。全体でも，84.9%の回答者が改善を行うと回答していた。

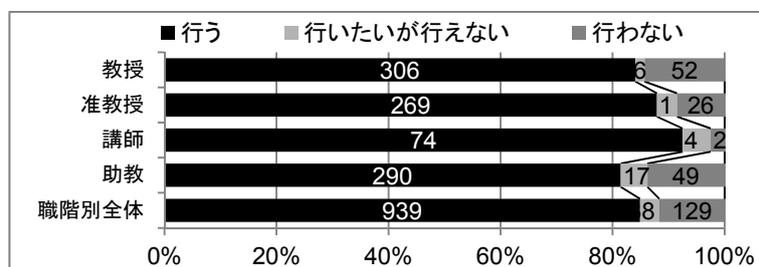


図 3-3-1. 授業の実施結果をもとに授業内容・計画の見直し，改善を行うか (職階別)(N=1,106)

また，この回答結果を専門分野別に集計した結果を図 3-3-2 (資料：表 3-3-2) に示す。人文科学分野では，改善を行うとした回答が 90.6%にのぼった。

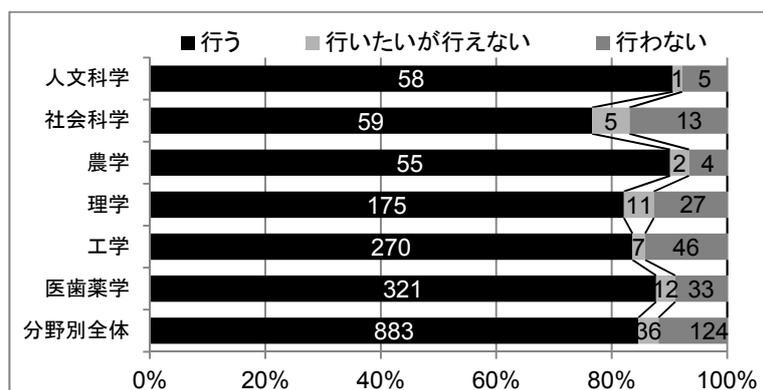


図 3-3-2. 授業の実施結果をもとに授業内容・計画の見直し，改善を行うか (専門分野別)(N=1,043)

続いて、改善を「行いたいが行えない」の理由については、以下に示す自由記述の回答が寄せられた。主に、来年その授業を担当するかどうか分からないため、退職するため、多忙であるため、教科書が変わらないため、といった回答が得られた。

<改善を行いたいが行えない理由>

- ・ 履習学生の意見を聴取する必要がある（社会）
- ・ 他のカリキュラムとの調整が必要（薬学）
- ・ 学部が決めるため（工学）
- ・ 今後いつ担当するかわからないので（社会）
- ・ 教務委員が科目を割り振るから（理学）
- ・ 来年の教官は別教官が決めるから（薬学）
- ・ 任期の関係で担当から外れるため（理学）
- ・ 他の科目担当に異動となったため（工学）
- ・ 改善できる体制になっていない（社会）
- ・ すでに授業負担が重く、見直す余裕がない（社会）
- ・ 指定されたオリジナルテキストに沿って行う決まりだから（農学）
- ・ 教科書が変わらないから（理学）
- ・ 開講しない（理学）2件
- ・ 退職するため（理学）3件
- ・ 転出するため（農学）
- ・ 時間が無い（理学，薬学）4件
- ・ 準備時間，授業時間ともにとれない（理学）
- ・ 多忙のため（工学，薬学）2件
- ・ まとまった時間の確保が難しい（工学）
- ・ 日常業務が忙しい（薬学）
- ・ 他の業務（外来・研究等）が忙しく時間がとれない（薬学）

また、改善を「行わない」理由については、以下の回答が得られた。主な理由としては、次年度にはその授業を担当しないため、改善すべき点が見当たらないため、学生からの評価が良いため、内容が確定していて改善の余地がないため、改善の責任者が別にいるため、多忙であるため、既に改善に十分取り組んできたため、が挙げられていた。

<改善を行わない理由>

【来年度は担当しないため】

- ・ 離職のため（人文）
- ・ 他大学へ就職（人文）
- ・ 専攻内のローテーション（社会）
- ・ 1年限りのお約束（社会）
- ・ 分担ではない（理学）
- ・ 開講しない（理学，工学）5件
- ・ 任期了のため（工学）
- ・ 定年，退職（工学）3件
- ・ 次年度担当するか不明だから（工学）
- ・ 担当の交代（工学）
- ・ 部局異動（工学）

- ・ 講義担当ではなくなったため（薬学）
- ・ 自分は担当しないため（薬学）
- ・ 次年度は別の講義を担当するため（薬学）

【改善すべき点はないため】

- ・ 毎年の積み重ねの経験を活かしているから（人文）
- ・ 直ちに改善すべき点はない（人文）
- ・ うまくいっている（社会）
- ・ 現状で十分に良いと考える（工学）2件
- ・ 特に問題ないから（社会，農学，理学，工学，薬学）13件
- ・ 必要を感じない（理学，工学，薬学）5件
- ・ 変更する必要がない（工学）
- ・ 特に不満はない（工学）
- ・ 何年も継続しており必要性を感じない（工学）
- ・ 授業の効果は期待したレベルに達していたから（社会）
- ・ 私見では完全である（社会）
- ・ 見直し，改善の余地がない（工学）
- ・ 客観的に見て教えるべき範囲はすべて扱うことができたため（社会）
- ・ 大きな改善点無し（薬学）
- ・ 長年の経験で、これ以上改善の余地はないと思っているため（工学）
- ・ 理想的だとは思いますが同じ内容の講義を継続するので現状でも充分（薬学）

【学生の評価がよいから】

- ・ 学生による授業評価がよいから，学生の評価が良い（社会）2件
- ・ 学生の評価も良いので（理学）
- ・ 特に不満の声が上がらないため（理学）
- ・ 学生にとって十分満足できる内容であった（理学）

【内容が確定していて改善の余地がないため】

- ・ 基礎なので、変更はない（社会）
- ・ 内容は同一なので（工学）
- ・ 全学対象実験科目である（農学）
- ・ 実験項目が一定している（農学）
- ・ 引き継ぎがうまくいっている。実習なのでそんなに変える部分がない（農学）
- ・ 教育内容がほぼ決められているため（理学）
- ・ 内容は合議で決まっているため（工学）
- ・ 授業内容がテキストにより固定されている（工学）
- ・ 分野内で実習期間内に取り扱う症例をそのまま実習教材とするため（薬学）

【改善の責任者が他にいる】

- ・ 変更は課題責任者と呼ばれる者が担当する（理学）
- ・ 組織的に分担を組んでいるため（理学）
- ・ 科目の内容は学科内で決めており、変更する理由はない（工学）
- ・ （他の分担者との）すり合わせが必要（工学）

【多忙であるため】

- ・ 時間がない、忙しすぎる（理学）
- ・ 新規に変更したばかりであるから（理学）

【もうすでに十分改善してきたため】

- ・ すでにくり返し見直してきた。あとは小変更のみ（工学）
- ・ 授業としてよく練られた内容であると考えているため（工学）
- ・ すでに見直しをしたため（工学）
- ・ 見直しを行ったばかりなので（工学）
- ・ 内容は十分に練り込まれているため、変更の必要がない（工学）

- ・ 長年にわたって洗練されてきた実験であり、完成度が高い（工学）
- ・ これまでに少しずつ改善してきている（工学）
- ・ 最初の数年は毎年見直していたが、だんだん現在の形に落ち着いてきた為（工学）
- ・ これまで十分、練習してきた（薬学）

【その他】

- ・ 環境がかなり変化してきているので（薬学）
- ・ これまで通り行う予定だから（薬学）
- ・ アンケートの間が当研究科の形成には合致しない様です。答えに窮します（薬学）

(2) 授業の改善時に参考にするもの

改善を行うとした回答者に対し、何を参考に授業内容・計画の見直し、改善を行うかについて尋ねた結果を図 3-3-3 に示す。

最も利用されているのは「6. 授業中の学生の反応」で 70.1%，続いて「7. 実践してみても自身で感じたこと」で 62.5%であった。

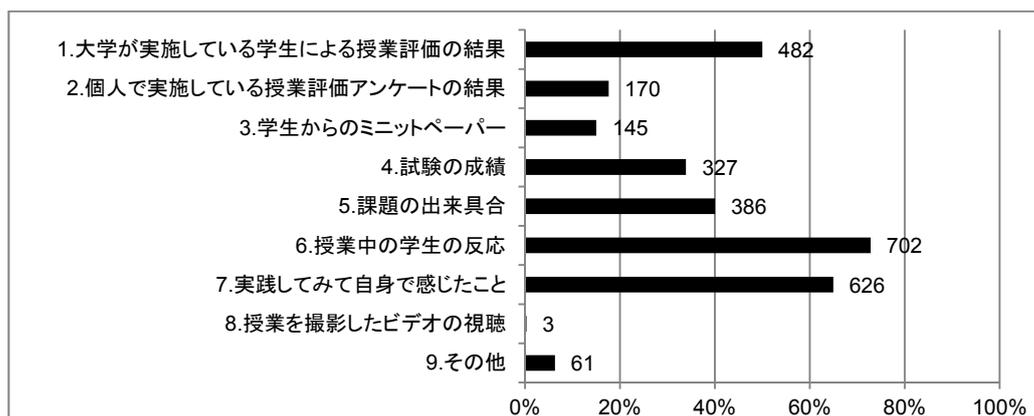


図 3-3-3. 計画の見直し，改善時に参考にするもの（全回答）(N=1,023)

続いて、何を参考に授業内容・計画の見直し、改善を行うかについて職階別に集計した結果を図 3-3-4（資料：表 3-3-3）に示す。

職階別にみても、「1. 大学が実施している学生による授業評価の結果」と「4. 試験の成績」については、職階が上がるほど参考にしてしている割合が高くなっている。また、准教授と助教は、「6. 授業中の学生の反応」を参考にしてしていると回答した割合が他と比べて高い。

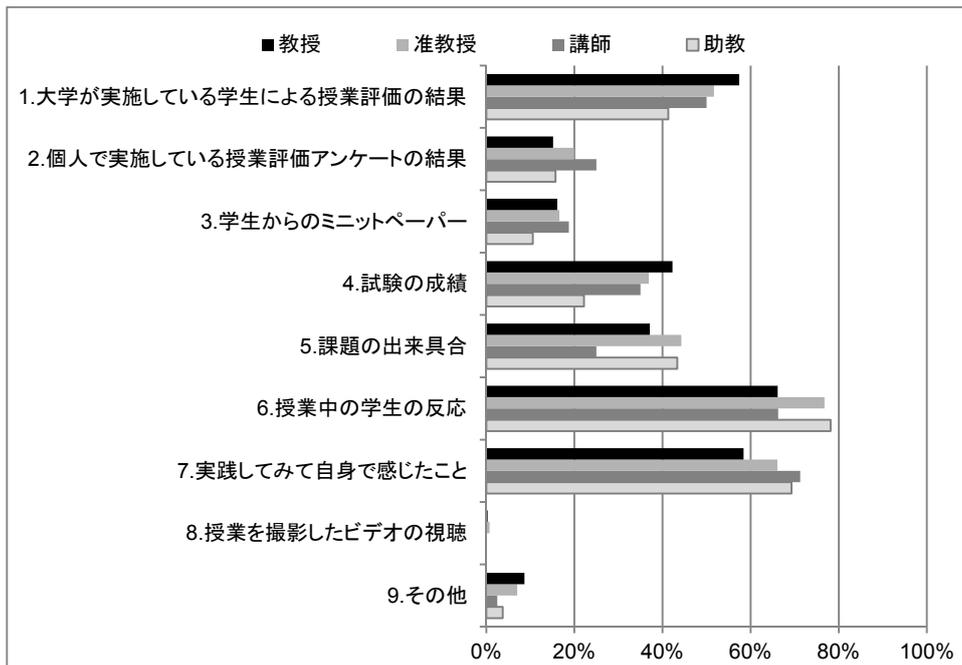


図 3-3-4. 計画の見直し，改善時に参考にするもの（職階別）(N=1,023)

次に，何を参考に授業内容・計画の見直し，改善を行うかについて，専門分野別に集計した結果を図 3-3-5～図 3-3-10（資料：表 3-3-4）に示す。

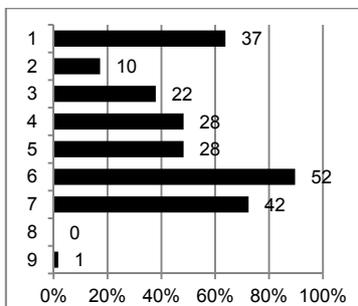


図 3-3-5. 人文科学 (N=58)

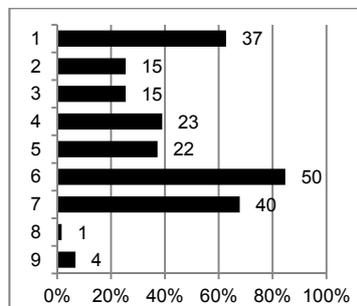


図 3-3-6. 社会科学 (N=59)

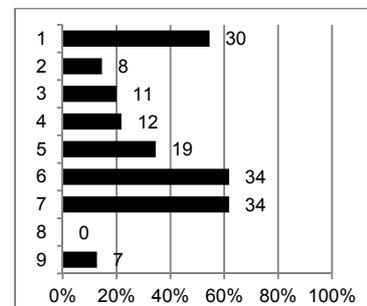


図 3-3-7. 農学 (N=55)

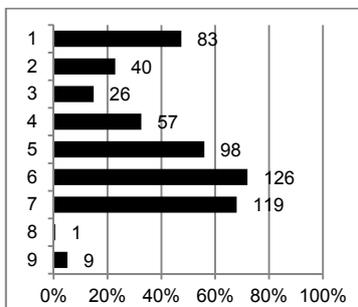


図 3-3-8. 理学 (N=175)

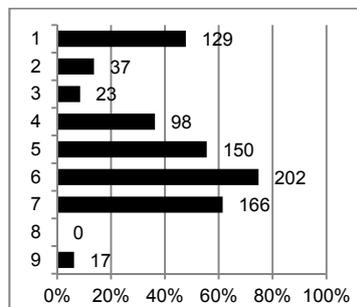


図 3-3-9. 工学 (N=270)

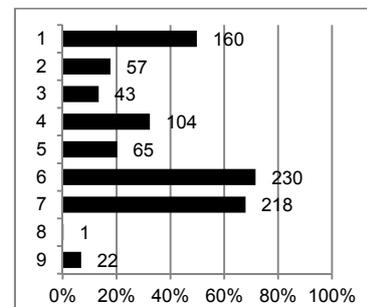


図 3-3-10. 医歯薬学 (N=321)

専門分野別の傾向を見てみると、医歯薬学分野においては「5. 課題の出来具合」を参考に行っている割合は 20%程度にとどまっているが、人文社会、理学、工学分野では、40%以上の回答者が参考に行っていると回答していた。また、「3. 学生からのミニットペーパー」は人文科学分野においてより活用されており、約 40%の教員が参考に行っていると回答していた。

また、「9. その他」と回答した者の自由記述による回答内容は以下のとおりである。

**【研究の動向，時事等】**

- ・ 最新の研究（4件）
- ・ 研究動向
- ・ 研究の進展
- ・ 実務・研究の動向
- ・ 最新の論文
- ・ 最近の学術論文をとり入れる
- ・ 最新の研究成果を追加
- ・ 世の中の研究の推移
- ・ 学術的進展
- ・ 学術動向の変化
- ・ 新しい学術論文
- ・ 新しい研究報告（論文等）
- ・ 最新の研究、社会の動向を見て
- ・ 当該分野の学問的進歩
- ・ 最新の研究動向にもよる
- ・ 専門研究分野のトレンド
- ・ 免疫学に関する新しい動き
- ・ 研究動向・時事
- ・ 国内外の研究の進展
- ・ 最新の研究動向を反映しているか
- ・ Up date された論文など
- ・ 新研究結果の追加
- ・ 経済情勢の変化に応じて新しいトピックスを取り入れる
- ・ 医学教育の変化に伴う対応等を考慮
- ・ 世の中で起こったこと、例えば震災など
- ・ 世の中の動向
- ・ 最新のトピックの教材化
- ・ 社会の話題など
- ・ 社会及び研究動向の進展

**【フィードバック等】**

- ・ 授業後の学生からの質問
- ・ 学生の卒論でのアプローチ選び
- ・ 学部が実施している学生による授業評価の結果、及び学生との個別面談での指摘点
- ・ ベテラン教員のコメントは比較的役に立たない。学生からのコメントがベター。
- ・ TA や助教へのアンケートからの意見

**【国家試験】**

- ・ 国家試験動向
- ・ 国家試験の流れ

- 国試の変化
- 国家試験の傾向
- 国試の問題の内容によって
- 本年度の歯科医師国家試験問題

【書籍等】

- 演習書の執筆を開始
- 最新の教科書・参考書を参照
- 新しい教科書を出版したので

【新しい情報】

- 新しい情報
- 新しい情報を加える
- up to date な内容にする
- up to date を加味

【その他】

- 題材に関する事例
- 前年度に自分の講義を録音し聞いて改善する
- 飲み会での会話、雑談から
- FD
- MIT Open Course Ware
- 伝えたいこと、学んでほしい事を明確にし、それに基づいて
- 昨年、作成した配布資料
- この授業ではなく、3年の授業の出来具合 3年の授業の際に、2年に対する本授業の内容についての学生の理解不足を感じる。

自由記述の回答の内容からは、最新の研究成果，研究動向，そして世の中の情勢などを考慮，参考にして授業の改善に取り組んでいる様子が見えてくる。特に，研究の動向や社会の様子等を反映するといった回答の件数が多かったことから，これを回答の選択肢のひとつとして設定すべきであったと考えられる。

### (3) 授業の改善の対象

改善を行うとした回答者に対し、授業内容・計画のどの部分を対象に見直しや改善を行うかについて尋ねた結果を図 3-3-11 に示す。

最も改善対象とされていたのは「2. 授業で扱うトピック, 教材」, 続いて「6. 配布資料」であった。

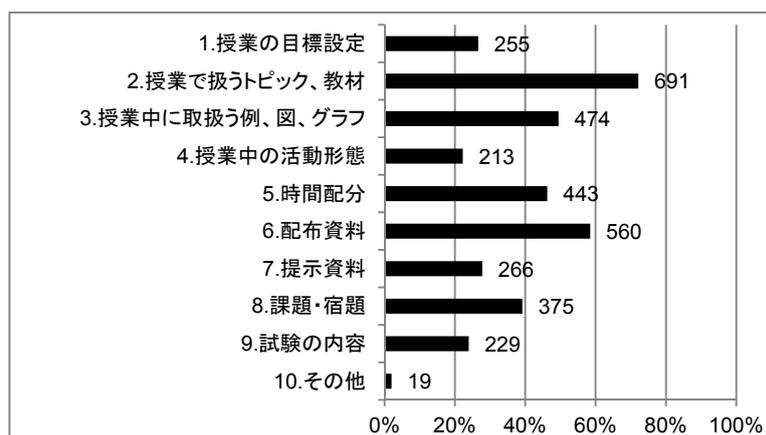


図 3-3-11. 計画の見直し, 改善の対象 (全回答) (N=958)

続いて、授業内容・計画のどの部分を対象に見直しや改善を行うかについて職階別に集計した結果を図 3-3-12 (資料: 表 3-3-5) に示す。

「1. 授業の目標設定」を改善対象とする割合は、教授で 20.8%であるのに対し、講師では 37.2%であった。「4. 授業中の活動形態」については、教授では 15.9%が改善対象とすると回答していたが、助教ではその割合が 29.6%にのぼった。また、「6. 配布資料」を改善対象とする割合は、教授で 67.2%であったのに対し、助教では 48.5%であった。加えて、「8. 課題・宿題」を改善対象とする割合は、准教授で 45.6%であったのに対し、講師では、19.2%にとどまった。「9. 試験の内容」を改善対象とする割合は、教授では 30.5%であった一方、助教では 14.4%であった。

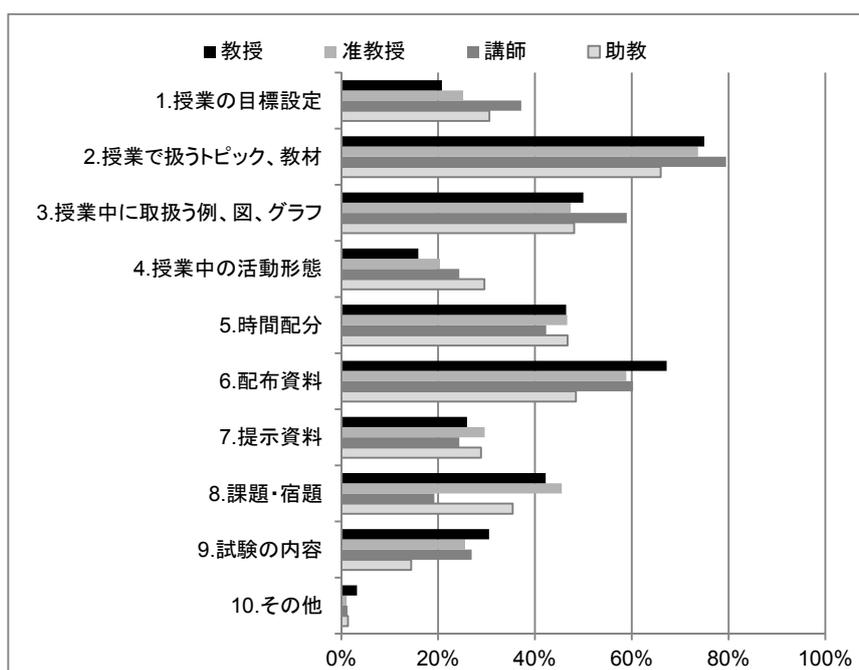


図 3-3-12. 計画の見直し，改善の対象（職階別）(N=949)

次に，授業内容・計画のどの部分を対象に見直しや改善を行うかについて，専門分野別に集計した結果を図 3-3-13～図 3-3-18（資料：表 3-3-6）に示す。

人文科学分野では，「3. 授業中に取扱う例，図，グラフ」を改善対象とするとの回答は 20.7%であったのに対し，農学，理学，工学，医歯薬学分野では，50%前後から 60%近い回答者が改善対象とすると回答していた。また，「4. 授業中の活動形態」については，人文科学分野の 41.4%が改善対象としていたのに対し，農学や医歯薬学分野では 20%前後にとどまっていた。「7. 提示資料」については，人文科学の 19.0%が改善対象としていたのに対し，社会科学では 44.1%であった。「8. 課題・宿題」については，人文・社会科学分野では 40%以上，理学，工学分野では 50%以上が改善対象としていたのに対し，医歯薬学分野では 15.3%にとどまった。

- 
1. 授業の目標設定
  2. 授業で扱うトピック，教材
  3. 授業中に取扱う例，図，グラフ
  4. 授業中の活動形態
  5. 時間配分
  6. 配布資料
  7. 提示資料
  8. 課題・宿題
  9. 試験の内容
  10. その他
- 

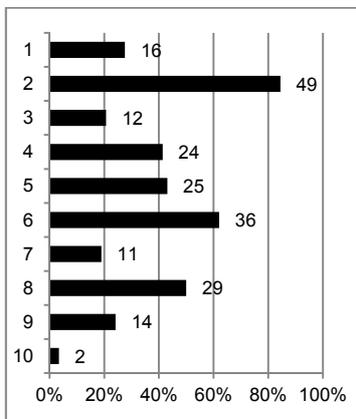


図 3-3-13. 人文科学 (N=58)

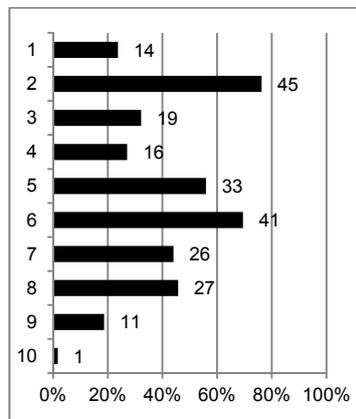


図 3-3-14. 社会科学 (N=59)

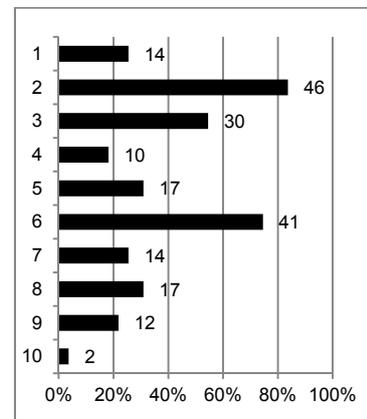


図 3-3-15. 農学 (N=55)

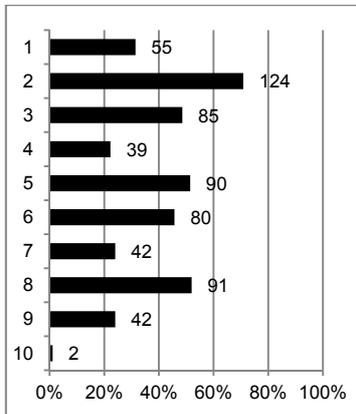


図 3-3-16. 理学 (N=175)

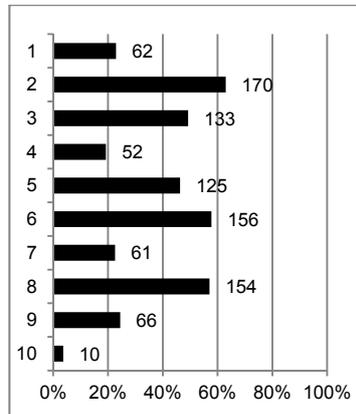


図 3-3-17. 工学 (N=270)

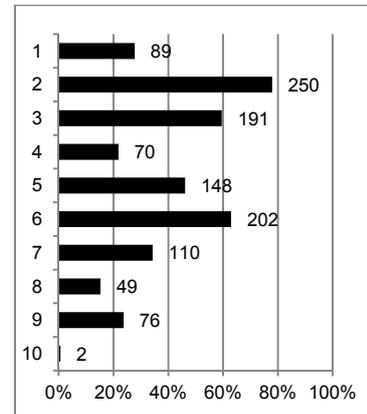


図 3-3-18. 医歯薬学 (N=321)

また、「10. その他」と回答した者の自由記述による回答内容は以下のとおりである。

- 教室の形態
- 「人」(関係者)の訪問
- パワーポイントのアニメーション(私より使いこなせる教員は皆無かと思う)
- 配布する講義ノートの中身・構成等
- 数式の導出、板書の詳しさ
- 説明方法の工夫
- 話し方、内容
- 説明のしかた、話すスピード
- 話し方(2件)
- はなし方、話法、話芸、どうはなしたら面白くできるか
- 理解しやすさ
- presentationの仕方
- 発表会の評価、学生へのフィードバック方法
- 演習書を新たに執筆
- 実験システムの改変
- 実験の進め方

自由記述では、特に説明の方法や話し方といった回答が多かった。

#### (4) 授業の改善にかかる時間

改善を行うとした回答者に対し、授業の改善にかかる時間について、どの時点でそれぞれの程度の時間をかけて実施したか、および理想的にはどの程度の所用時間が望ましいかについて尋ねた。

まず、全回答の集計結果を実施のタイミング別に図 3-3-19～図 3-3-23（資料：表 3-3-～表 3-3-）に示す。ここでは、実際の所用時間と理想の所用時間の両方を回答した者のみの結果を集計することとした。

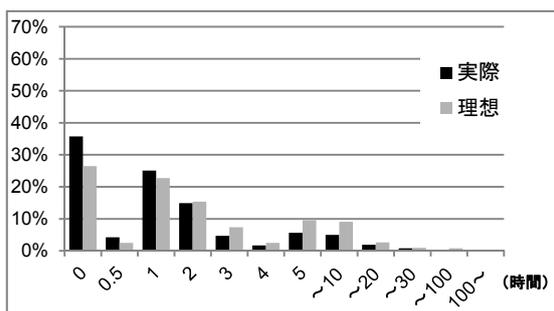


図 3-3-19. シラバス作成時準備時間 (N=638)

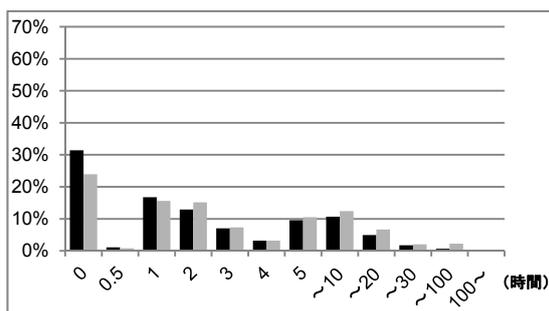


図 3-3-20. 学期開始当初準備時間 (N=761)

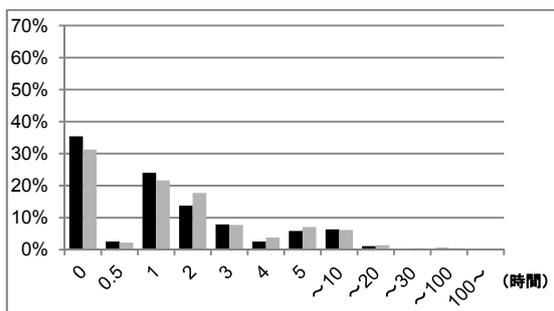


図 3-3-21. 一週間前準備時間 (N=798)

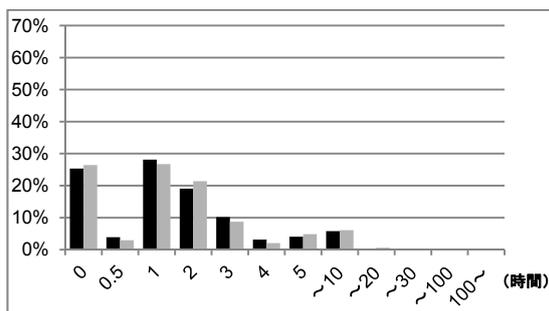


図 3-3-22. 数日前～前日準備時間 (N=826)

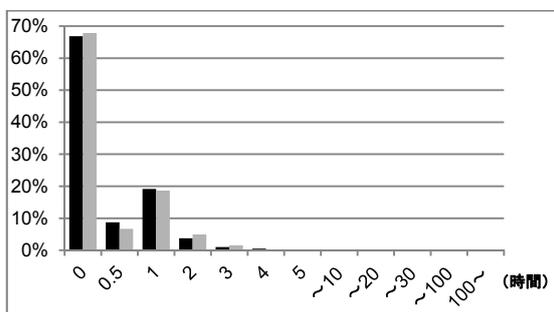


図 3-3-23. 当日準備時間 (N=749)

所要時間については 0 時間, 0.5 時間, 1 時間, 2 時間, 3 時間, 4 時間, 5 時間, 6～10 時間, 11～20 時間, 21～30 時間, 31～100 時間, 101 時間以上の区切りで集計を行った

全体の傾向としては、授業の実施当日に改善にかける時間としては「0時間」という回答が約66%を占めており、授業当日よりも前の段階で改善の取り組みを終えている様子が見られる。

### シラバス作成時

シラバス作成時の改善実施にかかる実際と理想の時間のそれぞれについて、職階別集計結果を図3-3-24～図3-3-27（資料：表3-3-7，表3-3-8）に示す。

どの職階においても、理想を「0時間」と回答した割合が、実際を「0時間」と回答した割合を下回っていた。また、講師、助教の約50%が「0時間」としているのに対し、教授、准教授では「0時間」とする回答はそれぞれ21.5%、30.5%にとどまった。教授の36.9%がシラバス作成時の時点で1時間程度をかけて改善に取り組んでいることがわかる。

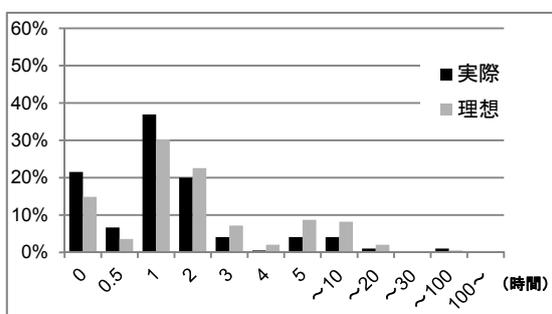


図 3-3-24. 教授・シラバス作成時 (N=195)

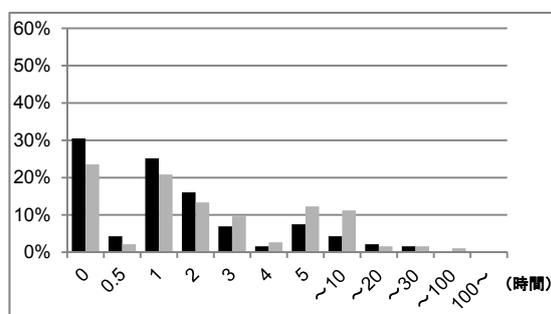


図 3-3-25. 准教授・シラバス作成時 (N=187)

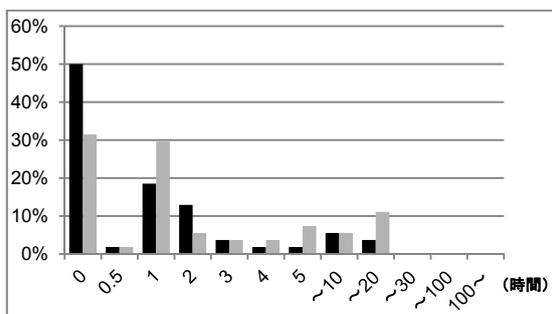


図 3-3-26. 講師・シラバス作成時 (N=54)

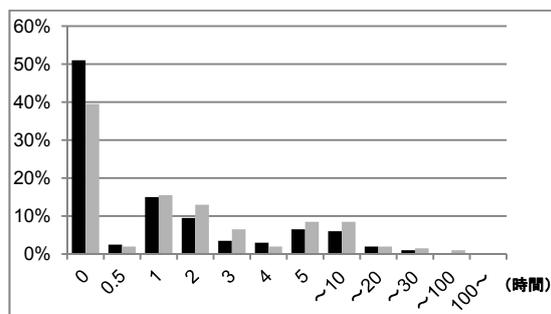


図 3-3-27. 助教・シラバス作成時 (N=200)

次に、シラバス作成時の授業改善にかかる時間について、回答者の専門分野別に集計した結果を図 3-3-28～図 3-3-33（資料：表 3-3-9，表 3-3-10）に示す。

理学，工学，医歯薬学分野では、実際，理想ともに「0 時間」とする回答が 30～40%程度であるのに対し，人文科学分野では 10%程度にとどまっている。また，農学分野の 43.2%が「1 時間」程度をかけてシラバス作成時の授業改善に取り組んでいることがわかる。

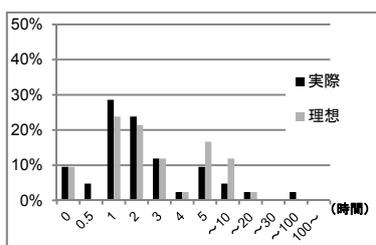


図 3-3-28. 人文科学 (N=42)

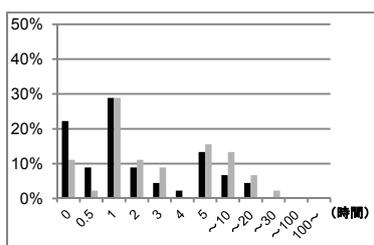


図 3-3-29. 社会科学 (N=45)

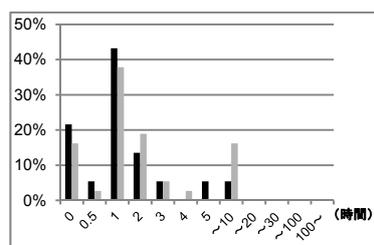


図 3-3-30. 農学 (N=37)

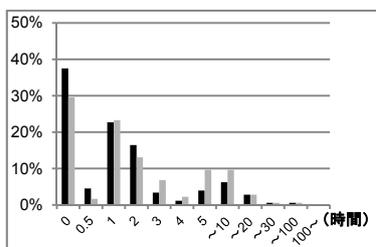


図 3-3-31. 理学 (N=124)

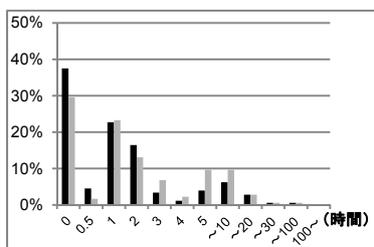


図 3-3-32. 工学 (N=176)

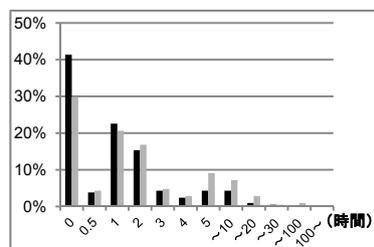


図 3-3-33. 医歯薬学 (N=208)

#### 学期開始当初

続いて、学期開始当初の授業改善にかかる時間について、職階別の集計結果を図 3-3-34～図 3-3-37（資料：表 3-3-11，表 3-3-12）に示す。

どの職階においても、理想を「0 時間」と回答した割合が、実際を「0 時間」と回答した割合を下回っていた。また、講師では、学期開始当初の改善の所用時間を「0 時間」とする回答が 46.2%となっているが、理想の時間を「0 時間」とする回答は 25.0%にとどまり、一方で理想時間を「2 時間」とする回答が 23.1%にのぼった。

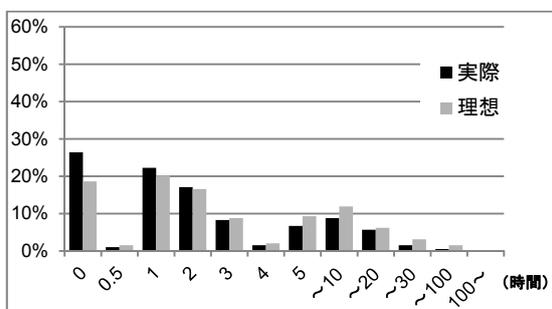


図 3-3-34. 教授・学期開始当初 (N=193)

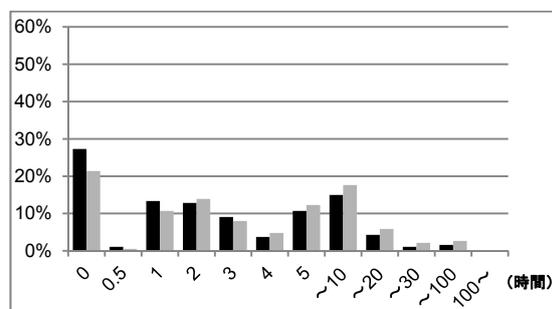


図 3-3-35. 准教授・学期開始当初 (N=187)

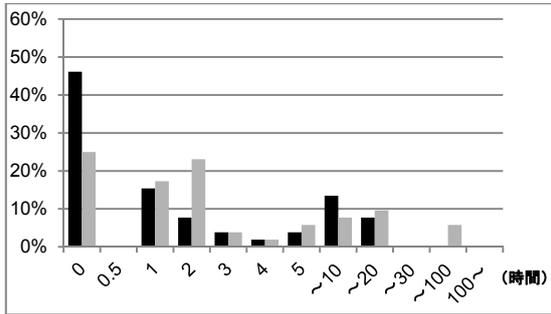


図 3-3-36. 講師・学期開始当初 (N=52)

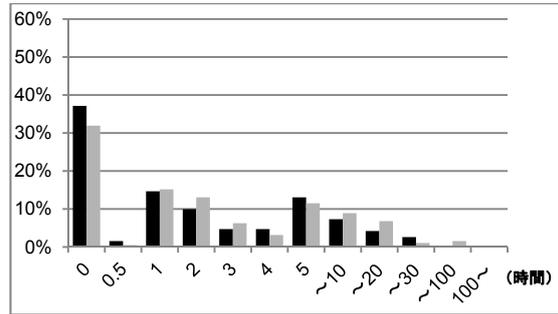


図 3-3-37. 助教・学期開始当初 (N=191)

次に、学期開始当初の授業改善にかかる時間について、回答者の専門分野別に集計した結果を図 3-3-38～図 3-3-43 (資料：表 3-3-13, 表 3-3-14) に示す。

人文科学、社会科学、農学、理学、工学分野では、実際にかけた時間を「0 時間」とする回答が 19%～31%程度であるのに対し、医歯薬学分野では 49.8%にのぼった。

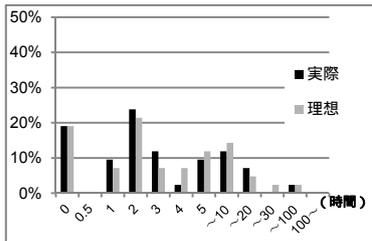


図 3-3-38. 人文科学 (N=42)

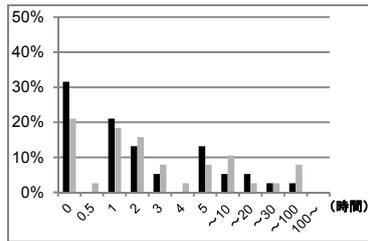


図 3-3-39. 社会科学 (N=38)

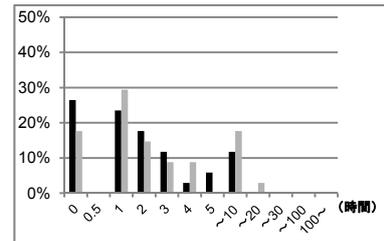


図 3-3-40. 農学 (N=34)

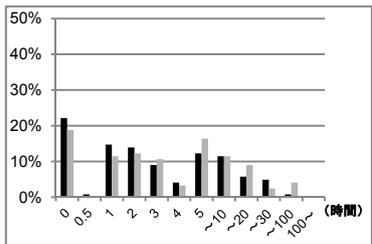


図 3-3-41. 理学 (N=122)

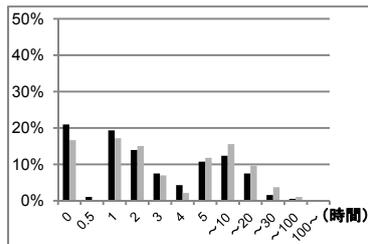


図 3-3-42. 工学 (N=186)

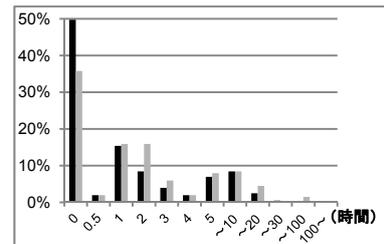


図 3-3-43. 医歯薬学 (N=201)

毎回の授業の一週間前

続いて、毎回の授業の一週間前の時点での授業改善にかかる時間について、職階別の集計結果を図 3-3-44～図 3-3-47（資料：表 3-3-15～表 3-3-16）に示す。

教授、准教授、助教では実際、理想ともに「0 時間」とする回答が最も多かったのに対し、講師では「1 時間」とする回答が多く、実際では 34.6%、理想では 30.8%にのぼった。

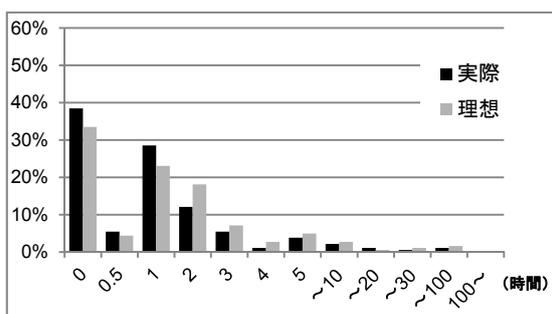


図 3-3-44. 教授・授業一週間前 (N=182)

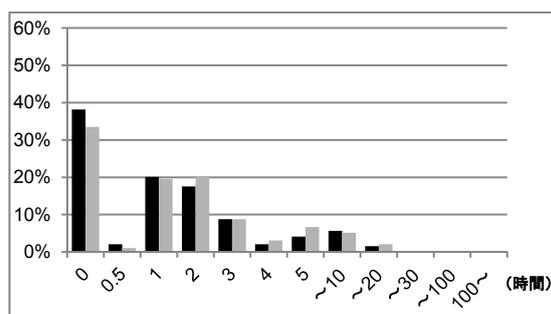


図 3-3-45. 准教授・授業一週間前 (N=194)

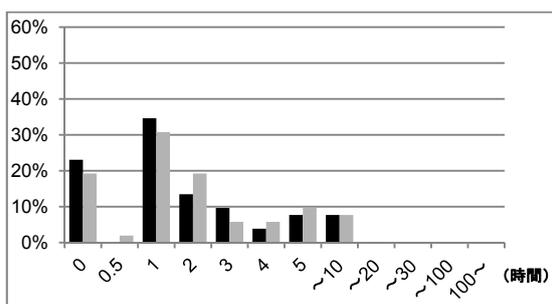


図 3-3-46. 講師・授業一週間前 (N=52)

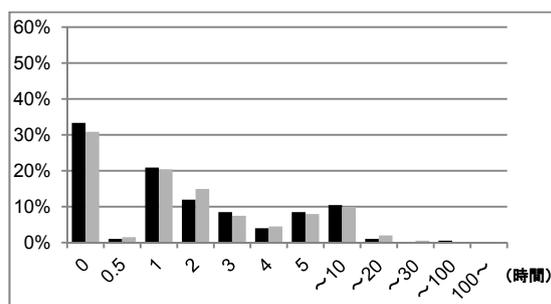


図 3-3-47. 助教・授業一週間前 (N=201)

次に、授業一週間前の時点での授業改善にかかる時間について、回答者の専門分野別に集計した結果を図 3-3-48～3-3-53（資料：表 3-3-17～表 3-3-18）に示す。

農学以外の分野では、実際にかかる時間を「0 時間」とする回答が最も多かったが、農学分野では「1 時間」とする回答が「0 時間」を上回り、34.2%を占めた。また、理想の時間については、人文科学分野では「0 時間」より「2 時間」とする回答が多く、農学分野では「0 時間」より「1 時間」とする回答が多かった。

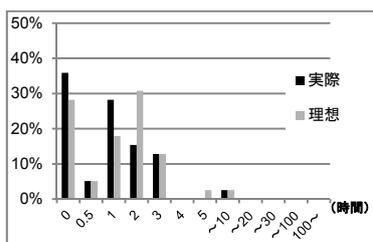


図 3-3-48. 人文科学 (N=39)

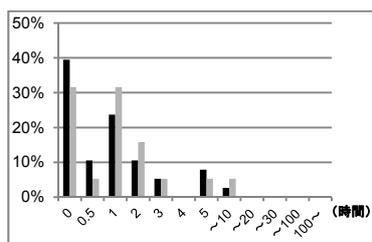


図 3-3-49. 社会科学 (N=38)

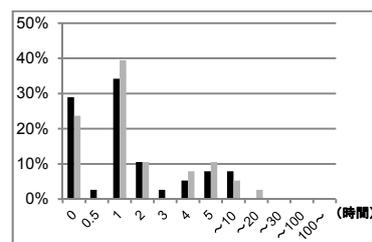


図 3-3-50. 農学 (N=38)

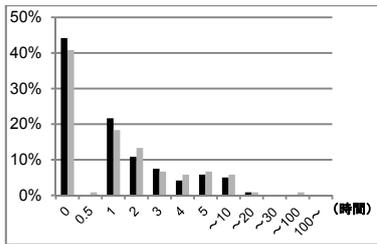


図 3-3-51. 理学 (N=120)

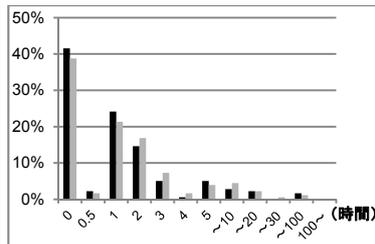


図 3-3-52. 工学 (N=178)

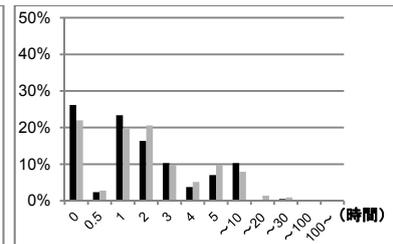


図 3-3-53. 医歯薬学 (N=214)

### 毎回の授業の数日前～前日

続いて、毎回の授業の数日前～前日の時点での授業改善にかかる時間について、職階別の集計結果を図 3-3-54～3-3-57 (資料：表 3-3-19～表 3-3-20) に示す。

助教では、実際、理想ともに「0時間」とする回答が最も多かったが、教授、准教授では「1時間」とする回答が最も多かった。

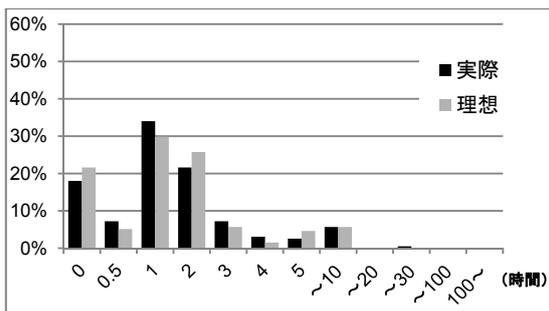


図 3-3-54. 教授・授業前日 (N=194)

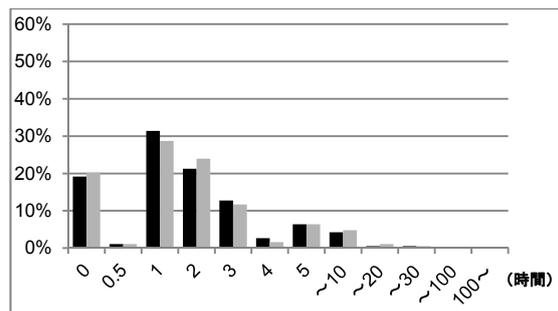


図 3-3-55. 准教授・授業前日 (N=188)

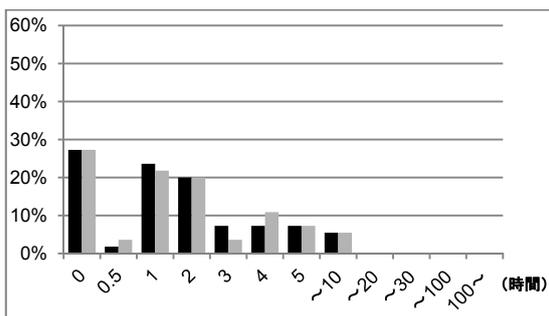


図 3-3-56. 講師・授業前日 (N=55)

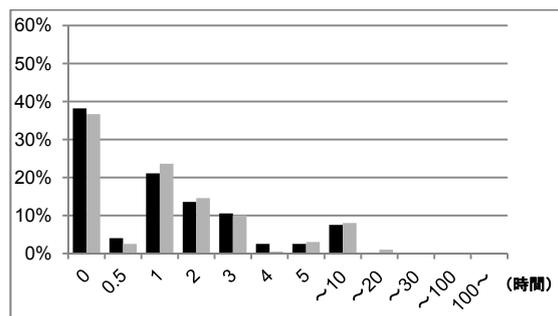


図 3-3-57. 助教・授業前日 (N=199)

次に、授業数日前～前日の授業改善にかかる時間について、回答者の専門分野別に集計した結果を図 3-3-58～図 3-3-63 (資料：表 3-3-21～表 3-3-22) に示す。

農学分野では、回答者の 30.2%が 2 時間を費やして授業の準備をしていることがわかる。

また，理学，工学，医歯薬学分野では，おおむね実際と理想の時間の分布が似通っている一方で，人文科学分野では，ずれがあることがわかる。

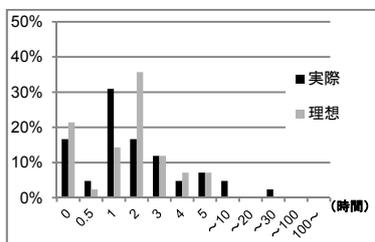


図 3-3-58. 人文科学 (N=53)

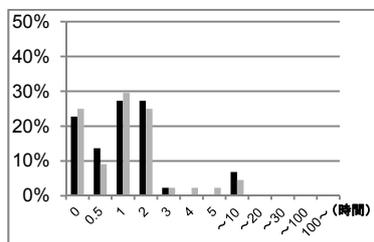


図 3-3-59. 社会科学 (N=44)

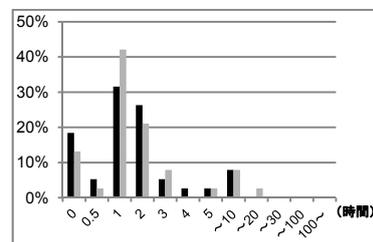


図 3-3-60. 農学 (N=38)

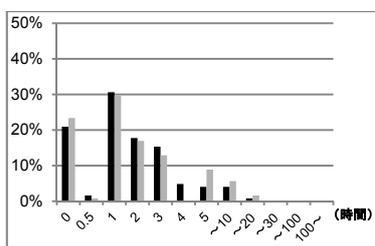


図 3-3-61. 理学 (N=124)

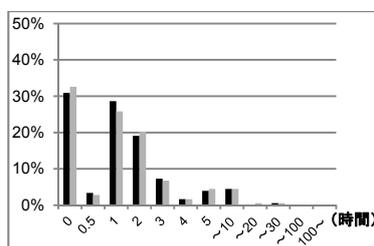


図 3-3-62. 工学 (N=178)

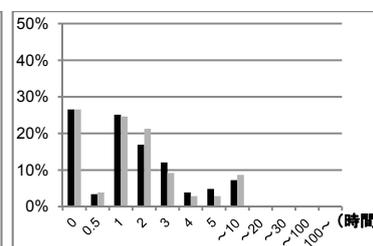


図 3-3-63. 医歯薬学 (N=207)

### 授業実施当日

授業実施当日の授業改善にかかる時間について，職階別の集計結果を図 3-3-64～3-3-67 (資料：表 3-3-23～表 3-3-24) に示す。

どの職階においても，授業実施の当日に改善にかける時間は「0 時間」とする回答が実際，理想ともに最も多かった。授業実施当日にも改善の取り組みを実施している教員は全体の 3 割程度であることがわかる。

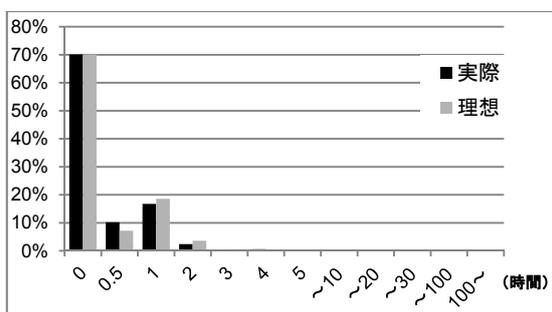


図 3-3-64. 教授・授業実施当日 (N=167)

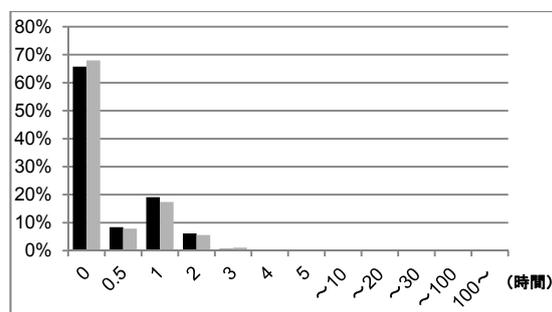


図 3-3-65. 准教授・授業実施当日 (N=178)

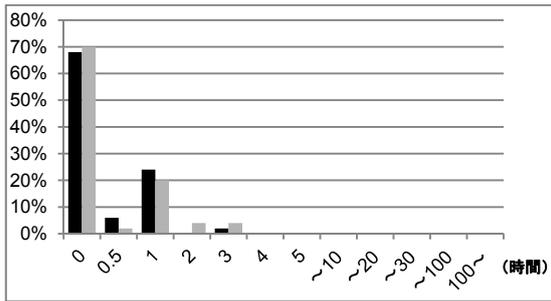


図 3-3-66. 講師・授業実施当日 (N=50)

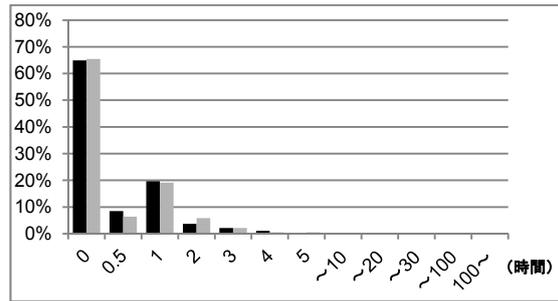


図 3-3-67. 助教・授業実施当日 (N=188)

次に、授業当日の授業改善にかかる時間について、回答者の専門分野別に集計した結果を図 3-3-68～図 3-3-73 (資料：表 3-3-25～表 3-3-26) に示す。

人文科学分野では、「0 時間」とする回答は 50%程度にとどまり、残りの 50%程度は当日にも何らかの改善の取り組みを実施していることがわかった。

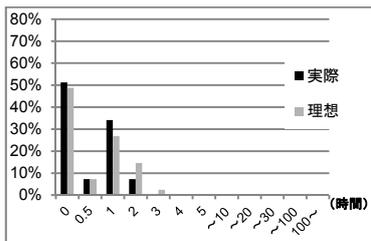


図 3-3-68. 人文科学 (N=41)

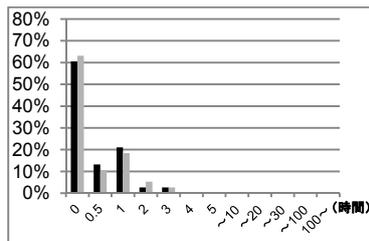


図 3-3-69. 社会科学 (N=38)

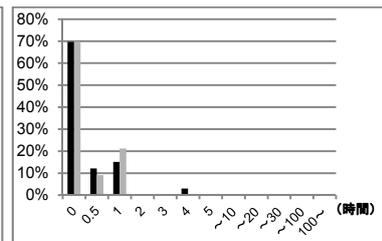


図 3-3-70. 農学 (N=33)

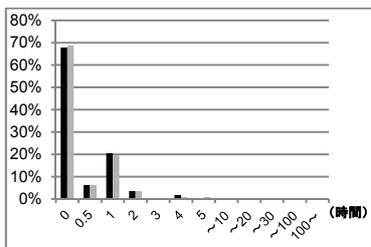


図 3-3-71. 理学 (N=112)

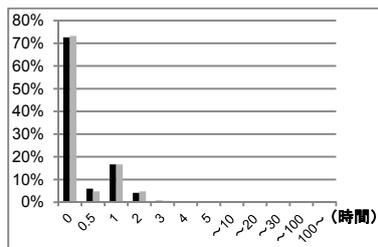


図 3-3-72. 工学 (N=168)

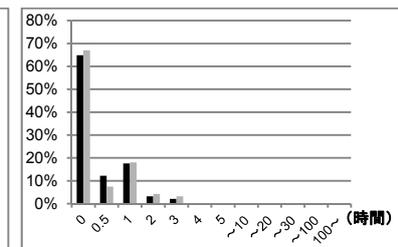


図 3-3-73. 医歯薬学 (N=188)

## その他の準備のタイミング

「その他」を選択しての自由記述による回答には以下のものがあった。

- ・ 毎日
- ・ 必要に応じて / 随時
- ・ 授業翌日
- ・ 授業中（開始直後）
- ・ 授業後数日内
- ・ 終了時
- ・ 授業終了後
- ・ 授業直後
- ・ 授業終了後、来年度にむけて / 講義終了時点（次年度対策として）
- ・ 前年度の定期試験終了後
- ・ 学期終了後
- ・ 数ヶ月前より準備
- ・ 演習書執筆
- ・ 前年度
- ・ 「実践記録」提出時

また、その他欄外に記述されたコメントには、以下のものがあった。

- ・ 授業準備の実際に対応せず、答えようがない。
- ・ 1年中考えているので、いつ、どのくらいという見直しはしていない
- ・ 見直しは問13の準備に含まれていて切り離して時間で計ることはできません。
- ・ 問13の時間内で同時平行的に行っています。
- ・ 問13の時間と分けるのは困難。
- ・ かなり大まか
- ・ 正確に思い出すことは不可能
- ・ 具体的な時間はわかりません
- ・ 授業準備の時間の内、見直しに使う時間を記入
- ・ まだ行っていないので回答不可

【授業改善所要時間の理想と実際（職階別）】

本回答で得られた実際の所用時間と理想的な所要時間のそれぞれを比較し、実際の時間と理想の時間がつりあっている場合には「実際＝理想」、理想の時間よりも実際の時間の方が長い場合には「実際＞理想」、理想の時間の方が実際の時間よりも長い場合には「実際＜理想」として集計した。この集計結果を図 3-3-74～図 3-3-78(資料:表 3-3-27～表 3-3-31)に示す。

シラバス作成時の改善にかかる時間では、助教の 71.0%が実際と理想の時間は同じであると回答していた。一方で、講師では、「実際＜理想」とする回答が 37.0%にのぼった。

学期開始当初の改善にかかる時間では、「実際＝理想」とする講師の回答は 46.2%にとどまり、「実際＜理想」とする回答が 44.2%にのぼった。このことから、講師はもっと学期開始当初の時点での授業改善に時間をかけたいという要求があることが推測される。

授業の一週間前の改善にかかる時間については、講師において「実際＞理想」とする回答が 19.2%にのぼった。講師では、理想通りとする回答と、もっと準備に時間をかけたいとする回答がそれぞれ 46.2%と 44.2%と意見が分かれるかたちとなった。

授業の数日前～前日の改善にかかる時間については、「実際＝理想」とする回答がどの職階においても 80%を超えており、職階によって大きな傾向の違いは見られなかった。

授業実施当日の改善にかかる時間については、その他の実施のタイミングと比較して「実際＞理想」とする回答の割合が高い傾向にあった。

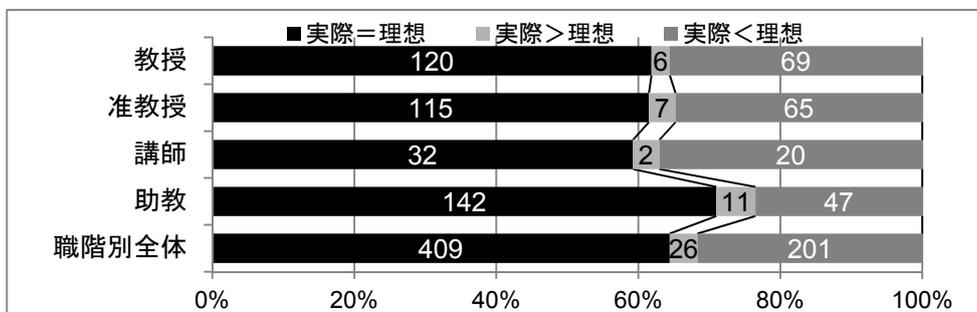


図 3-3-74. シラバス作成時の改善にかかる時間の理想との差（職階別）(N=636)

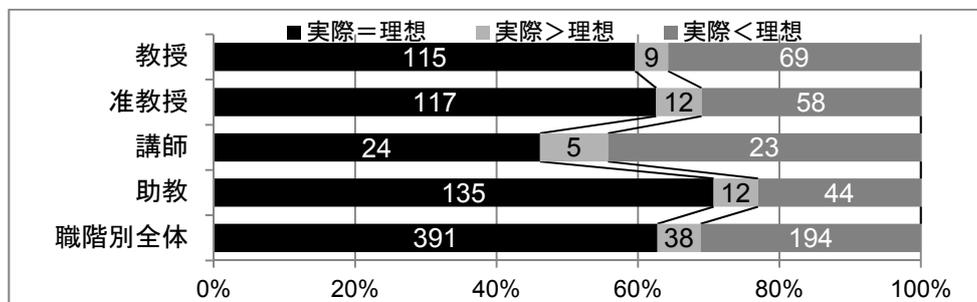


図 3-3-75. 学期開始当初の改善にかかる時間の理想との差（職階別）(N=623)

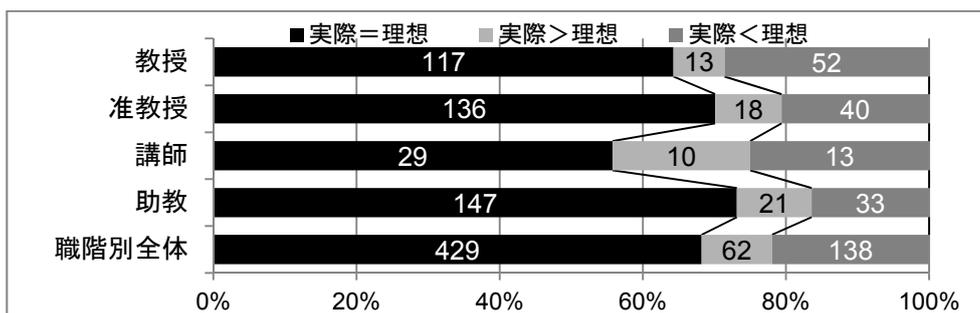


図 3-3-76. 毎回の授業の一週間前の改善にかかる時間の理想との差（職階別）(N=629)

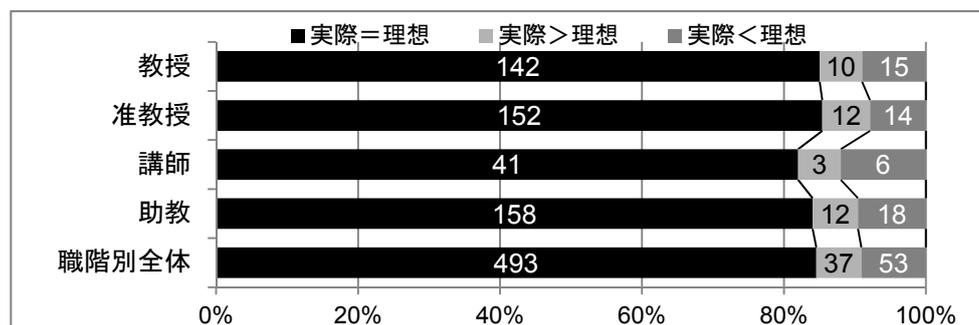


図 3-3-77. 毎回の授業数日前～前日の改善にかかる時間の理想との差（職階別）(N=583)

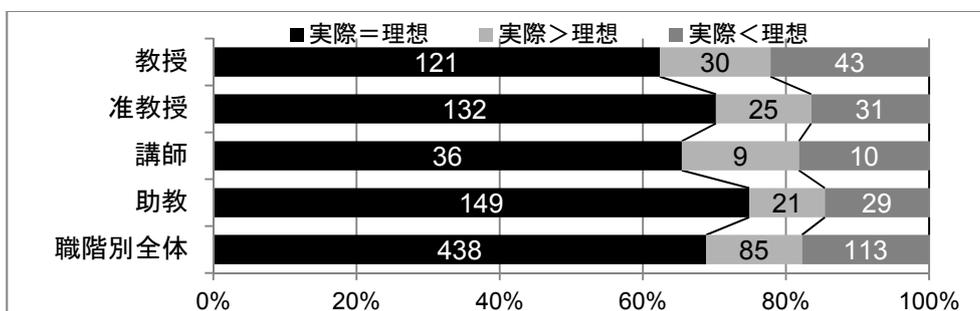


図 3-3-78. 授業実施当日の改善にかかる時間の理想との差（職階別）(N=636)

【準備所要時間の理想と実際（職階別）】

続いて、授業の改善にかかる実際の時間と理想的な時間について、専門分野別に集計した結果を図 3-3-79～図 3-3-83（資料：表 3-3-32～表 3-3-36）に示す。

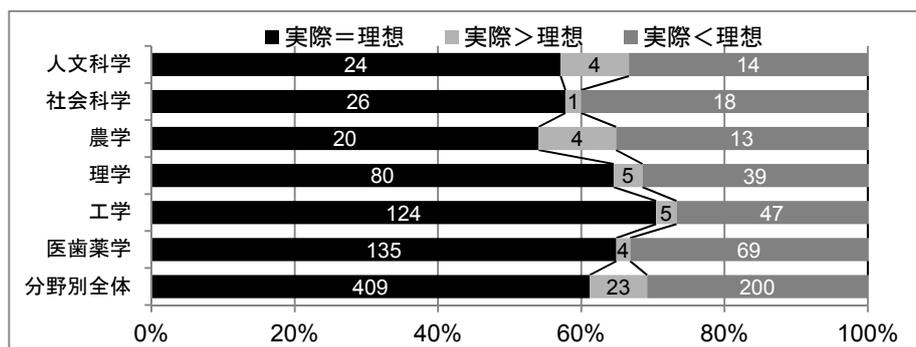


図 3-3-79. シラバス作成時の改善にかかる時間の理想との差 (専門分野別) (N=781)

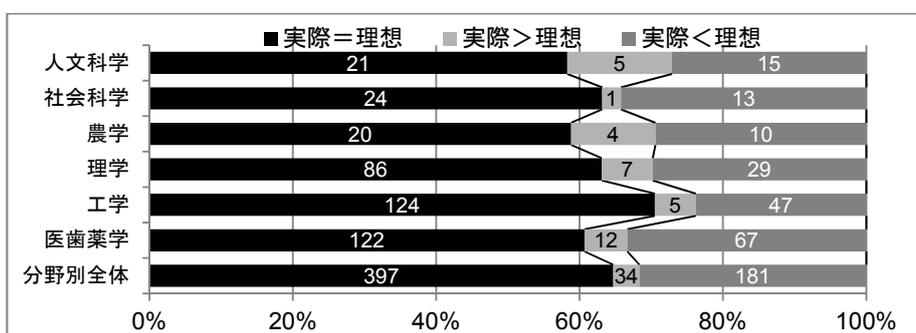


図 3-3-80. 学期開始当初の改善にかかる時間の理想との差 (専門分野別) (N=762)

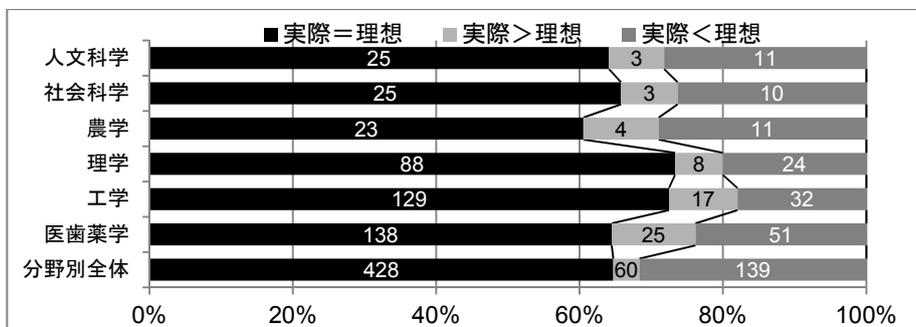


図 3-3-81. 毎回の授業の一週間前の改善にかかる時間の理想との差 (専門分野別) (N=796)

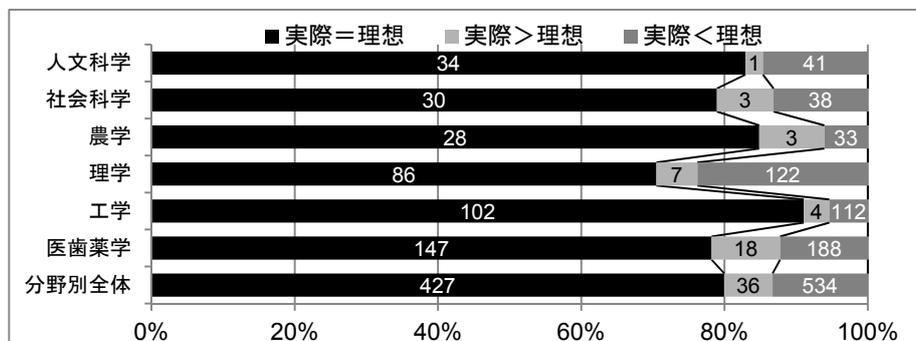


図 3-3-82. 毎回の授業数日前～前日の改善にかかる時間の理想との差 (専門分野別) (N=824)

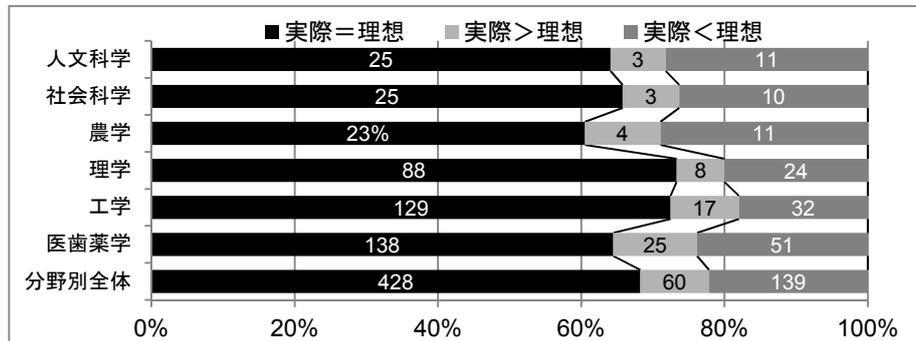


図 3-3-83. 授業実施当日の改善にかかる時間の理想との差（専門分野別）(N=747)

職階別の傾向を見てみると、まずシラバス作成時の改善にかかる時間については、工学分野では70.5%が「実際＝理想」としているのに対し、農学分野では54.1%にとどまった。また、社会科学分野では「実際＜理想」とする回答が69.2%を占めた。

学期開始当初の改善にかかる時間については、シラバス作成時の改善にかかる時間と同様の傾向があることがわかる。

授業の一週間前の改善にかかる時間については、理学分野において「実際＝理想」とする回答が73.3%を占めた。ここでも農学分野において「実際＝理想」とする回答は60.5%にとどまった。

授業数日前～前日の改善にかかる時間については、工学分野において「実際＝理想」とする回答が91.1%にのぼった。一方で理学分野では70.5%にとどまり、「実際＜理想」とする回答が20.0%にのぼった。

授業当日の改善にかかる時間については、人文科学，社会科学，農学分野において「実際＜理想」とする回答が約25～30%を占めた。

### 3-4. 入職当初の授業準備について

回答者が初めて担当した高等教育機関の授業について尋ねた。

#### (1) 回答対象とする授業のプロフィール

以降の質問では、常勤、非常勤を問わず、回答者が初めて担当した高等教育機関における授業について回答を求めた。

以下、初めて担当した授業の開講大学、開講学部・研究科、対象学生、受講生数、授業形態について示す。

#### 開講大学

初めて担当した授業の開講大学について、教員の職階別に集計した結果を表 3-4-1 に示す。回答者の 61.5%が東北大学で初めての授業を担当していた。その他の国立大学で初めての授業を担当した教員は全体の 21.4%であった。

表 3-4-1. 初めて担当した授業の開講大学（職階別）(N=1,137)

	教授		准教授		講師		助教		その他		計	
	件	%	件	%	件	%	件	%	件	%	件	%
東北大学	173	46.9	184	59.2	56	65.9	281	77.6	5	50.0	699	61.5
その他国立大学	139	37.7	64	20.6	14	16.5	22	6.1	4	40.0	243	21.4
私立大学	33	8.9	42	13.5	8	9.4	28	7.7	1	10.0	112	9.9
短期大学	13	3.5	8	2.6	1	1.2	7	1.9	0	0.0	29	2.6
高等専門学校	5	1.4	7	2.3	3	3.5	17	4.7	0	0.0	32	2.8
無回答	6	1.6	6	1.9	3	3.5	7	1.9	0	0.0	22	1.9
合計	369	100.0	311	100.0	85	100.0	362	100.0	10	100.0	1,137	100.0

#### 対象学生

初めて担当した授業の対象学生について教員の職階別に集計した結果を図 3-4-1、表 3-4-2 に、専門分野別に集計した結果を図 3-4-2、表 3-4-3 に示す。

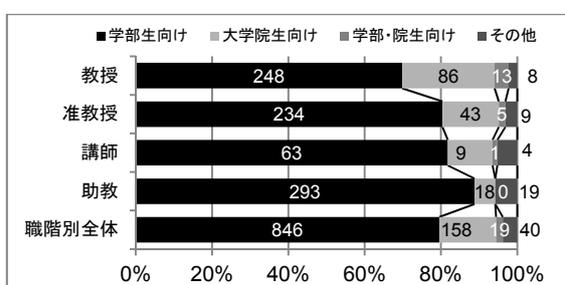


図 3-4-1. 初めて担当した授業の対象学生（職階別）(N=1,063)

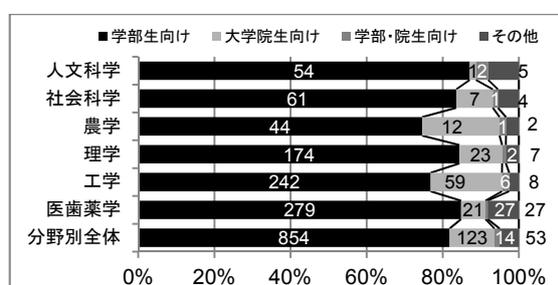


図 3-4-2. 初めて担当した授業の対象学生（専門分野別）(N=1,044)

表 3-4-2. 初めて担当した授業の対象学生（職階別）(N=1,063)

	教授		准教授		講師		助教		その他		職階別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
学部生向け	248	69.9	234	80.4	63	81.8	293	88.8	8	80.0	855	79.0
大学院生向け	86	24.2	43	14.8	9	11.7	18	5.5	2	20.0	181	16.7
学部・院生向け	13	3.7	5	1.7	1	1.3	0	0.0	0	0.0	32	3.0
その他	8	2.3	9	3.1	4	5.2	19	5.8	0	0.0	14	1.3
合計	355	100.0	291	100.0	77	100.0	330	100.0	10	100.0	1,063	100.0

表 3-4-3. 初めて担当した授業の対象学生（専門分野別）(N=1,044)

	人文科学		社会科学		農学		理学		工学		医歯薬学		分野別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
学部生向け	54	87.1	61	83.6	44	74.6	174	84.4	242	76.8	279	84.8	854	81.8
大学院生向け	1	1.6	7	9.6	12	20.3	23	11.2	59	18.7	21	6.4	123	11.8
学部・院生向け	2	3.2	1	1.4	1	1.7	2	1.0	6	1.9	2	0.6	14	1.3
その他	5	8.1	4	5.5	2	3.4	7	3.4	8	2.5	27	8.2	53	5.1
合計	62	100.0	73	100.0	59	100.0	206	100.0	315	100.0	329	100.0	1,044	100.0

### 受講生数

初めて担当した授業の受講生数について、教員の職階別に集計した結果を図 3-4-3、(資料：表 3-4-4) に、専門分野別に集計した結果を図 3-4-4、(資料：表 3-4-5) に示す。

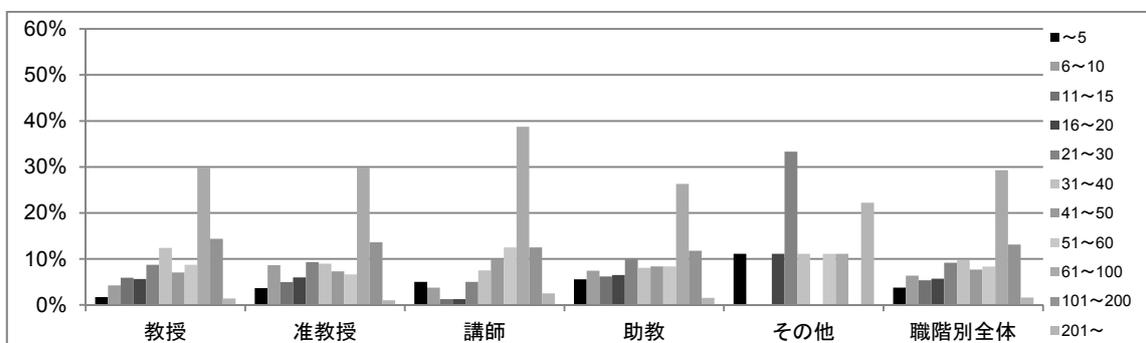


図 3-4-3. 初めて担当した授業の受講生数（職階別）(N=1,045)

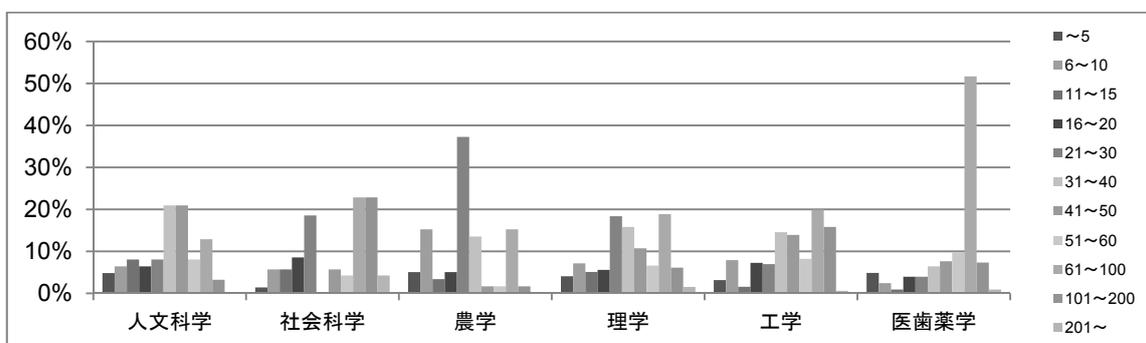


図 3-4-4. 初めて担当した授業の受講生数（専門分野別）(N=1,030)

### 授業形態

初めて担当した授業の形態について教員の職階別に集計した結果を図 3-4-5, (資料: 表 3-4-6) に, 教員の専門分野別に集計した結果を図 3-4-6, (資料: 表 3-4-7) に示す。

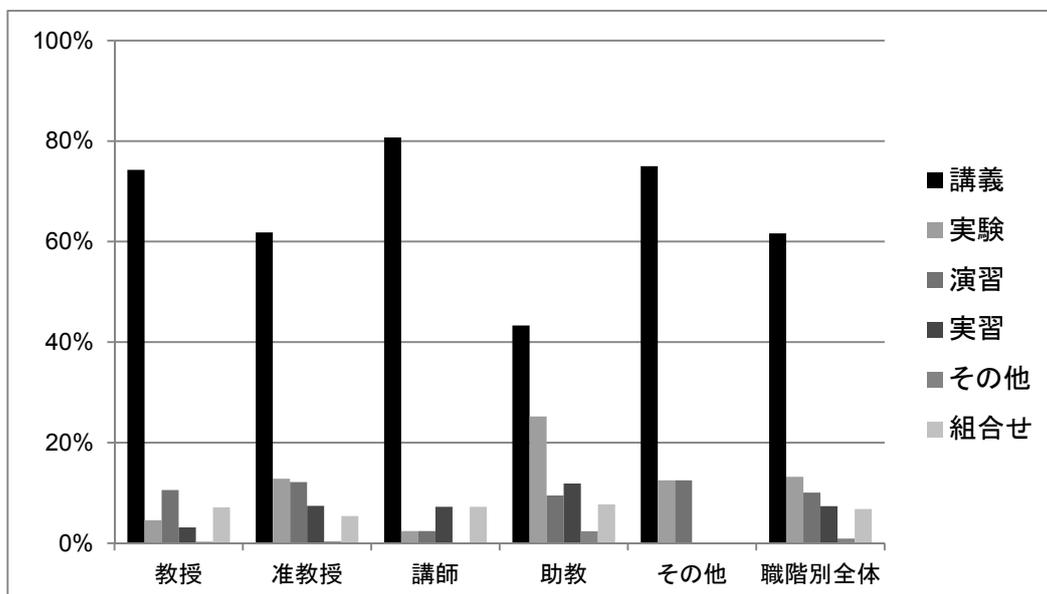


図 3-4-5. 回答対象とした授業の形態 (職階別) (N=1,074)

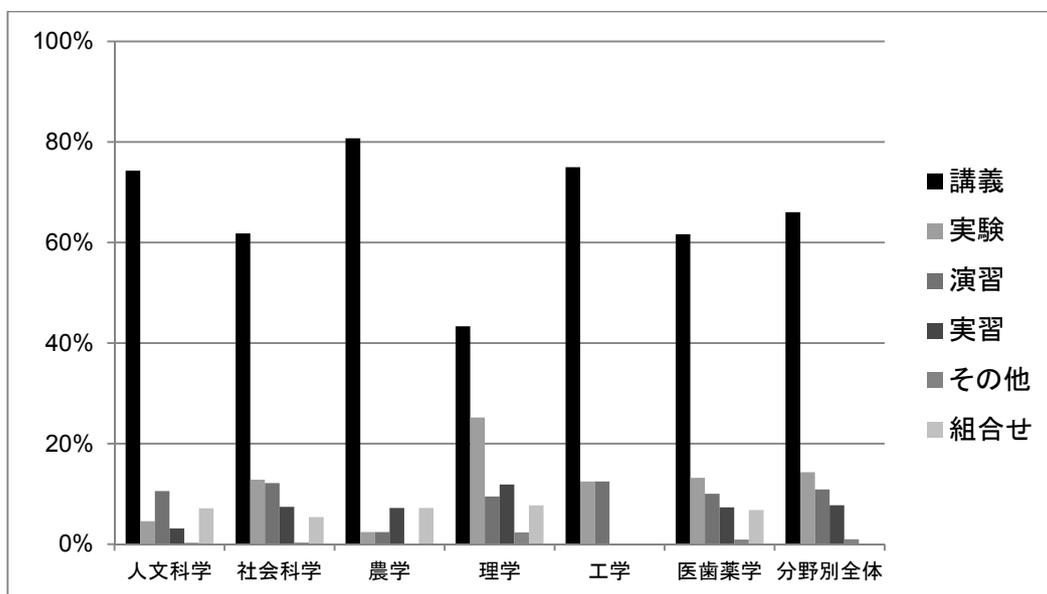


図 3-4-6. 回答対象とした授業の形態 (専門分野別) (N=992)

## (2) 開講時の支援，情報提供

初めて担当した授業を実施するにあたり，大学や所属組織からどのような支援や情報提供を受けたかについての回答結果を図 3-4-7 に示す。

「1. 科目名の通知」を書面で受けたとする回答が最も多く，全体の 68.8%であった。説明会の形式では，「4. 前任者からの引き継ぎ」を受けた回答者が全体の 14.1%であった。近年，教員向けのセミナー等でも取り組まれている「2. シラバスの書き方」については，説明会の形式で受けたと回答する教員は全体の 2.1%にとどまった。

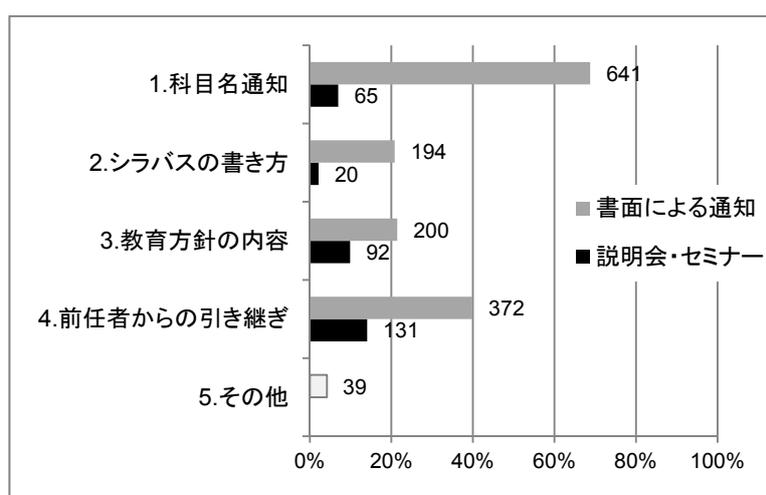


図 3-4-7. 開講時の支援，情報提供（全回答）(N=932)

続いて，大学や所属組織から受けた支援や情報提供について，職階別に集計した結果を図 3-4-8～図 3-4-11（資料：表 3-4-8）に示す。

職階別に見てみると，「1. 科目名の通知」を書面で受けたとの回答は，教授で最も割合が多く，79.1%に達した。一方で助教においては，64.4%にとどまっている。また，「4. 前任者からの引き継ぎ」と回答した者の割合は，教授，准教授と比較して，講師，助教の方が多くなっていることがわかる。特に助教では，説明会の形式で引き継ぎを受けたとの回答が 21.3%となっており，他の職階よりも対面による説明を受ける機会が比較的多いことがうかがわれる。

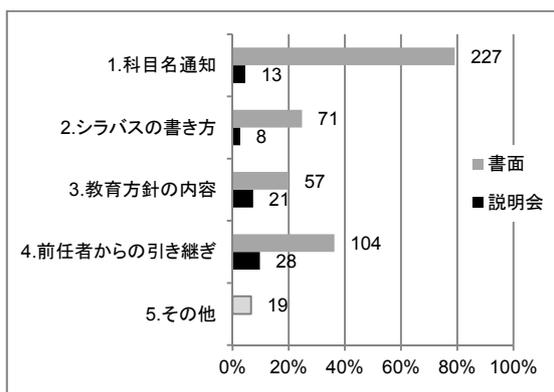


図 3-4-8. 教授・開講時支援 (N=287)

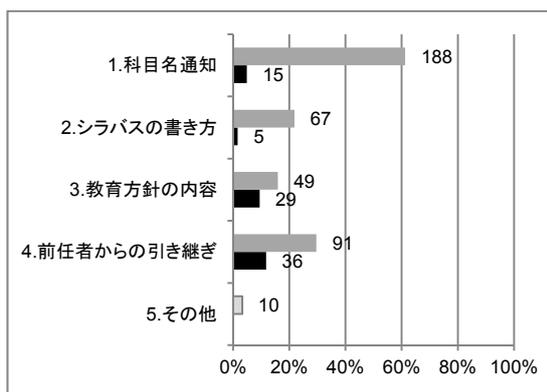


図 3-4-9. 准教授・開講時支援 (N=307)

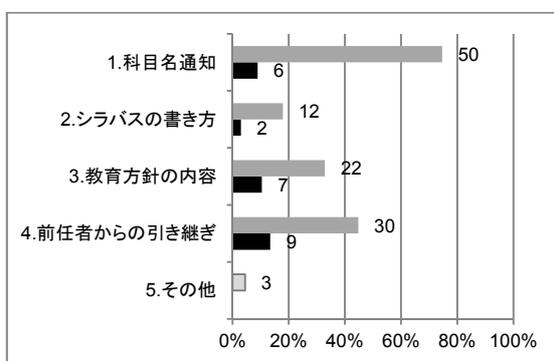


図 3-4-10. 講師・開講時支援 (N=67)

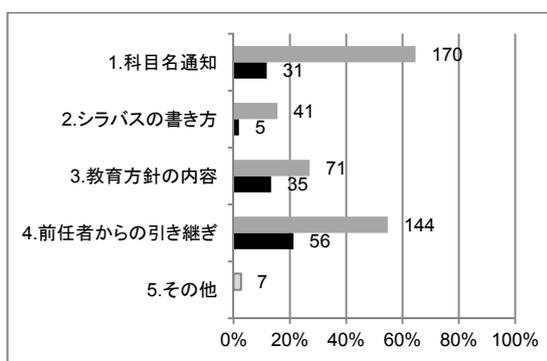


図 3-4-11. 助教・開講時支援 (N=263)

続いて、大学や所属組織から受けた支援や情報提供について、回答者の専門分野別に集計した結果を図 3-4-12～図 3-4-17 (資料：表 3-4-9) に示す。

分野別に見てみると、人文科学，社会科学分野では、「4. 前任者からの引き継ぎ」を説明会・セミナーの形式で受けたとする回答は 10%以下にとどまっているのに対し，農学，理学，工学分野では 16%～20%程度に達していた。特に，農学，医歯薬学分野においては、「4. 前任者からの引き継ぎ」を書面で受けたとする回答が 50%を超えていた。一方，社会科学分野では，全ての項目にわたり，説明会やセミナーの形式で情報提供を受けたとする回答が少ないことがわかる。

- 
1. 科目名通知
  2. シラバスの書き方
  3. 教育方針の内容
  4. 前任者からの引き継ぎ
- 

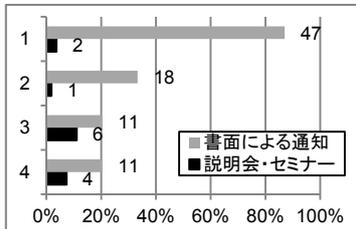


図 3-4-12. 人文科学 (N=54)

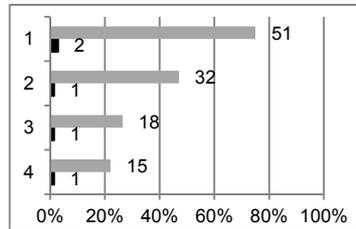


図 3-4-13. 社会科学 (N=68)

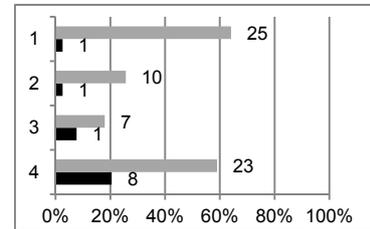


図 3-4-14. 農学 (N=39)

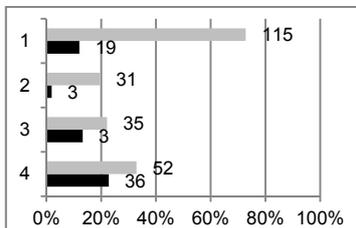


図 3-4-15. 理学 (N=158)

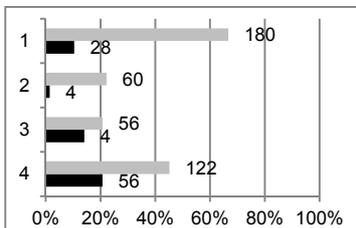


図 3-4-16. 工学 (N=270)

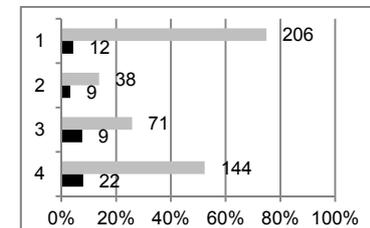


図 3-4-17. 医歯薬学 (N=275)

また、「5. その他」と回答した者の自由記述による回答内容は以下のとおりである。

- 一般的ガイダンス (教授)
- オムニバス方式 (教授)
- 講義内容は自由に決めて良かった (教授)
- 専攻主任からの直接指導 (教授)
- 講義まとめ役からの開講指導 (教授)
- 教授の指示 (教授) 2 件
- 口頭による説明のみ (教授, 准教授) 2 件
- 過去に例のない講義だったので自力で対応 (教授)
- 並列開講であるので他クラス担当教員から情報を頂いた (教授)
- 前任者の死亡による (教授)
- 事前講習会 (教授)
- 教科書執筆 (教授)
- 外国人向け講習 (2 単位) 外国人は必修 (教授)
- 役割分担の説明 (准教授)
- 前任者からの紹介による担当引き受けで前任者から個人的に話を聞いた (准教授)
- 授業自体が新科目であり、立ちあげを行った (准教授)
- 担当者による打合せ (准教授, 講師) 3 件
- 授業評価とフィードバック (准教授)
- 君に全部任せると学科長が一言 (准教授)
- 前任者からの引きつぎ口頭と一部資料 (准教授)
- 前任者・教務担当教員との相談 (口頭) (助教)

- 個人的に他の担当者と相談（助教）
- 実習を担当する中で同僚による指導を受けた（助教）
- ごく簡単な 10 秒程度の説明、口頭（助教）
- メールによる通知のみ（助教）2 件
- 会議での授業方針確認（その年から開講した、全教員担当の授業だったため）（助教）
- 特になし・上司の指示（助教）
- 1 つの授業を 3 人分けたので作っていない（助教）
- よくわかりません（教授）
- 支援など全くありませんでした（教授，准教授）6 件
- 口頭で科目名を伝えられた（教授，准教授）3 件
- 当時はシラバスは存在しなかった（教授）
- 記憶があいまいなのですが、非常勤講師の発令はあったと思います。ドイツ語のテキストを使用することが決まっていたようです。その他の情報はいっさいなし！（助教）

(3) 授業設計，実施時の相談相手

初めて担当した授業を設計，実施する際に誰かに相談したり，意見を求めたりしたかについての回答結果を図 3-4-18 に示す。

最も回答が多かったのは「3. 先輩教員に相談する」で，回答者の 52.8%を占めていた。続いて「1. 誰にも相談しなかった」が 30.8%，「2. 同僚」が 26.1%であった。

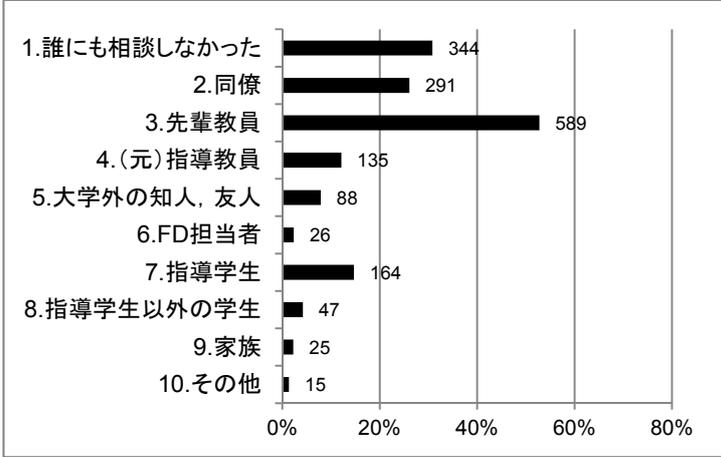


図 3-4-18. 授業設計，実施時に相談した相手（全回答）(N=1,116)

続いて，回答対象とする授業を設計，実施する際に誰かに相談したり，意見を求めたりしたかについての回答結果を職階別に集計した結果を図 3-4-19(資料:表 3-4-10)に示す。

職階別の傾向を見てみると，「1. 誰にも相談しなかった」とする回答は教授においてその割合が最も高く，62.5%であった。一方で，他の職階では「1. 誰にも相談しなかった」とする回答は 20%以下となっているため，約 8 割の教員は誰かに相談したと推察できる。また，助教は「3. 先輩教員」に相談したとする回答が他の職階と比較して多く，74.1%であ

った。加えて、教授は「7. 指導学生」に相談したとする回答が 28.7%と他の職階と比較して多い一方で、「2. 同僚」に相談したとする回答は他の職階より大幅に少なく、3.6%であった。

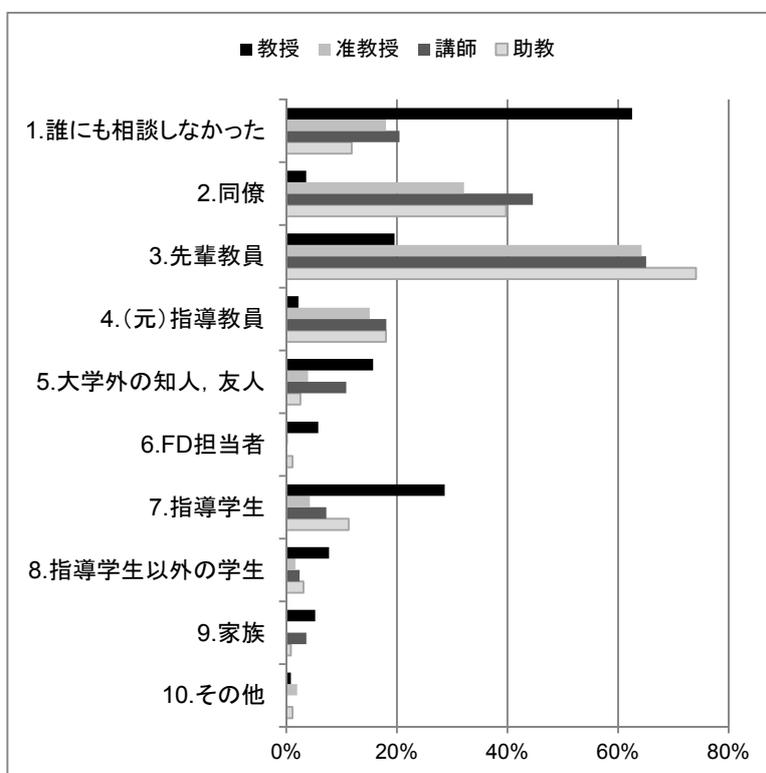


図 3-4-19. 授業設計，実施時に相談した相手（職階別）(N=1,106)

続いて、回答対象とする授業を設計，実施する際に誰かに相談したり，意見を求めたりしたかについて，回答者の専門分野別に集計した結果を図 3-4-20～図 3-4-25(資料:表 3-4-11)に示す。

分野別に見てみると、「1. 誰にも相談しなかった」とする回答者の割合は，理系分野に比べて，文系分野でより多いことがわかる。また，「3. 先輩教員」に相談したとする回答者は，社会科学においては比較的少ない一方，理系分野では 6 割以上に達している。

- 
1. 誰にも相談しなかった
  2. 同僚
  3. 先輩教員
  4. (元) 指導教員
  5. 大学外の知人, 友人
  6. FD 担当者
  7. 指導学生
  8. 指導学生以外の学生
  9. 家族
  10. その他
- 

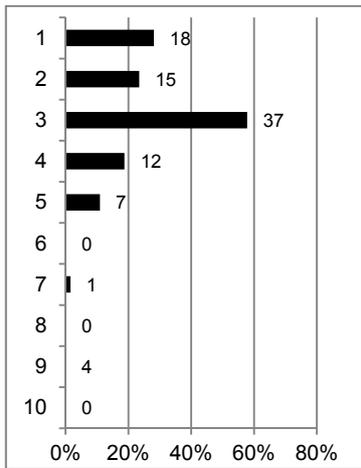


図 3-4-20. 人文科学 (N=64)

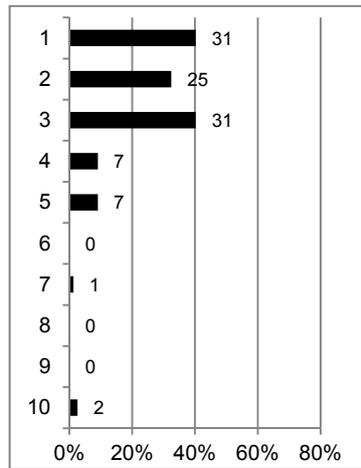


図 3-4-21. 社会科学 (N=77)

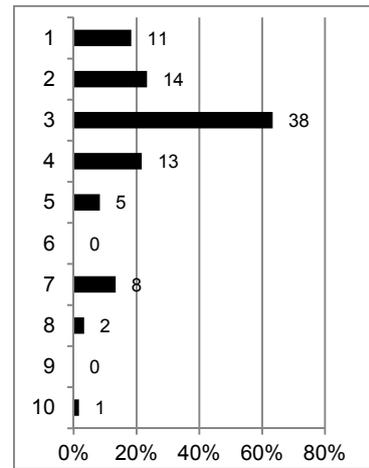


図 3-4-22. 農学 (N=60)

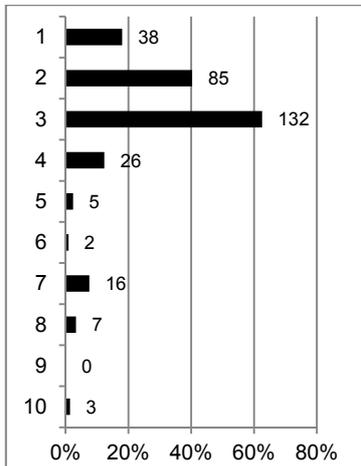


図 3-4-23. 理学 (N=211)

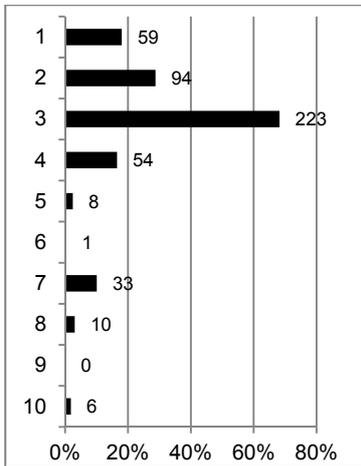


図 3-4-24. 工学 (N=327)

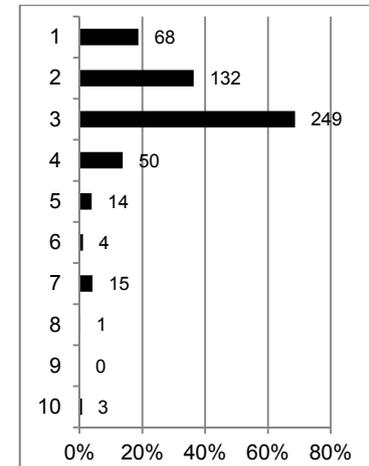


図 3-4-25. 医歯薬学 (N=363)

また、「10. その他」と回答した者の自由記述による回答内容は以下のとおりである。

- 前任者（5件）
- 合議
- 担当教員で打ち合わせを行った。
- 共同担当者
- 院生だったので、研究室の先輩に相談しました
- 上司の教員
- 教授
- 学科内の説明会
- 自分の受けた演習
- 当時の分野教授にアドバイスを求めましたが、自分で考えるようにと言われ、まったく対応していただけなかったことをよく記憶しています。

(4) 授業を設計する際に参考にしたもの

初めて担当した授業の設計時に参考にしたものについての回答結果を図 3-4-26 に示す。

最も多かったのは、「2. 自分で選定したテキスト, 参考文献」で、続いて「9. 前任者の授業やシラバス, 授業資料」となった。これを 3-2-(4)の現在担当している授業を設計する際に参考にしたものと比較すると、「1. 学科・研究科等に指定されたテキスト」を参考にした割合が 18.5%から 36.4%に増えている。また、「4. 学部時代に受けた授業」についても、20.1%から 34.2%と増えている。

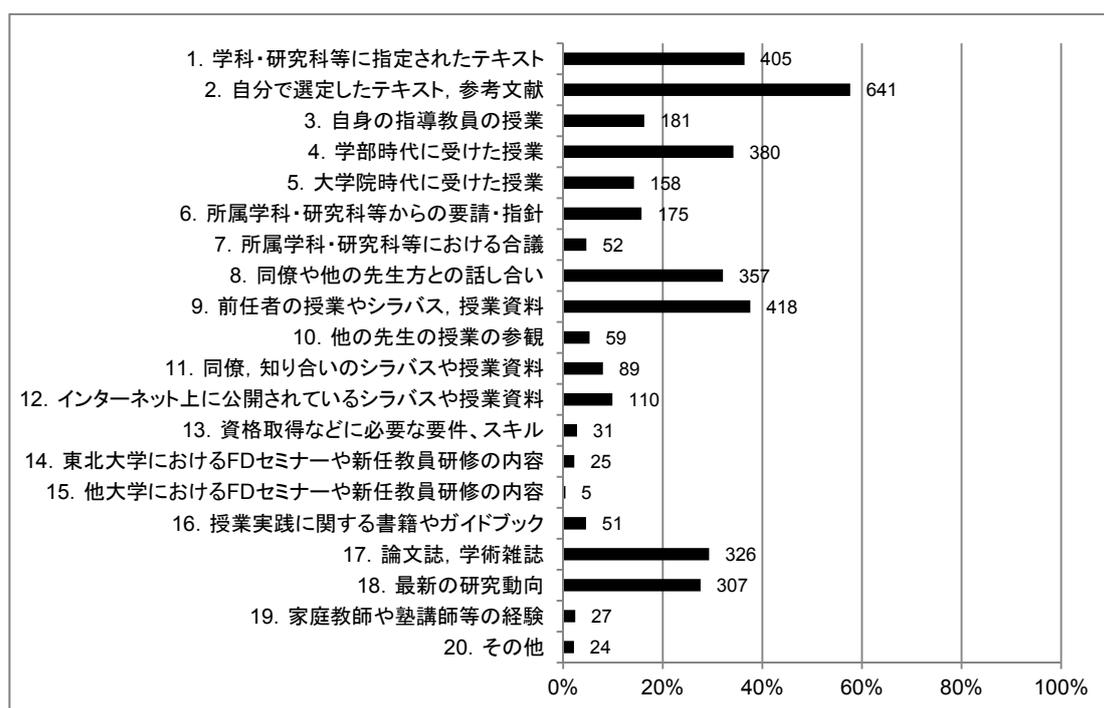


図 3-4-26. 授業を設計する際に参考にしたもの (全回答) (N=1,115)

続いて、回答対象とする授業を設計する際に参考にしたものについての回答結果を職階別に集計した結果を図 3-4-27 (資料: 表 3-4-12) に示す。

職階別の結果からは、特に講師の回答が特徴的であり、多くの項目において、他の職階よりも参考にしたと回答している割合が高いことがうかがわれる。特に、「3. 自身の指導教員の授業」「4. 学部時代に受けた授業」「6. 所属学科・研究科からの要請・指針」「11. 同僚, 知り合いのシラバスや授業資料」「12. インターネット上に公開されているシラバスや授業資料」「14. 東北大学におけるFDセミナーや新任教員研修の内容」「16. 授業実践に関する書籍やガイドブック」「17. 論文誌, 学術雑誌」「18. 最新の研究動向」の項目において、講師が参考にしたと回答した割合が、比較的高いことがうかがわれる。

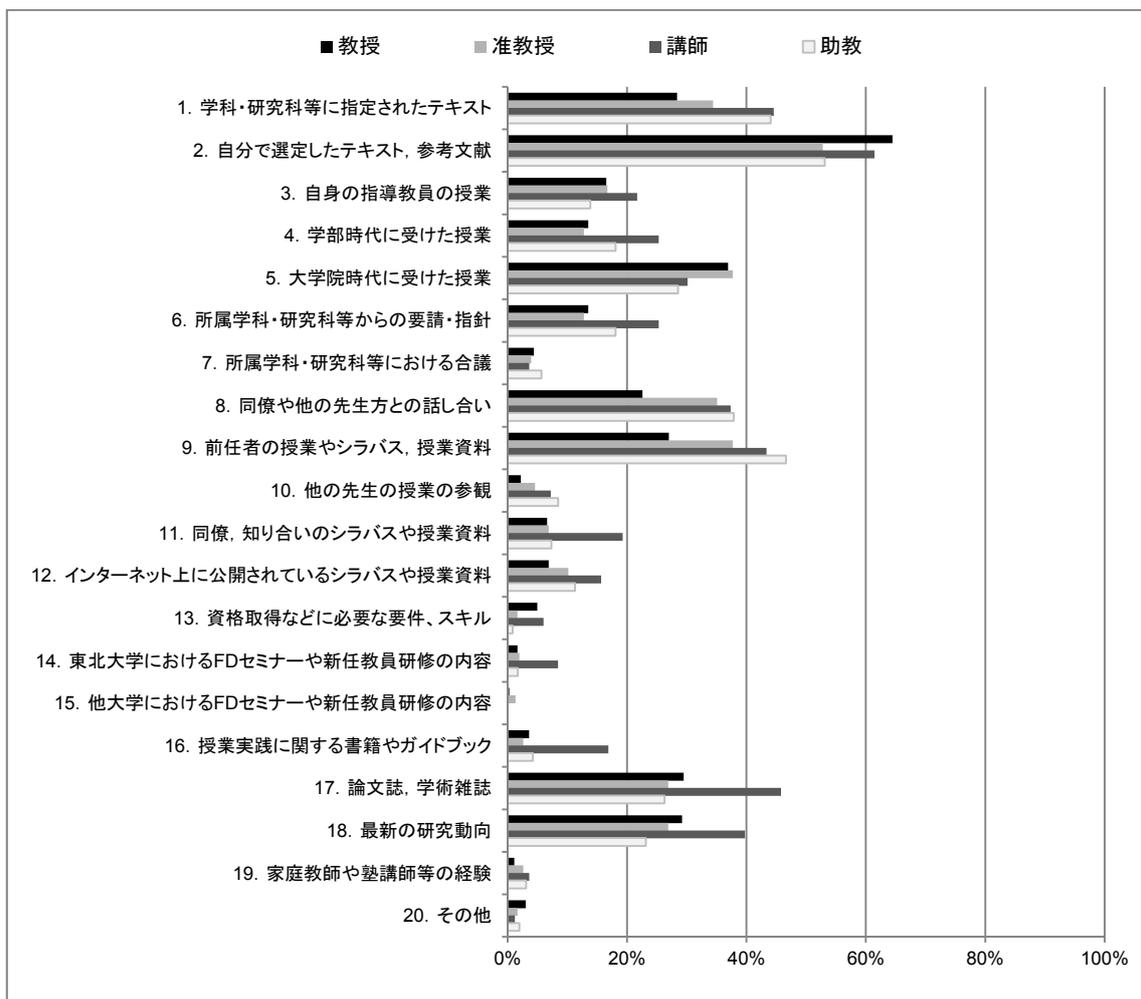


図 3-4-27. 授業を設計する際に参考にしたもの（職階別）(N=1,105)

続いて、回答対象とする授業を設計する際に参考にしたものについて、回答者の専門分野別に集計した結果を図 3-4-28～図 3-4-33（資料：表 3-4-13）に示す。

3-2-(4)で報告した、現在担当している授業を設計する際に参考にしたものでは、人文科学、社会科学分野のそれぞれにおいて「1. 学科・研究科等に指定されたテキスト、授業資料」を参考にしたとする回答は0件であったのに対し、入職当初の授業では、それぞれ 17.2%、6.5%が参考にしたと回答していた。他の分野においても、参考にしたとする回答の割合は、現在の担当授業と比較して、入職当初の授業においての方が高くなっている。

- |                      |                               |
|----------------------|-------------------------------|
| 1. 学科・研究科等に指定されたテキスト | 11. 同僚、知り合いのシラバスや授業資料         |
| 2. 自分で選定したテキスト, 参考文献 | 12. インターネット上に公開されているシラバスや授業資料 |
| 3. 自身の指導教員の授業        | 13. 資格取得などに必要な要件、スキル          |
| 4. 学部時代に受けた授業        | 14. 東北大学におけるFDセミナーや新任教員研修の内容  |
| 5. 大学院時代に受けた授業       | 15. 他大学におけるFDセミナーや新任教員研修の内容   |
| 6. 所属学科・研究科等からの要請・指針 | 16. 授業実践に関する書籍やガイドブック         |
| 7. 所属学科・研究科等における合議   | 17. 論文誌, 学術雑誌                 |
| 8. 同僚や他の先生方との話し合い    | 18. 最新の研究動向                   |
| 9. 前任者の授業やシラバス, 授業資料 | 19. 家庭教師や塾講師等の経験              |
| 10. 他の先生の授業の参観       | 20. その他                       |

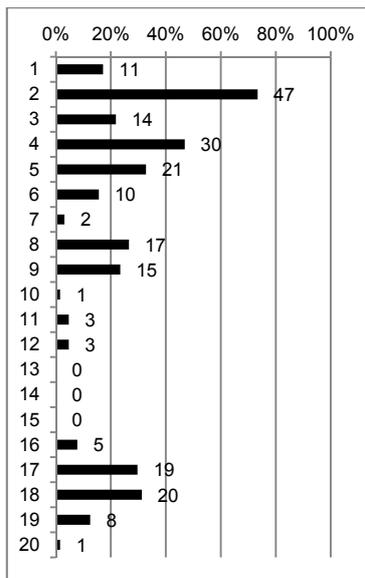


図 3-4-28. 人文科学 (N=64)

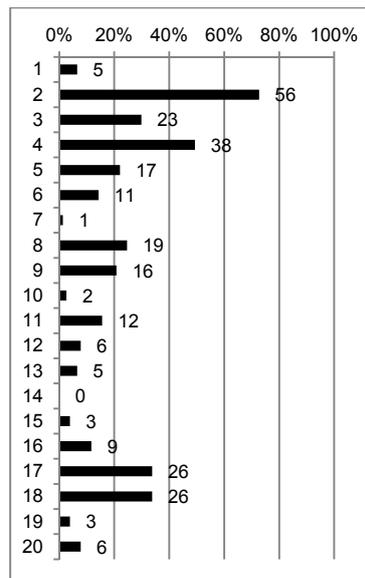


図 3-4-29. 社会科学 (N=77)

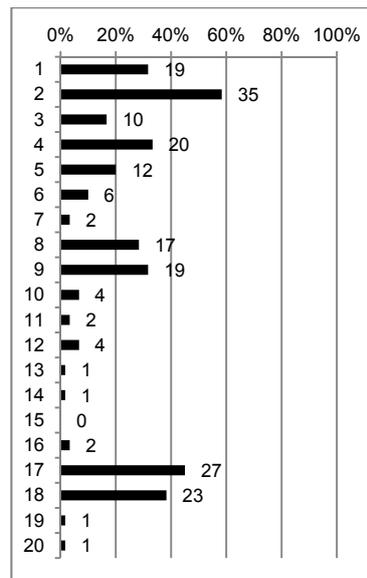


図 3-4-30. 農学 (N=60)

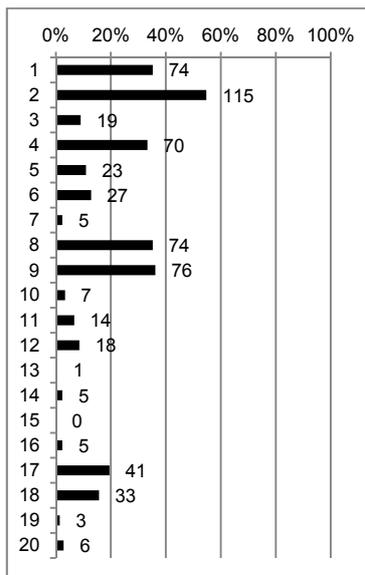


図 3-4-31. 理学 (N=210)

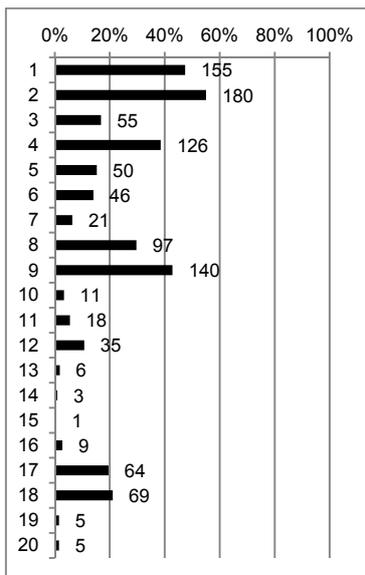


図 3-4-32. 工学 (N=327)

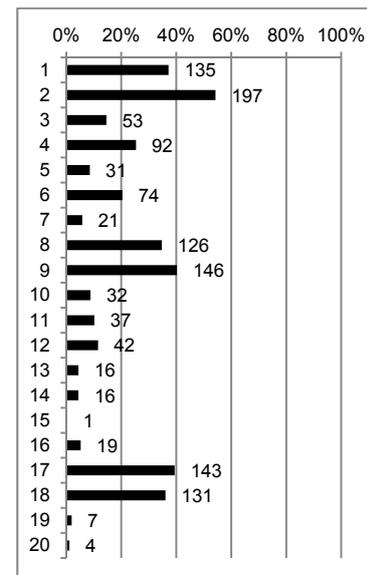


図 3-4-33. 医歯薬学 (N=363)

また、「20. その他」と回答した者の自由記述による回答内容は以下のとおりである。

- 保育学の専門書籍
- 高校理科の参考書
- 自らの研究（4件）
- 自分の経験、研究
- 自身の実務体験  
臨床経験
- 研究所での研究の過程で蓄積した知識
- 心理職時代の資料、用具
- 自分で作成したプリント、PPT
- 資格試験の過去問
- 歯科医師国家試験過去問
- 主任教授からの授業内容に関する指導
- 対応する授業の内容の確認（演習の目的が、対応する科目の理解を深めることなので）
- 以前に化学 A を受講した学生
- TA などの経験
- 米国の大学での滞在経験
- 特になし

(5) 授業の設計，日々の準備の活動内容

回答対象の授業の設計，日々の準備においてどのような活動をどの程度実施したかについて，回答結果を図 3-4-34 に示す。

全体的な傾向は，3-2-(5)に示した，現在担当している授業の設計，日々の準備の活動内容と同様であるといえる。「9. ISTU や DCW 等による授業資料や教材の配信」，「10. 学生のミニットペーパーや課題の確認」については，「当時そのようなものはなかった」とする回答がみられた。

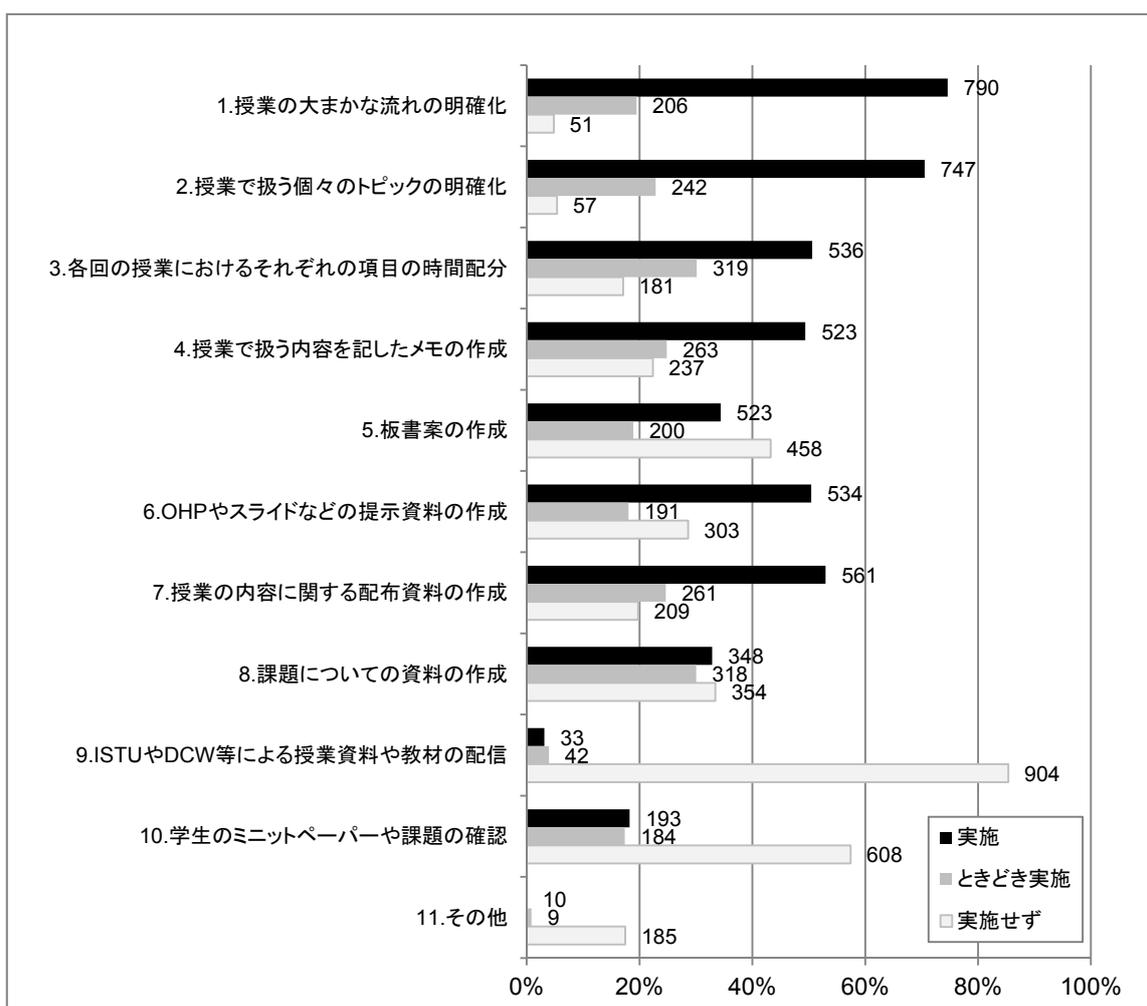


図 3-4-34. 授業の設計，日々の準備の活動内容 (N=1,059)

続いて，回答対象とする授業の設計，日々の準備において，どのような活動をどの程度実施したかについて，回答者の職階別に集計した結果を図 3-4-35～図 3-4-38 (資料：表 3-4-14) に示す。

職階によって大きな違いは見られないが，「6. OHP やスライドなどの提示資料の作成」

を実施すると回答した割合は他の職階では 50%程度であったのに対し、講師においてはその割合が 74.7%にのぼった。

これらの特徴の違いについては、回答者が入職した当時の状況や授業形態、どれくらい以前のことであるのかなどを含めて分析する必要があるといえる。

- 
1. 授業の大まかな流れの明確化
  2. 授業で扱う個々のトピックの明確化
  3. 各回の授業におけるそれぞれの項目の時間配分
  4. 授業で扱う内容を記したメモの作成
  5. 板書案の作成
  6. OHP やスライドなどの提示資料の作成
  7. 授業の内容に関する配布資料の作成
  8. 課題についての資料の作成
  9. ISTU や DCW 等による授業資料や教材の配信
  10. 学生のミニットペーパーや課題の確認
  11. その他
- 

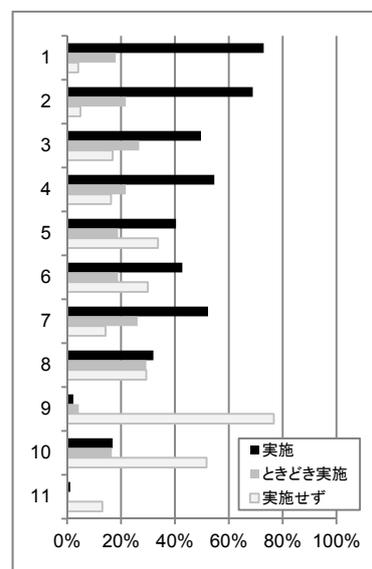


図 3-4-35. 教授 (N=345)

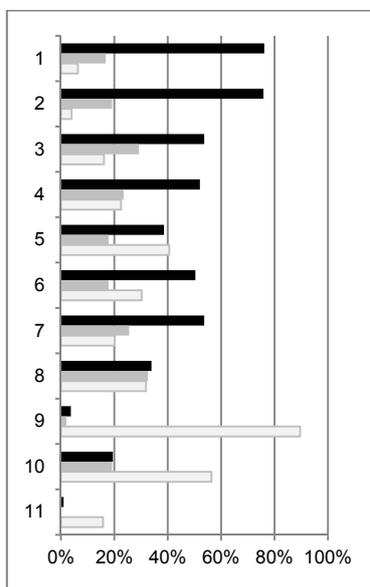


図 3-4-36. 准教授 (N=298)

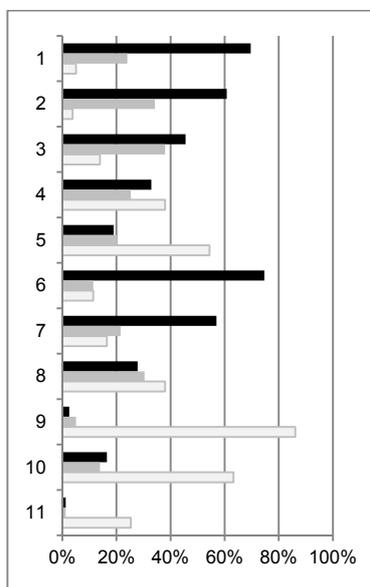


図 3-4-37. 講師 (N=79)

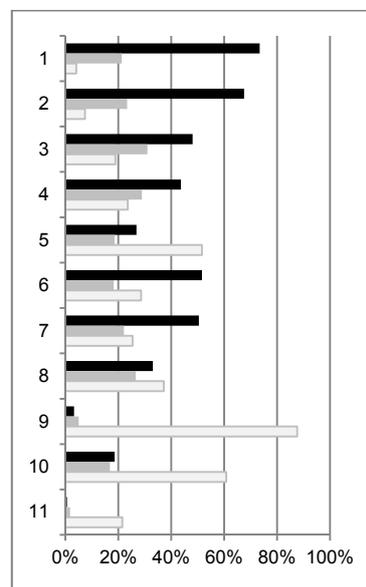


図 3-4-38. 助教 (N=339)

続いて、回答対象とする授業の設計、日々の準備において、どのような活動をどの程度実施したかについて、回答者の専門分野別に集計した結果を図 3-4-39～図 3-4-44（資料：表 3-4-15）

に示す。

現在の担当授業の準備と同様に、医歯薬学分野では「6. OHP やスライドなどの提示資料の作成」がより一般的に取り組まれている傾向は、入職当初の授業準備でも同様であることがわかる。

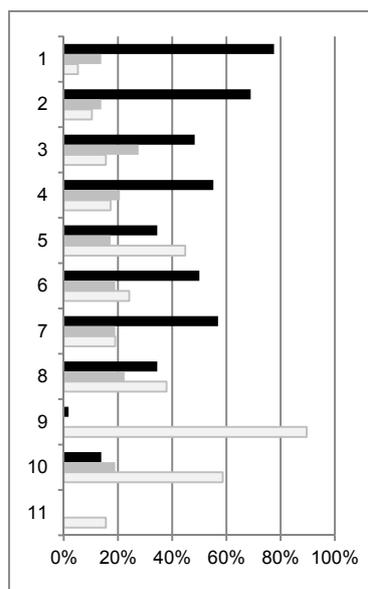
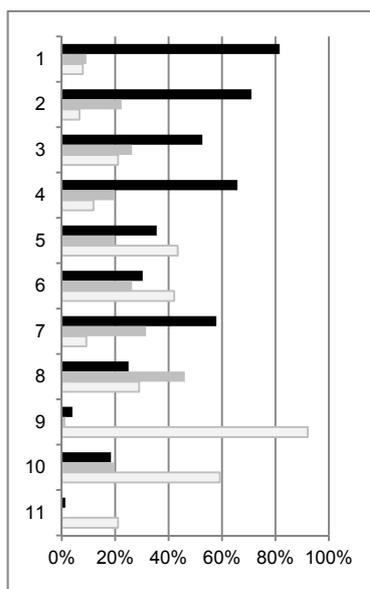
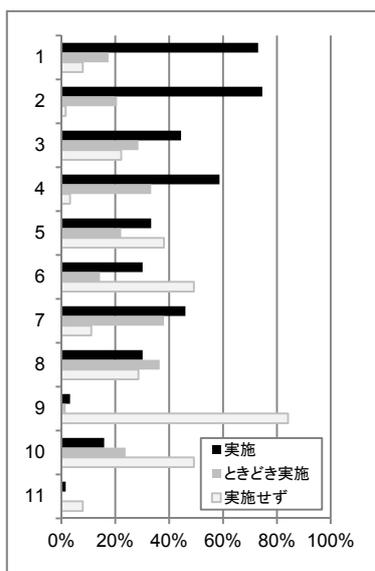


図 3-4-39. 人文科学 (N=63)

図 3-4-40. 社会科学 (N=76)

図 3-4-41. 農学 (N=58)

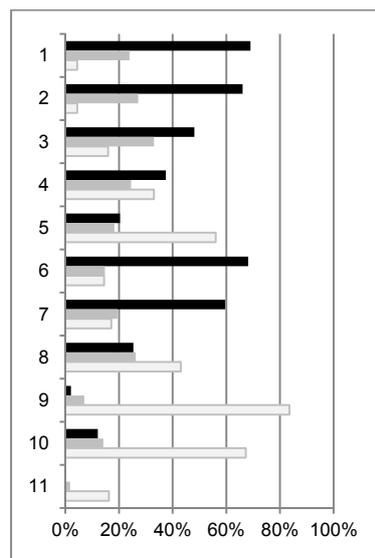
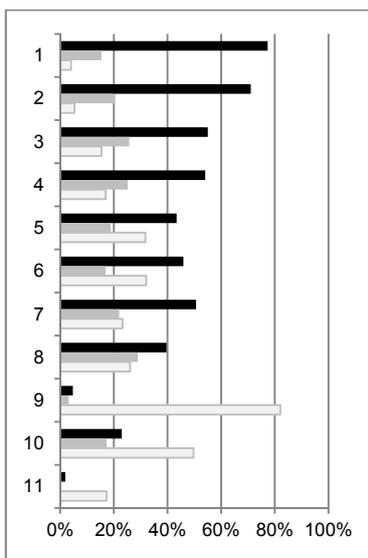
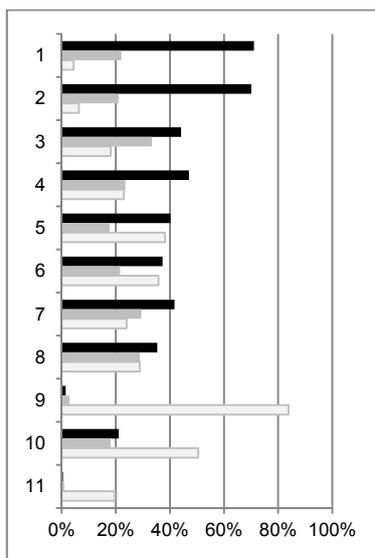


図 3-4-42. 理学 (N=204)

図 3-4-43. 工学 (N=318)

図 3-4-44. 医歯薬学 (N=339)

また、「11. その他」と回答した者の自由記述による回答内容は以下のとおりである。

- 受講生の反応
- レポート課題
- 宿題と略解の配布
- 課題演習の難易度と理解度の客観的評価（同僚、指導教員と討論）
- 自分のホームページに教材の配信
- 学生に課す課題の確認
- 音読を確認
- 担当学生との話し合い
- TAからのフィードバック
- 予備実験

その他欄外に寄せられたコメントには以下の記述があった。

- 4.5. 基本的に Power Point のスライドによる授業
- 製図なので該当せず
- 25年前なので記憶がありません
- 1991年当時はこうした概念がなかった
- 忘れた？
- 覚えていない
- 古い話なので忘れまして。
- 9.10 当時存在せず。よく考えて設問を作って下さい。
- 9.10 当時はありませんでした
- 忙しくてそれどころではなかった。一度に新6科目やれますか？

(6) 授業の準備にかけた時間

回答対象とした授業の準備（授業内容の決定，設計，資料等の準備等）について，どの時点でそれぞれの程度の時間をかけて実施したかの回答結果を回答者の職階および専門分野別に集計し，実施のタイミング別に下記に示す。

まず，全回答の集計結果を実施のタイミング別に図 3-4-45～図 3-4-49 に示す。

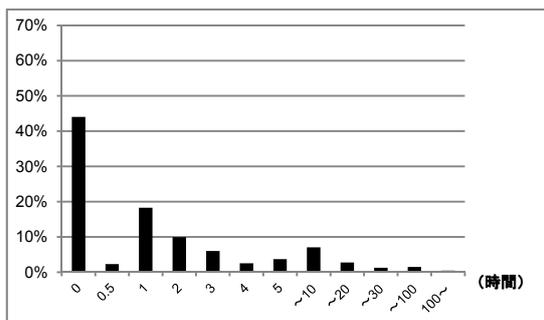


図 3-4-45. シラバス作成時準備時間 (N=863)

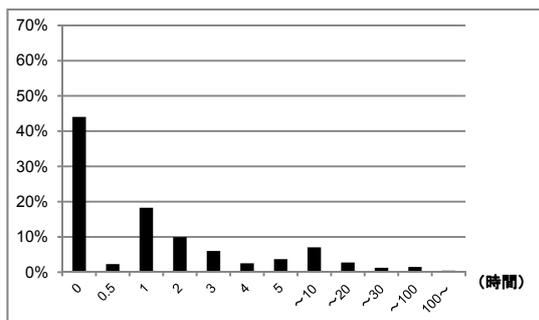


図 3-4-46. 学期開始当初準備時間 (N=863)

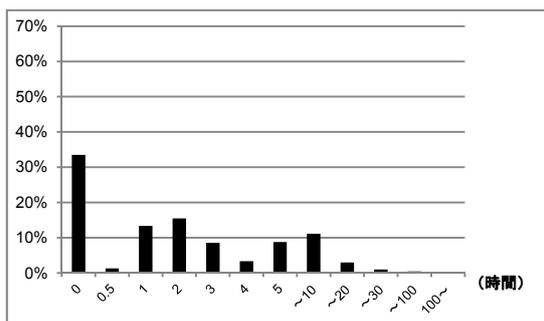


図 3-4-47. 一週間前準備時間 (N=898)

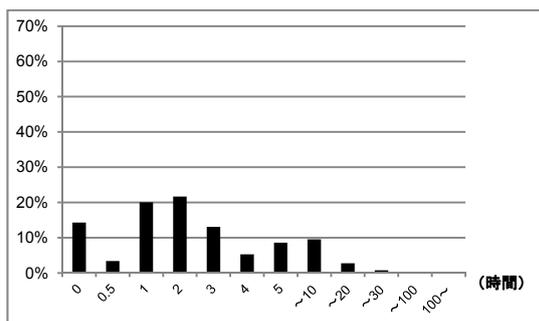


図 3-4-48. 数日前～前日準備時間 (N=899)

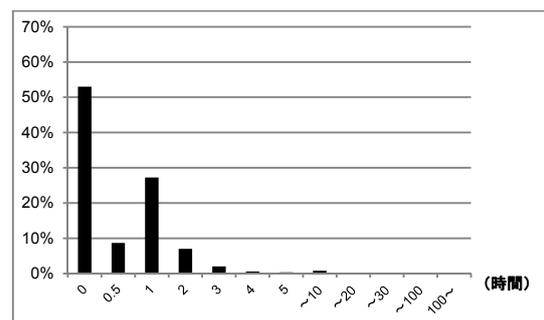


図 3-4-49. 当日準備時間 (N=749)

所要時間については 0 時間，0.5 時間，1 時間，2 時間，3 時間，4 時間，5 時間，6～10 時間，11～20 時間，21～30 時間，31～100 時間，101 時間以上の区切りで集計を行った

### シラバス作成時

シラバス作成時の授業準備にかけた時間について、職階別集計結果を図 3-4-50～図 3-4-53（資料：表 3-4-16）に示す。

どの職階においても「0 時間」と回答した割合が最も多かったが、特に講師では 50.0%、助教では 60.3%に達していた。それに対して、教授では「0 時間」とする回答は 32.2%、准教授では 37.8%にとどまり、半数以上の教員がシラバス作成時の時点で、何らかの授業の準備に取り組んだことがうかがわれる。

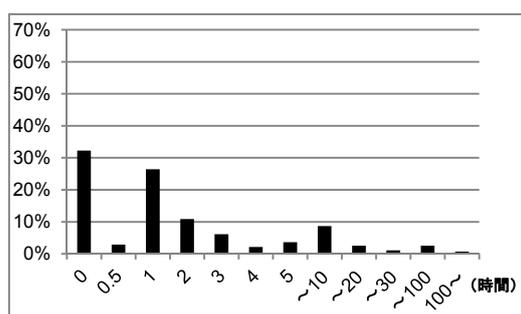


図 3-4-50. 教授・シラバス作成時 (N=276)

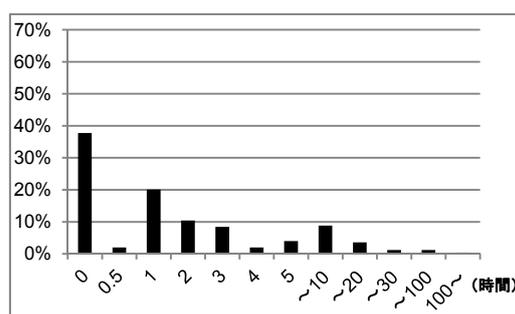


図 3-4-51. 准教授・シラバス作成時 (N=249)

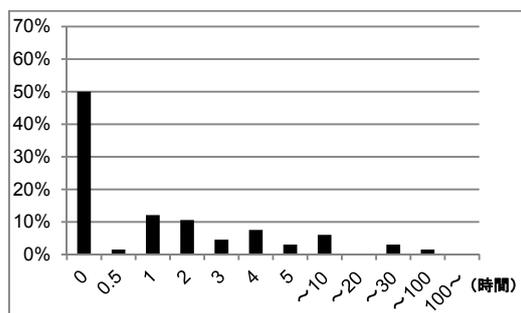


図 3-4-52. 講師・シラバス作成時 (N=66)

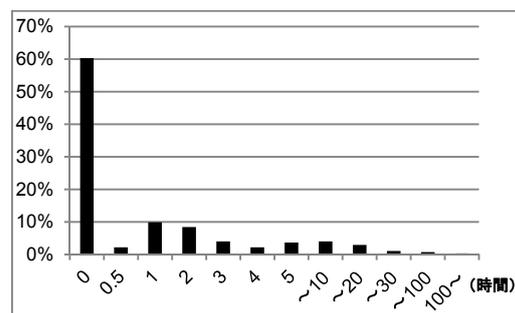


図 3-4-53. 助教・シラバス作成時 (N=272)

また、回答者の専門分野別に集計した結果を図 3-4-54～図 3-4-59（資料：表 3-4-17）に示す。

医歯薬学分野では、56.1%がシラバス作成時の準備にかけた時間は「0 時間」であったと回答していた。一方で、社会科学分野では、「0 時間」とする回答が 14.3%にとどまった。

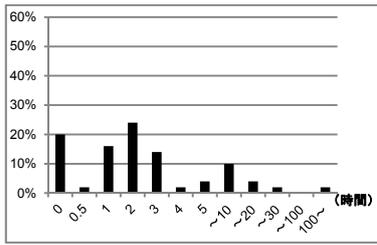


図 3-4-54. 人文科学 (N=50)

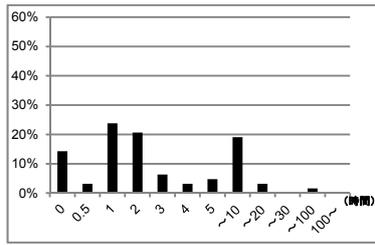


図 3-4-55. 社会科学 (N=63)

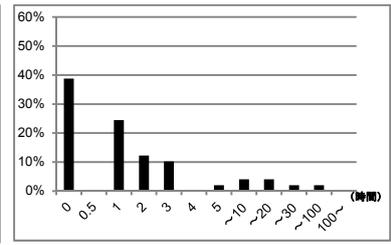


図 3-4-56. 農学 (N=49)

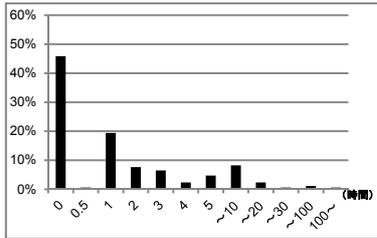


図 3-4-57. 理学 (N=170)

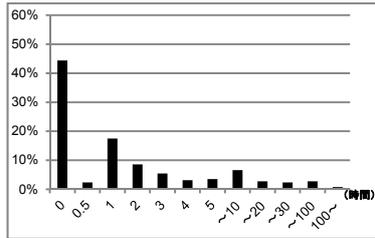


図 3-4-58. 工学 (N=257)

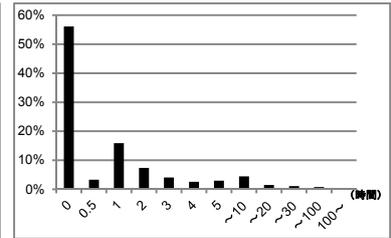


図 3-4-59. 医歯薬学 (N=271)

### 学期開始当初

続いて、学期開始当初の授業準備にかけた時間について、職階別の集計結果を図 3-4-60 ~ 図 3-4-63 (資料：表 3-4-18) に示す。

教授では、学期開始当初にかけた授業準備の時間を「0 時間」とする回答は 26.7%であったが、講師では 45.6%であった。

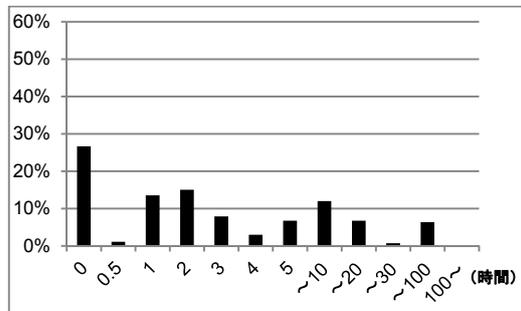


図 3-4-60. 教授・学期開始当初 (N=266)

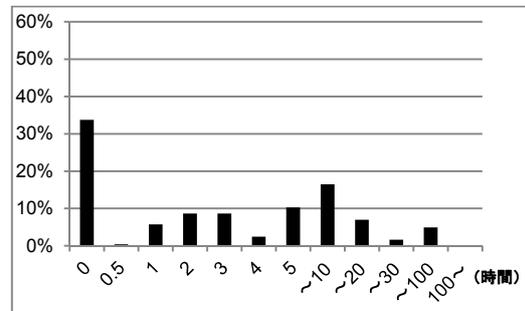


図 3-4-61. 准教授・学期開始当初 (N=243)

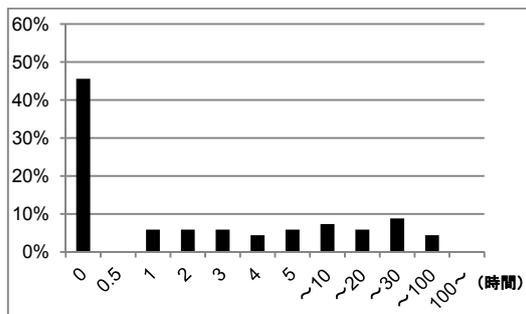


図 3-4-62. 講師・学期開始当初 (N=68)

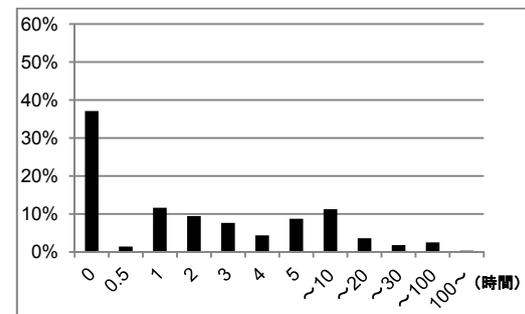


図 3-4-63. 助教・学期開始当初 (N=275)

また、回答者の専門分野別に集計した結果を図 3-4-64～図 3-4-69（資料：表 3-4-19）に示す。

医歯薬学分野では、57.0%が学期開始当初のシラバス作成時の準備にかけた時間は「0時間」であったと回答していた。

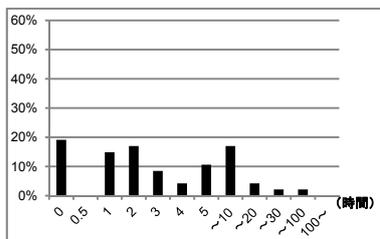


図 3-4-64. 人文科学 (N=47)

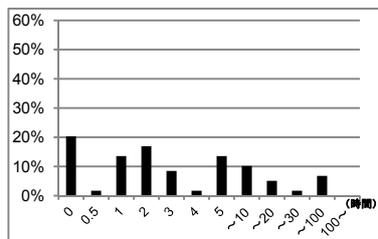


図 3-4-65. 社会科学 (N=59)

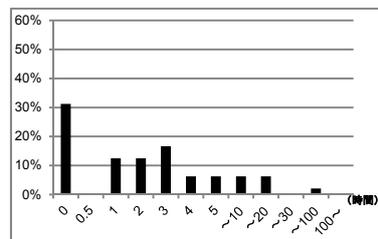


図 3-4-66. 農学 (N=48)

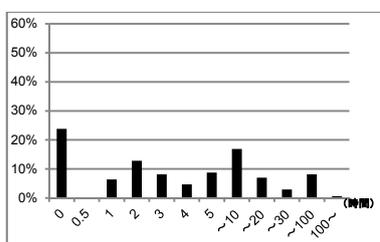


図 3-4-67. 理学 (N=172)

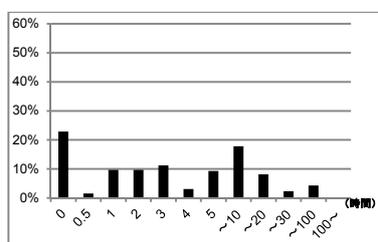


図 3-4-68. 工学 (N=258)

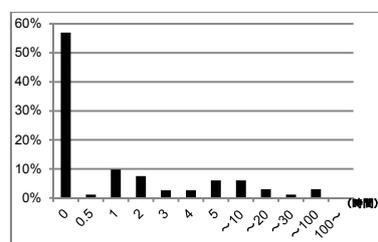


図 3-4-69. 医歯薬学 (N=265)

### 毎回の授業の一週間前

続いて、授業の実施一週間前の準備にかけた時間について、職階別の集計結果を図 3-4-70～図 3-4-73（資料：表 3-4-20）に示す。

ここでは、「0時間」とする回答が教授で 38.9%に達したのに対し、講師では 16.2%にとどまった。教授は毎回の授業の一週間前よりも学期開始当初に時間を割く割合が多く、一方で講師は、学期開始当初よりも、毎回の授業の一週間前に授業準備を実施する時間が長いことが推察される。

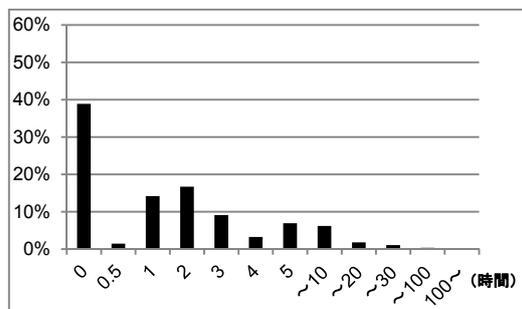


図 3-4-70. 教授・一週間前 (N=275)

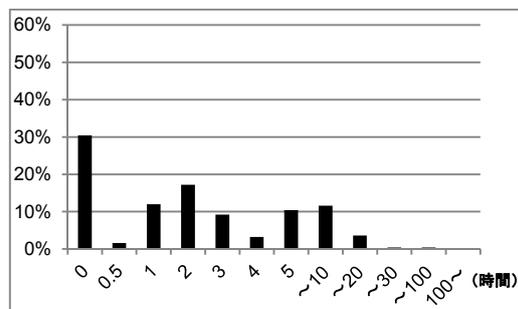


図 3-4-71. 准教授・一週間前 (N=250)

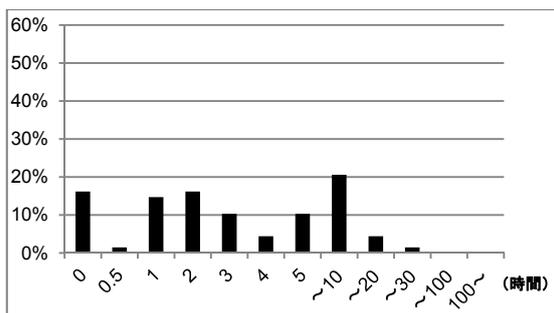


図 3-6-72. 講師・一週間前 (N=68)

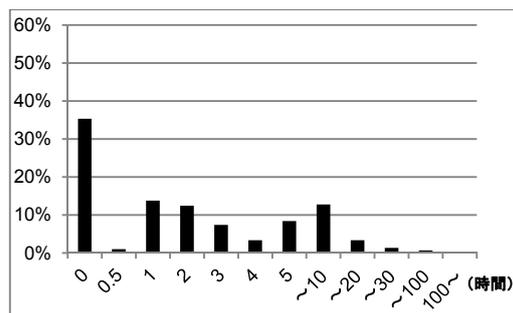


図 3-4-73. 助教・一週間前 (N=297)

また、回答者の専門分野別に集計した結果を図 3-4-74～図 3-4-79 (資料：表 3-4-21) に示す。

ここではこれまで「0 時間」とする回答が比較的多かった医歯薬学分野においても、その割合が 33.4%にとどまっている。

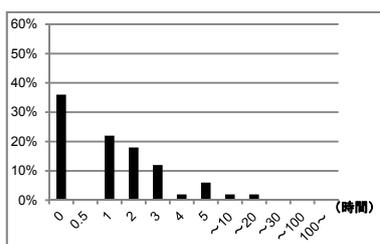


図 3-4-74. 人文科学 (N=50)

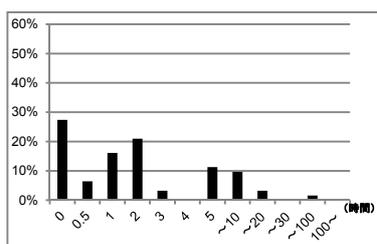


図 3-4-75. 社会科学 (N=62)

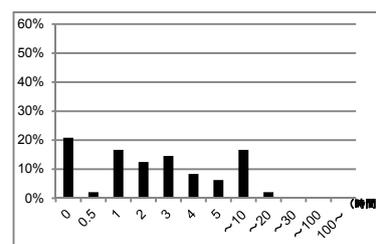


図 3-4-76. 農学 (N=48)

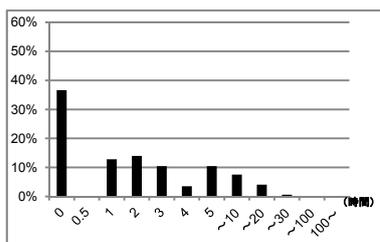


図 3-4-77. 理学 (N=172)

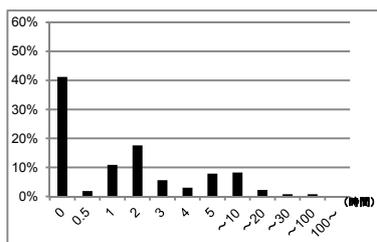


図 3-4-78. 工学 (N=267)

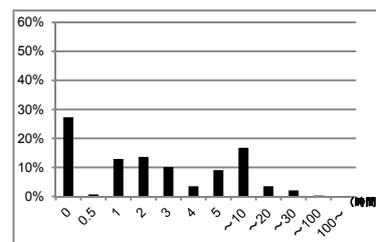


図 3-4-79. 医歯薬学 (N=286)

毎回の授業の数日前～前日

続いて、毎回の授業の数日前～前日の時点での準備にかけた時間について、職階別の集計結果を図 3-4-80～3-4-83 (資料：表 3-4-22) に示す。

ここでも「0 時間」とする回答の割合は減少し、教授では 8.2%、助教では 22.9%となっている。

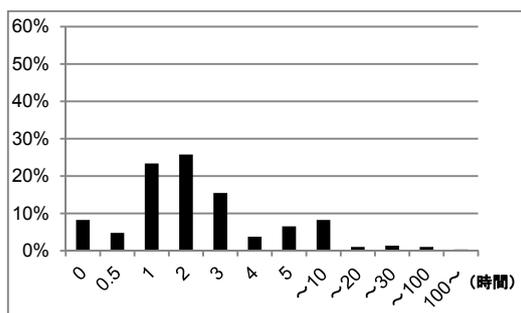


図 3-4-80. 教授・授業前日 (N=291)

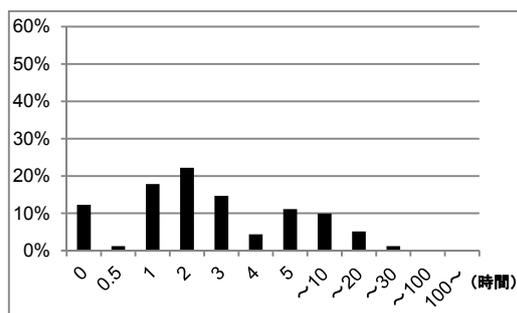


図 3-4-81. 准教授・授業前日 (N=252)

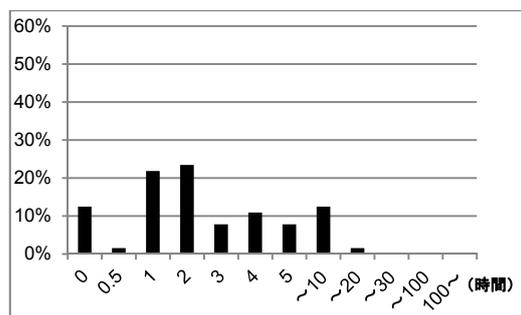


図 3-4-82. 講師・授業前日 (N=64)

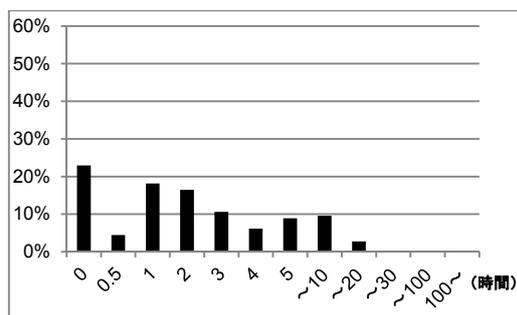


図 3-4-83. 助教・授業前日 (N=292)

また、回答者の専門分野別に集計した結果を図 3-4-84～図 3-4-90 (資料：表 3-4-23) に示す。

人文科学分野では、「0 時間」とする回答は 3.8%にとどまり、それ以外の教員は数日前～前日の時点で授業準備に取り組んでいることがわかる。

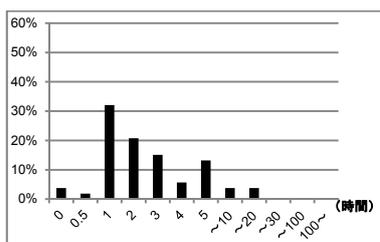


図 3-4-84. 人文科学 (N=53)

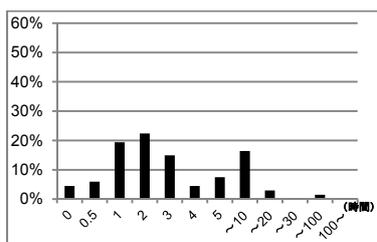


図 3-4-85. 社会科学 (N=67)

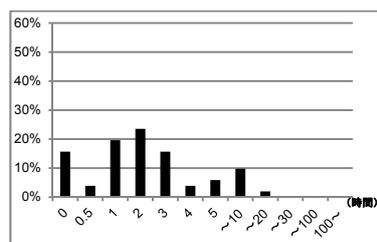


図 3-4-86. 農学 (N=51)

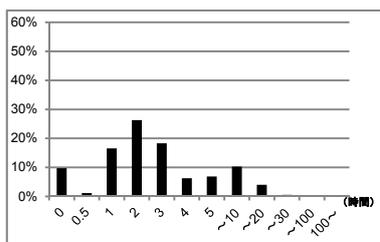


図 3-4-87. 理学 (N=175)

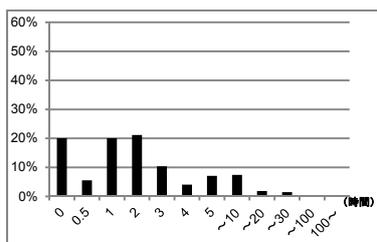


図 3-4-88. 工学 (N=269)

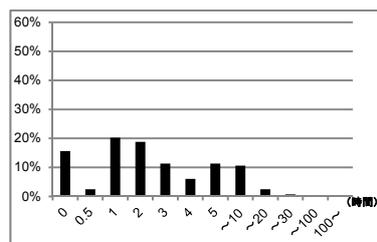


図 3-4-89. 医歯薬学 (N=282)

## 授業実施当日

授業実施当日の準備にかかる時間について、職階別の集計結果を図 3-4-90～3-4-93（資料：表 3-4-24）に示す。

どの職階においても、当日の時点では再度「0 時間」とする回答の割合が多くなっており 50%前後かそれ以上となっている。

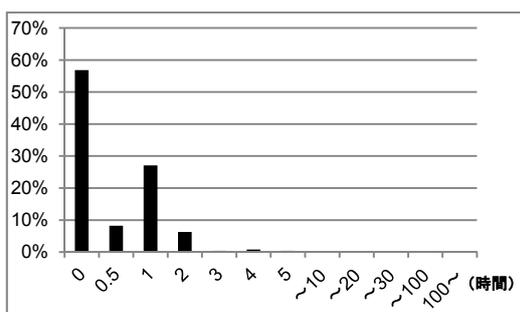


図 3-4-90. 教授・授業実施当日 (N=255)

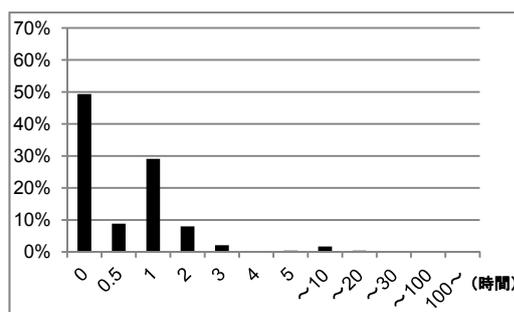


図 3-4-91. 准教授・授業実施当日 (N=237)

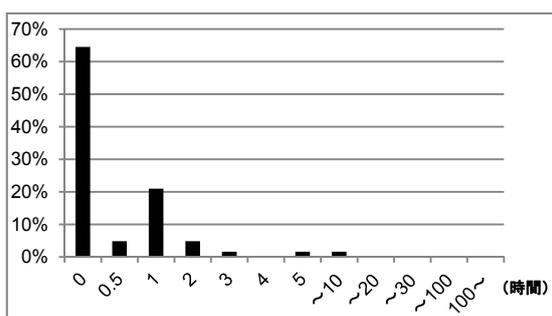


図 3-4-92. 講師・授業実施当日 (N=62)

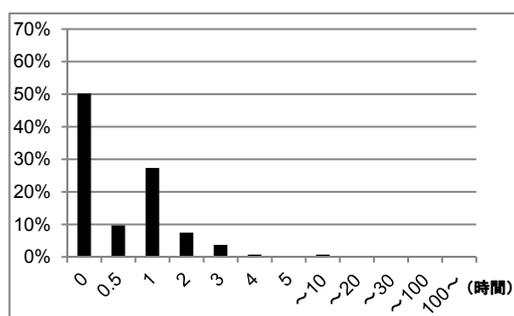


図 3-4-93. 助教・授業実施当日 (N=267)

また、回答者の専門分野別に集計した結果を図 3-4-94～図 3-4-99（資料：表 3-4-25）に示す。

人文科学分野においては、「0 時間」とする割合が 34.8%にとどまっており、52.2%の教員が当日にも「1 時間」程度の時間をかけて、何らかの授業準備に取り組んでいることがわかる。一方で、工学と医歯薬学分野では「0 時間」とする回答が 50%を超えており、当日までに授業準備は終わっている様子がうかがわれる。

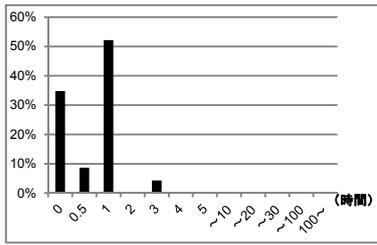


図 3-4-94. 人文科学 (N=46)

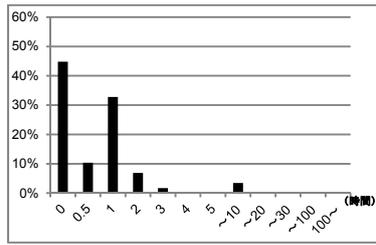


図 3-4-95. 社会科学 (N=58)

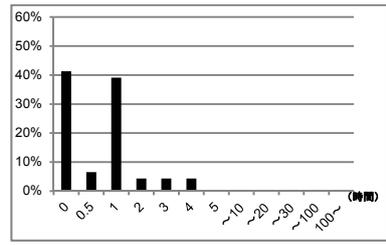


図 3-4-96. 農学 (N=46)

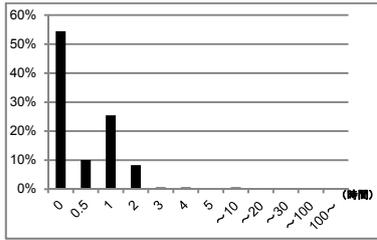


図 3-4-97. 理学 (N=169)

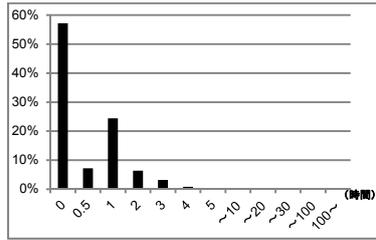


図 3-4-98. 工学 (N=247)

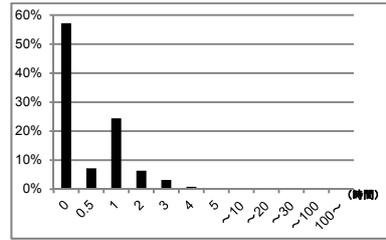


図 3-4-99. 医歯薬学 (N=250)

### 3-5. 利用してみたい支援について

今後回答者が授業の設計，準備に当たり，利用してみたいと思う支援についての全回答結果を図 3-5-1 に示す。

「13. 特にない」という回答結果が 22.8%であったが，「11. 他の先生の授業映像を視聴できる機会」が 23.0%，「4. 授業資料の電子化」が 22.5%，「1. 大学，部局等の主催の授業実践に関する説明会」が 21.4%となった。

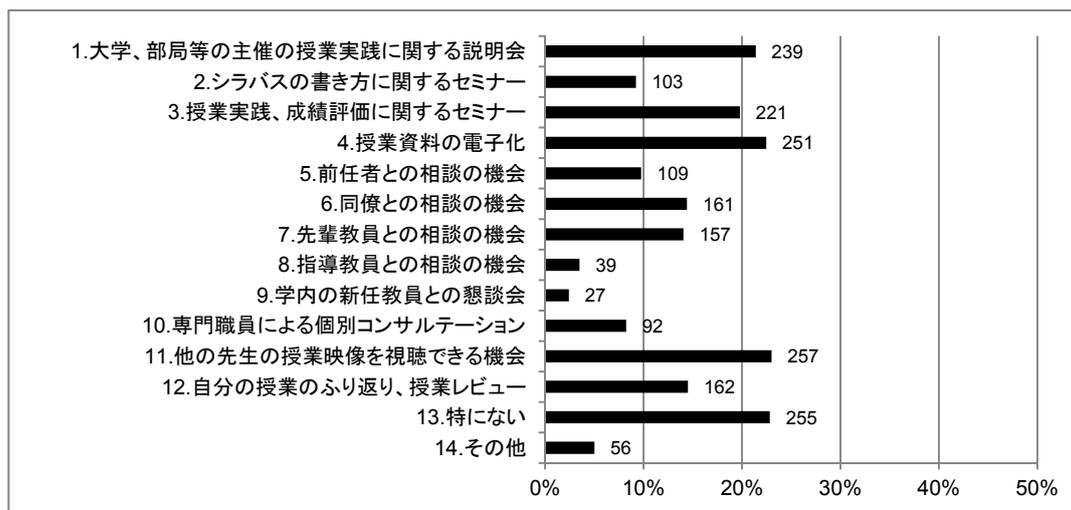


図 3-5-1. 利用してみたい支援（回答者全体）(N=1,012)

続いて、利用してみたい支援について、職階別に集計した結果を図 3-5-2(資料:表 3-5-1)に示す。

職階別に見てみると、教授では「13. 特にない」が 31.7%にのぼったが、一方で「14. その他」として具体的な支援の案を記述した回答が 7.8%あった。また、教授では「1. 大学，部局等の主催の授業実践に関する説明会」の利用を希望する割合は 15.3%にとどまったが，その他の職階では，25.0%～30.8%が利用を希望していることがわかる。加えて，「2. シラバスの書き方に関するセミナー」については，講師の利用希望が多く，26.9%にのぼった。「3. 授業実践，成績評価に関するセミナー」についても，講師の 34.6%が利用を希望していた。「5. 前任者との相談の機会」「6. 同僚との相談の機会」「7. 先輩教員との相談の機会」については助教からの利用希望が 20%程度ずつあることがわかった。「11. 他の先生の授業映像を視聴できる機会」については，教授，准教授ではそれぞれ 22.2%，20.8%であったが，講師，助教では 29.5%，30.7%にのぼった。

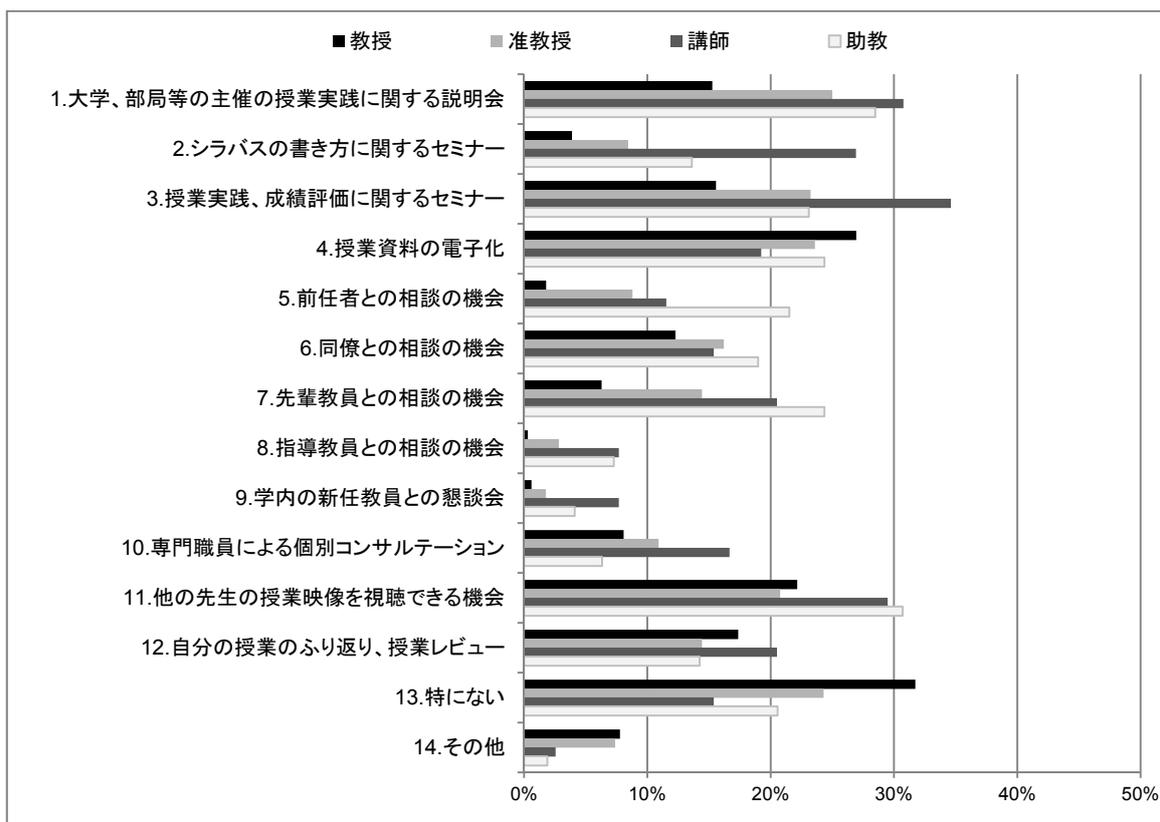


図 3-5-2. 利用してみたい支援（職階別）(N=1,012)

続いて、利用してみたい支援について、回答者の専門分野別に集計した結果を図 3-5-3～図 3-5-8（資料：表 3-5-2）に示す。

農学分野では「1. 大学、部局等の主催の授業実践に関する説明会」を利用してみたいとの回答が 38.6%であった。また、人文科学分野の 32.2%，農学分野の 31.6%，医歯薬学分野の 30.7%が「11. 他の先生の授業映像を視聴できる機会」を利用してみたいと回答していた。社会科学分野の 24.7%が「12. 自分の授業のふりかえり、授業レビュー」を利用したいと回答していた。

- |                          |                        |
|--------------------------|------------------------|
| 1. 大学、部局等の主催の授業実践に関する説明会 | 8. 指導教員との相談の機会         |
| 2. シラバスの書き方に関するセミナー      | 9. 学内の新任教員との懇談会        |
| 3. 授業実践、成績評価に関するセミナー     | 10. 専門職員による個別コンサルテーション |
| 4. 授業資料の電子化              | 11. 他の先生の授業映像を視聴できる機会  |
| 5. 前任者との相談の機会            | 12. 自分の授業の振り返り、授業レビュー  |
| 6. 同僚との相談の機会             | 13. 特にない               |
| 7. 先輩教員との相談の機会           | 14. その他                |

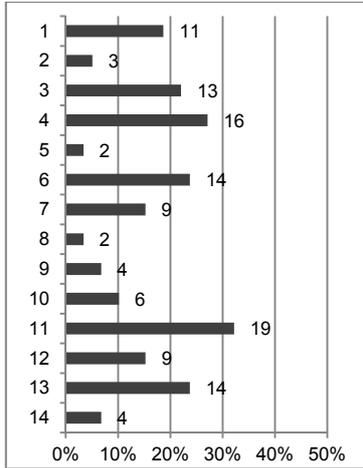


図 3-5-3. 人文科学 (N=59)

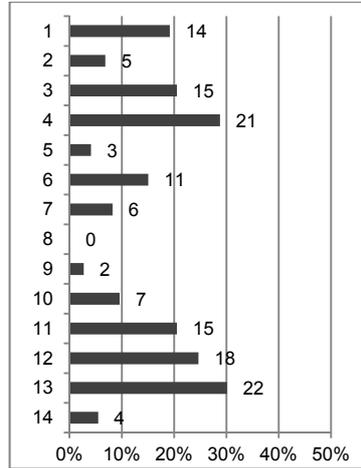


図 3-5-4. 社会科学 (N=73)

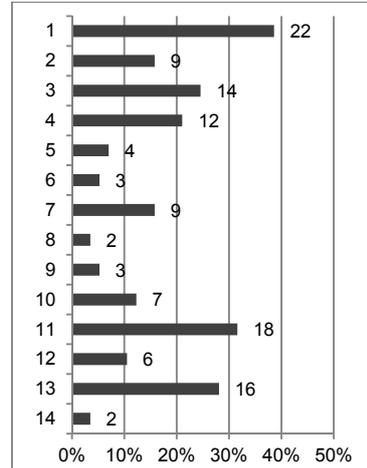


図 3-5-5. 農学 (N=57)

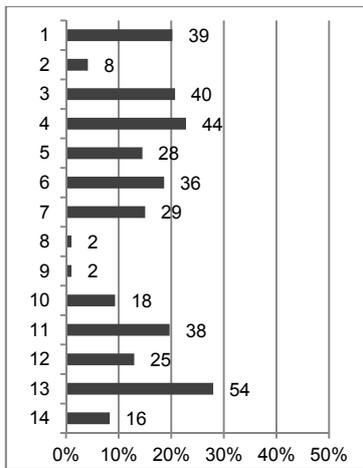


図 3-5-6. 理学 (N=215)

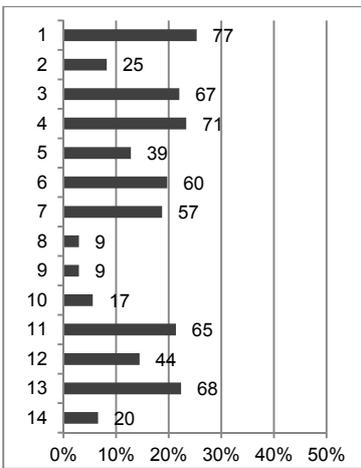


図 3-5-7. 工学 (N=304)

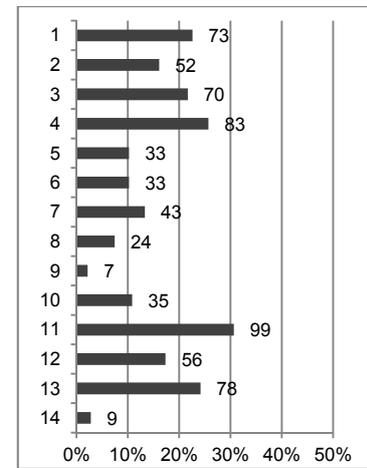


図 3-5-8. 医歯薬学 (N=372)

また、「その他」を選択しての自由記述による回答には以下のものがあった。

【相談の機会】

- ・ 担当学部教員との相談
- ・ 他大学の教員との意見交換
- ・ 関係する他の科目等の教員との相談の機会
- ・ 関連する他講義をなさる先生方と内容についてすり合わせ
- ・ すでに学科教員同士で反省会を毎年実施していて、大変役に立っている

【講義見学，資料の共有】

- ・ 学外の内容の講義に興味がある

- ・ 数学リメディアル講義の見学
- ・ 海外での授業の実際について知る
- ・ 他大学のカリキュラム、講義ビデオ
- ・ 海外（米国）の講義の情報
- ・ 他大学の類似実習内容の調査の機会
- ・ 他大学での同様の講義科目資料
- ・ 見学
- ・ 他の教員の web に公開している授業の資料
- ・ 大学に限らず評価の高い授業を実践されている先生に話を聞きたいと思います
- ・ 工夫した体験を集めた資料の回覧

【授業方法】

- ・ 授業のし方に関する専門書
- ・ 授業方法に関する本
- ・ 講義設計について

【評価関連】

- ・ 学生の評価書（アンケート集計等）
- ・ 学生による授業評価、自由記述項目
- ・ 卒業生の評価
- ・ 学生からの評価（個人に対して）

【TA】

- ・ 採点等をしてくれる TA
- ・ TA をつけてほしい 宿題等の添削など

【学生との懇談】

- ・ 学生と雑談する機会
- ・ 学生とのディスカッション
- ・ 学生との懇談

【カリキュラム，位置づけ等】

- ・ 担当する授業がその研究科でのカリキュラム作成時とどの様な位置づけ、あるいは、どこまで要求しているかの詳細が知りたい。
- ・ カリキュラム全体に占める当該講義の位置付けと他講義との関連性や役割分担の説明は必須
- ・ 授業を担当する前に、どの分野（学科）の学生を何人担当するのかや、授業内容の指針についての情報が必要（今だに何もありません。） 正式な授業を担当するという通知ももらっていません。（シラバスを作成してくださいという通知はありましたが...）

【設備の拡充】

- ・ 教室機材の充実
- ・ 会議や雑用を減らし、授業準備に専念する時間を確保できるようインフラを整備して頂きたい

【英語】

- ・ 英語による教授法，論文指導
- ・ 英語対応

【視聴覚教材等の作成】

- ・ 授業で扱うトピックを示すポンチ絵作成
- ・ 講義の内容に関する視覚的資料の提供サービスがあるといいと思う。（ビデオやイラスト、写真等）

【その他セミナー】

- ・ 発声法のセミナー
- ・ 学生を寝かさない授業、話し方も含めて
- ・ 学生との距離
- ・ 研究室における学生指導に関するセミナーを受けてみたいです
- ・ ISTU の活用法、英語での授業について、雨宮でセミナーがあれば参加したい
- ・ 授業は授業で古典的な学習方法として、相方向のとりくみをすでにしており、On the job training, tutorial Advanced science working for tackling questions などによる自主的な学習形態も活用している。このような FD のためのワークショップに参加できるチャンスを学内で増やして欲しい
- ・ 3 少人数のクラスでは、形成的アセスメントを活用した授業展開をしたいと考えています。形成的アセスメントの具体的な活用方法（例えば、ツールなど）について知りたいと思います

【その他】

- ・ 全学教育に関する教育委員会への出席（部会でも可）
- ・ 外部プロジェクトの共同応募

- ・やる気のある学生・ない学生の選別
- ・ネット上で実施する試験とその採点
- ・7はマイナス面が多い
- ・大学当局の理解と支援
- ・忙しすぎて時間がない、そんなことよりも無駄な会議を減らしてほしい

また、その他欄外に記述されたコメントには、以下のものがあった。

- ・目標とされる教員になることを心がける本人の気持ちの問題。何をしたらよくなるものではない。FDをしたら講義がまともになるとは思えない。
- ・5 使用した資料などあれば助かる
- ・5.6.7.8.9 必要なら自分でできるのでは？できるだけ研究時間をつくりたい。書類が多すぎます！「わかりやすいのは各先生の授業を100点満点として何点かを無記名でかいてもらおうとよい」
- ・なぜ、地震後に、秋入学にできなかったのか？200人超はそもそもたえられないことを要望したい。
- ・何故こんな下らないアンケートをとるのですか？
- ・4 (すでに行っている)ISTU
- ・今まで研究所に在籍していたため大学での講義の経験がまったくなく教授として着任にいきなり講義を担当することになり、講義設計方法等の“技術”に関する資料を探したがほとんど見当たらず、独自の方法で準備を行った。
- ・6 他学科との
- ・大学の先生は(自分を含めて)教えることに対しては、正直なところあまりレベルが高いとは思えません。むしろ塾や予備校の先生の方が教え方については上手ではないでしょうか？
- ・自身の授業よりも、分野全体のシラバスづくりがものすごく大変です。自分の授業はむしろあとまわしとなるくらい大変です。
- ・研究所の教員にも学部の講義をさせるべき。
- ・質問がわかりにくいです。
- ・具体的事項を記入すれば、直ちに特定できるので記入ありません。
- ・この設問はおかしいのでは。忘れました。

## 4. おわりに

本報告書では、大学教員による授業準備、改善時の取り組みについて、まずはその概要を把握するため、全体の集計結果と、職階、専門分野による集計結果を掲載した。統計的分析等を含めた詳細については、今後随時公開していくことを予定している。

現職の大学教員の日々の授業の設計、準備について、まずはその実態を明らかにしようという目的で実施した本調査であるが、多くの現職教員の方々から協力を得ることができた。その結果、授業を設計する際に参考にするもの、授業準備として取り組む活動の内容、今後利用してみたい支援等には、職階や分野によりそれぞれ異なる傾向があることがわかった。全学向け、または部局対象の支援やセミナーの内容開発に取り組む際には、こうした傾向や実態を考慮する必要があるといえる。

一方で、なぜこのような差や違いがあるのかについては、より詳細な分析が必要であるとともに、教員らにインタビューするなどして明らかにしていく必要がある。今後、そうした継続的な調査・分析を実施していくとともに、得られた知見を教員向けのセミナーや支援、新任教員研修や大学教員準備プログラムなどの内容を開発する際に活用していきたい。

また、本調査においては、調査票の自由記述欄や欄外において、多くのコメント、意見、提案が寄せられた。それらは、回答者自身が実施している授業実践上の工夫や、部局における取り組み内容を報告するもの、多忙な教員の窮状を訴えるものなど多岐に渡った。これらの記述を通して、個別の教員が日々取り組んでいる教育活動上の優れた取り組みの様子を垣間見ることができたと同時に、こうした声を定期的に聴き取り、広く共有する機会や手段を実現する必要性を感じた。今回寄せられた貴重な声を無駄にすることなく、今後の当センターにおける活動を通して、現場の教員に還元していきたい。

## 謝辞

本調査にご協力いただき、貴重なご意見、ご報告をいただきました東北大学の教員の皆さまに心より御礼申し上げます。

また、本調査の実施にあたり、貴重なご意見をいただきました東北大学 高等教育開発推進センター 羽田貴史教授，東北大学 教育情報基盤センター 三石 大准教授，東北大学 高等教育開発推進センター 佐藤万知講師，同 立石慎治助教に感謝申し上げます。調査票の作成にあたっては，東北大学 高等教育開発推進センター 関内 隆 教授らにインタビューをお受けいただきました。調査票の配布，回収等の手続きにおきましては，東北大学 高等教育開発推進センター 大学教育支援センターの 稲田ゆき乃氏，齋藤ゆう氏，百瀬あすか氏の協力を得ました。ここに記し，感謝の意を表します。

(所属，職階は当時)

## 参考文献

- [1] 羽田貴史, 北原良夫, 猪俣歳之, 石井美和, 「研究大学における大学教員の能力開発の課題 2008 年東北大学教員調査の結果」『東北大学開発推進センター紀要』, 4, pp.25-38, 2009.
- [2] 東北大学高等教育開発推進センター編, 『高等教育ライブラリ 7 大学教員の能力 形成から開発へ』, 東北大学出版会, 2013.
- [3] 東北大学高等教育開発推進センター 大学教育支援センター, 『2010 年度教育関係共同利用拠点事業報告書』, 2011.
- [4] 東北大学高等教育開発推進センター 大学教育支援センター, 『2011 年度教育関係共同利用拠点事業報告書』, 2012.
- [5] 東北大学高等教育開発推進センター 大学教育支援センター, 『2012 年度教育関係共同利用拠点事業報告書』, 2013.
- [6] 東北大学高等教育開発推進センター 大学教育支援センター ウェブサイト, <http://www.he.tohoku.ac.jp/CPD/> (2014.2.14.確認)
- [7] 東北大学高等教育開発推進センター 大学教育支援センター, 『東北大学 大学教員準備プログラム 2011 年度報告書』, 2012.
- [8] 東北大学高等教育開発推進センター 大学教育支援センター, 『東北大学 大学教員準備プログラム / 新任教員プログラム 2012 年度報告書』, 2013.
- [9] 東北大学ウェブサイト, <http://www.tohoku.ac.jp/> (2014.2.14.確認)
- [10] Fumiko Konno, Takashi Mitsuishi: How university teachers design their courses, *R10-HTC2013, IEEE Region 10*, TS11-4, 2013.
- [11] Tohoku University Annual Review 2013, Tohoku University, Public Relations Division, General Affairs Department, 2013.



# 資料

### 3-2. 現在実施している授業準備について

#### (2) 回答対象とする授業のプロフィール

##### 受講生数

表 3-2-5. 回答対象とした授業の受講生数（職階別）(N=1,082)

	教授		准教授		講師		助教		その他		職階別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
～5	6	1.7	11	3.7	4	5.0	18	5.6	1	11.1	40	3.7
6～10	15	4.2	26	8.6	3	3.8	24	7.4	0	0.0	68	6.4
11～15	21	5.9	15	5.0	1	1.3	20	6.2	0	0.0	57	5.3
16～20	20	5.6	18	6.0	1	1.3	21	6.5	1	11.1	61	5.7
21～30	31	8.7	28	9.3	4	5.0	32	9.9	3	33.3	98	9.2
31～40	44	12.4	27	9.0	6	7.5	26	8.0	1	11.1	104	9.7
41～50	25	7.0	22	7.3	8	10.0	27	8.4	0	0.0	82	7.7
51～60	31	8.7	20	6.6	10	12.5	27	8.4	1	11.1	89	8.3
61～100	106	29.9	90	29.9	31	38.8	85	26.3	1	11.1	313	29.3
101～200	51	14.4	41	13.6	10	12.5	38	11.8	0	0.0	140	13.1
201～	5	1.4	3	1.0	2	2.5	5	1.5	2	22.2	17	1.6
合計	355	100.0	301	100.0	80	100.0	323	100.0	9	100.0	1,068	100.0

表 3-2-6. 回答対象とした授業の受講生数（専門分野別）(N=1,052)

	人文科学		社会科学		農学		理学		工学		医歯薬学		全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
～5	4	6.3	3	4.0	2	3.3	5	2.5	8	2.5	17	5.0	39	3.71
6～10	7	11.1	12	16.0	5	8.2	10	5.0	23	7.3	12	3.6	69	6.56
11～15	6	9.5	13	17.3	2	3.3	14	7.0	14	4.4	8	2.4	57	5.42
16～20	5	7.9	6	8.0	6	9.8	18	9.0	12	3.8	13	3.9	60	5.70
21～30	8	12.7	6	8.0	16	26.2	26	12.9	24	7.6	17	5.0	97	9.22
31～40	14	22.2	8	10.7	8	13.1	24	11.9	30	9.5	19	5.6	103	9.79
41～50	3	4.8	1	1.3	5	8.2	20	10.0	29	9.2	23	6.8	81	7.70
51～60	6	9.5	2	2.7	3	4.9	16	8.0	26	8.3	35	10.4	88	8.37
61～100	9	14.3	10	13.3	8	13.1	46	22.9	84	26.7	150	44.5	307	29.18
101～200	1	1.6	8	10.7	6	9.8	15	7.5	62	19.7	41	12.2	133	12.64
201～	0	0.0	6	8.0	0	0.0	7	3.5	3	1.0	2	0.6	18	1.71
合計	63	100.0	75	100.0	61	100.0	201	100.0	315	100.0	337	100.0	1052	100.00

##### 授業形態

表 3-2-7. 回答対象とした授業の形態（職階別）(N=1,104)

	教授		准教授		講師		助教		その他		職階別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
講義	315	88.0	238	77.5	62	75.6	134	38.6	6	60.0	755	68.4
実験	1	0.3	13	4.2	0	0.0	88	25.4	1	10.0	103	9.3
演習	13	3.6	25	8.1	1	1.2	37	10.7	0	0.0	76	6.9
実習	1	0.3	9	2.9	4	4.9	40	11.5	0	0.0	54	4.9
その他	1	0.3	2	0.7	1	1.2	8	2.3	0	0.0	12	1.1
組合せ	27	7.5	20	6.5	14	17.1	40	11.5	3	30.0	104	9.4
合計	358	100.0	307	100.0	82	100.0	347	100.0	10	100.0	1104	100.0

表 3-2-8. 回答対象とした授業の形態（専門分野別）(N=1,091)

	人文科学		社会科学		農学		理学		工学		医歯薬学		分野別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
講義	40	61.5	60	81.1	47	77.0	140	66.4	209	64.5	250	70.2	746	68.4
実験	0	0.0	1	1.4	7	11.5	30	14.2	56	17.3	8	2.2	102	9.3
演習	18	27.7	9	12.2	1	1.6	18	8.5	23	7.1	7	2.0	76	7.0
実習	0	0.0	1	1.4	5	8.2	9	4.3	10	3.1	27	7.6	52	4.8
その他	2	3.1	0	0.0	1	1.6	5	2.4	2	0.6	2	0.6	12	1.1
組合せ	5	7.7	3	4.1	0	0.0	9	4.3	24	7.4	62	17.4	103	9.4
合計	65	100.0	74	100.0	61	100.0	211	100.0	324	100.0	356	100.0	1,091	100.0

## 担当年数

表 3-2-9. 回答対象とした授業の担当年数（職階別）(N=1,114)

	教授		准教授		講師		助教		その他		職階別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
～1	24	6.6	52	16.9	11	13.6	101	28.5	3	30.0	191	17.1
2～5	111	30.7	133	43.3	44	54.3	202	57.1	5	50.0	495	44.4
6～10	122	33.7	90	29.3	19	23.5	38	10.7	2	20.0	271	24.3
11～15	50	13.8	21	6.8	3	3.7	4	1.1	0	0.0	78	7.0
16～20	36	9.9	8	2.6	0	0.0	6	1.7	0	0.0	50	4.5
21～30	17	4.7	2	0.7	3	3.7	2	0.6	0	0.0	24	2.2
31～	2	0.6	1	0.3	1	1.2	1	0.3	0	0.0	5	0.4
合計	362	100.0	307	100.0	81	100.0	354	100.0	10	100.0	1,114	100.0
最小値	0.5		1.0		1.0		0.5		1.0		0.5	
最大値	33.0		36.0		33.0		33.0		10.0		36.0	
平均値	8.8		5.7		5.6		3.5		3.8		6.0	
中央値	7		5		3		2		3		4	

表 3-2-10. 回答対象とした授業の担当年数（専門分野別）(N=1,099)

	人文科学		社会科学		農学		理学		工学		医歯薬学		分野別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
～1	15	23.1	17	23.0	11	18.0	42	20.0	56	17.1	47	13.0	188	17.1
2～5	14	21.5	26	35.1	22	36.1	103	49.0	143	43.6	179	49.6	487	44.3
6～10	19	29.2	18	24.3	13	21.3	46	21.9	91	27.7	84	23.3	271	24.7
11～15	10	15.4	10	13.5	8	13.1	9	4.3	21	6.4	21	5.8	79	7.2
16～20	5	7.7	0	0.0	5	8.2	9	4.3	13	4.0	16	4.4	48	4.4
21～30	2	3.1	2	2.7	2	3.3	1	0.5	4	1.2	10	2.8	22	2.0
31～	0	0.0	1	1.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	4	1.1	4	0.4
合計	65	100.0	74	100.0	61	100.0	210	100.0	328	100.0	361	100.0	1099	100.0
最小値	0.5		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		0.5	
最大値	25.0		33.0		25.0		28.0		29.0		36.0		33.0	
平均値	7.5		6.3		7.0		5.0		5.8		6.3		5.9	
中央値	7		4		5		3		5		4		4	

(3) 授業内容の決定方法

表 3-2-10. 授業内容の決定方法 (職階別) (N=1,137)

	教授 (N=369)		准教授 (N=311)		講師 (N=85)		助教 (N=362)		その他 (N=10)		職階別全体 (N=1,137)	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1. 自身で自由に決定	177	48.0	130	41.8	27	31.8	78	21.5	6	60.0	418	36.9
2. 学科・研究科等の要請・指針	144	39.0	110	35.4	32	37.6	143	39.5	3	30.0	432	38.2
3. 学科・研究科等における合議	45	12.2	20	6.4	11	12.9	47	13.0	0	0.0	123	10.9
4. 同僚や他の先生方との話し合い	106	28.7	103	33.1	42	49.4	156	43.1	2	20.0	409	36.1
5. 前任者の授業に基づいて	71	19.2	89	28.6	25	29.4	107	29.6	1	10.0	293	25.9
6. 指定された教科書に基づいて	38	10.3	21	6.8	12	14.1	42	11.6	0	0.0	113	10.0
7. その他	16	4.3	6	1.9	1	1.2	8	2.2	1	10.0	32	2.8

表 3-2-11. 授業内容の決定方法 (専門分野別) (N=1,123)

	人文科学		社会科学		農学		理学		工学		医歯薬学		分野別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1. 自身で自由に決定	45	69.2	55	71.4	30	49.2	88	40.9	107	32.1	87	31.9	412	36.7
2. 学科・研究科等の要請・指針	18	27.7	22	28.6	13	21.3	68	31.6	127	38.1	179	65.6	427	38.0
3. 学科・研究科等における合議	2	3.1	6	7.8	2	3.3	23	10.7	31	9.3	57	20.9	121	10.8
4. 同僚や他の先生方との話し合い	16	24.6	22	28.6	18	29.5	81	37.7	111	33.3	155	56.8	403	35.9
5. 前任者の授業に基づいて	7	10.8	10	13.0	20	32.8	57	26.5	99	29.7	97	35.5	290	25.8
6. 指定された教科書に基づいて	1	1.5	3	3.9	6	9.8	12	5.6	42	12.6	44	16.1	108	9.6
7. その他	2	3.1	7	9.1	2	3.3	4	1.9	4	1.2	12	4.4	31	2.8

(4) 授業を設計する際に参考にしたもの

表 3-2-12. 授業を設計する際に参考にしたもの (職階別) (N=1,137)

	教授 (N=369)		准教授 (N=311)		講師 (N=85)		助教 (N=362)		その他 (N=10)		全体 (N=1137)	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1. 学科・研究科等に指定されたテキスト	37	10.0	48	15.4	17	20.0	108	29.8	0	0.0	210	18.5
2. 自分で選定したテキスト, 参考文献	294	79.7	216	69.5	64	75.3	190	52.5	8	80.0	772	67.9
3. 自身の指導教員の授業	40	10.8	32	10.3	13	15.3	39	10.8	0	0.0	124	10.9
4. 学部時代に受けた授業	76	20.6	66	21.2	13	15.3	73	20.2	1	10.0	229	20.1
5. 大学院時代に受けた授業	35	9.5	32	10.3	8	9.4	32	8.8	0	0.0	107	9.4
6. 所属学科・研究科等からの要請・指針	51	13.8	45	14.5	13	15.3	68	18.8	2	20.0	179	15.7
7. 所属学科・研究科等における合議	25	6.8	10	3.2	4	4.7	28	7.7	0	0.0	67	5.9
8. 同僚や他の先生方との話し合い	82	22.2	83	26.7	33	38.8	147	40.6	4	40.0	349	30.7
9. 前任者の授業やシラバス, 授業資料	76	20.6	108	34.7	33	38.8	153	42.3	0	0.0	370	32.5
10. 他の先生の授業の参観	9	2.4	11	3.5	6	7.1	21	5.8	2	20.0	49	4.3
11. 同僚, 知り合いのシラバスや授業資料	41	11.1	28	9.0	14	16.5	27	7.5	3	30.0	113	9.9
12. インターネット上に公開されているシラバスや授業資料	44	11.9	39	12.5	20	23.5	33	9.1	2	20.0	138	12.1
13. 資格取得などに必要な要件, スキル	18	4.9	10	3.2	7	8.2	6	1.7	0	0.0	41	3.6
14. 東北大学における FD セミナーや新任教員研修の内容	23	6.2	11	3.5	10	11.8	9	2.5	1	10.0	54	4.7
15. 他大学における FD セミナーや新任教員研修の内容	3	0.8	2	0.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	5	0.4
16. 授業実践に関する書籍やガイドブック	25	6.8	17	5.5	9	10.6	13	3.6	2	20.0	66	5.8
17. 論文誌, 学術雑誌	132	35.8	91	29.3	36	42.4	96	26.5	7	70.0	362	31.8
18. 最新の研究動向	159	43.1	111	35.7	34	40.0	90	24.9	4	40.0	398	35.0
19. 家庭教師や塾講師等の経験	2	0.5	4	1.3	3	3.5	8	2.2	0	0.0	17	1.5
20. その他	21	5.7	13	4.2	3	3.5	10	2.8	3	30.0	50	4.4

表 3-2-13. 授業を設計する際に参考にしたもの(専門分野別)(N=1,137)

	人文科学		社会科学		農学		理学		工学		医歯薬学		分野別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1. 学科・研究科等に指定されたテキスト	0	0.0	0	0.0	5	8.2	30	14.0	96	28.8	77	20.7	208	18.3
2. 自分で選定したテキスト, 参考文献	51	78.5	61	79.2	47	77.0	156	72.6	206	61.9	239	64.2	760	66.8
3. 自身の指導教員の授業	11	16.9	14	18.2	8	13.1	12	5.6	36	10.8	42	11.3	123	10.8
4. 学部時代に受けた授業	15	23.1	19	24.7	13	21.3	45	20.9	73	21.9	62	16.7	227	20.0
5. 大学院時代に受けた授業	16	24.6	14	18.2	8	13.1	13	6.0	34	10.2	20	5.4	105	9.2
6. 所属学科・研究科等からの要請・指針	10	15.4	13	16.9	4	6.6	25	11.6	47	14.1	77	20.7	176	15.5
7. 所属学科・研究科等における合議	2	3.1	1	1.3	1	1.6	7	3.3	201	60.4	35	9.4	247	21.7
8. 同僚や他の先生方との話し合い	16	24.6	20	26.0	15	24.6	67	31.2	9	2.7	117	31.5	244	21.5
9. 前任者の授業やシラバス, 授業資料	10	15.4	13	16.9	16	26.2	76	35.3	113	33.9	138	37.1	366	32.2
10. 他の先生の授業の参観	5	7.7	4	5.2	2	3.3	5	2.3	9	2.7	24	6.5	49	4.3
11. 同僚, 知り合いのシラバスや授業資料	11	16.9	10	13.0	2	3.3	28	13.0	21	6.3	40	10.8	112	9.9
12. インターネット上に公開されているシラバスや授業資料	5	7.7	14	18.2	3	4.9	33	15.3	38	11.4	43	11.6	136	12.0
13. 資格取得などに必要な要件、スキル	2	3.1	8	10.4	0	0.0	1	0.5	6	1.8	24	6.5	41	3.6
14. 東北大学における FD セミナーや新任教員研修の内容	9	13.8	7	9.1	3	4.9	4	1.9	11	3.3	19	5.1	53	4.7
15. 他大学における FD セミナーや新任教員研修の内容	1	1.5	0	0.0	0	0.0	1	0.5	0	0.0	3	0.8	5	0.4
16. 授業実践に関する書籍やガイドブック	10	15.4	11	14.3	3	4.9	8	3.7	9	2.7	25	6.7	66	5.8
17. 論文誌, 学術雑誌	22	33.8	27	35.1	39	63.9	52	24.2	65	19.5	152	40.9	357	31.4
18. 最新の研究動向	28	43.1	41	53.2	35	57.4	50	23.3	88	26.4	152	40.9	394	34.7
19. 家庭教師や塾講師等の経験	1	1.5	2	2.6	1	1.6	3	1.4	4	1.2	6	1.6	17	1.5

## (5) 授業の設計，日々の準備の活動内容

表 3-2-14. 授業の設計，日々の準備の活動内容（職階別）(N=1,127)

		教授 (N=367)		准教授 (N=311)		講師 (N=85)		助教 (N=358)		その他 (N=10)		全体 (N=1,127)	
		人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1.授業の大まかな流れの 明確化	実施	307	83.7	259	83.3	63	74.1	263	73.7	7	70.0	899	79.8
	ときどき実施	55	15.0	50	16.1	19	22.4	84	23.5	2	20.0	210	18.6
	実施せず	1	0.3	2	0.6	1	1.2	9	2.5	0	0.0	13	1.2
2.授業で扱う個々のトピ ックの明確化	実施	302	82.3	260	83.6	59	69.4	244	68.2	8	80.0	873	77.5
	ときどき実施	55	15.0	46	14.8	22	25.9	93	26.0	1	10.0	217	19.3
	実施せず	4	1.1	4	1.3	3	3.5	18	5.0	0	0.0	29	2.6
3.各回の授業におけるそ れぞれの項目の時間配 分	実施	211	57.5	170	54.7	39	47.1	166	46.4	8	80.0	594	52.7
	ときどき実施	113	30.8	99	31.8	31	36.5	126	35.2	1	10.0	370	32.8
	実施せず	34	9.3	41	13.2	11	12.9	61	17.0	0	0.0	147	13.0
4.授業で扱う内容を記し たメモの作成	実施	233	63.5	189	60.8	39	45.9	171	47.8	6	60.0	638	56.6
	ときどき実施	77	21.0	60	19.3	19	22.4	105	29.3	1	10.0	262	23.2
	実施せず	44	12.0	59	19.0	23	27.1	75	20.9	2	20.0	203	18.0
5.板書案の作成	実施	121	33.0	119	38.3	19	22.4	83	23.2	1	10.0	343	30.4
	ときどき実施	88	24.0	66	21.2	16	18.8	67	18.7	3	30.0	240	21.3
	実施せず	138	37.6	122	39.2	46	54.1	198	55.3	5	50.0	509	45.2
6.OHP やスライドなど の提示資料の作成	実施	218	59.4	198	63.7	66	77.6	200	55.9	9	90.0	691	61.3
	ときどき実施	64	17.4	57	18.3	11	12.9	66	18.4	1	10.0	199	17.7
	実施せず	75	20.4	53	17.0	5	5.9	89	24.9	0	0.0	222	19.7
7.授業の内容に関する配 布資料の作成	実施	256	69.8	207	66.6	61	71.8	204	57.0	10	100.0	738	65.5
	ときどき実施	74	20.2	75	24.1	18	21.2	74	20.7	0	0.0	241	21.4
	実施せず	31	8.4	28	9.0	4	4.7	76	21.2	0	0.0	139	12.3
8.課題についての資料の 作成	実施	139	37.9	119	38.3	29	34.1	127	35.5	6	60.0	420	37.3
	ときどき実施	130	35.4	114	36.7	31	36.5	97	27.1	2	20.0	374	33.2
	実施せず	84	22.9	75	24.1	22	25.9	128	35.8	2	20.0	311	27.6
9.ISTUやDCW等による 授業資料や教材の配信	実施	41	11.2	35	11.3	4	4.7	15	4.2	2	20.0	97	8.6
	ときどき実施	30	8.2	21	6.8	5	5.9	20	5.6	1	10.0	77	6.8
	実施せず	263	71.7	246	79.1	72	84.7	314	87.7	6	60.0	901	79.9
10.学生のミニットペー パーや課題の確認	実施	111	30.2	86	27.7	19	22.4	81	22.6	4	40.0	301	26.7
	ときどき実施	100	27.2	88	28.3	13	15.3	77	21.5	2	20.0	280	24.8
	実施せず	130	35.4	132	42.4	50	58.8	192	53.6	4	40.0	508	45.1
11.その他	実施	12	3.3	9	2.9	2	2.4	8	2.2	0	0.0	31	2.8
	ときどき実施	3	0.8	2	0.6	0	0.0	3	0.8	0	0.0	8	0.7
	実施せず	24	6.5	30	9.6	22	25.9	68	19.0	0	0.0	144	12.8

表 3-2-15. 授業の設計，日々の準備の活動内容（専門分野別）(N=1,118)

		人文科学		社会科学		農学		理学		工学		医歯薬学		分野別全体	
		人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1.授業の大まかな流れの明確化	実施	56	86.2	68	89.5	47	78.3	170	79.1	267	80.8	280	75.3	888	79.4
	ときどき	9	13.8	7	9.2	11	18.3	41	19.1	56	17.0	82	22.0	206	18.4
	実施せず	0	0.0	1	1.3	0	0.0	1	0.5	4	1.2	7	1.9	13	1.2
2.授業で扱う個々のトピックの明確化	実施	55	84.6	69	90.8	56	76.7	165	76.7	258	78.2	268	72.0	871	77.9
	ときどき	9	13.8	4	5.3	11	18.3	41	19.1	61	18.5	88	23.7	214	19.1
	実施せず	1	1.5	2	2.6	1	1.7	4	1.9	7	2.1	14	3.8	29	2.6
3.各回の授業におけるそれぞれの項目の時間配分	実施	33	50.8	40	52.6	33	55.0	116	54.0	174	52.7	191	51.3	587	52.5
	ときどき	23	35.4	28	36.8	17	28.3	72	33.5	99	30.0	128	34.4	367	32.8
	実施せず	9	13.8	8	10.5	7	11.7	22	10.2	50	15.2	47	12.6	143	12.8
4.授業で扱う内容を記したメモの作成	実施	44	67.7	55	72.4	36	60.0	125	58.1	189	57.3	183	49.2	632	56.5
	ときどき	18	27.7	14	18.4	15	25.0	48	22.3	78	23.6	86	23.1	259	23.2
	実施せず	3	4.6	7	9.2	7	11.7	35	16.3	52	15.8	94	25.3	198	17.7
5.板書案の作成	実施	14	21.5	21	27.6	18	30.0	84	39.1	135	40.9	67	18.0	339	30.3
	ときどき	20	30.8	18	23.7	16	26.7	38	17.7	80	24.2	63	16.9	235	21.0
	実施せず	30	46.2	35	46.1	24	40.0	86	40.0	106	32.1	223	59.9	504	45.1
6.OHP やスライドなどの提示資料の作成	実施	27	41.5	42	55.3	41	68.3	103	47.9	184	55.8	287	77.2	684	61.2
	ときどき	11	16.9	16	21.1	11	18.3	41	19.1	63	19.1	54	14.5	196	17.5
	実施せず	25	38.5	16	21.1	7	11.7	66	30.7	76	23.0	29	7.8	219	19.6
7.授業の内容に関する配布資料の作成	実施	44	67.7	60	78.9	43	71.7	120	55.8	199	60.3	265	71.2	731	65.4
	ときどき	17	26.2	11	14.5	10	16.7	60	27.9	72	21.8	66	17.7	236	21.1
	実施せず	4	6.2	5	6.6	5	8.3	31	14.4	53	16.1	39	10.5	137	12.3
8.課題についての資料の作成	実施	25	38.5	27	35.5	22	36.7	88	40.9	143	43.3	111	29.8	416	37.2
	ときどき	20	30.8	32	42.1	18	30.0	70	32.6	117	35.5	111	29.8	368	32.9
	実施せず	19	29.2	17	22.4	19	31.7	51	23.7	62	18.8	139	37.4	307	27.5
9.ISTU や DCW 等による授業資料や教材の配信	実施	9	13.8	12	15.8	5	8.3	14	6.5	30	9.1	23	6.2	93	8.3
	ときどき	3	4.6	6	7.9	1	1.7	9	4.2	25	7.6	33	8.9	77	6.9
	実施せず	50	76.9	54	71.1	52	86.7	179	83.3	254	77.0	302	81.2	891	79.7
10.学生のミニットペーパーや課題の確認	実施	22	33.8	21	27.6	15	25.0	73	34.0	92	27.9	72	19.4	295	26.4
	ときどき	18	27.7	26	34.2	18	30.0	52	24.2	86	26.1	79	21.2	279	25.0
	実施せず	22	33.8	28	36.8	25	41.7	83	38.6	135	40.9	208	55.9	501	44.8
11.その他	実施	4	6.2	3	3.9	1	1.7	5	2.3	7	2.1	9	2.4	29	2.6
	ときどき	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	1.4	2	0.6	3	0.8	8	0.7
	実施せず	5	7.7	10	13.2	11	18.3	27	12.6	43	13.0	48	12.9	144	12.9

## (6) 授業の準備にかかる時間

表 3-2-16 . シラバス作成時にかかる**実際**の時間 (職階別)

時間	教授		准教授		講師		助教		職階別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
0	29	12.0	48	21.1	28	42.4	135	53.1	240	30.5
0.5	16	6.6	12	5.3	1	1.5	9	3.5	38	4.8
1	83	34.4	64	28.2	11	16.7	34	13.4	192	24.4
2	51	21.2	33	14.5	10	15.2	22	8.7	116	14.7
3	20	8.3	26	11.5	3	4.5	12	4.7	61	7.7
4	7	2.9	2	0.9	2	3.0	5	2.0	16	2.0
5	16	6.6	15	6.6	3	4.5	10	3.9	44	5.6
~10	8	3.3	19	8.4	6	9.1	16	6.3	49	6.2
~20	2	0.8	6	2.6	1	1.5	5	2.0	14	1.8
~30	1	0.4	1	0.4	1	1.5	3	1.2	6	0.8
~100	7	2.9	1	0.4	0	0.0	3	1.2	11	1.4
100~	1	0.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.1
合計	241	100.0	227	100.0	66	100.0	254	100.0	788	100.0

表 3-2-17 . シラバス作成時にかかる**理想**の時間 (職階別)

時間	教授		准教授		講師		助教		職階別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
0	19	7.9	34	15.0	19	28.8	107	42.1	179	22.7
0.5	15	6.2	8	3.5	1	1.5	4	1.6	28	3.6
1	74	30.7	68	30.0	12	18.2	45	17.7	199	25.3
2	48	19.9	27	11.9	13	19.7	26	10.2	114	14.5
3	15	6.2	21	9.3	6	9.1	20	7.9	62	7.9
4	10	4.1	7	3.1	1	1.5	4	1.6	22	2.8
5	19	7.9	18	7.9	4	6.1	16	6.3	57	7.2
~10	28	11.6	26	11.5	5	7.6	14	5.5	73	9.3
~20	5	2.1	13	5.7	4	6.1	10	3.9	32	4.1
~30	0	0.0	3	1.3	0	0.0	5	2.0	8	1.0
~100	6	2.5	2	0.9	1	1.5	3	1.2	12	1.5
100~	2	0.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	0.3
合計	241	100.0	227	100.0	66	100.0	254	100.0	788	100.0

表 3-2-18 . シラバス作成時にかかる**実際**の時間 (専門分野別)

時間	人文科学		社会科学		農学		理学		工学		医歯薬学		分野別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
0	5	10.4	4	7.4	11	29.7	43	27.4	80	35.6	98	37.7	241	30.9
0.5	2	4.2	2	3.7	1	2.7	2	1.3	16	7.1	14	5.4	37	4.7
1	9	18.8	18	33.3	8	21.6	48	30.6	53	23.6	53	20.4	189	24.2
2	13	27.1	10	18.5	6	16.2	26	16.6	24	10.7	34	13.1	113	14.5
3	11	22.9	5	9.3	2	5.4	12	7.6	12	5.3	18	6.9	60	7.7
4	1	2.1	0	0.0	2	5.4	4	2.5	5	2.2	5	1.9	17	2.2
5	4	8.3	6	11.1	4	10.8	7	4.5	9	4.0	14	5.4	44	5.6
~10	1	2.1	8	14.8	2	5.4	11	7.0	11	4.9	16	6.2	49	6.3
~20	1	2.1	1	1.9	0	0.0	0	0.0	6	2.7	5	1.9	13	1.7
~30	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	1.3	3	1.3	1	0.4	6	0.8
~100	1	2.1	0	0.0	1	2.7	2	1.3	5	2.2	2	0.8	11	1.4
100~	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.4	0	0.0	1	0.1
合計	65	100.0	74	100.0	61	100.0	211	100.0	324	100.0	356	100.0	781	100.0

表 3-2-19 . シラバス作成時にかかる**理想**の時間（専門分野別）

時間	人文科学		社会科学		農学		理学		工学		医歯薬学		分野別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
0	4	8.3	5	9.3	34	21.7	57	25.3	8	21.6	72	27.7	180	23.0
0.5	1	2.1	0	0.0	1	0.6	12	5.3	1	2.7	13	5.0	28	3.6
1	11	22.9	16	29.6	41	26.1	58	25.8	9	24.3	61	23.5	196	25.1
2	12	25.0	10	18.5	20	12.7	24	10.7	6	16.2	38	14.6	110	14.1
3	7	14.6	4	7.4	17	10.8	12	5.3	3	8.1	17	6.5	60	7.7
4	1	2.1	1	1.9	7	4.5	6	2.7	2	5.4	5	1.9	22	2.8
5	4	8.3	5	9.3	15	9.6	14	6.2	1	2.7	19	7.3	58	7.4
~10	5	10.4	8	14.8	12	7.6	22	9.8	4	10.8	22	8.5	73	9.3
~20	2	4.2	5	9.3	5	3.2	9	4.0	2	5.4	9	3.5	32	4.1
~30	1	2.1	0	0.0	1	0.6	3	1.3	1	2.7	2	0.8	8	1.0
~100	0	0.0	0	0.0	4	2.5	6	2.7	0	0.0	2	0.8	12	1.5
100~	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	0.9	0	0.0	0	0.0	2	0.3
合計	48	100.0	54	100.0	157	100.0	225	100.0	37	100.0	260	100.0	781	100.0

表 3-2-20 . 学期開始当初にかかる**実際**の時間（職階別）

時間	教授		准教授		講師		助教		職階別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
0	61	26.2	62	27.9	29	48.3	92	37.4	244	32.1
0.5	5	2.1	1	0.5	0	0.0	5	2.0	11	1.4
1	37	15.9	26	11.7	5	8.3	29	11.8	97	12.7
2	38	16.3	31	14.0	2	3.3	24	9.8	95	12.5
3	22	9.4	20	9.0	2	3.3	13	5.3	57	7.5
4	6	2.6	7	3.2	3	5.0	10	4.1	26	3.4
5	18	7.7	19	8.6	2	3.3	22	8.9	61	8.0
~10	25	10.7	28	12.6	5	8.3	32	13.0	90	11.8
~20	11	4.7	18	8.1	7	11.7	8	3.3	44	5.8
~30	4	1.7	2	0.9	3	5.0	7	2.8	16	2.1
~100	6	2.6	8	3.6	1	1.7	3	1.2	18	2.4
100~	0	0.0	0	0.0	1	1.7	1	0.4	2	0.3
合計	233	100.0	222	100.0	60	100.0	246	100.0	761	100.0

表 3-2-21 . 学期開始当初にかかる**理想**の時間（職階別）

時間	教授		准教授		講師		助教		職階別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
0	44	18.9	49	22.1	18	30.0	75	30.5	186	24.4
0.5	6	2.6	1	0.5	0	0.0	1	0.4	8	1.1
1	44	18.9	25	11.3	5	8.3	35	14.2	109	14.3
2	32	13.7	32	14.4	10	16.7	33	13.4	107	14.1
3	17	7.3	18	8.1	1	1.7	13	5.3	49	6.4
4	4	1.7	7	3.2	2	3.3	9	3.7	22	2.9
5	24	10.3	26	11.7	3	5.0	31	12.6	84	11.0
~10	30	12.9	34	15.3	7	11.7	25	10.2	96	12.6
~20	16	6.9	16	7.2	6	10.0	13	5.3	51	6.7
~30	5	2.1	5	2.3	3	5.0	7	2.8	20	2.6
~100	11	4.7	8	3.6	5	8.3	3	1.2	27	3.5
100~	0	0.0	1	0.5	0	0.0	1	0.4	2	0.3
合計	233	100.0	222	100.0	60	100.0	246	100.0	761	100.0

表 3-2-22 . 学期開始当初にかかる**実際**の時間

時間	人文科学		社会科学		農学		理学		工学		医歯薬学		分野別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
0	11	22.9	15	28.8	11	29.7	35	22.4	48	21.1	122	51.7	242	32.0
0.5	0	0.0	2	3.8	0	0.0	0	0.0	4	1.8	5	2.1	11	1.5
1	7	14.6	11	21.2	6	16.2	13	8.3	29	12.8	28	11.9	94	12.4
2	4	8.3	9	17.3	5	13.5	25	16.0	34	15.0	18	7.6	95	12.6
3	5	10.4	3	5.8	4	10.8	13	8.3	21	9.3	11	4.7	57	7.5
4	1	2.1	1	1.9	3	8.1	6	3.8	8	3.5	8	3.4	27	3.6
5	5	10.4	4	7.7	1	2.7	17	10.9	21	9.3	12	5.1	60	7.9
~10	5	10.4	3	5.8	4	10.8	23	14.7	39	17.2	16	6.8	90	11.9
~20	7	14.6	3	5.8	1	2.7	7	4.5	16	7.0	11	4.7	45	6.0
~30	1	2.1	1	1.9	1	2.7	7	4.5	3	1.3	3	1.3	16	2.1
~100	2	4.2	0	0.0	1	2.7	8	5.1	4	1.8	2	0.8	17	2.2
100~	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	1.3	0	0.0	0	0.0	2	0.3
合計	48	100.0	52	100.0	37	100.0	156	100.0	227	100.0	236	100.0	756	100.0

表 3-2-23 . 学期開始当初にかかる**理想**の時間

時間	人文科学		社会科学		農学		理学		工学		医歯薬学		分野別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
0	10	20.8	12	23.1	6	16.2	25	16.0	37	16.3	95	40.3	185	24.5
0.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	0.9	6	2.5	8	1.1
1	2	4.2	11	21.2	6	16.2	16	10.3	37	16.3	34	14.4	106	14.0
2	10	20.8	12	23.1	6	16.2	19	12.2	31	13.7	28	11.9	106	14.0
3	3	6.3	2	3.8	2	5.4	11	7.1	19	8.4	11	4.7	48	6.3
4	2	4.2	0	0.0	1	2.7	4	2.6	10	4.4	5	2.1	22	2.9
5	5	10.4	5	9.6	4	10.8	28	17.9	25	11.0	17	7.2	84	11.1
~10	8	16.7	5	9.6	6	16.2	23	14.7	33	14.5	21	8.9	96	12.7
~20	4	8.3	2	3.8	4	10.8	11	7.1	21	9.3	9	3.8	51	6.7
~30	2	4.2	1	1.9	0	0.0	9	5.8	7	3.1	3	1.3	22	2.9
~100	1	2.1	2	3.8	2	5.4	9	5.8	5	2.2	7	3.0	26	3.4
100~	1	2.1	0	0.0	0	0.0	1	0.6	0	0.0	0	0.0	2	0.3
合計	48	100.0	52	100.0	37	100.0	156	100.0	227	100.0	236	100.0	756	100.0

表 3-2-24 . 授業実施一週間前にかかる**実際**の時間 (職階別)

時間	教授		准教授		講師		助教		職階別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
0	99	41.9	88	37.9	12	18.2	92	34.8	291	36.5
0.5	8	3.4	7	3.0	1	1.5	5	1.9	21	2.6
1	42	17.8	35	15.1	12	18.2	42	15.9	131	16.4
2	38	16.1	33	14.2	16	24.2	37	14.0	124	15.5
3	20	8.5	23	9.9	8	12.1	25	9.5	76	9.5
4	7	3.0	7	3.0	3	4.5	6	2.3	23	2.9
5	9	3.8	14	6.0	5	7.6	19	7.2	47	5.9
~10	8	3.4	18	7.8	6	9.1	29	11.0	61	7.6
~20	2	0.8	7	3.0	2	3.0	8	3.0	19	2.4
~30	1	0.4	0	0.0	1	1.5	1	0.4	3	0.4
~100	2	0.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	0.3
100~	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	236	100.0	232	100.0	66	100.0	264	100.0	798	100.0

表 3-2-25 . 授業実施一週間前にかかる**理想**の時間 (職階別)

時間	教授		准教授		講師		助教		職階別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
0	75	31.8	75	32.3	9	13.6	83	31.4	242	30.3
0.5	5	2.1	2	0.9	0	0.0	4	1.5	11	1.4
1	55	23.3	36	15.5	17	25.8	45	17.0	153	19.2
2	45	19.1	38	16.4	11	16.7	35	13.3	129	16.2
3	20	8.5	25	10.8	9	13.6	33	12.5	87	10.9
4	6	2.5	8	3.4	5	7.6	9	3.4	28	3.5
5	17	7.2	23	9.9	7	10.6	17	6.4	64	8.0
~10	9	3.8	14	6.0	7	10.6	28	10.6	58	7.3
~20	1	0.4	10	4.3	0	0.0	8	3.0	19	2.4
~30	1	0.4	0	0.0	1	1.5	1	0.4	3	0.4
~100	2	0.8	1	0.4	0	0.0	1	0.4	4	0.5
100~	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	236	100.0	232	100.0	66	100.0	264	100.0	798	100.0

表 3-2-26 . 毎回の授業の一週間前にかかる**実際**の時間 (専門分野別)

時間	人文科学		社会科学		農学		理学		工学		医歯薬学		分野別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
0	19	40.4	17	33.3	14	33.3	59	38.3	108	46.6	72	26.9	289	36.4
0.5	1	2.1	7	13.7	2	4.8	3	1.9	2	0.9	6	2.2	21	2.6
1	14	29.8	8	15.7	10	23.8	24	15.6	39	16.8	35	13.1	130	16.4
2	5	10.6	7	13.7	5	11.9	24	15.6	32	13.8	51	19.0	124	15.6
3	6	12.8	5	9.8	4	9.5	10	6.5	20	8.6	31	11.6	76	9.6
4	0	0.0	1	2.0	1	2.4	6	3.9	2	0.9	13	4.9	23	2.9
5	2	4.3	4	7.8	0	0.0	11	7.1	8	3.4	24	9.0	49	6.2
~10	0	0.0	2	3.9	5	11.9	12	7.8	11	4.7	29	10.8	59	7.4
~20	0	0.0	0	0.0	1	2.4	4	2.6	9	3.9	4	1.5	18	2.3
~30	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.6	0	0.0	2	0.7	3	0.4
~100	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.4	1	0.4	2	0.3
100~	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	47	100.0	51	100.0	42	100.0	154	100.0	232	100.0	268	100.0	794	100.0

表 3-2-27 . 毎回の授業の一週間前にかかる**理想**の時間 (専門分野別)

時間	人文科学		社会科学		農学		理学		工学		医歯薬学		分野別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
0	11	23.4	13	25.5	9	21.4	54	35.1	92	39.7	60	22.4	239	30.1
0.5	1	2.1	2	3.9	2	4.8	1	0.6	2	0.9	3	1.1	11	1.4
1	9	19.1	13	25.5	13	31.0	27	17.5	44	19.0	45	16.8	151	19.0
2	13	27.7	10	19.6	4	9.5	23	14.9	38	16.4	42	15.7	130	16.4
3	6	12.8	6	11.8	5	11.9	16	10.4	25	10.8	31	11.6	89	11.2
4	1	2.1	1	2.0	3	7.1	7	4.5	2	0.9	13	4.9	27	3.4
5	6	12.8	3	5.9	1	2.4	14	9.1	9	3.9	33	12.3	66	8.3
~10	0	0.0	3	5.9	2	4.8	8	5.2	11	4.7	33	12.3	57	7.2
~20	0	0.0	0	0.0	2	4.8	2	1.3	8	3.4	5	1.9	17	2.1
~30	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.6	0	0.0	2	0.7	3	0.4
~100	0	0.0	0	0.0	1	2.4	1	0.6	1	0.4	1	0.4	4	0.5
100~	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	47	100.0	51	100.0	42	100.0	154	100.0	232	100.0	268	100.0	794	100.0

表 3-2-28 . 毎回の授業の数日前～前日にかかる**実際**の時間（職階別）

時間	教授		准教授		講師		助教		職階別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
0	17	6.6	24	10.1	11	16.4	53	20.1	105	12.7
0.5	21	8.1	6	2.5	1	1.5	14	5.3	42	5.1
1	72	27.9	39	16.5	14	20.9	68	25.8	193	23.4
2	67	26.0	54	22.8	12	17.9	48	18.2	181	21.9
3	36	14.0	28	11.8	7	10.4	31	11.7	102	12.3
4	12	4.7	17	7.2	7	10.4	10	3.8	46	5.6
5	8	3.1	27	11.4	5	7.5	16	6.1	56	6.8
～10	21	8.1	31	13.1	8	11.9	16	6.1	76	9.2
～20	1	0.4	6	2.5	2	3.0	6	2.3	15	1.8
～30	2	0.8	4	1.7	0	0.0	1	0.4	7	0.8
～100	0	0.0	1	0.4	0	0.0	1	0.4	2	0.2
100～	1	0.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.1
合計	258	100.0	237	100.0	67	100.0	264	100.0	826	100.0

表 3-2-29 . 毎回の授業の数日前～前日にかかる**理想**の時間（職階別）

時間	教授		准教授		講師		助教		職階別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
0	20	7.8	25	10.5	12	17.9	51	19.3	108	30.3
0.5	9	3.5	2	0.8	2	3.0	11	4.2	24	1.4
1	76	29.5	53	22.4	13	19.4	74	28.0	216	19.2
2	70	27.1	59	24.9	17	25.4	49	18.6	195	16.2
3	33	12.8	37	15.6	7	10.4	35	13.3	112	10.9
4	11	4.3	14	5.9	4	6.0	5	1.9	34	3.5
5	16	6.2	19	8.0	6	9.0	21	8.0	62	8.0
～10	19	7.4	19	8.0	4	6.0	14	5.3	56	7.3
～20	1	0.4	6	2.5	2	3.0	3	1.1	12	2.4
～30	1	0.4	2	0.8	0	0.0	0	0.0	3	0.4
～100	2	0.8	1	0.4	0	0.0	1	0.4	4	0.5
100～	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	258	100.0	237	100.0	67	100.0	264	100.0	826	100.0

表 3-2-30 . 毎回の授業の数日前～前日にかかる**実際**の時間（専門分野別）

時間	人文科学		社会科学		農学		理学		工学		医歯薬学		分野別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
0	5	9.4	5	8.9	2	4.7	15	9.3	39	15.9	39	14.8	105	12.7
0.5	1	1.9	7	12.5	3	7.0	4	2.5	19	7.7	8	3.0	42	5.1
1	14	26.4	8	14.3	6	14.0	31	19.1	57	23.2	74	28.0	190	23.1
2	10	18.9	14	25.0	15	34.9	42	25.9	55	22.4	46	17.4	182	22.1
3	7	13.2	6	10.7	7	16.3	25	15.4	24	9.8	35	13.3	104	12.6
4	5	9.4	4	7.1	4	9.3	8	4.9	10	4.1	14	5.3	45	5.5
5	3	5.7	4	7.1	3	7.0	11	6.8	12	4.9	23	8.7	56	6.8
～10	6	11.3	7	12.5	2	4.7	18	11.1	21	8.5	22	8.3	76	9.2
～20	1	1.9	1	1.8	0	0.0	8	4.9	3	1.2	2	0.8	15	1.8
～30	1	1.9	0	0.0	1	2.3	0	0.0	5	2.0	0	0.0	7	0.8
～100	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.4	1	0.4	2	0.2
100～	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	53	100.0	56	100.0	43	100.0	162	100.0	246	100.0	264	100.0	824	100.0

表 3-2-31 . 毎回の授業の数日前～前日にかかる**理想**の時間（専門分野別）

時間	人文科学		社会科学		農学		理学		工学		医歯薬学		分野別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
0	4	7.5	5	8.9	2	4.7	15	9.3	44	17.9	38	14.4	108	13.1
0.5	1	1.9	4	7.1	2	4.7	4	2.5	8	3.3	5	1.9	24	2.9
1	11	20.8	13	23.2	8	18.6	35	21.6	70	28.5	79	29.9	216	26.2
2	13	24.5	18	32.1	13	30.2	43	26.5	50	20.3	57	21.6	194	23.5
3	10	18.9	5	8.9	7	16.3	23	14.2	31	12.6	37	14.0	113	13.7
4	5	9.4	1	1.8	3	7.0	10	6.2	8	3.3	7	2.7	34	4.1
5	7	13.2	4	7.1	3	7.0	13	8.0	12	4.9	23	8.7	62	7.5
～10	1	1.9	5	8.9	3	7.0	14	8.6	16	6.5	16	6.1	55	6.7
～20	1	1.9	0	0.0	1	2.3	5	3.1	4	1.6	1	0.4	12	1.5
～30	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	1.2	0	0.0	3	0.4
～100	0	0.0	1	1.8	1	2.3	0	0.0	0	0.0	1	0.4	3	0.4
100～	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	53	100.0	56	100.0	43	100.0	162	100.0	246	100.0	264	100.0	824	100.0

表 3-2-32 . 毎回の授業の当日にかかる**実際**の時間（職階別）

時間	教授		准教授		講師		助教		職階別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
0	102	46.2	111	50.9	37	60.7	120	48.2	370	49.4
0.5	42	19.0	24	11.0	6	9.8	31	12.4	103	13.8
1	66	29.9	58	26.6	15	24.6	77	30.9	216	28.8
2	6	2.7	16	7.3	3	4.9	12	4.8	37	4.9
3	2	0.9	4	1.8	0	0.0	5	2.0	11	1.5
4	1	0.5	0	0.0	0	0.0	3	1.2	4	0.5
5	1	0.5	0	0.0	0	0.0	1	0.4	2	0.3
～10	0	0.0	4	1.8	0	0.0	0	0.0	4	0.5
～20	1	0.5	1	0.5	0	0.0	0	0.0	2	0.3
～30	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
～100	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
100～	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	221	100.0	218	100.0	61	100.0	249	100.0	749	100.0

表 3-2-33 . 毎回の授業の当日にかかる**理想**の時間（職階別）

時間	教授		准教授		講師		助教		職階別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
0	106	48.0	119	54.6	39	63.9	123	49.4	387	51.7
0.5	22	10.0	17	7.8	2	3.3	29	11.6	70	9.3
1	80	36.2	61	28.0	12	19.7	74	29.7	227	30.3
2	8	3.6	10	4.6	6	9.8	13	5.2	37	4.9
3	0	0.0	5	2.3	2	3.3	5	2.0	12	1.6
4	3	1.4	0	0.0	0	0.0	2	0.8	5	0.7
5	1	0.5	1	0.5	0	0.0	2	0.8	4	0.5
～10	0	0.0	3	1.4	0	0.0	0	0.0	3	0.4
～20	0	0.0	2	0.9	0	0.0	0	0.0	2	0.3
～30	1	0.5	0	0.0	0	0.0	1	0.4	2	0.3
～100	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
100～	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	221	100.0	218	100.0	61	100.0	249	100.0	749	100.0

表 3-2-34 . 毎回の授業の当日にかかる**実際**の時間（専門分野別）

時間	人文科学		社会科学		農学		理学		工学		医歯薬学		分野別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
0	18	38.3	20	37.0	18	46.2	64	43.0	115	52.3	133	56.8	368	49.5
0.5	6	12.8	12	22.2	8	20.5	22	14.8	27	12.3	26	11.1	101	13.6
1	19	40.4	15	27.8	12	30.8	49	32.9	62	28.2	59	25.2	216	29.1
2	4	8.5	3	5.6	1	2.6	9	6.0	9	4.1	10	4.3	36	4.8
3	0	0.0	2	3.7	0	0.0	3	2.0	3	1.4	3	1.3	11	1.5
4	0	0.0	1	1.9	0	0.0	1	0.7	1	0.5	1	0.4	4	0.5
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.5	0	0.0	1	0.1
~10	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.7	1	0.5	1	0.4	3	0.4
~20	0	0.0	1	1.9	0	0.0	0	0.0	1	0.5	1	0.4	3	0.4
~30	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
~100	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
100~	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	47	100.0	54	100.0	39	100.0	149	100.0	220	100.0	234	100.0	743	100.0

表 3-2-35 . 毎回の授業の当日にかかる**理想**の時間（専門分野別）

時間	人文科学		社会科学		農学		理学		工学		医歯薬学		分野別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
0	24	51.1	21	38.9	20	51.3	71	47.7	116	52.7	133	56.8	385	51.8
0.5	2	4.3	11	20.4	5	12.8	18	12.1	16	7.3	16	6.8	68	9.2
1	15	31.9	14	25.9	13	33.3	47	31.5	72	32.7	65	27.8	226	30.4
2	4	8.5	4	7.4	0	0.0	8	5.4	9	4.1	12	5.1	37	5.0
3	1	2.1	1	1.9	0	0.0	3	2.0	2	0.9	5	2.1	12	1.6
4	0	0.0	2	3.7	0	0.0	1	0.7	2	0.9	0	0.0	5	0.7
5	1	2.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	0.9	0	0.0	3	0.4
~10	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.7	0	0.0	1	0.4	2	0.3
~20	0	0.0	0	0.0	1	2.6	0	0.0	1	0.5	1	0.4	3	0.4
~30	0	0.0	1	1.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.4	2	0.3
~100	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
100~	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	47	100.0	54	100.0	39	100.0	149	100.0	220	100.0	234	100.0	743	100.0

表 3-2-36 . シラバス作成時にかかる時間の理想と実際（職階別）

時間	教授		准教授		講師		助教		職階別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
実際 = 理想	150	62.2	133	58.6	35	53.0	170	66.9	488	61.9
実際 > 理想	14	5.8	25	11.0	4	6.1	19	7.5	62	7.9
実際 < 理想	77	32.0	69	30.4	27	40.9	65	25.6	238	30.2
合計	241	100.0	227	100.0	66	100.0	254	100.0	788	100.0

表 3-2-37 . 学期開始当初にかかる時間の理想と実際 (職階別)

時間	教授		准教授		講師		助教		職階別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
実際 = 理想	133	57.1	132	59.5	28	46.7	162	65.9	455	59.8
実際 > 理想	16	6.9	29	13.1	5	8.3	29	11.8	79	10.4
実際 < 理想	84	36.1	61	27.5	27	45.0	55	22.4	227	29.8
合計	233	100.0	222	100.0	60	100.0	246	100.0	761	100.0

表 3-2-38 . 授業実施一週間前にかかる時間の理想と実際 (職階別)

時間	教授		准教授		講師		助教		職階別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
実際 = 理想	160	67.8	142	61.2	28	42.4	173	65.5	503	63.0
実際 > 理想	15	6.4	27	11.6	15	22.7	37	14.0	94	11.8
実際 < 理想	61	25.8	63	27.2	23	34.8	54	20.5	201	25.2
合計	236	100.0	232	100.0	66	100.0	264	100.0	798	100.0

表 3-2-39 . 毎回の授業の数日前～前日にかかる時間の理想と実際 (職階別)

時間	教授		准教授		講師		助教		職階別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
実際 = 理想	152	58.9	119	50.2	34	50.7	157	59.5	462	55.9
実際 > 理想	36	14.0	73	30.8	17	25.4	54	20.5	180	21.8
実際 < 理想	70	27.1	45	19.0	16	23.9	53	20.1	184	22.3
合計	258	100.0	237	100.0	67	100.0	264	100.0	826	100.0

表 3-2-40 . 毎回の授業の当日にかかる時間の理想と実際 (職階別)

時間	教授		准教授		講師		助教		職階別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
実際 = 理想	161	72.9	151	69.3	45	73.8	198	79.5	555	74.1
実際 > 理想	24	10.9	32	14.7	5	8.2	25	10.0	86	11.5
実際 < 理想	36	16.3	35	16.1	11	18.0	26	10.4	108	14.4
合計	221	100.0	218	100.0	61	100.0	249	100.0	749	100.0

表 3-2-41 . シラバス作成時にかかる時間の理想と実際 (専門分野別)

	人文科学		社会科学		農学		理学		工学		医歯薬学		分野別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
実際 = 理想	28	58.3	34	64.2	22	59.5	92	58.6	143	63.3	161	61.7	479	61.3
実際 > 理想	7	14.6	8	15.1	4	10.8	9	5.7	16	7.1	19	7.3	63	8.1
実際 < 理想	13	27.1	11	20.8	11	29.7	56	35.7	67	29.6	81	31.0	239	30.6
合計	48	100.0	53	100.0	37	100.0	157	100.0	226	100.0	261	100.0	781	100.0

表 3-2-42 . 学期開始時にかかる時間の理想と実際（専門分野別）

	人文科学		社会科学		農学		理学		工学		医歯薬学		分野別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
実際 = 理想	21	43.8	34	65.4	18	48.6	91	58.0	139	60.4	151	63.4	454	59.6
実際 > 理想	11	22.9	5	9.6	2	5.4	13	8.3	29	12.6	20	8.4	80	10.5
実際 < 理想	16	33.3	13	25.0	17	45.9	53	33.8	62	27.0	67	28.2	228	29.9
合計	48	100.0	52	100.0	37	100.0	157	100.0	230	100.0	238	100.0	762	100.0

表 3-2-43 . 毎回の授業の一週間前にかかる時間の理想と実際（専門分野別）

	人文科学		社会科学		農学		理学		工学		医歯薬学		分野別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
実際 = 理想	24	51.1	30	58.8	21	50.0	104	66.7	162	69.5	159	59.6	500	62.8
実際 > 理想	4	8.5	6	11.8	5	11.9	20	12.8	24	10.3	36	13.5	95	11.9
実際 < 理想	19	40.4	15	29.4	16	38.1	32	20.5	47	20.2	72	27.0	201	25.3
合計	47	100.0	51	100.0	42	100.0	156	100.0	233	100.0	267	100.0	796	100.0

表 3-2-44 . 毎回の授業の数日前～前日にかかる時間の理想と実際（専門分野別）

	人文科学		社会科学		農学		理学		工学		医歯薬学		分野別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
実際 = 理想	22	41.5	29	51.8	23	53.5	90	55.9	142	57.7	157	59.2	463	56.2
実際 > 理想	15	28.3	16	28.6	7	16.3	40	24.8	51	20.7	53	20.0	182	22.1
実際 < 理想	16	30.2	11	19.6	13	30.2	31	19.3	53	21.5	55	20.8	179	21.7
合計	53	100.0	56	100.0	43	100.0	161	100.0	246	100.0	265	100.0	824	100.0

表 3-2-45 . 毎回の授業の当日にかかる時間の理想と実際（専門分野別）

	人文科学		社会科学		農学		理学		工学		医歯薬学		分野別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
実際 = 理想	29	63.0	42	79.2	29	72.5	114	75.5	164	74.2	181	76.7	559	74.8
実際 > 理想	9	19.6	6	11.3	5	12.5	21	13.9	21	9.5	21	8.9	83	11.1
実際 < 理想	8	17.4	5	9.4	6	15.0	16	10.6	36	16.3	34	14.4	105	14.1
合計	46	100.0	53	100.0	40	100.0	151	100.0	221	100.0	236	100.0	747	100.0

### 3-3. 授業の見直しについて

#### (1) 授業内容・計画の見直し，改善の実施状況

表 3-3-1．授業の実施結果をもとに授業内容・計画の見直し，改善を行うか（職階別）

時間	教授		准教授		講師		助教		職階別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
行う	306	84.1	269	87.9	74	92.5	290	81.5	939	84.9
行いたいが行えない	6	1.6	11	3.6	4	5.0	17	4.8	38	3.4
行わない	52	14.3	26	8.5	2	2.5	49	13.8	129	11.7
合計	364	100.0	306	100.0	80	100.0	356	100.0	1,106	100.0

表 3-3-2．授業の実施結果をもとに授業内容・計画の見直し，改善を行うか（専門分野別）

	人文科学		社会科学		農学		理学		工学		医歯薬学		分野別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
行う	58	90.6	59	76.6	55	90.2	175	82.2	270	83.6	321	87.7	883	84.7
行いたいが行えない	1	1.6	5	6.5	2	3.3	11	5.2	7	2.2	12	3.3	36	3.5
行わない	5	7.8	13	16.9	4	6.6	27	12.7	46	14.2	33	9.0	124	11.9
合計	64	100.0	77	100.0	61	100.0	213	100.0	323	100.0	366	100.0	1,043	100.0

#### (2) 授業の改善時に参考にするもの

表 3-3-3．計画の見直し，改善時に参考にするもの（職階別）

	教授		准教授		講師		助教		職階別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1.大学が実施している学生による授業評価の結果	178	57.4	140	51.7	40	50.0	121	41.3	482	47.1
2.個人で実施している授業評価アンケートの結果	47	15.2	54	19.9	20	25.0	46	15.7	170	16.6
3.学生からのミニットペーパー	50	16.1	45	16.6	15	18.8	31	10.6	145	14.2
4.試験の成績	131	42.3	100	36.9	28	35.0	65	22.2	327	32.0
5.課題の出来具合	115	37.1	120	44.3	20	25.0	127	43.3	386	37.7
6.授業中の学生の反応	205	66.1	208	76.8	53	66.3	229	78.2	702	68.6
7.実践してみて自身で感じたこと	181	58.4	179	66.1	57	71.3	203	69.3	626	61.2
8.授業を撮影したビデオの視聴	1	0.3	2	0.7	0	0.0	0	0.0	3	0.3
9.その他	27	8.7	19	7.0	2	2.5	11	3.8	61	6.0
回答者数	379	100.0	271	100.0	80	100.0	293	100.0	1,023	100.0

表 3-3-4 . 計画の見直し，改善時に参考にするもの（専門分野別）

	人文科学		社会科学		農学		理学		工学		医歯薬学		分野別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1.大学が実施している学生による授業評価の結果	37	63.8	37	62.7	30	54.5	83	47.4	129	47.8	160	49.8	476	50.7
2.個人で実施している授業評価アンケートの結果	10	17.2	15	25.4	8	14.5	40	22.9	37	13.7	57	17.8	167	17.8
3.学生からのコメント	22	37.9	15	25.4	11	20.0	26	14.9	23	8.5	43	13.4	140	14.9
4.試験の成績	28	48.3	23	39.0	12	21.8	57	32.6	98	36.3	104	32.4	322	34.3
5.課題の出来具合	28	48.3	22	37.3	19	34.5	98	56.0	150	55.6	65	20.2	382	40.7
6.授業中の学生の反応	52	89.7	50	84.7	34	61.8	126	72.0	202	74.8	230	71.7	694	74.0
7.実践してみても自身で感じたこと	42	72.4	40	67.8	34	61.8	119	68.0	166	61.5	218	67.9	619	66.0
8.授業を撮影したビデオの視聴	0	0.0	1	1.7	0	0.0	1	0.6	0	0.0	1	0.3	3	0.3
9.その他	1	1.7	4	6.8	7	12.7	9	5.1	17	6.3	22	6.9	60	6.4
回答者数	58	100.0	59	100.0	55	100.0	175	100.0	270	100.0	321	100.0	938	100.0

(3) 授業の改善の対象

表 3-3-5 . 計画の見直し，改善の対象（職階別）

	教授		准教授		講師		助教		職階別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1.授業の目標設定	64	20.8	68	25.2	29	37.2	89	30.6	250	26.3
2.授業で扱うトピック、教材	231	75.0	199	73.7	62	79.5	192	66.0	684	72.1
3.授業中に扱う例、図、グラフ	154	50.0	128	47.4	46	59.0	140	48.1	468	49.3
4.授業中の活動形態	49	15.9	55	20.4	19	24.4	86	29.6	209	22.0
5.時間配分	143	46.4	126	46.7	33	42.3	136	46.7	438	46.2
6.配布資料	207	67.2	159	58.9	47	60.3	141	48.5	554	58.4
7.提示資料	80	26.0	80	29.6	19	24.4	84	28.9	263	27.7
8.課題・宿題	130	42.2	123	45.6	15	19.2	103	35.4	371	39.1
9.試験の内容	94	30.5	69	25.6	21	26.9	42	14.4	226	23.8
10.その他	10	3.2	3	1.1	1	1.3	4	1.4	18	1.9
回答者数	310	100.0	270	100.0	78	100.0	291	100.0	949	100.0

表 3-3-6 . 計画の見直し，改善の対象（専門分野別）

	人文科学		社会科学		農学		理学		工学		医歯薬学		分野別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1.授業の目標設定	16	27.6	14	23.7	14	25.5	55	31.4	62	23.0	89	27.7	250	26.7
2.授業で扱うトピック、教材	49	84.5	45	76.3	46	83.6	124	70.9	170	63.0	250	77.9	684	72.9
3.授業中に扱う例、図、グラフ	12	20.7	19	32.2	30	54.5	85	48.6	133	49.3	191	59.5	470	50.1
4.授業中の活動形態	24	41.4	16	27.1	10	18.2	39	22.3	52	19.3	70	21.8	211	22.5
5.時間配分	25	43.1	33	55.9	17	30.9	90	51.4	125	46.3	148	46.1	438	46.7
6.配布資料	36	62.1	41	69.5	41	74.5	80	45.7	156	57.8	202	62.9	556	59.3
7.提示資料	11	19.0	26	44.1	14	25.5	42	24.0	61	22.6	110	34.3	264	28.1
8.課題・宿題	29	50.0	27	45.8	17	30.9	91	52.0	154	57.0	49	15.3	367	39.1
9.試験の内容	14	24.1	11	18.6	12	21.8	42	24.0	66	24.4	76	23.7	221	23.6
10.その他	2	3.4	1	1.7	2	3.6	2	1.1	10	3.7	2	0.6	19	2.0
回答者数	58	100.0	59	100.0	55	100.0	175	100.0	270	100.0	321	100.0	938	100.0

(4) 授業の改善にかかる時間

表 3-3-7 . シラバス作成時にかかる**実際**の時間 (職階別)

時間	教授		准教授		講師		助教		職階別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
0	42	21.5	57	30.5	27	50.0	102	51.0	228	35.8
0.5	13	6.7	8	4.3	1	1.9	5	2.5	27	4.2
1	72	36.9	47	25.1	10	18.5	30	15.0	159	25.0
2	39	20.0	30	16.0	7	13.0	19	9.5	95	14.9
3	8	4.1	13	7.0	2	3.7	7	3.5	30	4.7
4	1	0.5	3	1.6	1	1.9	6	3.0	11	1.7
5	8	4.1	14	7.5	1	1.9	13	6.5	36	5.7
~10	8	4.1	8	4.3	3	5.6	12	6.0	31	4.9
~20	2	1.0	4	2.1	2	3.7	4	2.0	12	1.9
~30	0	0.0	3	1.6	0	0.0	2	1.0	5	0.8
~100	2	1.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	0.3
100~	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	195	100.0	187	100.0	54	100.0	200	100.0	636	100.0

表 3-3-8 . シラバス作成時にかかる**理想**の時間 (職階別)

時間	教授		准教授		講師		助教		職階別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
0	29	14.9	44	23.5	17	31.5	79	39.5	169	26.6
0.5	7	3.6	4	2.1	1	1.9	4	2.0	16	2.5
1	59	30.3	39	20.9	16	29.6	31	15.5	145	22.8
2	44	22.6	25	13.4	3	5.6	26	13.0	98	15.4
3	14	7.2	18	9.6	2	3.7	13	6.5	47	7.4
4	4	2.1	5	2.7	2	3.7	4	2.0	15	2.4
5	17	8.7	23	12.3	4	7.4	17	8.5	61	9.6
~10	16	8.2	21	11.2	3	5.6	17	8.5	57	9.0
~20	4	2.1	3	1.6	6	11.1	4	2.0	17	2.7
~30	0	0.0	3	1.6	0	0.0	3	1.5	6	0.9
~100	1	0.5	2	1.1	0	0.0	2	1.0	5	0.8
100~	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	195	100.0	187	100.0	54	100.0	200	100.0	636	100.0

表 3-2-9 . シラバス作成時にかかる**実際**の時間 (専門分野別)

時間	人文科学		社会科学		農学		理学		工学		医歯薬学		分野別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
0	4	9.5	10	22.2	8	21.6	51	41.1	66	37.5	86	41.3	225	35.6
0.5	2	4.8	4	8.9	2	5.4	3	2.4	8	4.5	8	3.8	27	4.3
1	12	28.6	13	28.9	16	43.2	31	25.0	40	22.7	47	22.6	159	25.2
2	10	23.8	4	8.9	5	13.5	15	12.1	29	16.5	32	15.4	95	15.0
3	5	11.9	2	4.4	2	5.4	6	4.8	6	3.4	9	4.3	30	4.7
4	1	2.4	1	2.2	0	0.0	2	1.6	2	1.1	5	2.4	11	1.7
5	4	9.5	6	13.3	2	5.4	8	6.5	7	4.0	9	4.3	36	5.7
~10	2	4.8	3	6.7	2	5.4	4	3.2	11	6.3	9	4.3	31	4.9
~20	1	2.4	2	4.4	0	0.0	2	1.6	5	2.8	2	1.0	12	1.9
~30	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	1.6	1	0.6	1	0.5	4	0.6
~100	1	2.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.6	0	0.0	2	0.3
100~	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	42	100.0	45	100.0	37	100.0	124	100.0	176	100.0	208	100.0	632	100.0

表 3-3-10 . シラバス作成時にかかる**理想**の時間 (専門分野別)

時間	人文科学		社会科学		農学		理学		工学		医歯薬学		分野別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
0	4	9.5	5	11.1	6	16.2	37	29.8	52	29.5	62	29.8	166	26.3
0.5	0	0.0	1	2.2	1	2.7	2	1.6	3	1.7	9	4.3	16	2.5
1	10	23.8	13	28.9	14	37.8	23	18.5	41	23.3	43	20.7	144	22.8
2	9	21.4	5	11.1	7	18.9	19	15.3	23	13.1	35	16.8	98	15.5
3	5	11.9	4	8.9	2	5.4	14	11.3	12	6.8	10	4.8	47	7.4
4	1	2.4	0	0.0	1	2.7	4	3.2	4	2.3	6	2.9	16	2.5
5	7	16.7	7	15.6	0	0.0	11	8.9	17	9.7	19	9.1	61	9.7
~10	5	11.9	6	13.3	6	16.2	8	6.5	17	9.7	15	7.2	57	9.0
~20	1	2.4	3	6.7	0	0.0	2	1.6	5	2.8	6	2.9	17	2.7
~30	0	0.0	1	2.2	0	0.0	2	1.6	1	0.6	1	0.5	5	0.8
~100	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	1.6	1	0.6	2	1.0	5	0.8
100~	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	42	100.0	45	100.0	37	100.0	124	100.0	176	100.0	208	100.0	632	100.0

表 3-3-11 . 学期開始当初にかかる**実際**の時間 (職階別)

時間	教授		准教授		講師		助教		職階別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
0	51	26.4	51	27.3	24	46.2	71	37.2	197	31.6
0.5	2	1.0	2	1.1	0	0.0	3	1.6	7	1.1
1	43	22.3	25	13.4	8	15.4	28	14.7	104	16.7
2	33	17.1	24	12.8	4	7.7	19	9.9	80	12.8
3	16	8.3	17	9.1	2	3.8	9	4.7	44	7.1
4	3	1.6	7	3.7	1	1.9	9	4.7	20	3.2
5	13	6.7	20	10.7	2	3.8	25	13.1	60	9.6
~10	17	8.8	28	15.0	7	13.5	14	7.3	66	10.6
~20	11	5.7	8	4.3	4	7.7	8	4.2	31	5.0
~30	3	1.6	2	1.1	0	0.0	5	2.6	10	1.6
~100	1	0.5	3	1.6	0	0.0	0	0.0	4	0.6
100~	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	193	100.0	187	100.0	52	100.0	191	100.0	623	100.0

表 3-3-12 . 学期開始当初にかかる**理想**の時間（職階別）

時間	教授		准教授		講師		助教		職階別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
0	36	18.7	40	21.4	13	25.0	61	31.9	150	24.1
0.5	3	1.6	1	0.5	0	0.0	1	0.5	5	0.8
1	39	20.2	20	10.7	9	17.3	29	15.2	97	15.6
2	32	16.6	26	13.9	12	23.1	25	13.1	95	15.2
3	17	8.8	15	8.0	2	3.8	12	6.3	46	7.4
4	4	2.1	9	4.8	1	1.9	6	3.1	20	3.2
5	18	9.3	23	12.3	3	5.8	22	11.5	66	10.6
~10	23	11.9	33	17.6	4	7.7	17	8.9	77	12.4
~20	12	6.2	11	5.9	5	9.6	13	6.8	41	6.6
~30	6	3.1	4	2.1	0	0.0	2	1.0	12	1.9
~100	3	1.6	5	2.7	3	5.8	3	1.6	14	2.2
100~	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	193	100.0	187	100.0	52	100.0	191	100.0	623	100.0

表 3-3-13 . 学期開始当初にかかる**実際**の時間

時間	人文科学		社会科学		農学		理学		工学		医歯薬学		分野別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
0	8	19.0	12	31.6	9	26.5	27	22.1	39	21.0	100	49.8	195	31.3
0.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.8	2	1.1	4	2.0	7	1.1
1	4	9.5	8	21.1	8	23.5	18	14.8	36	19.4	31	15.4	105	16.9
2	10	23.8	5	13.2	6	17.6	17	13.9	26	14.0	17	8.5	81	13.0
3	5	11.9	2	5.3	4	11.8	11	9.0	14	7.5	8	4.0	44	7.1
4	1	2.4	0	0.0	1	2.9	5	4.1	8	4.3	4	2.0	19	3.0
5	4	9.5	5	13.2	2	5.9	15	12.3	20	10.8	14	7.0	60	9.6
~10	5	11.9	2	5.3	4	11.8	14	11.5	23	12.4	17	8.5	65	10.4
~20	3	7.1	2	5.3	0	0.0	7	5.7	14	7.5	5	2.5	31	5.0
~30	0	0.0	1	2.6	0	0.0	6	4.9	3	1.6	1	0.5	11	1.8
~100	1	2.4	1	2.6	0	0.0	1	0.8	1	0.5	0	0.0	4	0.6
100~	1	2.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.2
合計	42	100.0	38	100.0	34	100.0	122	100.0	186	100.0	201	100.0	623	100.0

表 3-3-14 . 学期開始当初にかかる**理想**の時間

時間	人文科学		社会科学		農学		理学		工学		医歯薬学		分野別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
0	8	19.0	8	21.1	6	17.6	23	18.9	31	16.7	72	35.8	148	23.8
0.5	0	0.0	1	2.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	4	2.0	5	0.8
1	3	7.1	7	18.4	10	29.4	14	11.5	32	17.2	32	15.9	98	15.7
2	9	21.4	6	15.8	5	14.7	15	12.3	28	15.1	32	15.9	95	15.2
3	3	7.1	3	7.9	3	8.8	13	10.7	13	7.0	12	6.0	47	7.5
4	3	7.1	1	2.6	3	8.8	4	3.3	4	2.2	4	2.0	19	3.0
5	5	11.9	3	7.9	0	0.0	20	16.4	22	11.8	16	8.0	66	10.6
~10	6	14.3	4	10.5	6	17.6	14	11.5	29	15.6	17	8.5	76	12.2
~20	2	4.8	1	2.6	1	2.9	11	9.0	18	9.7	9	4.5	42	6.7
~30	1	2.4	1	2.6	0	0.0	3	2.5	7	3.8	0	0.0	12	1.9
~100	1	2.4	3	7.9	0	0.0	5	4.1	2	1.1	3	1.5	14	2.2
100~	1	2.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.2
合計	42	100.0	38	100.0	34	100.0	122	100.0	186	100.0	201	100.0	623	100.0

表 3-3-15 . 授業実施一週間前にかかる**実際**の時間 (職階別)

時間	教授		准教授		講師		助教		職階別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
0	70	38.5	74	38.1	12	23.1	67	33.3	223	35.5
0.5	10	5.5	4	2.1	0	0.0	2	1.0	16	2.5
1	52	28.6	39	20.1	18	34.6	42	20.9	151	24.0
2	22	12.1	34	17.5	7	13.5	24	11.9	87	13.8
3	10	5.5	17	8.8	5	9.6	17	8.5	49	7.8
4	2	1.1	4	2.1	2	3.8	8	4.0	16	2.5
5	7	3.8	8	4.1	4	7.7	17	8.5	36	5.7
~10	4	2.2	11	5.7	4	7.7	21	10.4	40	6.4
~20	2	1.1	3	1.5	0	0.0	2	1.0	7	1.1
~30	1	0.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.2
~100	2	1.1	0	0.0	0	0.0	1	0.5	3	0.5
100~	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	182	100.0	194	100.0	52	100.0	201	100.0	629	100.0

表 3-3-16 . 授業実施一週間前にかかる**理想**の時間 (職階別)

時間	教授		准教授		講師		助教		職階別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
0	61	33.5	65	33.5	10	19.2	62	30.8	198	31.5
0.5	8	4.4	2	1.0	1	1.9	3	1.5	14	2.2
1	42	23.1	38	19.6	16	30.8	41	20.4	137	21.8
2	33	18.1	39	20.1	10	19.2	30	14.9	112	17.8
3	13	7.1	17	8.8	3	5.8	15	7.5	48	7.6
4	5	2.7	6	3.1	3	5.8	9	4.5	23	3.7
5	9	4.9	13	6.7	5	9.6	16	8.0	43	6.8
~10	5	2.7	10	5.2	4	7.7	20	10.0	39	6.2
~20	1	0.5	4	2.1	0	0.0	4	2.0	9	1.4
~30	2	1.1	0	0.0	0	0.0	1	0.5	3	0.5
~100	3	1.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	0.5
100~	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	182	100.0	194	100.0	52	100.0	201	100.0	629	100.0

表 3-3-17 . 毎回の授業の一週間前にかかる**実際**の時間 (専門分野別)

時間	人文科学		社会科学		農学		理学		工学		医歯薬学		分野別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
0	14	35.9	15	39.5	11	28.9	53	44.2	74	41.6	56	26.2	223	35.6
0.5	2	5.1	4	10.5	1	2.6	0	0.0	4	2.2	5	2.3	16	2.6
1	11	28.2	9	23.7	13	34.2	26	21.7	43	24.2	50	23.4	152	24.2
2	6	15.4	4	10.5	4	10.5	13	10.8	26	14.6	35	16.4	88	14.0
3	5	12.8	2	5.3	1	2.6	9	7.5	9	5.1	22	10.3	48	7.7
4	0	0.0	0	0.0	2	5.3	5	4.2	1	0.6	8	3.7	16	2.6
5	0	0.0	3	7.9	3	7.9	7	5.8	9	5.1	15	7.0	37	5.9
~10	1	2.6	1	2.6	3	7.9	6	5.0	5	2.8	22	10.3	38	6.1
~20	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.8	4	2.2	0	0.0	5	0.8
~30	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.5	1	0.2
~100	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	1.7	0	0.0	3	0.5
100~	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	39	100.0	38	100.0	38	100.0	120	100.0	178	100.0	214	100.0	627	100.0

表 3-3-18 . 毎回の授業の一週間前にかかる**理想**の時間 (専門分野別)

時間	人文科学		社会科学		農学		理学		工学		医歯薬学		分野別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
0	11	28.2	12	31.6	9	23.7	49	40.8	69	38.8	47	22.0	197	31.4
0.5	2	5.1	2	5.3	0	0.0	1	0.8	3	1.7	6	2.8	14	2.2
1	7	17.9	12	31.6	15	39.5	22	18.3	38	21.3	42	19.6	136	21.7
2	12	30.8	6	15.8	4	10.5	16	13.3	30	16.9	44	20.6	112	17.9
3	5	12.8	2	5.3	0	0.0	8	6.7	13	7.3	21	9.8	49	7.8
4	0	0.0	0	0.0	3	7.9	7	5.8	3	1.7	11	5.1	24	3.8
5	1	2.6	2	5.3	4	10.5	8	6.7	7	3.9	21	9.8	43	6.9
~10	1	2.6	2	5.3	2	5.3	7	5.8	8	4.5	17	7.9	37	5.9
~20	0	0.0	0	0.0	1	2.6	1	0.8	4	2.2	3	1.4	9	1.4
~30	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.6	2	0.9	3	0.5
~100	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.8	2	1.1	0	0.0	3	0.5
100~	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	39	100.0	38	100.0	38	100.0	120	100.0	178	100.0	214	100.0	627	100.0

表 3-3-19 . 毎回の授業の数日前～前日にかかる**実際**の時間 (職階別)

時間	教授		准教授		講師		助教		職階別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
0	35	18.0	36	19.1	15	27.3	76	38.2	162	25.5
0.5	14	7.2	2	1.1	1	1.8	8	4.0	25	3.9
1	66	34.0	59	31.4	13	23.6	42	21.1	180	28.3
2	42	21.6	40	21.3	11	20.0	27	13.6	120	18.9
3	14	7.2	24	12.8	4	7.3	21	10.6	63	9.9
4	6	3.1	5	2.7	4	7.3	5	2.5	20	3.1
5	5	2.6	12	6.4	4	7.3	5	2.5	26	4.1
~10	11	5.7	8	4.3	3	5.5	15	7.5	37	5.8
~20	0	0.0	1	0.5	0	0.0	0	0.0	1	0.2
~30	1	0.5	1	0.5	0	0.0	0	0.0	2	0.3
~100	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
100~	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	194	100.0	188	100.0	55	100.0	199	100.0	636	100.0

表 3-3-20 . 毎回の授業の数日前～前日にかかる**理想**の時間 (職階別)

時間	教授		准教授		講師		助教		職階別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
0	42	21.6	38	20.2	15	27.3	73	36.7	168	26.4
0.5	10	5.2	2	1.1	2	3.6	5	2.5	19	3.0
1	58	29.9	54	28.7	12	21.8	47	23.6	171	26.9
2	50	25.8	45	23.9	11	20.0	29	14.6	135	21.2
3	11	5.7	22	11.7	2	3.6	20	10.1	55	8.6
4	3	1.5	3	1.6	6	10.9	1	0.5	13	2.0
5	9	4.6	12	6.4	4	7.3	6	3.0	31	4.9
~10	11	5.7	9	4.8	3	5.5	16	8.0	39	6.1
~20	0	0.0	2	1.1	0	0.0	2	1.0	4	0.6
~30	0	0.0	1	0.5	0	0.0	0	0.0	1	0.2
~100	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
100~	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	194	100.0	188	100.0	55	100.0	199	100.0	636	100.0

表 3-3-21 . 毎回の授業の数日前～前日にかかる**実際**の時間（専門分野別）

時間	人文科学		社会科学		農学		理学		工学		医歯薬学		分野別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
0	7	16.7	10	22.7	7	18.4	26	21.0	55	30.9	55	26.6	160	25.3
0.5	2	4.8	6	13.6	2	5.3	2	1.6	6	3.4	7	3.4	25	3.9
1	13	31.0	12	27.3	12	31.6	38	30.6	51	28.7	52	25.1	178	28.1
2	7	16.7	12	27.3	10	26.3	22	17.7	34	19.1	35	16.9	120	19.0
3	5	11.9	1	2.3	2	5.3	19	15.3	13	7.3	25	12.1	65	10.3
4	2	4.8	0	0.0	1	2.6	6	4.8	3	1.7	8	3.9	20	3.2
5	3	7.1	0	0.0	1	2.6	5	4.0	7	3.9	10	4.8	26	4.1
～10	2	4.8	3	6.8	3	7.9	5	4.0	8	4.5	15	7.2	36	5.7
～20	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.8	0	0.0	0	0.0	1	0.2
～30	1	2.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.6	0	0.0	2	0.3
～100	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
100～	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	42	100.0	44	100.0	38	100.0	124	100.0	178	100.0	207	100.0	633	100.0

表 3-3-22 . 毎回の授業の数日前～前日にかかる**理想**の時間（専門分野別）

時間	人文科学		社会科学		農学		理学		工学		医歯薬学		分野別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
0	9	21.4	11	25.0	5	13.2	29	23.4	58	32.6	55	26.6	167	26.4
0.5	1	2.4	4	9.1	1	2.6	1	0.8	5	2.8	8	3.9	20	3.2
1	6	14.3	13	29.5	16	42.1	37	29.8	46	25.8	51	24.6	169	26.7
2	15	35.7	11	25.0	8	21.1	21	16.9	36	20.2	44	21.3	135	21.3
3	5	11.9	1	2.3	3	7.9	16	12.9	12	6.7	19	9.2	56	8.8
4	3	7.1	1	2.3	0	0.0	0	0.0	3	1.7	6	2.9	13	2.1
5	3	7.1	1	2.3	1	2.6	11	8.9	8	4.5	6	2.9	30	4.7
～10	0	0.0	2	4.5	3	7.9	7	5.6	8	4.5	18	8.7	38	6.0
～20	0	0.0	0	0.0	1	2.6	2	1.6	1	0.6	0	0.0	4	0.6
～30	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.6	0	0.0	1	0.2
～100	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
100～	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	42	100.0	44	100.0	38	100.0	124	100.0	178	100.0	207	100.0	633	100.0

表 3-3-23 . 毎回の授業の当日にかかる**実際**の時間（職階別）

時間	教授		准教授		講師		助教		職階別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
0	117	70.1	117	65.7	34	68.0	122	64.9	390	66.9
0.5	17	10.2	15	8.4	3	6.0	16	8.5	51	8.7
1	28	16.8	34	19.1	12	24.0	37	19.7	111	19.0
2	4	2.4	11	6.2	0	0.0	7	3.7	22	3.8
3	0	0.0	1	0.6	1	2.0	4	2.1	6	1.0
4	1	0.6	0	0.0	0	0.0	2	1.1	3	0.5
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
～10	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
～20	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
～30	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
～100	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
100～	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	167	100.0	178	100.0	50	100.0	188	100.0	583	100.0

表 3-3-24 . 毎回の授業の当日にかかる**理想**の時間（職階別）

時間	教授		准教授		講師		助教		職階別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
0	117	70.1	121	68.0	35	70.0	123	65.4	396	67.9
0.5	12	7.2	14	7.9	1	2.0	12	6.4	39	6.7
1	31	18.6	31	17.4	10	20.0	36	19.1	108	18.5
2	6	3.6	10	5.6	2	4.0	11	5.9	29	5.0
3	1	0.6	2	1.1	2	4.0	4	2.1	9	1.5
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.5	1	0.2
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.5	1	0.2
~10	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
~20	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
~30	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
~100	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
100~	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	167	100.0	178	100.0	50	100.0	188	100.0	583	100.0

表 3-3-25 . 毎回の授業の当日にかかる**実際**の時間（専門分野別）

時間	人文科学		社会科学		農学		理学		工学		医歯薬学		分野別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
0	21	51.2	23	60.5	23	69.7	76	67.9	122	72.6	122	64.9	387	66.7
0.5	3	7.3	5	13.2	4	12.1	7	6.3	10	6.0	23	12.2	52	9.0
1	14	34.1	8	21.1	5	15.2	23	20.5	28	16.7	33	17.6	111	19.1
2	3	7.3	1	2.6	0	0.0	4	3.6	7	4.2	6	3.2	21	3.6
3	0	0.0	1	2.6	0	0.0	0	0.0	1	0.6	4	2.1	6	1.0
4	0	0.0	0	0.0	1	3.0	2	1.8	0	0.0	0	0.0	3	0.5
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
~10	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
~20	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
~30	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
~100	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
100~	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	41	100.0	38	100.0	33	100.0	112	100.0	168	100.0	188	100.0	580	100.0

表 3-3-26 . 毎回の授業の当日にかかる**理想**の時間（専門分野別）

時間	人文科学		社会科学		農学		理学		工学		医歯薬学		分野別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
0	20	48.8	24	63.2	23	69.7	77	68.8	123	73.2	126	67.0	393	67.8
0.5	3	7.3	4	10.5	3	9.1	7	6.3	8	4.8	14	7.4	39	6.7
1	11	26.8	7	18.4	7	21.2	22	19.6	28	16.7	34	18.1	109	18.8
2	6	14.6	2	5.3	0	0.0	4	3.6	8	4.8	8	4.3	28	4.8
3	1	2.4	1	2.6	0	0.0	0	0.0	1	0.6	6	3.2	9	1.6
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.9	0	0.0	0	0.0	1	0.2
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.9	0	0.0	0	0.0	1	0.2
~10	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
~20	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
~30	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
~100	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
100~	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	41	100.0	38	100.0	33	100.0	112	100.0	168	100.0	188	100.0	580	100.0

表 3-3-27 . シラバス作成時にかかる時間の理想と実際 (職階別)

時間	教授		准教授		講師		助教		職階別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
実際 = 理想	120	61.5	115	61.5	32	59.3	142	71.0	409	64.3
実際 > 理想	6	3.1	7	3.7	2	3.7	11	5.5	26	4.1
実際 < 理想	69	35.4	65	34.8	20	37.0	47	23.5	201	31.6
合計	195	100.0	187	100.0	54	100.0	200	100.0	636	100.0

表 3-3-28 . 学期開始当初にかかる時間の理想と実際 (職階別)

時間	教授		准教授		講師		助教		職階別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
実際 = 理想	115	59.6	117	62.6	24	46.2	135	70.7	391	62.8
実際 > 理想	9	4.7	12	6.4	5	9.6	12	6.3	38	6.1
実際 < 理想	69	35.8	58	31.0	23	44.2	44	23.0	194	31.1
合計	193	100.0	187	100.0	52	100.0	191	100.0	623	100.0

表 3-3-29 . 授業実施一週間前にかかる時間の理想と実際 (職階別)

時間	教授		准教授		講師		助教		職階別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
実際 = 理想	117	64.3	136	70.1	29	55.8	147	73.1	429	68.2
実際 > 理想	13	7.1	18	9.3	10	19.2	21	10.4	62	9.9
実際 < 理想	52	28.6	40	20.6	13	25.0	33	16.4	138	21.9
合計	182	100.0	194	100.0	52	100.0	201	100.0	629	100.0

表 3-3-30 . 毎回の授業の数日前～前日にかかる時間の理想と実際 (職階別)

時間	教授		准教授		講師		助教		職階別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
実際 = 理想	142	85.0	152	85.4	41	82.0	158	84.0	493	84.6
実際 > 理想	10	6.0	12	6.7	3	6.0	12	6.4	37	6.3
実際 < 理想	15	9.0	14	7.9	6	12.0	18	9.6	53	9.1
合計	167	100.0	178	100.0	50	100.0	188	100.0	583	100.0

表 3-3-31 . 毎回の授業の当日にかかる時間の理想と実際 (職階別)

時間	教授		准教授		講師		助教		職階別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
実際 = 理想	121	62.4	132	70.2	36	65.5	149	74.9	438	68.9
実際 > 理想	30	15.5	25	13.3	9	16.4	21	10.6	85	13.4
実際 < 理想	43	22.2	31	16.5	10	18.2	29	14.6	113	17.8
合計	194	100.0	188	100.0	55	100.0	199	100.0	636	100.0

表 3-3-32 . シラバス作成時にかかる時間の理想と実際 (専門分野別)

	人文科学		社会科学		農学		理学		工学		医歯薬学		分野別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
実際 = 理想	24	57.1	26	100.0	20	54.1	80	64.5	124	70.5	135	64.9	409	64.7
実際 > 理想	4	9.5	1	3.8	4	10.8	5	4.0	5	2.8	4	1.9	23	3.6
実際 < 理想	14	33.3	18	69.2	13	35.1	39	31.5	47	26.7	69	33.2	200	31.6
合計	42	100.0	45	173.1	37	100.0	124	100.0	176	100.0	208	100.0	632	100.0

表 3-3-33 . 学期開始時にかかる時間の理想と実際 (専門分野別)

	人文科学		社会科学		農学		理学		工学		医歯薬学		分野別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
実際 = 理想	21	51.2	24	63.2	20	58.8	86	70.5	124	70.5	122	60.7	397	64.7
実際 > 理想	5	12.2	1	2.6	4	11.8	7	5.7	5	2.8	12	6.0	34	3.6
実際 < 理想	15	36.6	13	34.2	10	29.4	29	23.8	47	26.7	67	33.3	181	31.6
合計	41	100.0	38	100.0	34	100.0	122	100.0	176	100.0	201	100.0	612	100.0

表 3-3-34 . 毎回の授業の一週間前にかかる時間の理想と実際 (専門分野別)

	人文科学		社会科学		農学		理学		工学		医歯薬学		分野別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
実際 = 理想	25	64.1	25	65.8	23	60.5	88	73.3	129	72.5	138	64.5	428	64.7
実際 > 理想	3	7.7	3	7.9	4	10.5	8	6.7	17	9.6	25	11.7	60	3.6
実際 < 理想	11	28.2	10	26.3	11	28.9	24	20.0	32	18.0	51	23.8	139	31.6
合計	39	100.0	38	100.0	38	100.0	120	100.0	178	100.0	214	100.0	627	100.0

表 3-3-35 . 毎回の授業の数日前～前日にかかる時間の理想と実際 (専門分野別)

	人文科学		社会科学		農学		理学		工学		医歯薬学		分野別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
実際 = 理想	34	82.9	30	78.9	28	84.8	86	70.5	102	91.1	147	78.2	427	80.0
実際 > 理想	1	2.4	3	7.9	3	9.1	7	5.7	4	3.6	18	9.6	36	6.7
実際 < 理想	6	14.6	5	13.2	2	6.1	29	23.8	6	5.4	23	12.2	71	13.3
合計	41	100.0	38	100.0	33	100.0	122	100.0	112	100.0	188	100.0	534	100.0

表 3-3-36 . 毎回の授業の当日にかかる時間の理想と実際 (専門分野別)

	人文科学		社会科学		農学		理学		工学		医歯薬学		分野別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
実際 = 理想	25	64.1	25	65.8	23	60.5	88	73.3	129	72.5	138	64.5	428	68.3
実際 > 理想	3	7.7	3	7.9	4	10.5	8	6.7	17	9.6	25	11.7	60	9.6
実際 < 理想	11	28.2	10	26.3	11	28.9	24	20.0	32	18.0	51	23.8	139	22.2
合計	39	100.0	38	100.0	38	100.0	120	100.0	178	100.0	214	100.0	627	100.0

### 3-4. 入職当初の授業準備について

#### (1) 回答対象とする授業のプロフィール

表 3-4-4. 初めて担当した授業の受講生数（職階別）(N=1,045)

	教授		准教授		講師		助教		その他		職階別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
～5	8	2.3	9	3.1	3	3.8	22	6.8	0	0.0	42	4.0
6～10	16	4.7	25	8.6	2	2.6	22	6.8	0	0.0	65	6.2
11～15	6	1.7	8	2.8	1	1.3	14	4.3	1	10.0	30	2.9
16～20	23	6.7	21	7.2	0	0.0	16	5.0	1	10.0	61	5.8
21～30	37	10.8	35	12.1	8	10.3	30	9.3	1	10.0	111	10.6
31～40	42	12.2	35	12.1	12	15.4	32	9.9	3	30.0	124	11.9
41～50	45	13.1	29	10.0	7	9.0	26	8.0	0	0.0	107	10.2
51～60	26	7.6	21	7.2	7	9.0	25	7.7	1	10.0	80	7.7
61～100	107	31.1	74	25.5	31	39.7	92	28.5	2	20.0	306	29.3
101～200	28	8.1	29	10.0	7	9.0	40	12.4	1	10.0	105	10.0
201～	6	1.7	4	1.4	0	0.0	2	0.6	0	0.0	12	1.1
合計	344	100.0	290	100.0	78	100.0	323	100.0	10	100.0	1,045	100.0

表 3-4-5. 初めて担当した授業の受講生数（専門分野別）(N=1,030)

	人文科学		社会科学		農学		理学		工学		医歯薬学		全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
～5	3	4.8	1	1.4	3	5.1	8	4.1	10	3.2	16	4.9	41	4.0
6～10	4	6.5	4	5.7	9	15.3	14	7.1	25	7.9	8	2.4	64	6.2
11～15	5	8.1	4	5.7	2	3.4	10	5.1	5	1.6	3	0.9	29	2.8
16～20	4	6.5	6	8.6	3	5.1	11	5.6	23	7.3	13	4.0	60	5.8
21～30	5	8.1	13	18.6	22	37.3	36	18.4	22	7.0	13	4.0	111	10.8
31～40	13	21.0	0	0.0	8	13.6	31	15.8	46	14.6	21	6.4	119	11.6
41～50	13	21.0	4	5.7	1	1.7	21	10.7	44	13.9	25	7.6	108	10.5
51～60	5	8.1	3	4.3	1	1.7	13	6.6	26	8.2	32	9.8	80	7.8
61～100	8	12.9	16	22.9	9	15.3	37	18.9	63	19.9	169	51.7	302	29.3
101～200	2	3.2	16	22.9	1	1.7	12	6.1	50	15.8	24	7.3	105	10.2
201～	0	0.0	3	4.3	0	0.0	3	1.5	2	0.6	3	0.9	11	1.1
合計	62	100.0	70	100.0	59	100.0	196	100.0	316	100.0	327	100.0	1,030	100.0

表 3-4-6. 初めて担当した授業の形態（職階別）(N=1,074)

	教授		准教授		講師		助教		その他		職階別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
講義	260	74.3	183	61.8	67	80.7	146	43.3	6	75.0	662	61.6
実験	16	4.6	38	12.8	2	2.4	85	25.2	1	12.5	142	13.2
演習	37	10.6	36	12.2	2	2.4	32	9.5	1	12.5	108	10.1
実習	11	3.1	22	7.4	6	7.2	40	11.9	0	0.0	79	7.4
その他	1	0.3	1	0.3	0	0.0	8	2.4	0	0.0	10	0.9
組合せ	25	7.1	16	5.4	6	7.2	26	7.7	0	0.0	73	6.8
合計	350	100.0	296	100.0	83	100.0	337	100.0	8	100.0	1,074	100.0

表 3-4-7. 初めて担当した授業の形態（専門分野別）(N=1,067)

	人文科学		社会科学		農学		理学		工学		医歯薬学		分野別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
講義	39	61.9	59	77.6	32	55.2	107	51.9	167	52.2	251	73.0	655	61.4
実験	0	0.0	0	0.0	15	25.9	41	19.9	74	23.1	12	3.5	142	13.3
演習	18	28.6	9	11.8	1	1.7	32	15.5	45	14.1	3	0.9	108	10.1
実習	1	1.6	6	7.9	6	10.3	13	6.3	12	3.8	39	11.3	77	7.2
その他	2	3.2	0	0.0	1	1.7	4	1.9	2	0.6	1	0.3	10	0.9
組合せ	3	4.8	2	2.6	3	5.2	9	4.4	20	6.3	38	11.0	75	7.0
合計	63	100.0	76	100.0	58	100.0	206	100.0	320	100.0	344	100.0	1,067	100.0

(2) 開講時の支援，情報提供

表 3-4-8. 開講時の支援，情報提供（職階別）(N=932)

		教授 (N=287)		准教授 (N=307)		講師 (N=67)		助教 (N=263)		その他 (N=8)		職階別全体 (N=932)	
		人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1. 科目名通知	書面	227	79.1	188	61.2	50	74.6	170	64.6	6	75.0	641	68.8
	説明会	13	4.5	15	4.9	6	9.0	31	11.8	0	0.0	65	7.0
2. シラバスの書き方	書面	71	24.7	67	21.8	12	17.9	41	15.6	3	37.5	194	20.8
	説明会	8	2.8	5	1.6	2	3.0	5	1.9	0	0.0	20	2.1
3. 教育方針の内容	書面	57	19.9	49	16.0	22	32.8	71	27.0	1	12.5	200	21.5
	説明会	21	7.3	29	9.4	7	10.4	35	13.3	0	0.0	92	9.9
4. 前任者からの引き継ぎ	書面	104	36.2	91	29.6	30	44.8	144	54.8	3	37.5	372	39.9
	説明会	28	9.8	36	11.7	9	13.4	56	21.3	2	25.0	131	14.1
5. その他		19	6.6	10	3.3	3	4.5	7	2.7	0	0.0	39	4.2

表 3-4-9. 開講時の支援，情報提供（専門分野別）(N=864)

		人文科学		社会科学		農学		理学		工学		医歯薬学		分野別全体	
		人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1. 科目名通知	書面	47	87.4	51	75.0	25	64.1	115	72.8	180	83.7	206	55.4	624	72.2
	説明会	2	3.7	2	2.9	1	2.6	19	12.0	28	8.4	12	3.2	64	7.4
2. シラバスの書き方	書面	18	33.3	32	47.1	10	25.6	31	19.6	60	27.9	38	10.2	189	21.9
	説明会	1	1.9	1	1.5	1	2.6	3	1.9	4	1.2	9	2.4	19	2.2
3. 教育方針の内容	書面	11	20.4	18	26.5	7	17.9	35	22.2	56	26.0	71	19.1	198	22.9
	説明会	6	11.1	1	1.5	3	7.7	21	13.3	38	11.4	21	5.6	90	10.4
4. 前任者からの引き継ぎ	書面	11	20.4	15	22.1	23	59.0	52	32.9	122	56.7	144	38.7	367	42.5
	説明会	4	7.4	1	1.5	8	20.5	36	22.8	56	16.8	22	5.9	127	14.7

(3) 授業設計，実施時の相談相手

表 3-4-10. 授業設計，実施時に相談した相手（職階別）(N=1,116)

	教授		准教授		講師		助教		その他		職階別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1. 誰にも相談しなかった	227	62.5	55	18.0	17	20.5	42	11.8	3	30.0	344	30.8
2. 同僚	13	3.6	98	32.1	37	44.6	141	39.7	2	20.0	291	26.1
3. 先輩教員	71	19.6	196	64.3	54	65.1	263	74.1	5	50.0	589	52.8
4. (元) 指導教員	8	2.2	46	15.1	15	18.1	64	18.0	2	20.0	135	12.1
5. 大学外の知人，友人	57	15.7	12	3.9	9	10.8	9	2.5	1	10.0	88	7.9
6. FD 担当者	21	5.8	1	0.3	0	0.0	4	1.1	0	0.0	26	2.3
7. 指導学生	104	28.7	13	4.3	6	7.2	40	11.3	1	10.0	164	14.7
8. 指導学生以外の学生	28	7.7	5	1.6	2	2.4	11	3.1	1	10.0	47	4.2
9. 家族	19	5.2	0	0.0	3	3.6	3	0.8	0	0.0	25	2.2
10. その他	3	0.8	6	2.0	0	0.0	4	1.1	2	20.0	15	1.3

表 3-4-11. 授業設計，実施時に相談した相手（専門分野別）(N=1,102)

	人文科学		社会科学		農学		理学		工学		医歯薬学		分野別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1. 誰にも相談しなかった	18	28.1	31	40.3	11	18.3	59	18.0	68	18.7	187	17.0	18	28.1
2. 同僚	15	23.4	25	32.5	14	23.3	94	28.7	132	36.4	280	25.4	15	23.4
3. 先輩教員	37	57.8	31	40.3	38	63.3	223	68.2	249	68.6	578	52.5	37	57.8
4. (元) 指導教員	12	18.8	7	9.1	13	21.7	54	16.5	50	13.8	136	12.3	12	18.8
5. 大学外の知人，友人	7	10.9	7	9.1	5	8.3	8	2.4	14	3.9	41	3.7	7	10.9
6. FD 担当者	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.3	4	1.1	5	0.5	0	0.0
7. 指導学生	1	1.6	1	1.3	8	13.3	33	10.1	15	4.1	58	5.3	1	1.6
8. 指導学生以外の学生	0	0.0	0	0.0	2	3.3	10	3.1	1	0.3	13	1.2	0	0.0
9. 家族	4	0.0	0	0.0	1	0.0	0	0.0	2	0.0	7	0.6	4	0.0
10. その他	0	0.0	2	2.6	1	1.7	6	1.8	3	0.8	12	1.1	0	0.0

(4) 授業を設計する際に参考にしたもの

表 3-4-12. 授業を設計する際に参考にしたもの (職階別) (N=1,115)

	教授		准教授		講師		助教		その他		職階別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1. 学科・研究科等に指定されたテキスト	104	28.7	105	34.4	37	44.6	156	43.1	3	30.0	405	36.4
2. 自分で選定したテキスト, 参考文献	233	64.4	161	52.8	51	61.4	188	51.9	8	80.0	641	57.6
3. 自身の指導教員の授業	61	16.9	51	16.7	18	21.7	49	13.5	2	20.0	181	16.3
4. 学部時代に受けた授業	134	37.0	115	37.7	25	30.1	101	27.9	5	50.0	380	34.2
5. 大学院時代に受けた授業	45	12.4	50	16.4	11	13.3	48	13.3	4	40.0	158	14.2
6. 所属学科・研究科等からの要請・指針	49	13.5	39	12.8	21	25.3	64	17.7	2	20.0	175	15.7
7. 所属学科・研究科等における合議	16	4.4	12	3.9	3	3.6	20	5.5	1	10.0	52	4.7
8. 同僚や他の先生方との話し合い	82	22.7	107	35.1	31	37.3	134	37.0	3	30.0	357	32.1
9. 前任者の授業やシラバス, 授業資料	98	27.1	115	37.7	36	43.4	165	45.6	4	40.0	418	37.6
10. 他の先生の授業の参観	8	2.2	14	4.6	6	7.2	30	8.3	1	10.0	59	5.3
11. 同僚, 知り合いのシラバスや授業資料	24	6.6	21	6.9	16	19.3	26	7.2	2	20.0	89	8.0
12. インターネット上に公開されているシラバスや授業資料	26	7.2	31	10.2	13	15.7	40	11.0	0	0.0	110	9.9
13. 資格取得などに必要な要件, スキル	18	5.0	5	1.6	5	6.0	3	0.8	0	0.0	31	2.8
14. 東北大学における FD セミナーや新任教員研修の内容	6	1.7	6	2.0	7	8.4	6	1.7	0	0.0	25	2.2
15. 他大学における FD セミナーや新任教員研修の内容	1	0.3	4	1.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	5	0.4
16. 授業実践に関する書籍やガイドブック	13	3.6	8	2.6	14	16.9	15	4.1	1	10.0	51	4.6
17. 論文誌, 学術雑誌	108	29.8	82	26.9	38	45.8	93	25.7	5	50.0	326	29.3
18. 最新の研究動向	107	29.6	82	26.9	33	39.8	82	22.7	3	30.0	307	27.6
19. 家庭教師や塾講師等の経験	4	1.1	8	2.6	3	3.6	11	3.0	1	10.0	27	2.4
20. その他	11	3.0	5	1.6	1	1.2	7	1.9	0	0.0	24	2.2

表 3-4-13. 授業設計, 実施時に相談した相手 (専門分野別) (N=1,101)

	人文科学		社会科学		農学		理学		工学		医歯薬学		分野別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1. 学科・研究科等に指定されたテキスト	11	17.2	5	6.5	19	31.7	74	35.2	155	47.4	135	37.2	402	36.5
2. 自分で選定したテキスト, 参考文献	47	73.4	56	72.7	35	58.3	115	54.8	180	55.0	197	54.3	613	55.7
3. 自身の指導教員の授業	14	21.9	23	29.9	10	16.7	19	9.0	55	16.8	53	14.6	181	16.4
4. 学部時代に受けた授業	30	46.9	38	49.4	20	33.3	70	33.3	126	38.5	92	25.3	356	32.3
5. 大学院時代に受けた授業	21	32.8	17	22.1	12	20.0	23	11.0	50	15.3	31	8.5	135	12.3
6. 所属学科・研究科等からの要請・指針	10	15.6	11	14.3	6	10.0	27	12.9	46	14.1	74	20.4	181	16.4
7. 所属学科・研究科等における合議	2	3.1	1	1.3	2	3.3	5	2.4	21	6.4	21	5.8	65	5.9
8. 同僚や他の先生方との話し合い	17	26.6	19	24.7	17	28.3	74	35.2	97	29.7	126	34.7	334	30.3
9. 前任者の授業やシラバス, 授業資料	15	23.4	16	20.8	19	31.7	76	36.2	140	42.8	146	40.2	400	36.3
10. 他の先生の授業の参観	1	1.6	2	2.6	4	6.7	7	3.3	11	3.4	32	8.8	59	5.4
11. 同僚, 知り合いのシラバスや授業資料	3	4.7	12	15.6	2	3.3	14	6.7	18	5.5	37	10.2	83	7.5
12. インターネット上に公開されているシラバスや授業資料	3	4.7	6	7.8	4	6.7	18	8.6	35	10.7	42	11.6	105	9.5
13. 資格取得などに必要な要件, スキル	0	0.0	5	6.5	1	1.7	1	0.5	6	1.8	16	4.4	29	2.6
14. 東北大学における FD セミナーや新任教員研修の内容	0	0.0	0	0.0	1	1.7	5	2.4	3	0.9	16	4.4	30	2.7
15. 他大学における FD セミナーや新任教員研修の内容	0	0.0	3	3.9	0	0.0	0	0.0	1	0.3	1	0.3	24	2.2
16. 授業実践に関する書籍やガイドブック	5	7.8	9	11.7	2	3.3	5	2.4	9	2.8	19	5.2	64	5.8
17. 論文誌, 学術雑誌	19	29.7	26	33.8	27	45.0	41	19.5	64	19.6	143	39.4	309	28.1
18. 最新の研究動向	20	31.3	26	33.8	23	38.3	33	15.7	69	21.1	131	36.1	283	25.7
19. 家庭教師や塾講師等の経験	8	12.5	3	3.9	1	1.7	3	1.4	5	1.5	7	1.9	20	1.8
20. その他	1	1.6	6	7.8	1	1.7	6	2.9	5	1.5	4	1.1	23	2.1

## (5) 授業の設計，日々の準備の活動内容

表 3-4-14. 授業の設計，日々の準備の活動内容（職階別）(N=1,071)

		教授 (N=345)		准教授 (N=298)		講師 (N=79)		助教 (N=339)		その他 (N=10)		全体 (N=1,071)	
		人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1.授業の大まかな流れの明確化	実施	251	72.8	227	76.2	55	69.6	249	73.5	7	70.0	584	54.5
	ときどき実施	62	18.0	50	16.8	19	24.1	72	21.2	2	20.0	154	14.4
	実施せず	14	4.1	19	6.4	4	5.1	14	4.1	0	0.0	42	3.9
2.授業で扱う個々のトピックの明確化	実施	237	68.7	226	75.8	48	60.8	229	67.6	6	60.0	761	71.1
	ときどき実施	75	21.7	57	19.1	27	34.2	79	23.3	3	30.0	228	21.3
	実施せず	17	4.9	12	4.0	3	3.8	25	7.4	0	0.0	54	5.0
3.各回の授業におけるそれぞれの項目の時間配分	実施	171	49.6	160	53.7	36	45.6	163	48.1	6	60.0	603	56.3
	ときどき実施	92	26.7	87	29.2	30	38.0	105	31.0	3	30.0	300	28.0
	実施せず	58	16.8	48	16.1	11	13.9	64	18.9	0	0.0	140	13.1
4.授業で扱う内容を記したメモの作成	実施	188	54.5	155	52.0	26	32.9	148	43.7	4	40.0	505	47.2
	ときどき実施	75	21.7	70	23.5	20	25.3	98	28.9	0	0.0	280	26.1
	実施せず	56	16.2	67	22.5	30	38.0	80	23.6	4	40.0	239	22.3
5.板書案の作成	実施	139	40.3	115	38.6	15	19.0	91	26.8	3	30.0	413	38.6
	ときどき実施	65	18.8	53	17.8	16	20.3	63	18.6	2	20.0	209	19.5
	実施せず	116	33.6	121	40.6	43	54.4	175	51.6	3	30.0	398	37.2
6.OHP やスライドなどの提示資料の作成	実施	147	42.6	150	50.3	59	74.7	175	51.6	5	50.0	529	49.4
	ときどき実施	65	18.8	53	17.8	9	11.4	62	18.3	2	20.0	191	17.8
	実施せず	103	29.9	90	30.2	9	11.4	97	28.6	2	20.0	314	29.3
7.授業の内容に関する配布資料の作成	実施	180	52.2	160	53.7	45	57.0	171	50.4	6	60.0	530	49.5
	ときどき実施	90	26.1	76	25.5	17	21.5	75	22.1	2	20.0	235	21.9
	実施せず	49	14.2	60	20.1	13	16.5	86	25.4	1	10.0	263	24.6
8.課題についての資料の作成	実施	110	31.9	101	33.9	22	27.8	112	33.0	3	30.0	419	39.1
	ときどき実施	101	29.3	97	32.6	24	30.4	90	26.5	4	40.0	305	28.5
	実施せず	101	29.3	95	31.9	30	38.0	126	37.2	2	20.0	302	28.2
9.ISTUやDCW等による授業資料や教材の配信	実施	8	2.3	11	3.7	2	2.5	11	3.2	1	10.0	136	12.7
	ときどき実施	15	4.3	6	2.0	4	5.1	17	5.0	0	0.0	128	12.0
	実施せず	264	76.5	267	89.6	68	86.1	297	87.6	7	70.0	740	69.1
10.学生のミニットペーパーや課題の確認	実施	58	16.8	58	19.5	13	16.5	63	18.6	1	10.0	143	13.4
	ときどき実施	57	16.5	57	19.1	11	13.9	57	16.8	2	20.0	142	13.3
	実施せず	178	51.6	168	56.4	50	63.3	206	60.8	5	50.0	694	64.8
11.その他	実施	4	1.2	3	1.0	1	1.3	2	0.6	0	0.0	64	6.0
	ときどき実施	2	0.6	0	0.0	1	1.3	6	1.8	0	0.0	64	6.0
	実施せず	45	13.0	47	15.8	20	25.3	73	21.5	0	0.0	319	29.8

表 3-4-15. 授業の設計，日々の準備の活動内容（専門分野別）(N=1,058)

		人文科学		社会科学		農学		理学		工学		医歯薬学		分野別全体	
		人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1.授業の大まかな流れの明確化	実施	46	73.0	62	81.6	45	77.6	145	71.1	246	77.4	234	69.0	778	73.5
	ときどき	11	17.5	7	9.2	8	13.8	45	22.1	49	15.4	81	23.9	201	19.0
	実施せず	5	7.9	6	7.9	3	5.2	9	4.4	13	4.1	15	4.4	51	4.8
2.授業で扱う個々のトピックの明確化	実施	47	74.6	54	71.1	40	69.0	143	70.1	226	71.1	224	66.1	734	69.4
	ときどき	13	20.6	17	22.4	8	13.8	43	21.1	65	20.4	92	27.1	238	22.5
	実施せず	1	1.6	5	6.6	6	10.3	13	6.4	17	5.3	15	4.4	57	5.4
3.各回の授業におけるそれぞれの項目の時間配分	実施	28	44.4	40	52.6	28	48.3	90	44.1	175	55.0	163	48.1	524	49.5
	ときどき	18	28.6	20	26.3	16	27.6	68	33.3	82	25.8	112	33.0	316	29.9
	実施せず	14	22.2	16	21.1	9	15.5	37	18.1	49	15.4	54	15.9	179	16.9
4.授業で扱う内容を記したメモの作成	実施	37	58.7	50	65.8	32	55.2	96	47.1	172	54.1	127	37.5	514	48.6
	ときどき	21	33.3	15	19.7	12	20.7	48	23.5	80	25.2	83	24.5	259	24.5
	実施せず	2	3.2	9	11.8	10	17.2	47	23.0	54	17.0	112	33.0	234	22.1
5.板書案の作成	実施	21	33.3	27	35.5	20	34.5	82	40.2	138	43.4	69	20.4	357	33.7
	ときどき	14	22.2	15	19.7	10	17.2	36	17.6	60	18.9	62	18.3	197	18.6
	実施せず	24	38.1	33	43.4	26	44.8	78	38.2	101	31.8	190	56.0	452	42.7
6.OHP やスライドなどの提示資料の作成	実施	19	30.2	23	30.3	29	50.0	76	37.3	146	45.9	231	68.1	524	49.5
	ときどき	9	14.3	20	26.3	11	19.0	44	21.6	54	17.0	50	14.7	188	17.8
	実施せず	31	49.2	32	42.1	14	24.1	73	35.8	102	32.1	49	14.5	301	28.4
7.授業の内容に関する配布資料の作成	実施	29	46.0	44	57.9	33	56.9	85	41.7	161	50.6	202	59.6	554	52.4
	ときどき	24	38.1	24	31.6	11	19.0	60	29.4	70	22.0	66	19.5	255	24.1
	実施せず	7	11.1	7	9.2	11	19.0	49	24.0	74	23.3	58	17.1	206	19.5
8.課題についての資料の作成	実施	19	30.2	19	25.0	20	34.5	72	35.3	126	39.6	86	25.4	342	32.3
	ときどき	23	36.5	35	46.1	13	22.4	59	28.9	92	28.9	89	26.3	311	29.4
	実施せず	18	28.6	22	28.9	22	37.9	59	28.9	83	26.1	146	43.1	350	33.1
9.ISTU や DCW 等による授業資料や教材の配信	実施	2	3.2	3	3.9	1	1.7	3	1.5	15	4.7	7	2.1	31	2.9
	ときどき	1	1.6	1	1.3	0	0.0	6	2.9	10	3.1	24	7.1	42	4.0
	実施せず	53	84.1	70	92.1	52	89.7	171	83.8	261	82.1	283	83.5	890	84.1
10.学生のミニットペーパーや課題の確認	実施	10	15.9	14	18.4	8	13.8	43	21.1	73	23.0	41	12.1	189	17.9
	ときどき	15	23.8	15	19.7	11	19.0	37	18.1	55	17.3	48	14.2	181	17.1
	実施せず	31	49.2	45	59.2	34	58.6	103	50.5	158	49.7	228	67.3	599	56.6
11.その他	実施	1	1.6	1	1.3	0	0.0	1	0.5	6	1.9	0	0.0	9	0.9
	ときどき	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	1.0	1	0.3	6	1.8	9	0.9
	実施せず	5	7.9	16	21.1	9	15.5	40	19.6	55	17.3	55	16.2	180	17.0

## (6) 授業の準備にかけた時間

表 3-4-16 . シラバス作成時にかけた時間 (職階別)

時間	教授		准教授		講師		助教		職階別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
0	89	32.2	94	37.8	33	50.0	164	60.3	380	44.0
0.5	8	2.9	5	2.0	1	1.5	6	2.2	20	2.3
1	73	26.4	50	20.1	8	12.1	27	9.9	158	18.3
2	30	10.9	26	10.4	7	10.6	23	8.5	86	10.0
3	17	6.2	21	8.4	3	4.5	11	4.0	52	6.0
4	6	2.2	5	2.0	5	7.6	6	2.2	22	2.5
5	10	3.6	10	4.0	2	3.0	10	3.7	32	3.7
~10	24	8.7	22	8.8	4	6.1	11	4.0	61	7.1
~20	7	2.5	9	3.6	0	0.0	8	2.9	24	2.8
~30	3	1.1	3	1.2	2	3.0	3	1.1	11	1.3
~100	7	2.5	3	1.2	1	1.5	2	0.7	13	1.5
100~	2	0.7	1	0.4	0	0.0	1	0.4	4	0.5
合計	276	100.0	249	100.0	66	100.0	272	100.0	863	100.0

表 3-4-17 . シラバス作成時にかけた時間 (専門分野別)

時間	人文科学		社会科学		農学		理学		工学		医歯薬学		分野別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
0	10	20.0	9	14.3	19	38.8	78	45.9	114	44.4	152	56.1	382	44.4
0.5	1	2.0	2	3.2	0	0.0	1	0.6	6	2.3	9	3.3	19	2.2
1	8	16.0	15	23.8	12	24.5	33	19.4	45	17.5	43	15.9	156	18.1
2	12	24.0	13	20.6	6	12.2	13	7.6	22	8.6	20	7.4	86	10.0
3	7	14.0	4	6.3	5	10.2	11	6.5	14	5.4	11	4.1	52	6.0
4	1	2.0	2	3.2	0	0.0	4	2.4	8	3.1	7	2.6	22	2.6
5	2	4.0	3	4.8	1	2.0	8	4.7	9	3.5	8	3.0	31	3.6
~10	5	10.0	12	19.0	2	4.1	14	8.2	17	6.6	12	4.4	62	7.2
~20	2	4.0	2	3.2	2	4.1	4	2.4	7	2.7	4	1.5	21	2.4
~30	1	2.0	0	0.0	1	2.0	1	0.6	6	2.3	3	1.1	12	1.4
~100	0	0.0	1	1.6	1	2.0	2	1.2	7	2.7	2	0.7	13	1.5
100~	1	2.0	0	0.0	0	0.0	1	0.6	2	0.8	0	0.0	4	0.5
合計	50	100.0	63	100.0	49	100.0	170	100.0	257	100.0	271	100.0	860	100.0

表 3-4-18 . 学期開始当初にかけた時間 (職階別)

時間	教授		准教授		講師		助教		職階別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
0	71	26.7	82	33.7	31	45.6	102	37.1	380	44.0
0.5	3	1.1	1	0.4	0	0.0	4	1.5	20	2.3
1	36	13.5	14	5.8	4	5.9	32	11.6	158	18.3
2	40	15.0	21	8.6	4	5.9	26	9.5	86	10.0
3	21	7.9	21	8.6	4	5.9	21	7.6	52	6.0
4	8	3.0	6	2.5	3	4.4	12	4.4	22	2.5
5	18	6.8	25	10.3	4	5.9	24	8.7	32	3.7
~10	32	12.0	40	16.5	5	7.4	31	11.3	61	7.1
~20	18	6.8	17	7.0	4	5.9	10	3.6	24	2.8
~30	2	0.8	4	1.6	6	8.8	5	1.8	11	1.3
~100	17	6.4	12	4.9	3	4.4	7	2.5	13	1.5
100~	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.4	4	0.5
合計	266	100.0	243	100.0	68	100.0	275	100.0	863	100.0

表 3-4-19 . 学期開始当初にかけた時間 (専門分野別)

時間	人文科学		社会科学		農学		理学		工学		医歯薬学		分野別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
0	9	19.1	12	20.3	15	31.3	41	23.8	59	22.9	151	57.0	287	33.8
0.5	0	0.0	1	1.7	0	0.0	0	0.0	4	1.6	3	1.1	8	0.9
1	7	14.9	8	13.6	6	12.5	11	6.4	25	9.7	26	9.8	83	9.8
2	8	17.0	10	16.9	6	12.5	22	12.8	25	9.7	20	7.5	91	10.7
3	4	8.5	5	8.5	8	16.7	14	8.1	29	11.2	7	2.6	67	7.9
4	2	4.3	1	1.7	3	6.3	8	4.7	8	3.1	7	2.6	29	3.4
5	5	10.6	8	13.6	3	6.3	15	8.7	24	9.3	16	6.0	71	8.4
~10	8	17.0	6	10.2	3	6.3	29	16.9	46	17.8	16	6.0	108	12.7
~20	2	4.3	3	5.1	3	6.3	12	7.0	21	8.1	8	3.0	49	5.8
~30	1	2.1	1	1.7	0	0.0	5	2.9	6	2.3	3	1.1	16	1.9
~100	1	2.1	4	6.8	1	2.1	14	8.1	11	4.3	8	3.0	39	4.6
100~	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.6	0	0.0	0	0.0	1	0.1
合計	47	100.0	59	100.0	48	100.0	172	100.0	258	100.0	265	100.0	849	100.0

表 3-4-20 . 授業実施一週間前にかけた時間 (職階別)

時間	教授		准教授		講師		助教		職階別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
0	107	38.9	76	30.4	11	16.2	105	35.4	299	33.6
0.5	4	1.5	4	1.6	1	1.5	3	1.0	12	1.3
1	39	14.2	30	12.0	10	14.7	41	13.8	120	13.5
2	46	16.7	43	17.2	11	16.2	37	12.5	137	15.4
3	25	9.1	23	9.2	7	10.3	22	7.4	77	8.7
4	9	3.3	8	3.2	3	4.4	10	3.4	30	3.4
5	19	6.9	26	10.4	7	10.3	25	8.4	77	8.7
~10	17	6.2	29	11.6	14	20.6	38	12.8	98	11.0
~20	5	1.8	9	3.6	3	4.4	10	3.4	27	3.0
~30	3	1.1	1	0.4	1	1.5	4	1.3	9	1.0
~100	1	0.4	1	0.4	0	0.0	2	0.7	4	0.4
100~	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	275	100.0	250	100.0	68	100.0	297	100.0	890	100.0

表 3-4-21．毎回の授業の一週間前にかけた時間（専門分野別）

時間	人文科学		社会科学		農学		理学		工学		医歯薬学		分野別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
0	18	36.0	17	27.4	10	20.8	63	36.6	110	41.2	78	27.3	296	33.4
0.5	0	0.0	4	6.5	1	2.1	0	0.0	5	1.9	2	0.7	12	1.4
1	11	22.0	10	16.1	8	16.7	22	12.8	29	10.9	37	12.9	117	13.2
2	9	18.0	13	21.0	6	12.5	24	14.0	47	17.6	39	13.6	138	15.6
3	6	12.0	2	3.2	7	14.6	18	10.5	15	5.6	29	10.1	77	8.7
4	1	2.0	0	0.0	4	8.3	6	3.5	8	3.0	10	3.5	29	3.3
5	3	6.0	7	11.3	3	6.3	18	10.5	21	7.9	26	9.1	78	8.8
～10	1	2.0	6	9.7	8	16.7	13	7.6	22	8.2	48	16.8	98	11.1
～20	1	2.0	2	3.2	1	2.1	7	4.1	6	2.2	10	3.5	27	3.1
～30	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.6	2	0.7	6	2.1	9	1.0
～100	0	0.0	1	1.6	0	0.0	0	0.0	2	0.7	1	0.3	4	0.5
100～	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	50	100.0	62	100.0	48	100.0	172	100.0	267	100.0	286	100.0	885	100.0

表 3-4-22．毎回の授業の数日前～前日にかけた時間（職階別）

時間	教授		准教授		講師		助教		職階別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
0	24	8.2	31	12.3	8	12.5	67	22.9	130	14.5
0.5	14	4.8	3	1.2	1	1.6	13	4.5	31	3.4
1	68	23.4	45	17.9	14	21.9	53	18.2	180	20.0
2	75	25.8	56	22.2	15	23.4	48	16.4	194	21.6
3	45	15.5	37	14.7	5	7.8	31	10.6	118	13.1
4	11	3.8	11	4.4	7	10.9	18	6.2	47	5.2
5	19	6.5	28	11.1	5	7.8	26	8.9	78	8.7
～10	24	8.2	25	9.9	8	12.5	28	9.6	85	9.5
～20	3	1.0	13	5.2	1	1.6	8	2.7	25	2.8
～30	4	1.4	3	1.2	0	0.0	0	0.0	7	0.8
～100	3	1.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	0.3
100～	1	0.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.1
合計	291	100.0	252	100.0	64	100.0	292	100.0	899	100.0

表 3-4-23．毎回の授業の数日前～前日にかけた時間（専門分野別）

時間	人文科学		社会科学		農学		理学		工学		医歯薬学		分野別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
0	2	3.8	3	4.5	8	15.7	17	9.7	54	20.1	44	15.6	128	14.3
0.5	1	1.9	4	6.0	2	3.9	2	1.1	15	5.6	7	2.5	31	3.5
1	17	32.1	13	19.4	10	19.6	29	16.6	54	20.1	57	20.2	180	20.1
2	11	20.8	15	22.4	12	23.5	46	26.3	57	21.2	53	18.8	194	21.6
3	8	15.1	10	14.9	8	15.7	32	18.3	28	10.4	32	11.3	118	13.2
4	3	5.7	3	4.5	2	3.9	11	6.3	11	4.1	17	6.0	47	5.2
5	7	13.2	5	7.5	3	5.9	12	6.9	19	7.1	32	11.3	78	8.7
～10	2	3.8	11	16.4	5	9.8	18	10.3	20	7.4	30	10.6	86	9.6
～20	2	3.8	2	3.0	1	2.0	7	4.0	5	1.9	7	2.5	24	2.7
～30	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.6	4	1.5	2	0.7	7	0.8
～100	0	0.0	1	1.5	0	0.0	0	0.0	1	0.4	1	0.4	3	0.3
100～	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.4	0	0.0	1	0.1
合計	53	100.0	67	100.0	51	100.0	175	100.0	269	100.0	282	100.0	897	100.0

表 3-4-24 . 毎回の授業の当日にかけた時間 (職階別)

時間	教授		准教授		講師		助教		職階別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
0	145	56.9	117	49.4	40	64.5	134	50.2	436	53.1
0.5	21	8.2	21	8.9	3	4.8	26	9.7	71	8.6
1	69	27.1	69	29.1	13	21.0	73	27.3	224	27.3
2	16	6.3	19	8.0	3	4.8	20	7.5	58	7.1
3	1	0.4	5	2.1	1	1.6	10	3.7	17	2.1
4	2	0.8	0	0.0	0	0.0	2	0.7	4	0.5
5	1	0.4	1	0.4	1	1.6	0	0.0	3	0.4
~10	0	0.0	4	1.7	1	1.6	2	0.7	7	0.9
~20	0	0.0	1	0.4	0	0.0	0	0.0	1	0.1
~30	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
~100	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
100~	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	255	100.0	237	100.0	62	100.0	267	100.0	821	100.0

表 3-4-25 . 毎回の授業の当日にかけた時間 (専門分野別)

時間	人文科学		社会科学		農学		理学		工学		医歯薬学		分野別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
0	16	34.8	26	44.8	19	41.3	92	54.4	54	20.1	143	57.2	350	41.8
0.5	4	8.7	6	10.3	3	6.5	17	10.1	15	5.6	18	7.2	63	7.5
1	24	52.2	19	32.8	18	39.1	43	25.4	54	20.1	61	24.4	219	26.1
2	0	0.0	4	6.9	2	4.3	14	8.3	57	21.2	16	6.4	93	11.1
3	2	4.3	1	1.7	2	4.3	1	0.6	28	10.4	8	3.2	42	5.0
4	0	0.0	0	0.0	2	4.3	1	0.6	11	4.1	2	0.8	16	1.9
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	19	7.1	1	0.4	20	2.4
~10	0	0.0	2	3.4	0	0.0	1	0.6	20	7.4	1	0.4	24	2.9
~20	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	5	1.9	0	0.0	5	0.6
~30	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	4	1.5	0	0.0	4	0.5
~100	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.4	0	0.0	1	0.1
100~	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.4	0	0.0	1	0.1
合計	46	100.0	58	100.0	46	100.0	169	100.0	269	100.0	250	100.0	838	100.0

### 3-5. 利用してみたい支援について

表 3-5-1. 利用してみたい支援（職階別）(N=1,012)

	教授		准教授		講師		助教		その他		職階別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1.大学、部局等の主催の授業実践に関する説明会	51	15.3	71	25.0	24	30.8	90	28.5	3	30.0	239	23.6
2.シラバスの書き方に関するセミナー	13	3.9	24	8.5	21	26.9	43	13.6	2	20.0	103	10.2
3.授業実践、成績評価に関するセミナー	52	15.6	66	23.2	27	34.6	73	23.1	3	30.0	221	21.8
4.授業資料の電子化	90	26.9	67	23.6	15	19.2	77	24.4	2	20.0	251	24.8
5.前任者との相談の機会	6	1.8	25	8.8	9	11.5	68	21.5	1	10.0	109	10.8
6.同僚との相談の機会	41	12.3	46	16.2	12	15.4	60	19.0	2	20.0	161	15.9
7.先輩教員との相談の機会	21	6.3	41	14.4	16	20.5	77	24.4	2	20.0	157	15.5
8.指導教員との相談の機会	1	0.3	8	2.8	6	7.7	23	7.3	1	10.0	39	3.9
9.学内の新任教員との懇談会	2	0.6	5	1.8	6	7.7	13	4.1	1	10.0	27	2.7
10.専門職員による個別コンサルテーション	27	8.1	31	10.9	13	16.7	20	6.3	1	10.0	92	9.1
11.他の先生の授業映像を視聴できる機会	74	22.2	59	20.8	23	29.5	97	30.7	4	40.0	257	25.4
12.自分の授業のふり返し、授業レビュー	58	17.4	41	14.4	16	20.5	45	14.2	2	20.0	162	16.0
13.特にない	106	31.7	69	24.3	12	15.4	65	20.6	3	30.0	255	25.2
14.その他	26	7.8	21	7.4	2	2.6	6	1.9	1	10.0	56	5.5

表 3-5-2. 利用してみたい支援（専門分野別）(N=1,021)

	人文科学		社会科学		農学		理学		工学		医歯薬学		分野別全体	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1.大学、部局等の主催の授業実践に関する説明会	11	18.6	14	19.2	22	38.6	39	20.2	77	25.3	73	22.6	236	23.1
2.シラバスの書き方に関するセミナー	3	5.1	5	6.8	9	15.8	8	4.1	25	8.2	52	16.1	102	10.0
3.授業実践、成績評価に関するセミナー	13	22.0	15	20.5	14	24.6	40	20.7	67	22.0	70	21.7	219	21.4
4.授業資料の電子化	16	27.1	21	28.8	12	21.1	44	22.8	71	23.4	83	25.7	247	24.2
5.前任者との相談の機会	2	3.4	3	4.1	4	7.0	28	14.5	39	12.8	33	10.2	109	10.7
6.同僚との相談の機会	14	23.7	11	15.1	3	5.3	36	18.7	60	19.7	33	10.2	157	15.4
7.先輩教員との相談の機会	9	15.3	6	8.2	9	15.8	29	15.0	57	18.8	43	13.3	153	15.0
8.指導教員との相談の機会	2	3.4	0	0.0	2	3.5	2	1.0	9	3.0	24	7.4	39	3.8
9.学内の新任教員との懇談会	4	6.8	2	2.7	3	5.3	2	1.0	9	3.0	7	2.2	27	2.6
10.専門職員による個別コンサルテーション	6	10.2	7	9.6	7	12.3	18	9.3	17	5.6	35	10.8	90	8.8
11.他の先生の授業映像を視聴できる機会	19	32.2	15	20.5	18	31.6	38	19.7	65	21.4	99	30.7	254	24.9
12.自分の授業のふり返し、授業レビュー	9	15.3	18	24.7	6	10.5	25	13.0	44	14.5	56	17.3	158	15.5
13.特にない	14	23.7	22	30.1	16	28.1	54	28.0	68	22.4	78	24.1	252	24.7
14.その他	4	6.8	4	5.5	2	3.5	16	8.3	20	6.6	9	2.8	55	5.4

# 大学教員の授業準備に関する調査

- この調査は、大学教員による授業の準備における取組みの内容を明らかにし、東北大学における新任教員支援、および大学教員準備プログラムの開発に役立てるために、東北大学 高等教育開発推進センター内大学教育支援センターが実施するものです。回答は統計的に処理され、個人が特定されたり、個人についての情報が他の目的で使われたりすることは決してありません。
- 調査は全 24 問、回答にかかる時間は、約 15 分程度です。
- 回答後、同封の返信用封筒に入れて学内便にてご返送くださいますようお願いいたします。お忙しいところ誠に恐れ入りますが、2012 年 3 月 26 日（月）までにご発送ください。
- 本調査の結果は、印刷物や当センターのウェブサイトにて順次公開するとともに、本学教員の職能開発に関する各種プログラムに活用される予定です。東北大学における教員支援の質向上のために、ぜひご協力をお願いいたします。
- この調査に関する問い合わせは、下記の連絡先までお願いいたします。

〒980-8576 仙台市青葉区川内 41 東北大学高等教育開発推進センター内大学教育支援センター

担当：今野 Tel: 022-795-4471 Email: cpd\_office@he.tohoku.ac.jp

## I. 所属、教員経験についてお尋ねします

問 1. 現在の所属（複数の部局に同時に所属している方は、主たる所属先）をお選びください

- |                |                           |
|----------------|---------------------------|
| 1. 文学部，文学研究科   | 19. 電気通信研究所               |
| 2. 教育学部，教育学研究科 | 20. 多元物質科学研究所             |
| 3. 法学部，法学研究科   | 21. 東北アジア研究センター           |
| 4. 経済学部，経済学研究科 | 22. 電子光理学研究センター           |
| 5. 理学部，理学研究科   | 23. ニュートリノ科学研究センター        |
| 6. 医学部，医学系研究科  | 24. 高等教育開発推進センター          |
| 7. 歯学部，歯学研究科   | 25. 学術資源研究公開センター          |
| 8. 薬学部，薬学研究科   | 26. 国際高等研究教育機構            |
| 9. 工学部，工学研究科   | 27. 教育情報基盤センター            |
| 10. 農学部，農学研究科  | 28. サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター |
| 11. 国際文化研究科    | 29. 未来科学技術共同研究センター        |
| 12. 情報科学研究科    | 30. 学際科学国際高等研究センター        |
| 13. 生命科学研究科    | 31. 研究教育基盤技術センター          |
| 14. 環境科学研究科    | 32. サイバーサイエンスセンター         |
| 15. 医工学研究科     | 33. 教養教育院                 |
| 16. 教育情報学教育部   | 34. 原子分子材料科学高等研究機構        |
| 17. 専門職大学院     | 35. その他 → ( _____ )       |
| 18. 流体力学研究所    |                           |

問 2. ご自身の専門分野に最も近い領域をお選びください

- |         |               |
|---------|---------------|
| 1. 人文科学 | 6. 農学         |
| 2. 社会科学 | 7. 医歯薬学       |
| 3. 教育学  | 8. 保健（看護学等）   |
| 4. 理学   | 9. その他（_____） |
| 5. 工学   |               |

問 3. 現在のあなたの職階をお選びください

- |            |                |
|------------|----------------|
| 1. 教授      | 7. 特任教授        |
| 2. 准教授     | 8. 特任准教授       |
| 3. 専任・常勤講師 | 9. 特任講師・助教助手   |
| 4. 助教      | 10. 特命教授       |
| 5. 助手      | 11. その他（_____） |
| 6. 非常勤講師   |                |

問 4. あなたの年齢についてお答えください

1. 20代    2. 30代    3. 40代    4. 50代    5. 60代    6. 70代以上

問 5. 教員免許についてあてはまるものを1つお選びください

- 取得していない
- 取得した（下記から該当するものを選び、中・高については教科名をお答えください）
  - 小学校
  - 中学校（教科：\_\_\_\_\_）
  - 高校（教科：\_\_\_\_\_）

問 6. 教員歴についてお答えください

（A）常勤・非常勤を問わず、これまでに教育機関において授業を担当した年数（教員歴）は（\_\_\_\_\_）年

（B）常勤・非常勤を問わず、現職も含め、下記の機関で授業を担当した年数の総計をお答えください

（経験のないものは0（ゼロ）と記入してください）

校種	年数
1. 国公立大学	（_____）年
2. 私立大学	（_____）年
3. 短期大学	（_____）年
4. 高等専門学校	（_____）年
5. その他専門学校	（_____）年
6. 高等学校	（_____）年
7. 中学校	（_____）年
8. 小学校	（_____）年
9. その他（機関：_____）	（_____）年

## II. 担当されている授業についてお尋ねします

問 7. ご自身が平成 23 年度に東北大学で担当した授業数はいくつですか

(23 年度に担当授業がなかった方は、授業を担当した直近の年度についてお答えください)

科目種別	授業数
1. 学部 全学教育科目	( _____ )
2. 学部 専門教育科目	( _____ )
3. 大学院	( _____ )
4. 教職に関する科目	( _____ )
5. その他	( _____ )

問 8. 以降の質問では、ご自身の授業設計の様子についてお尋ねします。問 7 で答えた授業の中から、任意のものをどれか 1 つ を選び、以下の問いにお答えください

(1) 開講学部・研究科 : ( \_\_\_\_\_ )

(2) 対象学生 : 学部生・大学院生・その他 ( \_\_\_\_\_ )

(3) 受講生数 : ( \_\_\_\_\_ ) 人

(4) 差支えなければ授業名をお答えください : ( \_\_\_\_\_ )

(5) 授業の形態についてお答えください

1. 講義      2. 実験      3. 演習      4. 実習      5. その他 ( \_\_\_\_\_ )

問 9. 問 8 で答えた授業を担当して通算で何年目ですか

( \_\_\_\_\_ ) 年目

問 10. 問 8 で答えた授業の内容はどのように決定しましたか (複数回答可)

1. 自身で自由に決定した

2. 学科・研究科等からの要請・指針に基づいて

3. 学科・研究科等における合議に基づいて

4. 同僚や他の先生方との話し合いに基づいて

5. 前任者の授業に基づいて

6. 指定された教科書に基づいて

7. その他 ( \_\_\_\_\_ )

問 11. 問 8 で答えた授業を設計する際に参考にしたものは何ですか（複数回答可）

1. 学科・研究科等に指定されたテキスト
2. 自分で選定したテキスト，参考文献
3. 自身の指導教員の授業
4. 学部時代に受けた授業
5. 大学院時代に受けた授業
6. 所属学科・研究科等からの要請・指針
7. 所属学科・研究科等における合議
8. 同僚や他の先生方との話し合い
9. 前任者の授業やシラバス，授業資料
10. 他の先生の授業の参観
11. 同僚，知り合いのシラバスや授業資料
12. インターネット上に公開されているシラバスや授業資料
13. 資格取得などに必要な要件、スキル
14. 東北大学における FD セミナーや新任教員研修の内容
15. 他大学における FD セミナーや新任教員研修の内容
16. 授業実践に関する書籍やガイドブック
17. 論文誌，学術雑誌
18. 最新の研究動向
19. 家庭教師や塾講師等の経験
20. その他（ \_\_\_\_\_ ）

問 12. 問 8 で答えた授業の設計，日々の準備において，下記の項目をどの程度実施しましたか

	実施	ときどき実施	実施せず
1. 授業の大まかな流れの明確化	1	2	3
2. 授業で扱う個々のトピックの明確化	1	2	3
3. 各回の授業におけるそれぞれの項目の時間配分	1	2	3
4. 授業で扱う内容を記したメモの作成	1	2	3
5. 板書案の作成	1	2	3
6. OHP やスライド等の提示資料の作成	1	2	3
7. 授業の内容に関する配布資料の作成	1	2	3
8. 課題についての資料の作成	1	2	3
9. ISTU <sup>1</sup> や DCW <sup>2</sup> , Web 等による授業資料や教材の配信	1	2	3
10. 学生のミニットペーパーや課題の確認	1	2	3
11. その他（ _____ ）	1	2	3

ISTU1 ( Internet School of Tohoku University: 東北大学インターネットスクール )

DCW2 ( Digital Courseware: 東北大学デジタルコースウェア )

問 13. 問 8 で答えた授業の準備（授業内容の決定，設計，資料等の準備等）について，下記に挙げる時点で，それぞれの程度の時間をかけて行いましたか。また，理想的にはいつ、どの程度の時間をかけて行いたいと考えていますか（実施しない項目には 0（ゼロ）と記入してください）

実施のタイミング	実際の所要時間	理想的な所要時間
1. シラバス作成時に実施	約（ ）時間	約（ ）時間
2. 学期開始当初に実施	約（ ）時間	約（ ）時間
3. 毎回の授業の一週間前に実施	約（ ）時間	約（ ）時間
4. 毎回の授業の数日前～前日に実施	約（ ）時間	約（ ）時間
5. 授業当日に実施	約（ ）時間	約（ ）時間
6. その他（ ）	約（ ）時間	約（ ）時間

問 14. 問 8 で答えた授業を次年度にも開講する場合，これまでの実施結果をもとに授業内容・計画の見直し，改善を行いますか

1. 行う →問 15 へ
2. 行いたい、行えない（理由： ）→次ページ問 18 へ
3. 行わない（理由： ）→次ページ問 18 へ

以下は，問 14 で「1. 行う」と回答した方に伺います。

「2. 行いたい、行えない」「3. 行わない」と答えた方は問 18 以降にお答えください

問 15. 何を参考に授業内容・計画の見直し，改善を行いますか（複数回答可）

1. 大学が実施している，学生による授業評価の結果
2. 個人で実施している授業評価アンケートの結果
3. 学生からのミニットペーパー
4. 試験の成績
5. 課題の出来具合
6. 授業中の学生の反応
7. 実践してみて自身で感じたこと
8. 授業を撮影したビデオの視聴
9. その他（ ）

問 16. 授業内容・計画のどの部分を対象に見直しや改善を行いますか（複数回答可）

1. 授業の目標設定
2. 授業で扱うトピック、教材
3. 授業中に取り扱う例、図、グラフ
4. 授業中の活動形態
5. 時間配分
6. 配布資料
7. 提示資料
8. 課題・宿題
9. 試験の内容
10. その他（ ）

問 17. 授業内容・計画の見直し、改善について、下記に挙げる時点で、それぞれどの程度の時間をかけて行いますか。また、理想的にはいつ、どの程度の時間をかけて行いたいと考えていますか  
(実施しない項目には0(ゼロ)と記入してください)

実施のタイミング	実際の所要時間	理想的な所要時間
1. シラバス作成時に実施	約( )時間	約( )時間
2. 学期開始当初に実施	約( )時間	約( )時間
3. 毎回の授業の一週間前に実施	約( )時間	約( )時間
4. 毎回の授業の数日前～前日に実施	約( )時間	約( )時間
5. 授業当日に実施	約( )時間	約( )時間
6. その他( )	約( )時間	約( )時間

### Ⅲ. ご自身が初めて担当した授業についてお尋ねします

問 18. 常勤，非常勤を問わず，あなたが初めて担当した高等教育機関の授業についてお答えください

(1) 開講大学

1. 東北大学    2. その他国公立大学    3. 私立大学    4. 短期大学    5. 高等専門学校

(2) 開講学部・研究科:( )

(3) 対象学生：学部生・大学院生・その他( )

(4) 受講生数:( )人

(5) 差支えなければ授業名をお答えください:( )

(6) 授業の形態についてお答えください

1. 講義    2. 実験    3. 演習    4. 実習    5. その他( )

問 19. 問 18 で答えた授業を実施するにあたり，大学や所属組織から以下のような支援や情報提供を受けましたか。受けたものに○を付けてください(複数回答可)

支援・情報提供	書面による通知	説明会・セミナー
1. 科目名の通知	( )	( )
2. シラバスの書き方	( )	( )
3. 教育方針(ディプロマポリシー，カリキュラムポリシー)の内容	( )	( )
4. 前任者からの引き継ぎ事項	( )	( )
5. その他( )	( )	( )

問 20. 問 18 で答えた授業を設計，実施するにあたり，誰かに相談したり意見を求めたりしましたか（複数回答可）

1. 誰にも相談しなかった
2. 同僚
3. 先輩教員
4. (元)指導教員
5. 大学外の知人，友人
6. FD 担当者
7. 指導学生
8. 指導学生外の学生
9. 家族
10. その他（ \_\_\_\_\_ ）

問 21. 問 18 で答えた授業を設計する際に参考にしたものは何ですか（複数回答可）

1. 指定されたテキスト，授業資料
2. 自分で選定したテキスト，参考文献
3. 自身の指導教員の授業
4. 学部時代に受けた授業
5. 大学院時代に受けた授業
6. 所属学科・研究科等からの要請・指針
7. 所属学科・研究科等における合議
8. 同僚や他の先生方との話し合い
9. 前任者の授業やシラバス，授業資料
10. 他の先生の授業の参観
11. 同僚，知り合いのシラバスや授業資料
12. インターネット上で公開されているシラバスや授業資料
13. 資格取得などに必要な要件、スキル
14. 東北大学における FD セミナーや新任教員研修の内容
15. 他大学における FD セミナーや新任教員研修の内容
16. 授業実践に関する書籍やガイドブック
17. 論文誌，学術雑誌
18. 最新の研究動向
19. 家庭教師や塾講師等の経験
20. その他（ \_\_\_\_\_ ）

問 22. 問 18 で答えた授業の設計，日々の準備において，下記の項目をどの程度実施しましたか

	実施	ときどき実施	実施せず
1. 授業の大まかな流れの明確化	1	2	3
2. 授業で扱う個々のトピックの明確化	1	2	3
3. 各回の授業におけるそれぞれの項目の時間配分	1	2	3
4. 授業で扱う内容を記したメモの作成	1	2	3
5. 板書案の作成	1	2	3
6. OHP やスライド等の提示資料の作成	1	2	3
7. 授業の内容に関する配布資料の作成	1	2	3
8. 課題についての資料の作成	1	2	3
9. ISTU や DCW 等による授業資料や教材の配信	1	2	3
10. 学生のミニットペーパーや課題の確認	1	2	3
11. その他 ( )	1	2	3

問 23. 問 18 で答えた授業の準備（授業内容の決定，設計，資料等の準備等）について，下記に挙げる時点で，それぞれどの程度の時間をかけて行いましたか（実施しない項目には0（ゼロ）と記入してください）

実施のタイミング	所要時間
1. シラバス作成時に実施	約（ ）時間
2. 学期開始当初に実施	約（ ）時間
3. 毎回の授業の一週間前に実施	約（ ）時間
4. 毎回の授業の数日前～前日に実施	約（ ）時間
5. 授業当日に実施	約（ ）時間
6. その他（ ）	約（ ）時間

問 24. 今後，授業の設計，準備にあたり，利用してみたいと思う支援はありますか？（複数回答可）

1. 大学、部局等の主催の授業実践に関する説明会
2. シラバスの書き方に関するセミナー
3. 授業実践、成績評価に関するセミナー
4. 授業資料の電子化
5. 前任者との相談の機会
6. 同僚との相談の機会
7. 先輩教員との相談の機会
8. 指導教員との相談の機会
9. 学内の新任教員との懇談会
10. 専門職員による個別コンサルテーション
11. 他の先生の授業映像を視聴できる機会
12. 自分の授業の振り返り，授業レビュー
13. 特にない
14. その他

( )

**質問項目は以上です。ご回答へのご協力，誠にありがとうございました。**

本調査は、東北大学高等教育開発推進センター・大学教育支援センターにおける、教育関係  
共同利用拠点「国際連携を活用した大学教育力開発の支援拠点」事業の一環として行われた。

---

---

CAHE TOHOKU Report 53  
大学教員の授業準備に関する調査報告書

---

2014年（平成26年）3月発行

発行： 東北大学高等教育開発推進センター  
〒980-8576  
宮城県仙台市青葉区川内 41  
<http://www.he.tohoku.ac.jp/>

---

---